令和元年度

病 院 年 報

出かける医療・近づく医療

日野病院組合　日野病院

令和元年度日野病院組合日野病院事業年報発刊によせて

病院長　孝田雅彦

今回は天皇陛下の譲位により年号が平成から令和に変わりました。いつものようにこの一年を振り返るとまず新人看護師 10 名、管理栄養士 1 名が加わり、病院が若返りました。10 年後は彼、彼女らが日野病院を支えてくれるものと信じています。今年度の大きな出来事は日野郡 3 町と大学病院が医療連携協定を結んだことです。これまでも連携は行っていましたが、さらに踏み込んだ連携を実施することができるものと考えています。日野郡の人口減少の中、医療の質を担保し、住民の期待に応えられるような病院になることができるように努力していきます。また、令和 2 年に入り、新型コロナウイルス感染症が世界中で猛威を振るっています。当院も新型コロナウイルスに対応するため施設の整備を始めました。住民の皆さんが安心して受診できるように万全の対応を行います。

日野病院の基本理念　平成８年３月策定

１　地域住民のニーズにあった良質な医療、保健、福祉のサービスを行い、山間地中核病院として信頼される病院を目指す

２　自治体病院の職員としての自覚と使命感をもって、より良い患者サービスに努める

目　　次

発刊によせて　-1-

１、概要　-5-

主な出来事　-6-

組織図　日野病院組合組織図　-9-
日野病院組織図　-10-

施設の状況　施設規模等・主な医療機器　-12-
施設基準　-13-

日野病院組合議会開催状況　-15-

職員の状況　部署別職員数　-18-
職員表彰　-19-

経営状況　（令和元年度日野病院組合事業会計決算）
事業別内訳　-21-
決算概況　-22-

施設・設備等整備状況　-39-

委員会活動状況　日野病院委員会（ワーキング）構成表　-43-
各委員会開催状況　-44-
院内研修会開催状況　-79-

２、統計　-78-

患者統計　患者統計（外来・入院）　-79-

入院患者疾病統計　疾病別（大分類）・診療科別統計　-83-
疾病別・診療科・男女別統計　-85-
疾病別・年令階層別・男女別統計　-107-

疾病別・在院期間別・男女別統計 -119-
上位疾病別統計 -133-

部門別統計 手術件数・内視鏡検査・超音波診断検査 -135-
薬局状況・人工透析状況・放射線室状況
検診実施状況
栄養管理室状況・検査室状況・理学療法状況 -136-
作業療法状況・言語聴覚療法状況
訪問看護状況・訪問リハビリ状況
居宅支援(介護･予防)状況
メディカルソーシャルワーカー活動状況 -137-

３、業績 -138-

論文誌上発表 -139-
学会等発表 -143-

４、新聞記事等

ご近所のお医者さん（毎日新聞鳥取県版） -150-
日野病院長コラム（広報ひの） -159-
その他の新聞記事 -172-

５、広報誌 せせらぎ -178-

日野病院組合だよりせせらぎ 第 65 号（令和元年 5 月発行） -179-
日野病院組合だよりせせらぎ 第 66 号（令和元年 9 月発行） -189-
日野病院組合だよりせせらぎ 第 67 号（令和 2 年 1 月発行） -199-

編集後記 -209-

1、概　要

主な出来事

令和元年

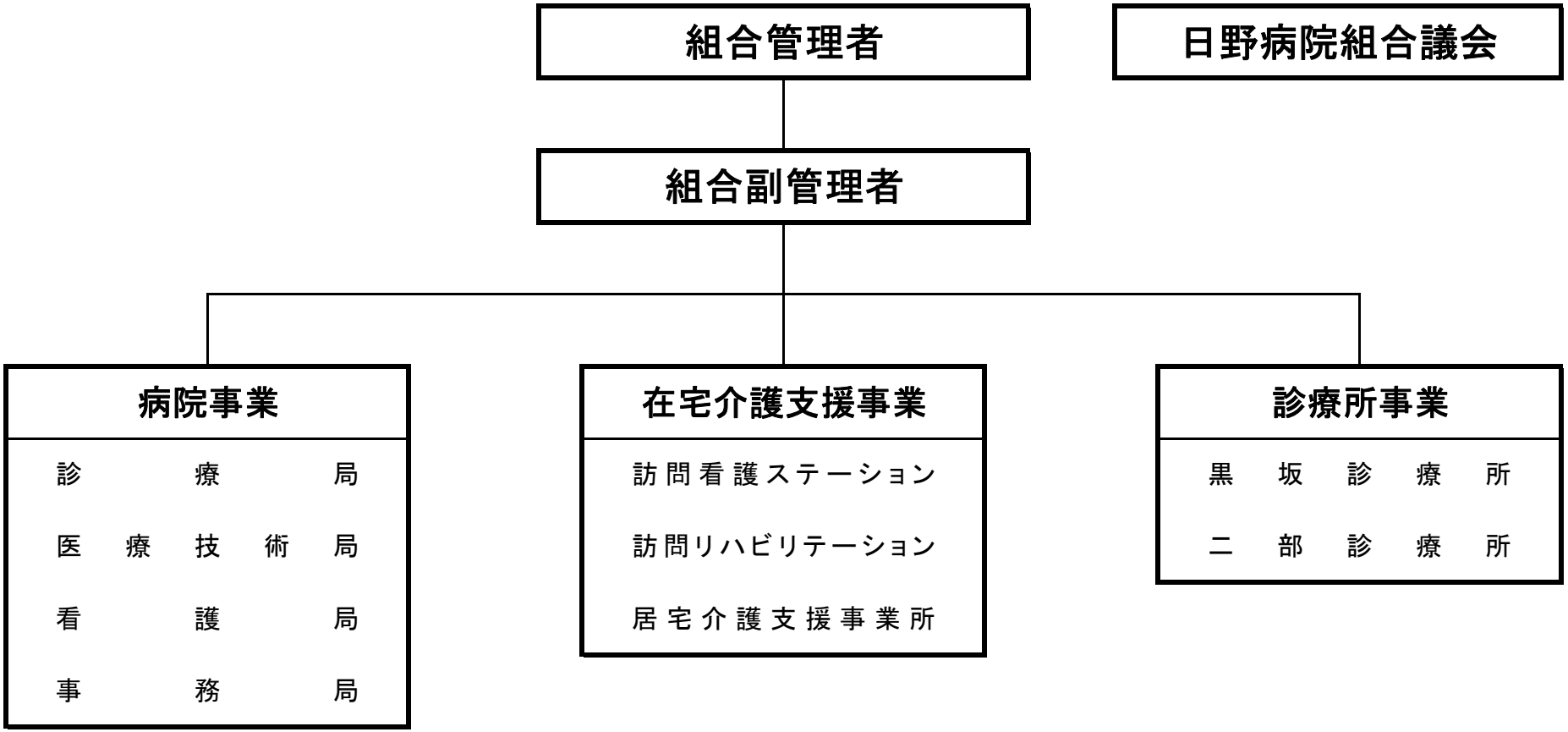
4 月 1 日　新規採用職員オリエンテーション
4 月 18 日　竹永真由美看護師長、田中武志主任理学療法士、河本亮介病歴係長が日野病院職員表彰（局長表彰）を受賞
5 月 11 日　看護の日イベント
7 月 20 日　ねう祭りに参加
7 月 26 日　夕涼み会
8 月 23 日　平成 30 年度日野病院組合事業会計決算認定
収益的収支で 53,008 千円の黒字、資金収支で 32,508 千円の黒字
12 月 16 日　クリスマスイベント
12 月 27 日　仕事納め

令和２年

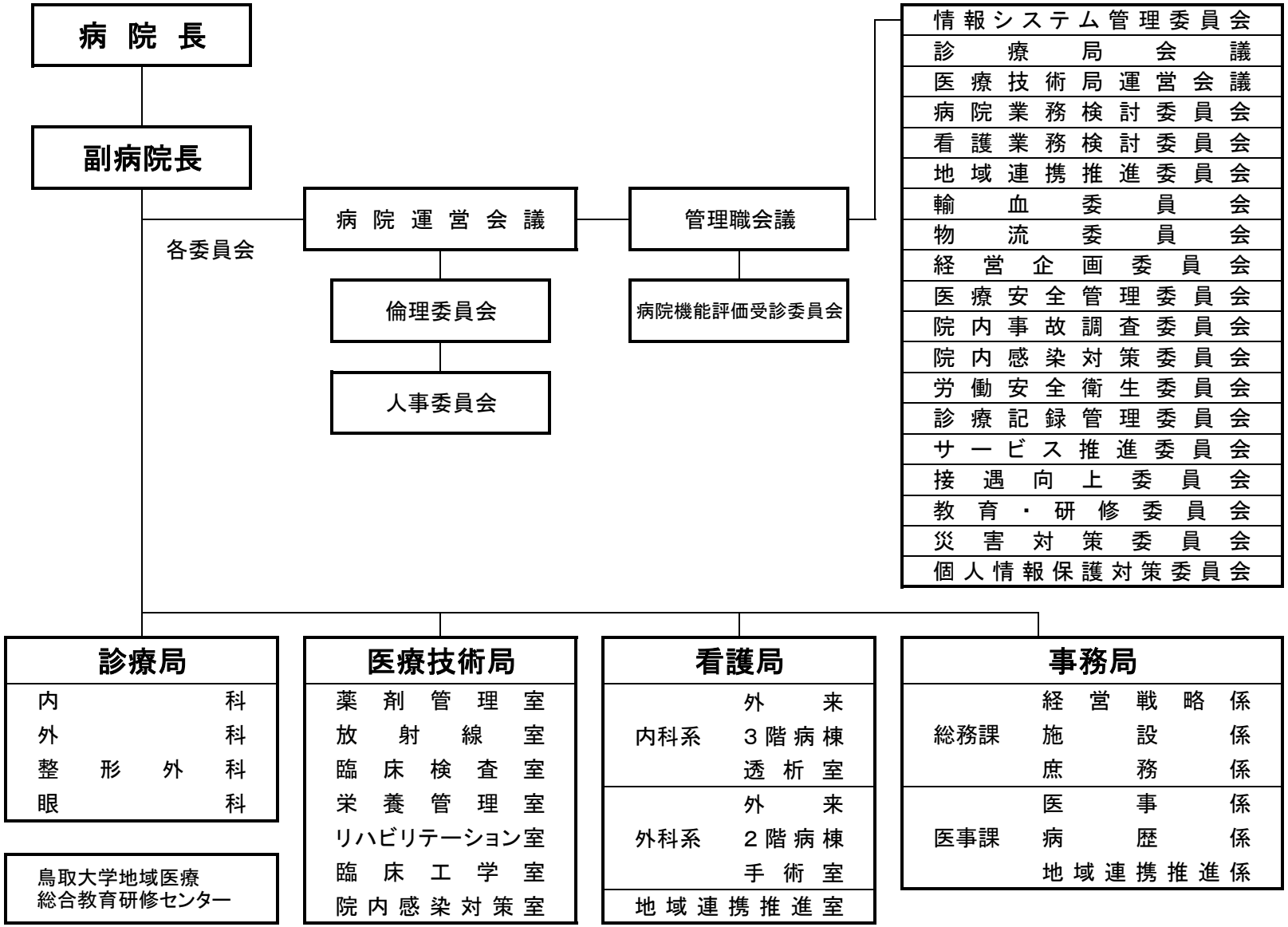
1 月 6 日　仕事始め
1 月 28 日　鳥取県西部病院協会職員研修会（講師：伊関友伸氏）
1 月 29 日　日野郡地域連携会議講演会（講師：伊関友伸氏）
3 月 23 日　日野郡の医療連携に係る基本協定を締結
（日南町・日野町・江府町・鳥取大学医学部附属病院）

組織図

日野病院組合組織図（平成31年4月現在）



日野病院組織図（平成31年4月現在）



施設の状況

施設規模等

（１）病　床　数　９９床（一般　７４床・地域包括ケア病床　２５床）

（２）病　室　数　５１部屋（１人部屋３５、４人部屋１６）

（３）敷 地 面 積　１１，０４５．２７㎡

（４）延べ床面積　８，２４７．１６㎡

（５）建　設　費　３１億１，２０９万９千円

＜主な内訳＞	建築費	２３億６，２５０万円
	用地費及び補償費	１億８，２５４万７千円
	医療機器及び備品購入費	４億２，１９５万６千円
＜財源内訳＞	補助金	５億２，７９１万１千円
	病院事業債	２５億６，６１０万円
	一般財源	１，８０８万８千円

主な医療機器

気管支ファイバースコープ
大腸ファイバースコープ
ＭＲＩ（１．５テスラ）
レーザーメス
長時間心電図分析装置
血液ガス測定装置
人工腎臓装置
マンモグラフィー
骨塩定量測定装置
生体情報モニタ
手動式除細動器
上部消化管汎用ビデオスコープ
多目的自動血球分析装置
超音波白内障手術装置
高周波手術装置
超音波診断装置
十二指腸ファイバースコープ
フルデジタルカラー超音波装置
マルチスライスＣＴシステム
手術用顕微鏡
生化学自動分析装置
脳波計
人工呼吸器
上部消化管ファイバースコープ
Ｘ線骨密度測定装置
手術室ビデオシステム
超音波骨折治療器
血圧脈波検査装置
睡眠時無呼吸検査機器
特殊入浴装置
角膜内皮細胞撮影装置

施設基準

一般病棟入院基本料　１０：１（９９床）
一般病棟療養環境加算
退院支援加算１
重症者等療養環境特別加算
一般病棟看護必要度加算１
診療録管理体制加算
地域連携診療計画加算
地域包括ケア入院医療管理料１
データ提出加算１
地域包括ケア入院医療管理料病床の看護職員配置加算に係る届出
地域包括ケア入院医療管理料病床の看護補助者配置加算に係る届出
２５：１急性期看護補助体制加算（５０割以上）
入院時食事療養費（Ⅰ）
夜間休日救急搬送医学管理料
救急医療管理加算
救急搬送患者地域連携受入加算
小児科外来診療科
乳幼児救急医療管理加算
感染防止対策加算２
総合評価加算
ペースメーカー移植術
ペースメーカー交換術（電池交換を含む）
医科点数表第２章第１０部手術の通則５及び６に掲げる手術
人工肛門人工膀胱造設術前処置加算
がん性疼痛緩和指導管理料
無菌製剤処理料
薬剤管理指導料
検体検査管理加算（Ⅰ）
検体検査管理加算（Ⅱ）
ニコチン依存症管理料

時間内歩行試験
呼吸器リハビリテーション（Ⅰ）
運動器リハビリテーション料（Ⅰ）
脳血管等リハビリテーション（Ⅱ）
地域連携診療計画退院時指導料
在宅末期医療総合診療料
在宅療養支援病院
在宅時医学総合管理料及び特定施設入居時等医学管理料
外来化学療法加算２
ＣＴ撮影及びＭＲＩ撮影（１６列以上６４列未満のマルチスライスＣＴ）
ＣＴ撮影及びＭＲＩ撮影（１．５テスラ以上３．０テスラ未満）
検査・画像情報提供加算及び電子的診療情報評価加算
下肢抹消動脈疾患指導管理加算
様式１０の６・９０日を超えて入院する患者の算定：有

指定等

生活保護法指定医療機関
労災保険指定医療機関
救急告示病院
結核予防法指定医療機関
原爆被爆者一般疾病医療機関
病院群輪番制病院
へき地医療拠点病院

日野病院組合議会開催状況

令和元年度日野病院組合議会開催状況

会議名	開催年月日	議案	内容
令和元年 第2回 臨時会	R1.6.21		議長の選挙について 副議長の選挙について
令和元年 第3回 定例会	R1.8.23	9号	日野病院組合議会の議員その他非常勤の職員の公務災害補償等に関する条例の廃止について
		10号	平成30年度日野病院組合事業会計決算の認定について
		11号	令和元年度日野病院組合病院事業会計補正予算（第1号）
		12号	令和元年度日野病院組合在宅介護支援事業会計補正予算（第1号）
令和元年 第4回 定例会	R1.11.13	13号	日野病院組合薬剤師育成奨学金貸付条例の一部改正について
		14号	令和元年度日野病院組合病院事業会計補正予算（第2号）
		15号	令和元年度日野病院組合在宅介護支援事業会計補正予算（第2号）
令和2年 第1回 臨時会	R2.1.20	1号	鳥取県西部町村情報公開・個人情報保護審査会共同設置規約の変更に関する協議について
		2号	日野病院組合職員の給与に関する条例の一部改正について
		3号	日野病院組合会計年度任用職員の給与及び費用弁償に関する条例の制定について
		4号	地方公務員法及び地方自治法の一部を改正する法律の施行に伴う関係条例の整備に関する条例の制定について
		5号	令和元年度日野病院組合病院事業会計補正予算（第3号）
		6号	令和元年度日野病院組合在宅介護支援事業会計補正予算（第3号）
令和2年 第2回 定例会	R2.2.20	7号	日野病院組合職員定数条例の一部改正について
		8号	日野病院組合職員の服務の宣誓に関する条例の一部改正について
		9号	令和元年度日野病院組合病院事業会計補正予算（第4号）
		10号	令和元年度日野病院組合在宅介護支援事業会計補正予算（第4号）
		11号	令和元年度日野病院組合診療所事業会計補正予算（第1号）
		12号	令和2年度日野病院組合病院事業会計予算
		13号	令和2年度日野病院組合在宅介護支援事業会計予算
		14号	令和2年度日野病院組合診療所事業会計予算

職員の状況

部署別職員数（令和元年３月３１日現在）

（１） 病院事業

・病院長補佐　１名

・医療安全対策室　１名

・診療局　常勤医師９名（うち嘱託医師２名）
（内科５名、外科１名、整形外科１名、眼科１名、小児科１名）

・看護局　８４名　（人）

区　分	看 護 師		准看護師		看護助手		クラーク		合　計	
	正職	嘱託	正職	嘱託	正職	嘱託	正職	嘱託	正職	嘱託
看護局長	1								1	
外　来	3	2		1				4	3	7
２階病棟	20	3	2	4	2	3		1	24	11
３階病棟	22	2	2	1	1	4		1	25	8
手 術 室			2						2	
透 析 室		2								2
地域連携室	1								1	
合　計	46	9	6	6	3	7		6	56	28

・医療技術局２６名
臨床検査室３名（臨床検査技師３名）
薬剤管理室３名（薬剤師２名、嘱託事務１名）
放射線室４名（診療放射線技師４名（うち嘱託職員１名））
リハビリテーション室１３名
（理学療法士８名、作業療法士２名、言語聴覚士２名、マッサージ師１名）
栄養管理室３名（管理栄養士３名（うち嘱託職員１名））

・事務局１１名
事務局長　　１名
事務次長　　１名
総 務 課　　４名（うち嘱託職員２名）
医 事 課　　５名（うちMSW１名、嘱託職員２名）

（２）在宅介護支援事業所

・所長　　１名（病院と兼務）
・看護師　　４名（うち１名は病院と兼務）
・理学療法士　　３名
・言語聴覚士　　１名（病院と兼務）
・作業療法士　　１名（病院と兼務）
・介護支援専門員　４名（うち１名は看護師と兼務）
・事務職員　　２名（うち１名は病院と兼務）

（３）診療所事業

・医師　　２名（病院と兼務）
・看護師　　１名（病院と兼務）
・事務職員　　１名（病院と兼務）

職員の表彰等

受賞年月日	職員名	職名等	表　彰　名
令和２年３月 31 日	影山 光恵	看護師	令和元年度職員表彰
令和２年３月 31 日	亀髙 さつき	臨床検査技師	令和元年度職員表彰

経営状況

令和元年度日野病院組合決算（事業別内訳）

〈収益的収支〉　　（単位：千円）

区分		病院事業（イ）	在宅介護支援事業（ロ）	診療所事業 計（ハ）	診療所事業 黒坂	診療所事業 二部	（イ）+（ロ）+（ハ）	30年度決算額	増減
医業収益	入院収益	897,327		0			897,327	878,379	18,948
	外来収益	360,455		1,967	1,607	360	362,422	344,223	18,199
	室料差額収益	28,529		0			28,529	29,811	△ 1,282
	保健予防活動収益	30,160		423	401	22	30,583	28,937	1,646
	その他医業収益	15,928		0			15,928	15,151	777
	事業間負担金(在宅/診療所)	25,938		0			25,938	22,387	3,551
	計	1,358,337		2,390	2,008	382	1,360,727	1,318,888	41,839
介護サービス収益	介護サービス収益		75,154	0			75,154	72,007	3,147
	その他介護サービス収益		28	0			28	72	△ 44
	計		75,182	0	0	0	75,182	72,079	3,103
医業外収益	預金利息	59		0			59	172	△ 113
	国県等補助金	27,911	68	0			27,979	31,814	△ 3,835
	負担金交付金	318,589	21,960	17,157	10,000	7,157	357,706	345,984	11,722
	負担金交付金（本部費）	429		0			429	421	8
	長期前受金戻入（現金を伴わない）（A）	49,399	209	0			49,608	33,230	16,378
	その他医業外収益	6,147	4,346	0			10,493	6,125	4,368
	計	402,534	26,583	17,157	10,000	7,157	446,274	417,746	28,528
収益合計		1,760,871	101,765	19,547	12,008	7,539	1,882,183	1,808,713	73,470
医業費用	給与費	891,798	62,620	0			954,418	936,403	18,015
	退職給付引当金（通常）	50,313		0			50,313	49,944	369
	退職給付引当金（現金を伴わない）（B）	19,094		0			19,094	19,094	0
	賞与引当金繰入額	55,141	6,274	0			61,415	56,854	4,561
	材料費	262,495	8	145	140	5	262,648	251,531	11,117
	経費	91,752	2,799	737	549	188	95,288	96,560	△ 1,272
	委託費	151,198	293	197	195	2	151,688	150,409	1,279
	減価償却費（C）	159,537	863	305	191	114	160,705	122,540	38,165
	資産減耗費（現金を伴わない）（D）	4,370	13	0			4,383	5,268	△ 885
	研究研修費	4,839	407	0			5,246	5,790	△ 544
	本部費	429		0			429	421	8
	事業間負担金		13,443	12,495	8,330	4,165	25,938	22,387	3,551
	派遣職員人件費負担金						0	3,336	△ 3,336
	計	1,690,966	86,720	13,879	9,405	4,474	1,791,565	1,720,537	71,028
医業外費用	企業債償還金（利子）・支払利息	22,046		5	5		22,051	22,924	△ 873
	その他医業外費用	14,803		0			14,803	12,244	2,559
	計	36,849	0	5	5	0	36,854	35,168	1,686
費用合計		1,727,815	86,720	13,884	9,410	4,474	1,828,419	1,755,705	72,714
収益的収支（決算額）		33,056	15,045	5,663	2,598	3,065	53,764	53,008	756
年度末累積剰余金・累積欠損金		276,503	125,479	122,828			524,810	471,046	53,764

〈資本的収支〉

区分		病院事業（イ）	在宅介護支援事業（ロ）	診療所 計（ハ）	診療所 黒坂	診療所 二部	（イ）+（ロ）+（ハ）	30年度決算額	増減
企業債	企業債	40,300	2,000	0			42,300	178,200	△ 135,900
負担金	負担金			0			0	97,600	△ 97,600
補助金	補助金	55,000	515	0			55,515	0	55,515
貸付金償還	貸付金償還	3,000		0			3,000	2,100	900
資本的収入計		98,300	2,515	0	0	0	100,815	277,900	△ 177,085
建設改良費	固定資産購入費	99,346	3,158	0			102,504	278,413	△ 175,909
企業債償還金	企業債償還金（元金）	140,018		250	250		140,268	128,909	11,359
貸付金	奨学金貸付金	3,000		0			3,000	4,750	△ 1,750
資本的支出計		242,364	3,158	250	250	0	245,772	412,072	△ 166,300
資本的収支		△ 144,064	△ 643	△ 250	△ 250	0	△ 144,957	△ 134,172	△ 10,785

（単年度資金収支）

現金を伴わない収益（A）	49,399	209	0	0	0	49,608	33,230	16,378
現金を伴わない費用（B）+（C）+（D）	183,001	876	305	191	114	184,182	146,902	37,280
単年度資金収支	22,594	15,069	5,718	2,539	3,179	43,381	32,508	10,873

資金不足負担金発生までの額	現金預金等残高（引当金除）（A）	未払金等残高（B）	資金不足負担金発生までの額（（A）−（B））		
	727,621	63,068	664,553	644,437	20,116

退職給付引当金残高	前年度引当金残高	退職給付引当金	退職給付金		引当金残高 総残高	引当金残高 増減	引当金残高 （内現金分）	引当金残高 （内現金分増減）
	275,803	69,407	5人	40,466	304,744	28,941	190,180	9,847

令和元年度病院事業等の決算について

１、総括的事項

病院事業は、高齢化率の高い中山間地における中核病院として、CT（平成22年度更新）・MRI（平成25年度更新）などの診療機器や、無菌手術の可能な手術室を備え、一般病床99床（内地域包括ケア病床25床）の入院業務と20診療科の外来診療に加え訪問診察を行った。また、在宅介護支援事業及び診療所事業を行い「出かける医療・近づく医療」の推進を図った。

２、「出かける医療・近づく医療」

構成3町の交通手段は限られ、高齢者の通院を阻む要素になっている。

通院の利便性を図るため、公共交通機関のない地域に患者送迎車（ワゴン車）を走らせ、自宅から日野病院や診療所の間で運行させた。

また、訪問診察（週3回）に加え、在宅支援事業（訪問看護と訪問リハビリ）と診療所事業の充実を図り、可能な限り在宅での生活（療養）を支援している。（訪問診察と在宅支援事業は構成3町だけでなく県境を越え岡山県にも出かけている。）

（ア）訪問診察

訪問診察は、携帯型のレントゲン撮影装置、超音波断層装置及び心電計を用い、充実した診療を目指している。訪問診察の延べ患者数は、令和元年度で625人（平成30年度は623人）となっている。

（イ）在宅介護支援事業

訪問看護、訪問リハビリ（理学療法士4名、言語聴覚士1名）を行った。

令和元年度で訪問した延べ患者数は、訪問看護1，863名（103名増）、訪問リハビリ4，460名（106名増）、居宅支援件数 1，746件（16件増）となっている。

（ウ）診療所事業

無医地区の黒坂（日野町）と二部（伯耆町）に診療所を開所し診療を行った。

黒坂診療所は毎週火・木曜日、二部診療所は毎週水曜日に開所した。令和元年度延べ患者数は513名となった。（平成30年度延べ患者数は504名）

今後も、在宅での療養の推進を図りながら現在の病院機能を維持していくことが必要である。

また、平成２８年度に策定した新日野病院改革プラン、中長期計画（Ｈ２９～Ｈ３３）及び令和２年３月に締結した日野郡の医療連携に係る基本協定に基づき、周辺医療機関との医療連携や機能分担について検討し、地域における医療の安定的な提供体制の確保と地域医療を担う人材育成に取り組んでいくことが必要と考える。

令和元年度病院事業等の決算概況資料

日野病院組合が行っている、病院事業・在宅介護支援事業・診療所事業の決算概要について説明します。

１、医業収支・各種統計について

令和元年度の決算の中から、収入については構成町からの負担金・補助金等、支出については起債償還額等を除いた医業収支については･･･

医業収支･･･診療報酬等を収入とし、医業にかかる給与費・経費等を支出とした収支

収益について、病院事業の医業収益は前年度と比べ、入院患者数、外来患者数とも増加し増収となった。

在宅事業の介護サービス収益は、訪問看護、訪問リハビリの利用者とも増加、居宅支援件数も増えたため増収となった。

診療所事業は患者数はわずかに増加したが、診療単価の減により減収となった。

全体では４１，３９１千円の増収となった。

費用について、前年度と比べ、減価償却費、給与費及び材料費が増加し、全体で６７，４７７千円の増となった。

以上から、医業収支は平成３０年度と比較し２６，０８６千円減少した。

（医業収入）

病院事業について、外来収益は患者数が３５，８８３人となり、平成３０年度と比較し１，０１６人増加した。 一人あたりの診療単価は１０，０４５円となり２４７円増加したため、１８，８３３千円の増収となった。

入院収益は、患者数が２９，８６４人で平成３０年度と比較し１，００１人増加した。一人あたりの診療単価は３０，０４７円となり、３８６円減少したが、１８，９４８千円の増収となった。

在宅介護支援事業については、訪問看護利用者が１０３人の増、訪問リハビリの利用者も１０６人増加した。また、居宅支援件数も１６件増えたため、全体で３，１４７千円の増収となった。

診療所事業については、患者数が黒坂診療所が２人の増、二部診療所が７人の増となり、全体で９人の増となったが、検査の減により一人あたりの診療単価が１，３２７円減少したため、６３４千円の減収となった。

その他の医業収益については、室料差額が個室稼働率の減により、１，２８２千円の減収、保健予防活動収益は小児に係る予防接種の増により１，６４６千円の増収となった。その他医業収益は、入院患者数の増による使用材料の増により７３３千円の増となった。

（医業費用）

職員給与費については、医師や看護師の増員により給料・手当が増加、また、嘱託職員の増により賃金が増加したため、２２，９４５千円の増となった。

材料費は、患者数の増に伴い医薬品費が増えたため１１，１１７千円増加した。

また、平成３０年度に電子カルテを更新したことにより、減価償却費が３８，１６５千円増加した。

２、単年度資金収支について

令和元年度の単年度資金収支（現金）は、４３，３８１千円増加した。この額が運転資金（留保資金）として増額されることになる。

３、負担金（追加分）発生の状況について

平成２０年度に構成町の負担金（追加分）について発生の条件を、単年度資金収支の減による補てん（赤字補てん）から、運転資金（留保資金）不足の補てんへ変更した。

令和元年度末時点で、資金不足発生までの額は６６４，５５３千円となり、当分の間負担金（追加分）は発生することはない状況となっている。

４、退職手当引当金の実施について

平成１９年度から実施している退職給与引当てについて、給料総額の１４０/１０００とし、引当てを５０，３１３千円実施した。

また、平成２６年度から地方公営企業法の改正により、経過措置として毎年１９，０９４千円の引当てを実施している。（今年度６年目で１５年間実施）

令和元年度は、５名の退職者（看護師１名・准看護師２名・医療技術員１名・看護助手１名）に対し総額４０，４６６千円の退職給与金の支払いを行い、引当金残高は３０４，７４４千円となり、前年度と比べ、２８，９４１千円増加した。

５、病院事業等に対する地方交付税措置について

普通交付税について、１床あたりに対する措置額が前年度より５千円減少。また、起債償還に対する措置額も減少し、全体では１８７，１３１千円の措置額となり、３，３９８千円の減となった。

特別交付税については、平成１９年度から不採算地区病院の対象となっているが、平成２８年度からは稼働病床数に対する措置（平成２７年度までは許可病床数）となった。加えて実繰出金の８０％との比較（どちらか少ない額）による措置となっている。

特別交付税全体では、不採算地区に対する措置額や訪問看護事業に対する措置額等が増加したため、措置額は１４，２８２千円増加し１８１，７２４千円となった。

交付税措置額は全体で３６８，８５５千円となり、１０，８８４千円の増となった。（内３５７，７０６千円を負担金として収入）

６、累積剰余金の処分について

平成１８年度に約６億円あった累積欠損金が、平成１９年度以降の黒字決算の継続により、平成２４年度決算終了時点で累積剰余金に転じている。

累積剰余金は、令和元年度決算終了時点で５２４，８１０千円となった。

剰余金を処分する際は、条例の定めによるか議会の議決を要することとされているが、令和元年度決算において発生した累積剰余金については、未処分利益剰余金として扱う。

７、鳥取県日野郡連携会議主催講演会の開催について

令和２年１月２９日、城西大学経営学部マネジメント学科教授の伊関友伸氏に、「果たして自治体病院は不要なのか？－その存在意義を考える」と題して講演していただいた。町の存続には自治体病院が必要であることや医療と福祉は雇用の場となること等、自治体病院の大切さについて話された。

当日は、１３８人の参加者があった。

８、日野郡の医療連携に係る基本協定について

令和２年３月２３日、日野郡３町と鳥取大学医学部附属病院が医療提供体制の確保と医療人材の育成での連携を目指し、「日野郡の地域医療連携に係る基本協定」に調印した。

この協定は、各医療機関による医師などの派遣協力や総合診療専門医など地域医療を担う医療従事者の育成、また、住民が地域医療を守り育てる意識の醸成などで連携するもので、具体的な連携内容については令和２年度以降協議をしていく事となる。

令和元年度決算　医業収支（病院・在宅・診療所事業）年度比較表

（収益）　（単位：千円）

内訳		24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	1年度	差引	備　考
外来収益	病　院	328,039	327,934	322,007	324,083	332,844	355,741	341,622	360,455	18,833	年間外来患者数 35，883人（1人あたり 10，045円）
	在　宅	56,579	57,758	61,762	63,077	72,323	70,001	72,007	75,154	3,147	訪問看護20，797千円・訪問リハビリ31，501千円・居宅介護22，856千円
	診療所	4,504	3,025	2,672	2,390	2,204	2,617	2,601	1,967	△ 634	黒坂（1，607千円）・二部（360千円）
入院収益		755,900	761,575	751,512	768,553	889,380	921,689	878,379	897,327	18,948	年間入院患者数 29，864人（1人あたり 30，047円）
室料差額		24,878	24,068	21,849	21,468	29,399	33,009	29,811	28,529	△ 1,282	稼働率（特別室29.6%・個室A78.8%・個室B79.8%）
保健予防		23,754	22,432	23,471	25,157	25,365	26,185	28,937	30,583	1,646	ドック・各種検診
そ の 他		17,805	14,777	15,490	23,258	23,081	16,562	15,223	15,956	733	使用材料、文書料等
計（A）		1,211,459	1,211,569	1,198,763	1,227,986	1,374,596	1,425,804	1,368,580	1,409,971	41,391	

（費用）

内訳	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	1年度	差引	備　考
給 与 費	868,956	870,328	885,780	920,572	945,348	956,120	993,257	1,015,833	22,576	給料359,380・手当269,601（内賞与引当61,415）・賃金256,651・法定福利費130,201
退職給与金等	106,607	54,627	47,754	83,896	70,201	67,904	69,038	69,407	369	通常分50，313千円（給与費×140/1000）・経過措置分（6年目）19，094千円
材 料 費	218,570	239,860	221,120	240,095	245,827	274,869	251,531	262,648	11,117	医薬品費・薬品費・診療材料費等
経　費	91,180	92,598	89,507	90,927	98,113	96,428	96,560	95,288	△ 1,272	消耗品・光熱水費・修繕費 等
委 託 費	123,093	116,711	128,682	134,514	139,895	142,149	150,409	151,688	1,279	給食・寝具・検査委託 等
減価償却費等	112,702	123,498	136,281	135,644	139,525	125,280	127,808	165,088	37,280	減価償却費（160，705千円）・資産減耗費（4，383千円）
そ の 他	5,934	5,900	5,564	4,820	5,420	9,383	9,547	5,675	△ 3,872	研究研修費（5，246千円）・本部費（429千円）
計（B）	1,527,042	1,503,522	1,514,688	1,610,468	1,644,329	1,672,133	1,698,150	1,765,627	67,477	

（収支）

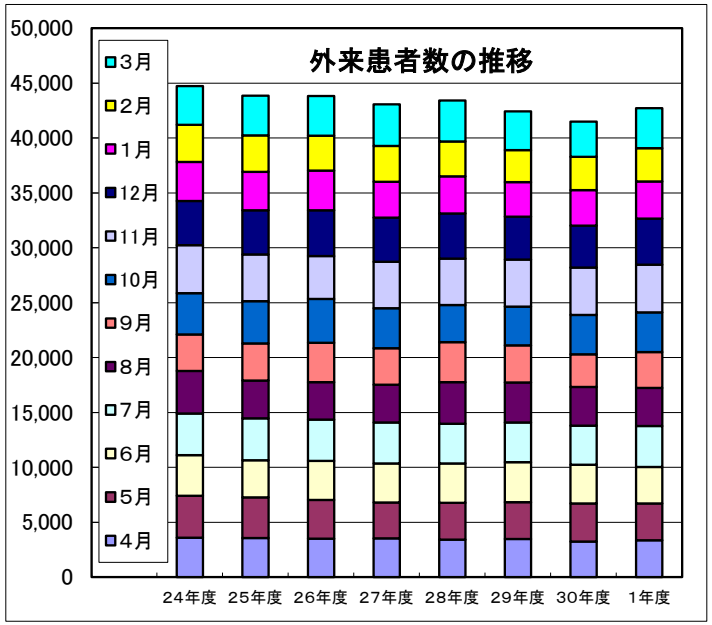
内訳	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	1年度	差引	備　考
計（A）―（B）	△ 315,583	△ 291,953	△ 315,925	△ 382,482	△ 269,733	△ 246,329	△ 329,570	△ 355,656	△ 26,086	医業収益計（A）―医業費用計（B）
（前年度との比較）	△ 94,742	23,630	△ 23,972	△ 66,557	112,749	23,404	△ 83,241	△ 26,086	－	

＊医業収支以外の主なもの　（単位：千円）

（収入）	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	1年度	差引	備　考
負 担 金	344,922	326,036	328,130	328,546	332,006	340,730	345,984	357,706	11,722	交付税措置額（不採算地区病院・へき地医療 含む）
補 助 金	38,083	37,770	36,948	36,164	34,570	35,636	31,814	27,979	△ 3,835	建設費にかかる支払利子の1/2・輪番制補助金・地域医療人材確保補助金　等
（支出）	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	1年度	差引	備　考
起債償還等	176,691	200,240	170,865	182,109	175,389	173,477	151,833	162,319	10,486	元金 140，268千円・利子22，051千円

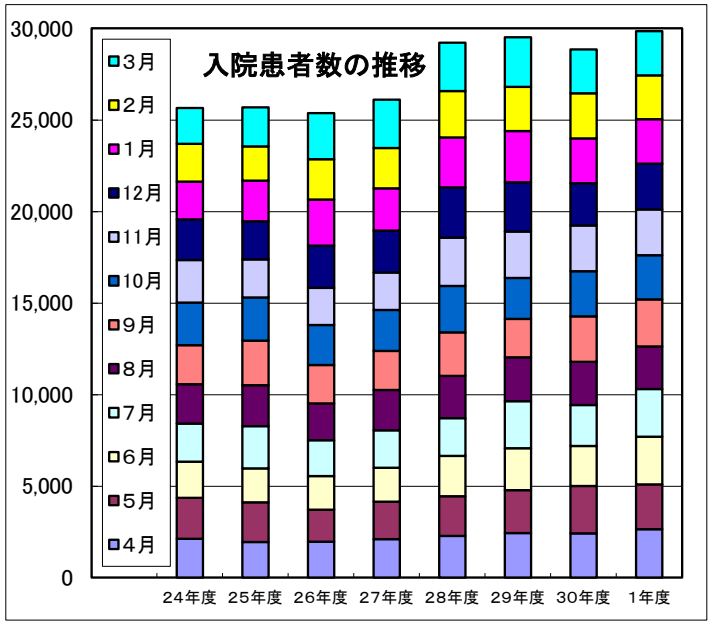
（外来患者数の推移）　　（単位：人）

患者数	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	1年度	差引
4月	3,582	3,569	3,503	3,515	3,401	3,458	3,238	3,346	108
5月	3,815	3,697	3,531	3,268	3,374	3,355	3,477	3,354	△ 123
6月	3,717	3,367	3,556	3,579	3,589	3,640	3,531	3,343	△ 188
7月	3,789	3,818	3,759	3,735	3,611	3,634	3,537	3,714	177
8月	3,861	3,461	3,418	3,425	3,787	3,627	3,539	3,476	△ 63
9月	3,324	3,376	3,587	3,339	3,639	3,406	2,978	3,261	283
10月	3,761	3,842	3,998	3,641	3,385	3,513	3,583	3,621	38
11月	4,388	4,261	3,893	4,230	4,238	4,303	4,300	4,332	32
12月	4,011	4,021	4,158	4,019	4,099	3,889	3,821	4,208	387
1月	3,565	3,500	3,616	3,262	3,383	3,162	3,234	3,379	145
2月	3,375	3,339	3,177	3,258	3,188	2,915	3,034	3,046	12
3月	3,535	3,616	3,619	3,784	3,733	3,510	3,213	3,639	426
計	44,723	43,867	43,815	43,055	43,427	42,412	41,485	42,719	1,234



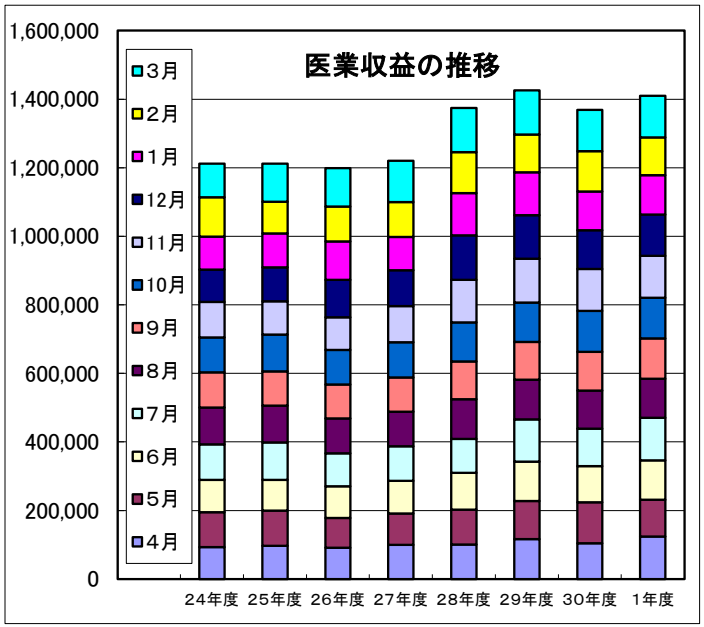
（入院患者数の推移）　　（単位：人）

患者数	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	1年度	差引
4月	2,131	1,953	1,975	2,106	2,283	2,438	2,423	2,651	228
5月	2,225	2,158	1,743	2,045	2,173	2,344	2,583	2,444	△ 139
6月	1,977	1,856	1,843	1,848	2,190	2,295	2,197	2,603	406
7月	2,085	2,318	1,943	2,052	2,079	2,572	2,223	2,610	387
8月	2,153	2,234	2,016	2,211	2,302	2,384	2,369	2,324	△ 45
9月	2,140	2,425	2,108	2,128	2,374	2,110	2,479	2,564	85
10月	2,323	2,362	2,179	2,246	2,534	2,236	2,476	2,430	△ 46
11月	2,323	2,093	2,024	2,037	2,638	2,536	2,500	2,500	0
12月	2,220	2,079	2,312	2,290	2,751	2,684	2,305	2,489	184
1月	2,057	2,220	2,517	2,310	2,736	2,805	2,445	2,436	△ 9
2月	2,070	1,864	2,207	2,198	2,521	2,420	2,460	2,400	△ 60
3月	1,964	2,127	2,506	2,651	2,641	2,708	2,403	2,413	10
計	25,668	25,689	25,373	26,122	29,222	29,532	28,863	29,864	1,001



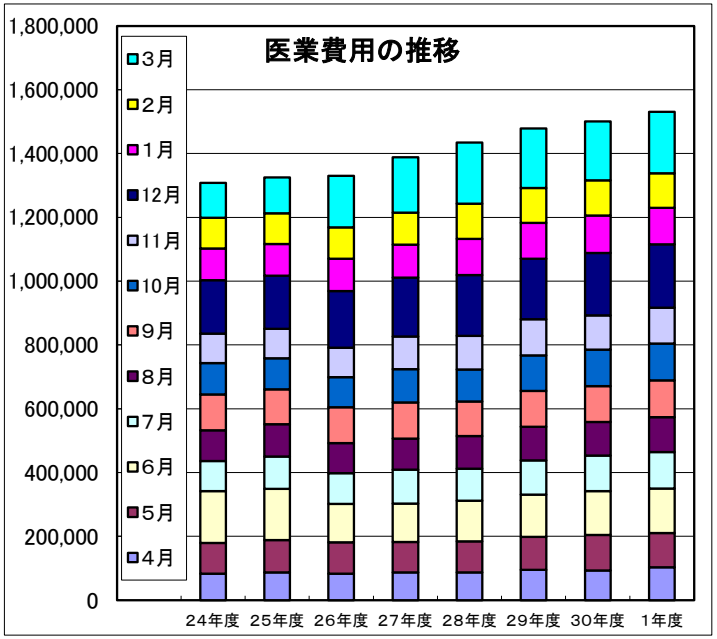
（収益の推移）　　（単位：千円）

収益	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	1年度	差引
4月	93,388	96,962	91,271	99,776	100,843	116,639	104,247	123,823	19,576
5月	101,644	103,053	86,802	91,863	101,567	111,271	119,669	107,764	△ 11,905
6月	94,693	88,846	92,220	94,782	107,412	114,588	105,343	114,791	9,448
7月	103,445	109,755	96,417	100,636	98,586	123,042	109,785	123,674	13,889
8月	106,746	107,556	101,608	100,678	115,825	115,885	111,070	113,859	2,789
9月	103,541	99,282	99,268	100,243	110,947	109,947	112,628	118,210	5,582
10月	101,154	107,655	101,007	102,983	113,851	114,932	119,486	118,632	△ 854
11月	104,203	97,611	95,528	105,504	124,226	127,888	122,183	121,905	△ 278
12月	93,570	98,976	108,759	104,295	129,163	127,351	112,886	121,123	8,237
1月	96,464	98,197	111,663	96,994	123,340	124,661	113,306	114,350	1,044
2月	114,722	93,144	102,095	102,418	120,084	110,451	118,068	110,367	△ 7,701
3月	97,889	110,532	112,125	120,162	128,752	129,148	119,909	121,473	1,564
計	1,211,459	1,211,569	1,198,763	1,220,334	1,374,596	1,425,803	1,368,580	1,409,971	41,391



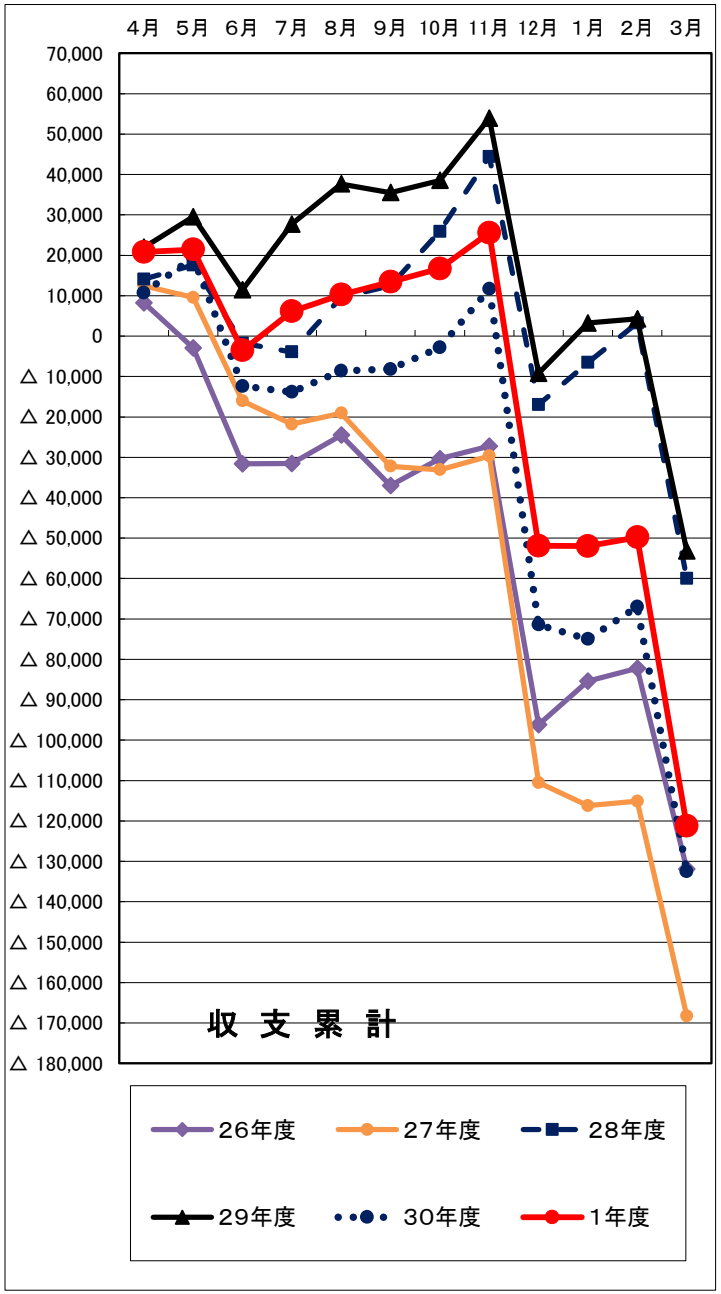
（費用の推移）　　（単位：千円）

費用	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	1年度	差引
4月	82,630	87,539	83,018	87,325	86,772	94,659	93,494	102,980	9,486
5月	97,260	100,489	97,984	94,727	98,041	103,708	111,053	107,192	△ 3,861
6月	162,381	160,669	120,883	120,422	126,735	132,671	137,092	139,737	2,645
7月	94,179	101,757	96,335	106,386	100,785	106,785	111,240	114,007	2,767
8月	96,462	101,467	94,625	97,931	102,318	105,946	105,871	109,739	3,868
9月	112,177	108,969	111,747	113,391	108,052	112,075	112,167	115,046	2,879
10月	97,820	96,935	94,366	103,860	100,436	111,939	114,173	115,329	1,156
11月	93,123	92,535	92,386	102,096	105,714	112,520	107,637	113,057	5,420
12月	167,413	167,309	177,691	185,095	190,511	190,408	196,015	198,547	2,532
1月	98,571	99,331	100,914	102,762	112,935	112,280	116,847	114,467	△ 2,380
2月	96,524	95,939	98,935	101,254	110,330	109,367	110,089	108,185	△ 1,904
3月	109,193	112,458	161,769	173,314	191,974	186,591	185,401	192,846	7,445
計	1,307,733	1,325,397	1,330,653	1,388,563	1,434,603	1,478,949	1,501,079	1,531,132	30,053



（収支の推移）　　（単位：千円）

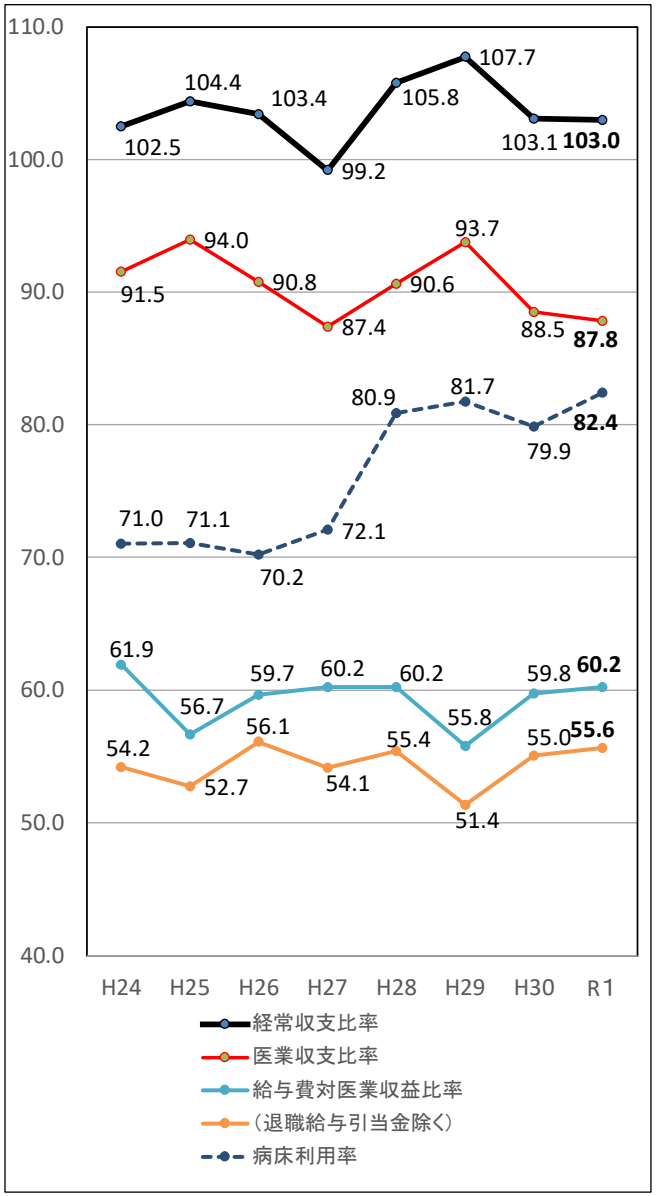
収支	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	1年度	差引
4月	10,758	9,423	8,253	12,451	14,071	21,980	10,753	**20,843**	10,090
5月	4,384	2,564	△ 11,182	△ 2,864	3,526	7,563	8,616	**572**	△ 8,044
6月	△ 67,688	△ 71,823	△ 28,663	△ 25,640	△ 19,323	△ 18,083	△ 31,749	**△ 24,946**	6,803
7月	9,266	7,998	82	△ 5,750	△ 2,199	16,257	△ 1,455	**9,667**	11,122
8月	10,284	6,089	6,983	2,747	13,507	9,939	5,199	**4,120**	△ 1,079
9月	△ 8,636	△ 9,687	△ 12,479	△ 13,148	2,895	△ 2,128	461	**3,164**	2,703
10月	3,334	10,720	6,641	△ 877	13,415	2,993	5,313	**3,303**	△ 2,010
11月	11,080	5,076	3,142	3,408	18,512	15,368	14,546	**8,848**	△ 5,698
12月	△ 73,843	△ 68,333	△ 68,932	△ 80,800	△ 61,348	△ 63,057	△ 83,129	**△ 77,424**	5,705
1月	△ 2,107	△ 1,134	10,749	△ 5,768	10,405	12,381	△ 3,541	**△ 117**	3,424
2月	18,198	△ 2,795	3,160	1,164	9,754	1,084	7,979	**2,182**	△ 5,797
3月	△ 11,304	△ 1,926	△ 49,644	△ 53,152	△ 63,222	△ 57,443	△ 65,492	**△ 71,373**	△ 5,881
計	△ 96,274	△ 113,828	△ 131,890	△ 168,229	△ 60,007	△ 53,146	△ 132,499	**△ 121,161**	11,338



決算統計数値の推移

項目	決算統計	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	R1
医業収益 (A)	20表(2)	1,378,182	1,392,110	1,344,711	1,376,398	1,457,009	1,531,160	1,468,544	**1,512,614**
医業外収益 (B)	20表(15)	220,877	212,060	252,109	249,368	315,967	304,097	311,795	**336,785**
医業費用 (C)	20表(26)	1,505,721	1,481,548	1,481,150	1,574,822	1,607,501	1,633,384	1,659,408	**1,722,185**
医業外費用 (D)	20表(40)	54,778	55,060	62,861	64,105	68,942	70,080	67,923	**73,450**
職員給与費 (E)	20表(27)	853,402	788,720	802,275	828,922	877,403	854,210	877,465	**910,817**
材料費 (F)	20表(28)	208,079	228,454	204,652	222,190	227,631	254,845	232,134	**241,728**
うち薬品費 (G)	21表(22)	113,224	120,188	108,111	118,835	151,381	131,251	129,876	**136,658**
年延入院患者数 (H)	27表(6)	25,668	25,689	25,373	26,122	29,222	29,532	28,863	**29,864**
うち一般患者数 (I)	27表(1)	25,668	25,689	25,373	26,122	29,222	29,532	28,863	**29,864**
年延病床数 (J)	27表(12)	36,135	36,135	36,135	36,234	36,135	36,135	36,135	**36,234**
うち一般病床数 (K)	27表(7)	36,135	36,135	36,135	36,234	36,135	36,135	36,135	**36,234**

項目		H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	R1
経常収支比率	(A)+(B)/(C)+(D)	102.5	104.4	103.4	99.2	105.8	107.7	103.1	**103.0**
医業収支比率	(A)/(C)	91.5	94.0	90.8	87.4	90.6	93.7	88.5	**87.8**
職員給与費対医業収益比率	(E)/(A)	61.9	56.7	59.7	60.2	60.2	55.8	59.8	**60.2**
材料費対医業収益比率	(F)/(A)	15.1	16.4	15.2	16.1	15.6	16.6	15.8	**16.0**
うち薬品費対医業収益比率	(G)/(A)	8.2	8.6	8.0	8.6	10.4	8.6	8.8	**9.0**
病床利用率	(H)/(J)	71.0	71.1	70.2	72.1	80.9	81.7	79.9	**82.4**
うち一般病床	(I)/(K)	71.0	71.1	70.2	72.1	80.9	81.7	79.9	**82.4**



令和元年度　外来患者（在宅・診療所含）分析

（単位：人）　収益　（単位：千円）

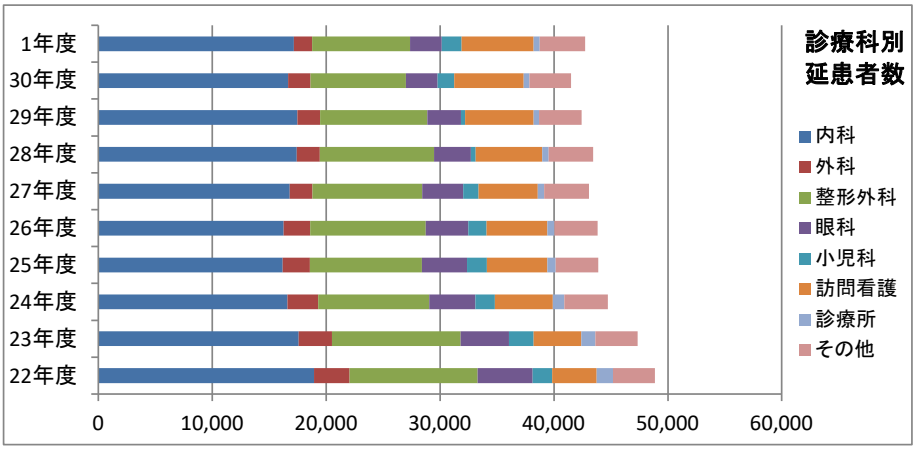
患者数	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	1年度	差引	稼動	平均	病院	訪問	診療所
4月	4,073	3,806	3,582	3,569	3,503	3,515	3,401	3,458	3,238	3,346	108	21	159.3	29,373	6,455	161
5月	3,855	3,780	3,815	3,697	3,531	3,268	3,374	3,355	3,477	3,354	△ 123	20	167.7	28,858	6,240	161
6月	4,216	3,889	3,717	3,367	3,556	3,579	3,589	3,640	3,531	3,343	△ 188	20	167.2	26,942	6,291	180
7月	4,334	3,807	3,789	3,818	3,759	3,735	3,611	3,634	3,537	3,714	177	22	168.8	33,020	6,896	165
8月	4,376	4,214	3,861	3,461	3,418	3,425	3,787	3,627	3,539	3,476	△ 63	19	182.9	30,452	6,221	171
9月	3,974	3,792	3,324	3,376	3,587	3,339	3,639	3,406	2,978	3,261	283	19	171.6	30,141	6,113	117
10月	3,932	3,984	3,761	3,842	3,998	3,641	3,385	3,513	3,583	3,621	38	21	172.4	31,658	6,640	165
11月	4,904	4,850	4,388	4,261	3,893	4,230	4,238	4,303	4,300	4,332	32	20	216.6	29,877	6,060	145
12月	4,297	4,252	4,011	4,021	4,158	4,019	4,099	3,889	3,821	4,208	387	20	210.4	30,489	6,064	170
1月	3,511	3,542	3,565	3,500	3,616	3,262	3,383	3,162	3,234	3,379	145	19	177.8	29,284	6,147	186
2月	3,415	3,540	3,375	3,339	3,177	3,258	3,188	2,915	3,034	3,046	12	18	169.2	28,138	5,715	154
3月	3,967	3,870	3,535	3,616	3,619	3,784	3,733	3,510	3,213	3,639	426	21	173.3	32,223	6,312	192
計	48,854	47,326	44,723	43,867	43,815	43,055	43,427	42,412	41,485	42,719	1,234	240	178.0	360,455	75,154	1,967

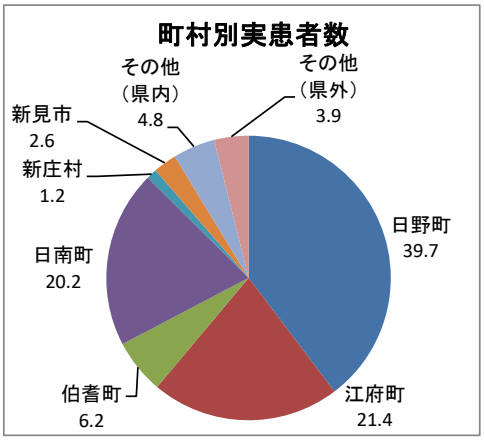
（内訳）　（単位：人）　（単位：千円）

診療科	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	1年度	差引	稼動	平均	収益	診療単価	備考
内科	16,242	14,928	14,738	14,732	14,905	15,372	16,015	15,564	14,950	15,528	578	240	64.7	207,905	13,389	月～金
（内透析）	1,536	1,734	1,938	1,552	1,714	1,804	1,995	1,953	1,917	2,032	115	261	7.8	55,387	27,257	月～金
循環器内科	922	770	0	0	0	0	0	421	484	469	△ 15	42	11.2	4,853	10,348	月
消化器内科	851	868	804	683	576	645	743	795	545	486	△ 59	49	9.9	5,582	11,486	水
脳神経内科	900	1,010	1,043	750	778	767	657	688	678	677	△ 1	48	14.1	3,807	5,623	木
外科	2,751	2,580	2,410	2,095	2,063	1,755	1,737	1,710	1,668	1,315	△ 353	240	5.5	22,500	17,110	月～金
整形外科	11,251	11,302	9,736	9,841	10,137	9,630	10,025	9,424	8,378	8,582	204	235	36.5	65,281	7,607	月～金
心臓血管外科	367	326	300	288	270	244	271	274	277	289	12	46	6.3	1,682	5,820	第1～4火
眼科	4,832	4,255	4,053	3,956	3,742	3,599	3,251	2,947	2,783	2,797	14	235	11.9	15,765	5,636	月～金
耳鼻咽喉科	698	760	731	723	694	730	610	631	560	575	15	46	12.5	2,089	3,633	木
泌尿器科	1,438	1,495	1,598	1,420	1,350	1,302	1,442	1,275	1,224	1,488	264	91	16.4	16,830	11,310	水・木
皮膚科	565	451	411	519	747	836	855	826	897	913	16	49	18.6	2,331	2,553	火
女性診療科	78	68	147	191	168	192	220	221	198	222	24	46	4.8	865	3,896	火
小児科	1,702	2,161	1,702	1,746	1,604	1,363	402	373	1,466	1,744	278	240	7.3	7,602	4,359	月～金
心療内科	799	766	806	753	743	764	777	770	759	798	39	48	16.6	3,363	4,214	金
アレルギー科	107	153	134	132	74	93	0	0	0	0	0	0		0		
訪問看護・リハ	3,912	4,182	5,108	5,309	5,345	5,182	5,869	5,994	6,114	6,323	209	240	26.3	75,154	11,886	随時
黒坂診療所	1,311	1,157	905	649	550	534	512	462	446	448	2	98	4.6	1,607	3,587	火・木
二部診療所	128	94	97	80	69	47	41	37	58	65	7	49	1.3	360	5,538	水
計	48,854	47,326	44,723	43,867	43,815	43,055	43,427	42,412	41,485	42,719	1,234	－	－	437,576	10,243	

（内訳）　（単位：人・%）

町村別患者数	日野町	江府町	伯耆町	構成町（小計）	日南町	新庄村	新見市	その他（県内）	その他（県外）	合計
実患者数*	2,040	1,100	315	3,455	1,036	62	136	247	200	5,136
割合（%）	39.7	21.4	6.2	67.3	20.2	1.2	2.6	4.8	3.9	100.0
（H30実患者数）	2,040	1,036	287	3,363	950	61	139	218	215	4,946
割合（%）	41.2	20.9	5.8	68.0	19.2	1.2	2.8	4.4	4.3	100.0





令和元年度 入 院 患 者 分 析（請 求 ベ ー ス）

（単位：人）

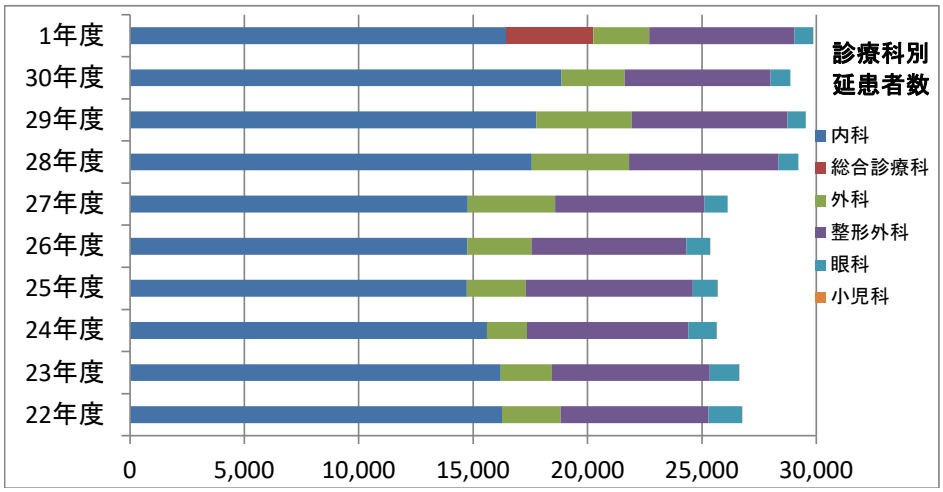
患者数	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	1年度	差引	稼動	平均	稼働率（%）	入院収益
4月	2,233	1,960	2,131	1,953	1,975	2,106	2,283	2,438	2,423	2,651	228	30	88.4	89.3	83,072
5月	2,132	2,056	2,225	2,158	1,743	2,045	2,173	2,344	2,583	2,444	△ 139	31	78.8	79.6	68,077
6月	1,872	2,129	1,977	1,856	1,843	1,848	2,190	2,295	2,197	2,603	406	30	86.8	87.6	76,835
7月	2,134	2,062	2,085	2,318	1,943	2,052	2,079	2,572	2,223	2,610	387	31	84.2	85.0	77,895
8月	2,062	2,006	2,153	2,234	2,016	2,211	2,302	2,384	2,369	2,324	△ 45	31	75.0	75.7	69,567
9月	2,284	2,172	2,140	2,425	2,108	2,128	2,374	2,110	2,479	2,564	85	30	85.5	86.3	73,345
10月	2,252	2,363	2,323	2,362	2,179	2,246	2,534	2,236	2,476	2,430	△ 46	31	78.4	79.2	74,008
11月	2,035	2,436	2,323	2,093	2,024	2,037	2,638	2,536	2,500	2,500	0	30	83.3	84.2	77,251
12月	2,379	2,246	2,220	2,079	2,312	2,290	2,751	2,684	2,305	2,489	184	31	80.3	81.1	76,282
1月	2,583	2,304	2,057	2,220	2,517	2,310	2,736	2,805	2,445	2,436	△ 9	31	78.6	79.4	74,021
2月	2,373	2,487	2,070	1,864	2,207	2,198	2,521	2,420	2,460	2,400	△ 60	29	82.8	83.6	71,806
3月	2,423	2,410	1,964	2,127	2,506	2,651	2,641	2,708	2,403	2,413	10	31	77.8	78.6	75,168
計	26,762	26,631	25,668	25,689	25,373	26,122	29,222	29,532	28,863	29,864	1,001	366	81.6	82.4	897,327

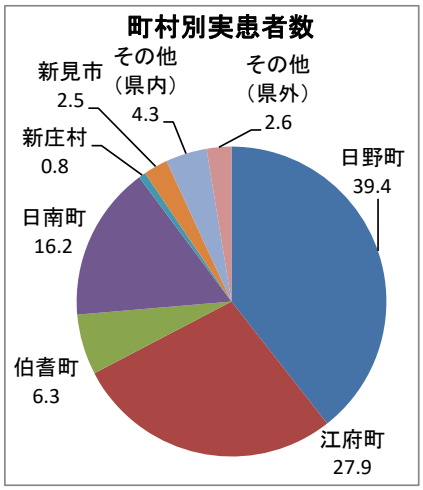
（内訳）　（単位：人）　（単位：千円）

診療科	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	1年度	差引	稼動	平均	収益（千円）	単価（円）
内　　科	16,256	16,204	15,601	14,726	14,746	14,771	17,569	17,762	18,865	16,461	△ 2,404	366	45.0	439,937	26,726
総合診療科	0	0	0	0	0	0	0	0	0	3,790	3,790	366	10.4	107,225	28,292
外　　科	2,563	2,236	1,748	2,578	2,800	3,819	4,251	4,171	2,751	2,443	△ 308	366	6.7	85,881	35,154
整形外科	6,464	6,895	7,060	7,293	6,772	6,523	6,523	6,805	6,380	6,349	△ 31	366	17.3	230,524	36,309
眼　　科	1,467	1,291	1,236	1,089	1,036	1,009	879	794	867	819	△ 48	366	2.2	33,705	41,154
小 児 科	12	5	23	3	19	0	0	0	0	2	2	366	0.0	55	27,500
計	26,762	26,631	25,668	25,689	25,373	26,122	29,222	29,532	28,863	29,864	1,001	366	81.6	897,327	30,047
平均患者数	77.4	73.3	72.8	70.3	70.4	69.5	71.4	80.9	79.1	81.6	平成18年8月以前（一般病床101床・療養病床16床）				
稼 働 率	78.2	74.1	73.5	71.0	71.1	70.2	72.1	81.7	79.9	82.4	平成18年8月以後（一般病床99床）				

（内訳）　（単位：人・%）

町村別患者数	日野町	江府町	伯耆町	構成町（小計）	日南町	新庄村	新見市	その他（県内）	その他（県外）	構成町以外（小計）	合計
実患者数*	312	221	50	583	128	6	20	34	21	209	792
割合（%）	39.4	27.9	6.3	73.6	16.2	0.8	2.5	4.3	2.6	26.4	100.0
（H30実患者数）	294	192	49	535	132	4	22	28	14	200	735
割合（%）	40.0	26.1	6.7	72.8	18.0	0.5	3.0	3.8	1.9	27.2	100.0





材 料 費・経 費・委 託 費 比 較 表

（材料費）　　（単位：円）

項目	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	1年度	差引	備　　考
材料費支払額	86,308,220	73,179,304	78,846,418	79,355,322	98,800,535	87,520,371	85,406,546	△ 2,113,825	手術等に係る高額材料使用量の減
医薬品	150,355,182	145,178,958	158,611,129	163,531,450	172,364,134	161,101,116	174,085,413	12,984,297	患者数の増加に伴う、薬剤使用量の増
その他	3,197,513	2,761,716	2,637,966	2,939,012	3,704,813	2,909,706	3,156,194	246,488	医療消耗備品 2,884,603円・給食材料費271,591円
支払金額	239,860,915	221,119,978	240,095,513	245,825,784	274,869,482	251,531,193	262,648,153	11,116,960	

（経費）　　（単位：円）

項目	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	1年度	差引	備　　考
厚生福利費	790,400	810,200	978,600	2,175,660	2,303,977	2,728,623	2,740,941	12,318	
交際費	992,351	972,721	925,894	954,143	981,142	985,583	774,096	△ 211,487	
旅費交通費	499,629	218,394	182,806	226,946	119,625	187,570	183,520	△ 4,050	
職員被服費	4,250,847	3,939,846	4,811,075	4,719,422	5,783,188	5,657,297	5,566,158	△ 91,139	
消耗品費	6,701,959	6,208,080	6,859,300	7,658,656	9,586,102	9,132,385	9,044,043	△ 88,342	
消耗備品費	3,853,741	1,020,549	985,015	645,254	954,858	977,763	1,063,504	85,741	
光熱水費	43,604,226	43,516,710	38,198,635	36,558,577	40,534,378	42,403,380	40,690,890	△ 1,712,490	電気使用量の減、灯油単価の減等による
燃料費	1,830,876	1,845,388	1,526,209	1,376,431	1,384,242	1,497,283	1,402,718	△ 94,565	
食糧費	8,400	6,376	7,669	10,098	6,576	8,640	2,541	△ 6,099	
印刷製本費	1,044,013	879,066	910,656	1,017,630	1,008,288	858,276	883,450	25,174	
修繕費	7,673,246	8,189,876	10,403,384	15,619,403	9,217,657	7,876,161	9,112,799	1,236,638	医療機器、施設修繕費の増
保険料	2,732,345	2,644,795	2,706,995	2,733,125	2,743,768	2,792,924	2,799,444	6,520	
賃借料	13,079,493	13,337,839	16,937,867	18,665,158	15,994,352	15,802,026	14,908,023	△ 894,003	人工呼吸器レンタルの減
通信運搬費	2,902,407	2,979,794	2,959,204	3,026,087	3,014,625	2,900,482	2,993,820	93,338	
諸会費	850,250	833,340	914,830	1,056,770	1,105,440	1,135,112	1,211,582	76,470	
貸倒引当金繰入額		762,000	0	0	0	0	653,000	653,000	貸倒引当金の計上（不納欠損による損失に備えるための経費）
雑費	1,783,891	1,342,136	1,617,730	1,669,454	1,689,623	1,617,347	1,257,378	△ 359,969	
支払金額	92,598,074	89,507,110	90,925,869	98,112,814	96,427,841	96,560,852	95,287,907	△ 1,272,945	

（委託費）

（単位：円）

項目	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	1年度	差引	備　　考
検査委託費（支払実績）	8,491,663	9,181,942	9,940,725	12,059,221	12,350,248	11,894,725	14,072,591	2,177,866	患者数の増に伴う検査件数の増
寝具単価	3,604,713	3,675,025	3,749,599	3,991,550	4,068,478	4,230,138	4,668,703	438,565	入院患者数の増に伴う使用数の増
病衣単価	1,057,921	1,226,070	1,148,040	1,378,674	1,098,144	1,101,060	1,684,236	583,176	入院患者数の増に伴う使用数の増
給食（委託費）	32,760,000	33,696,000	33,696,000	33,696,000	33,696,000	33,696,000	34,008,000	312,000	⑰月額 3,266,550円・⑱～月額 2,730,000円・㉖～月額2,600,000円（税抜）
給食（材料費）	13,583,626	14,623,103	13,930,785	15,863,466	16,323,682	16,112,089	16,806,245	694,156	食事提供数等の増
全自動分析装置	399,000	0	1,188,000	1,188,000	1,188,000	1,358,640	1,199,000	△ 159,640	⑰～年額 400,000円・㉗～月額99,000円（税込）・①年額1,199,000円（税込） スポットチェック実施分の減
MR保守料	2,847,250	3,418,200	8,203,680	8,203,680	8,203,680	8,203,680	8,240,400	36,720	⑰月額 638,750円・⑱～月額 612,500円・㉖～月額683,640円（税込）・①4月～月額680,400円、10月～月額693,000円（税込）
CT・DRテレビ保守料	9,728,775	9,849,600	10,422,000	7,934,760	7,663,680	7,393,680	8,885,010	1,491,330	CT・X線管球保守料（6,487,680円）・骨密度測定装置スポット点検料（205,200円）・医用画像保管装置保守料（495,000円）・デジタルラジオグラフィー（1,697,130円）
富士FCRシステム保守	810,180	1,261,170	1,867,676	1,681,560	1,681,560	1,681,560	0	△ 1,681,560	サポート期間終了に伴う皆減
消防用設備点検	414,750	426,600	426,600	426,600	426,600	426,600	430,550	3,950	⑰ 年額472,500円・⑱⑲年額438,900円・⑳～年額税抜395,000円
空気調和設備保守	2,520,000	2,592,000	2,592,000	2,592,000	2,592,000	2,592,000	2,616,000	24,000	年4回実施　1回当たり ⑰～682,500円・⑳～600,000円（税抜）複数年契約により減
透析浸透水処理定期点検他	170,573	2,720,736	701,288	2,775,856	674,136	4,087,308	676,512	△ 3,410,796	2年に1回（メンテナンス時の交換部品により金額変動）
日立人工透析排水維持管理	420,000	432,000	432,000	432,000	432,000	782,352	436,000	△ 346,352	16年度から保守（年4回実施）⑰～100,000円（税抜） H30年度は不具合箇所の部品交換を実施（350,352円）
三菱昇降機保守	1,965,600	2,021,760	2,021,760	2,021,760	2,021,760	2,021,760	2,040,480	18,720	⑰～月額 156,000円（税抜）
自動ドア保守	808,500	810,000	810,000	810,000	810,000	810,000	815,000	5,000	⑰年額 878,850円・⑱～年額 808,500円・㉖～年額 750,000円（税抜）
カーテン保守	397,946	8,640	401,112	401,112	401,112	427,127	433,470	6,343	
電気保安協会業務	677,670	697,031	697,031	697,031	697,031	697,031	703,485	6,454	基本料　645,400円（税抜）
清掃、洗濯委託料	12,549,600	12,694,320	12,694,320	12,694,320	12,694,320	12,694,320	12,811,860	117,540	⑰～月額 1,047,480円・⑲～月額 1,045,800円（長期契約による減） ㉖～月額 979,500円（税抜）
特別清掃	1,614,900	1,695,600	1,733,400	1,406,160	1,406,160	1,406,160	1,430,000	23,840	

医療廃棄物処理	2,969,400	3,015,360	3,533,220	4,113,720	4,328,640	4,444,740	4,617,900	173,160	排出量の増
医療ガス設備保守	939,960	939,600	967,680	981,396	967,680	947,376	1,002,574	55,198	ボンベ検査実施件数の増
玄関マット	200,844	206,472	205,932	205,932	205,932	226,668	310,776	84,108	月額　23,760円（税抜）
コピー機積算カウンター料金	690,034	701,175	481,823	474,111	507,738	580,556	708,546	127,990	使用量で金額変動
生ゴミ処理機保守	100,800	103,680	103,680	103,680	103,680	103,680	104,640	960	⑰～年額 226,800円・22年度器械入替（月額8,400円×4ヶ月）・㉔～月額8,000円（税別）
除雪	550,000	550,000	550,000	550,000	550,000	550,000	550,000	0	
特殊建築物定期調査	0	216,000	0	230,040	0	140,400	289,300	148,900	法定点検：建物234,300円、防火設備55,000円
電子カルテ等情報システム保守	2,683,380	4,197,570	4,390,035	4,231,711	5,269,488	8,469,529	10,252,678	1,783,149	平成30年度の電子カルテ更新に伴う、電子カルテ本体及び部門システムに係る保守料の増
人工呼吸器定期点検	1,472,100	730,080	0	0	0	0	0	0	
病院警備委託料	1,713,600	6,053,688	6,053,688	6,053,688	6,053,688	7,713,636	7,785,054	71,418	㉕～月額467,106円 ㉚～月額595,188円（税抜）
遠隔画像診断支援業務	5,378,622	5,892,750	6,225,930	7,848,630	9,939,780	9,771,948	10,898,900	1,126,952	検査件数の増
その他	5,188,926	5,045,905	5,345,916	4,848,824	5,794,578	5,844,196	3,210,803	△ 2,633,393	麻酔器点検-917千円、臨床検査システム-292千円、手術室モニター点検-330千円、血球分析装置スポット点検-664千円、コンピューターウィルス対策等-430千円
支払金額	116,710,333	128,682,077	134,513,920	139,895,482	142,149,795	150,408,959	151,688,713	1,279,754	

人 件 費 比 較 表

（単位：千円）

項目		27年度	28年度	29年度	30年度	1年度	差引	備考
給料	医師	38,800	33,812	27,712	31,816	38,029	6,213	内科常勤医師の増による
	看護師	166,220	163,957	170,670	167,994	172,628	4,634	新規採用看護師の増による
	准看護師	25,476	25,452	25,196	22,024	22,225	201	
	医療技術員	70,404	85,411	77,411	82,071	77,285	△ 4,786	育児休業取得者の増による
	事務員	43,697	46,784	37,919	43,029	39,352	△ 3,677	事務職員の減による
	労務員	12,844	9,637	9,733	9,807	9,861	54	
	小計	357,441	365,053	348,641	356,741	359,380	2,639	
賃金	嘱託医師	8,901	8,901	8,901	27,980	20,539	△ 7,441	外科嘱託医の退職による
	非常勤医師	111,221	119,454	147,578	139,272	136,567	△ 2,705	診療回数の減による
	看護師	9,023	6,131	8,022	16,465	32,209	15,744	定年後再雇用看護師の増による
	准看護師	22,572	19,279	14,792	18,005	16,855	△ 1,150	
	医療技術員	4,194	4,830	14,036	9,577	9,715	138	
	事務員	18,568	19,566	24,674	24,417	25,904	1,487	
	労務員	19,397	17,300	17,773	16,473	14,862	△ 1,611	
	小計	193,876	195,461	235,776	252,189	256,651	4,462	
手当	扶養手当	5,949	6,683	6,912	7,051	6,836	△ 215	
	地域手当	6,916	6,316	5,209	5,785	6,746	961	
	管理職手当	7,090	7,426	7,106	6,883	5,853	△ 1,030	
	住居手当	4,980	4,411	3,627	3,167	4,225	1,058	
	通勤手当	10,993	11,199	10,761	10,669	12,060	1,391	
	初任給調整手当	21,248	22,019	17,426	19,323	23,376	4,053	常勤医師の増による
	医療業務手当	6,900	7,140	6,780	7,220	8,100	880	
	放射線取扱手当	252	252	161	182	168	△ 14	
	時間外勤務手当	11,783	23,212	23,755	24,810	20,814	△ 3,996	時間外手当の減（H30は電子カルテ更新に伴い増加）
	日当直手当	4,608	4,578	4,042	3,253	3,376	123	
	管理職特別手当	2,560	2,272	1,952	1,811	1,861	50	
	夜間看護手当	9,899	9,778	10,370	9,602	10,899	1,297	
	夜間勤務手当	3,471	3,417	3,608	3,325	3,372	47	
	在宅待機手当	293	292	292	292	534	242	
	児童（子供）手当	2,950	3,330	3,250	2,785	3,455	670	
	期末手当	57,141	58,554	54,156	56,166	56,188	22	
	勤勉手当	34,561	37,242	35,254	37,397	40,323	2,926	人事院勧告に伴う増
	賞与引当金繰入額	52,375	55,620	54,745	56,854	61,415	4,561	人事院勧告に伴う増
	小計	243,969	263,741	249,406	256,575	269,601	13,026	
法定福利費	共済負担金	100,469	102,791	101,214	103,553	105,120	1,567	
	共済追加費用	13,193	7,191	8,679	8,459	7,363	△ 1,096	
	社会保険料	9,139	8,758	10,272	13,460	15,503	2,043	
	公務災害負担金	779	864	801	744	726	△ 18	
	労災保険料	1,706	1,489	1,331	1,536	1,489	△ 47	
	小計	125,286	121,093	122,297	127,752	130,201	2,449	
退職給付費	退職給付引当金（通常）	64,802	51,107	48,810	49,944	50,313	369	
	退職給付引当金（追加）	19,094	19,094	19,094	19,094	19,094	0	
	小計	83,896	70,201	67,904	69,038	69,407	369	
計		1,004,468	1,015,549	1,024,024	1,062,295	1,085,240	22,945	

人 件 費 比 較 表（職 員 数）

年間延人数

（単位：人）

項目		27年度	28年度	29年度	30年度	1年度	差引	備　考
正職員	医師	84	75	60	68	84	16	内科常勤医師の増による
	看護師	575	570	582	579	634	55	新規採用看護師の増による
	准看護師	84	84	84	72	72	0	
	医療技術員	288	348	311	321	320	△ 1	
	事務員	156	168	144	156	144	△ 12	事務職員の減による
	労務員	48	36	36	36	36	0	
小計		1,235	1,281	1,217	1,232	1,290	58	
嘱託職員	医師	12	12	12	36	27	△ 9	外科嘱託医の退職による
	非常勤医師	536	580	666	703	675	△ 28	診療回数の減による
	看護師	48	30	42	68	111	43	定年後再雇用看護師の増による
	准看護師	115	84	64	77	72	△ 5	
	医療技術員	12	21	59	47	44	△ 3	
	事務員	120	125	170	160	158	△ 2	
	労務員	112	93	111	86	73	△ 13	病棟ケアワーカーの減による
小計		955	945	1,124	1,177	1,160	△ 17	
計		2,190	2,226	2,341	2,409	2,450	41	

1月あたり人数

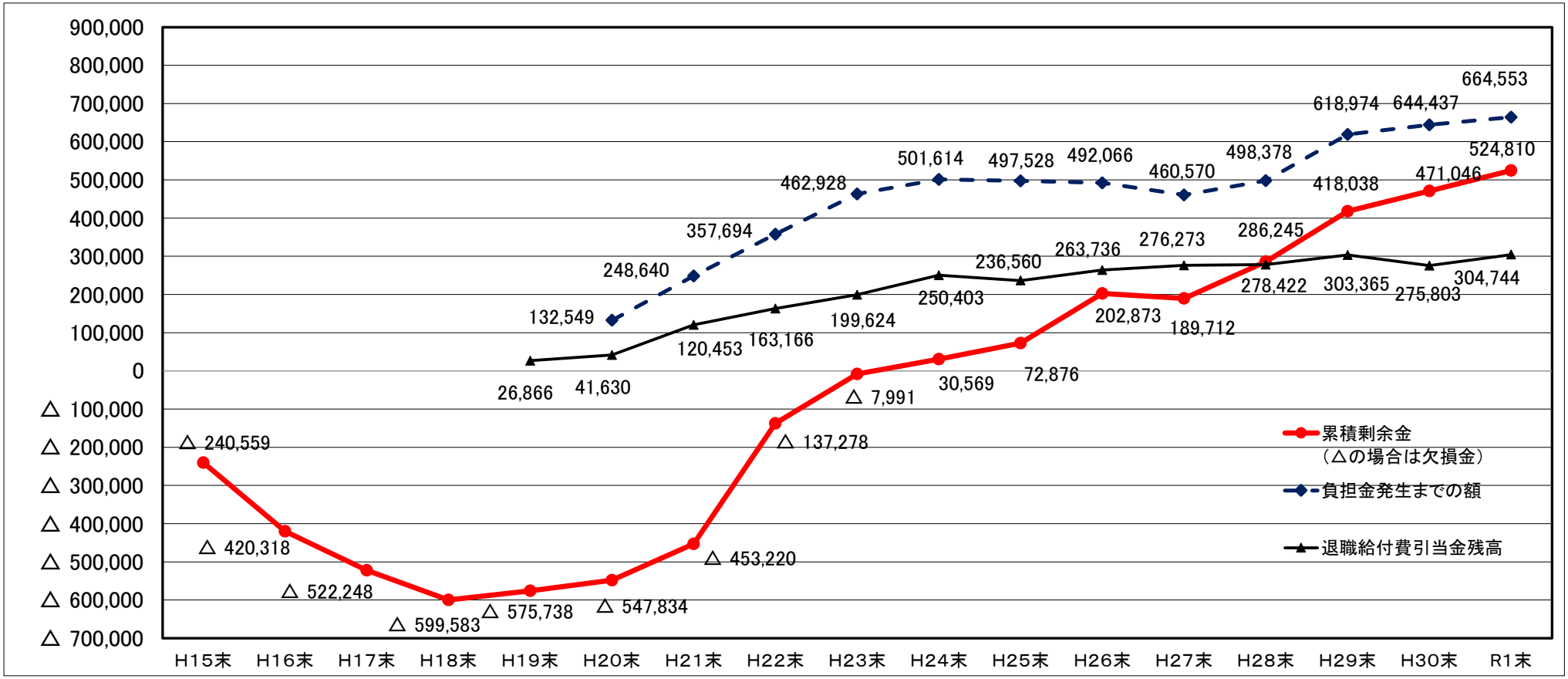
（単位：人）

項目		27年度	28年度	29年度	30年度	1年度	差引	備　考
正職員	医師	7.0	6.3	5.0	5.7	7.0	1.3	
	看護師	47.9	47.5	48.5	48.3	52.8	4.6	
	准看護師	7.0	7.0	7.0	6.0	6.0	0.0	
	医療技術員	24.0	29.0	25.9	26.8	26.7	△ 0.1	
	事務員	13.0	14.0	12.0	13.0	12.0	△ 1.0	
	労務員	4.0	3.0	3.0	3.0	3.0	0.0	
小計		102.9	106.8	101.4	102.7	107.5	4.8	
嘱託職員	医師	1.0	1.0	1.0	3.0	2.3	△ 0.8	
	非常勤医師	44.7	48.3	55.5	58.6	56.3	△ 2.3	
	看護師	4.0	2.5	3.5	5.7	9.3	3.6	
	准看護師	9.6	7.0	5.3	6.4	6.0	△ 0.4	
	医療技術員	1.0	1.8	4.9	3.9	3.7	△ 0.3	
	事務員	10.0	10.4	14.2	13.3	13.2	△ 0.2	
	労務員	9.3	7.8	9.3	7.2	6.1	△ 1.1	
小計		79.6	78.8	93.7	98.1	96.7	△ 1.4	
計		182.5	185.5	195.1	200.8	204.2	3.4	

累積剰余金及び負担金発生までの額の推移

（単位：千円）

年　　度	H15末	H16末	H17末	H18末	H19末	H20末	H21末	H22末	H23末	H24末	H25末	H26末	H27末	H28末	H29末	H30末	R1末
病院事業等決算額	△ 134,595	△ 179,759	△ 101,930	△ 77,335	23,845	27,904	94,614	108,361	129,287	38,560	42,306	7,392	△ 13,161	96,533	131,793	53,008	53,764
端数調整及び資本剰余金取り崩し額	0	0	0	0	0	0	0	207,581	0	0	0	122,605	0	0	0	0	0
累積剰余金（△の場合は欠損金）	△ 240,559	△ 420,318	△ 522,248	△ 599,583	△ 575,738	△ 547,834	△ 453,220	△ 137,278	△ 7,991	30,569	72,876	202,873	189,712	286,245	418,038	471,046	524,810
負担金発生までの額	単年度資金収支による追加負担金					132,549	248,640	357,694	462,928	501,614	497,528	492,066	460,570	498,378	618,974	644,437	664,553
退職給付費引当金残高	単年度の支出による				26,866	41,630	120,453	163,166	199,624	250,403	236,560	263,736	276,273	278,422	303,365	275,803	304,744



施設・設備等整備状況

施設・設備等整備状況

施設

工事内容	契約金額	契約年月日	契約先
日野病院中央監視装置他更新工事	15,620,000 円 （内消費税 1,420,000円）	令和1年6月14日	三和商事（株）
日野病院2階透析室系統空調機更新工事	4,180,000 円 （内消費税 380,000円）	令和1年8月19日	三和商事（株）
日野病院管理病棟整備事業に伴うネットワーク環境構築支援	572,000 円 （内消費税 52,000円）	令和1年9月18日	（株）ケイズ
日野病院外来待合LED照明工事	2,970,000 円 （内消費税 270,000円）	令和2年2月3日	（株）中電工米子営業所

設備

購入物品名	契約金額	契約年月日	契約の相手方
ノートパソコン3台	441,612 円 （内消費税 32,712円）	平成31年4月8日	オフィスオートメーションシステム（株）
院内情報システム	6,696,000 円 （内消費税 496,000円）	令和1年5月17日	オフィスオートメーションシステム（株）
浸透圧分析装置	1,286,280 円 （内消費税 95,280円）	令和1年5月17日	（株）ピーエムエス
プレハブ冷蔵ユニット	1,188,000 円 （内消費税 88,000円）	令和1年5月17日	（有）エフエスエーシステムズ
温冷配膳車	2,754,000 円 （内消費税 204,000円）	令和1年5月17日	（有）エフエスエーシステムズ
介護保険・医療保険管理システム	2,077,920 円 （内消費税 153,920円）	令和1年5月17日	（株）サンメディア
血液用冷蔵庫	378,000 円 （内消費税 28,000円）	令和1年6月14日	宮野医療器（株）
自動輸液ポンプ2台	270,000 円 （内消費税 20,000円）	令和1年7月5日	村中医療器（株）
台下冷蔵庫	243,000 円 （内消費税 18,000円）	令和1年7月5日	（有）エフエスエーシステムズ
生体監視システム	3,672,000 円 （内消費税 272,000円）	令和1年8月19日	小西医療器（株）
332号室空調機	429,000 円 （内消費税 39,000円）	令和1年9月13日	三和商事（株）
公用車	1,080,000 円 （内消費税 93,493円）	令和1年10月30日	（合）江府自動車
自動輸液ポンプ2台	275,000 円 （内消費税 25,000円）	令和1年11月5日	村中医療器（株）
電気外科手術器	5,500,000 円 （内消費税 500,000円）	令和1年12月26日	村中医療器（株）
ベッドサイドモニタ4台	6,875,000 円 （内消費税 625,000円）	令和1年12月26日	村中医療器（株）
他覚式屈折視力検査装置	1,826,000 円 （内消費税 166,000円）	令和1年12月26日	小西医療器（株）
内視鏡システム	11,308,000 円 （内消費税 948,000円）	令和1年12月26日	宮野医療器（株）
自動採血管準備装置	6,105,000 円 （内消費税 555,000円）	令和1年12月26日	ティーエスアルフレッサ（株）

眼底カメラ	4,565,000 円 （内消費税 415,000円）	令和1年12月27日	小西医療器（株）
自動視野計	6,039,000 円 （内消費税 549,000円）	令和1年12月27日	小西医療器（株）
移動型X線撮影装置	7,645,000 円 （内消費税 695,000円）	令和1年12月27日	富士フィルムメディカル（株）
個人用多用途透析装置2台	6,600,000 円 （内消費税 600,000円）	令和2年2月3日	（株）ピーエムエス
輸液ポンプ4台	572,000 円 （内消費税 52,000円）	令和2年2月28日	村中医療器（株）
シリンジポンプ2台	302,500 円 （内消費税 27,500円）	令和2年2月28日	村中医療器（株）
小型LED照明灯	132,000 円 （内消費税 12,000円）	令和2年2月28日	村中医療器（株）
エアマット5台	671,000 円 （内消費税 61,000円）	令和2年2月28日	村中医療器（株）
ファイバースコープ保管庫	231,000 円 （内消費税 21,000円）	令和2年2月28日	村中医療器（株）

委員会活動状況

日野病院委員会（ワーキング） 構成表

番号	会議・委員会	ワーキング
	管理者会議	
		幹事会
1	病院運営会議	
		人事委員会
		倫理委員会
2	管理職会議	
		病院機能評価受審委員会
3	情報システム管理委員会	
		電子カルテ検討委員会
		医療連携ネットワーク委員会
4	診療局会議	
5	医療技術局運営会議	
		リハビリ運営委員会
		放射線室運営委員会
		検査室運営委員会
		薬剤管理室運営委員会
		臨床工学室運営委員会
6	病院業務検討委員会	
		病院機能検討委員会
		医師負担軽減対策委員会
		看護職員負担軽減対策委員会
		医療機器購入検討委員会
7	看護業務検討委員会	
		外来業務委員会
		病棟運営委員会
		手術室運営委員会
		透析室運営委員会
8	地域連携推進委員会	
9	輸血委員会	
10	物流委員会	
		薬事審議委員会
		SPD委員会
		委託業者連絡委員会
11	経営企画委員会	
		保険診療委員会
		クリニカルパス委員会
		褥瘡・NST委員会
		がん研究及び対策委員会
		生活習慣病対策委員会
		ドック検診委員会
		栄養管理委員会
12	医療安全管理委員会	
		医薬品安全管理委員会
		医療機器安全管理委員会
		医療ガス安全管理委員会
		診療記録開示検討委員会
13	院内事故調査委員会	
14	院内感染対策委員会	
		ICT委員会
15	労働安全衛生委員会	
16	診療記録管理委員会	
17	サービス推進委員会	
18	接遇向上委員会	
19	教育・研修委員会	
		図書委員会
		BLS委員会
20	災害対策委員会	
21	個人情報保護対策委員会	

１．病院運営会議

開催状況

会議名	開催年月日	出席者人　数	内容
第160回	H31.4.24	6名	(1)平成31年度各委員会及びワーキングの委員編成について (2)5月1日付け辞令交付について (3)平成30年度部門別目標の評価及び平成31年度部門別目標の提出について (4)平成30年度年報作成に係る委員会活動報告・学会発表・業績等入力について (5)外来診察及び医師の変更について(5月～) (6)地域連携連絡会の開催について (7)看護の日イベントについて (8)救急救命士の救急活動に関する連絡会の開催について (9)業務改善提案書について (10)マニュアルの変更について (11)施設基準の変更について (12)日野町コミュニティチャンネルについて (13)患者さまの声について (14)その他 ・せせらぎカップソフトテニス大会の開催について(5/18)
第161回	R1.5.22	6名	(1)平成30年度病院事業等の決算状況について (2)平成30年度決算分析における各種統計数値の確認について (3)6月1日付け辞令交付について (4)外来診察の変更について (5)業務改善提案書について (6)マニュアルの変更について (7)施設基準の変更について (8)日野町コミュニティチャンネルについて (9)患者さまの声について (10)その他 ・業務に関する調査の実施について
第162回	R1.6.19	6名	(1)7月1日付辞令交付について (2)日野病院組合議会の開催について (3)外来診察の変更について (4)新規採用職員の評価について (5)業務改善提案書について (6)マニュアルの変更について (7)施設基準の変更について (8)日野町コミュニティチャンネルについて (9)患者さまの声について (10)その他 ・令和元年度夏季休暇について
第163回	R1.7.26	7名	(1)日野病院組合議会定例会の開催について (2)8月1日付辞令交付及び実習生受け入れについて (3)職員の募集状況について (4)業務改善提案書について (5)マニュアルの変更について (6)施設基準の変更について (7)日野町コミュニティチャンネルについて (8)患者さまの声について (9)その他

			・薬剤師の確保対策について ・働き方改革について
第164回	R1.8.16	7名	(1)日野病院組合議会定例会の開催について (2)9月1日付辞令交付及び実習生受け入れについて (3)基本理念・基本方針等の見直しについて (4)職員説明会の開催について(9/13)開催する。 (5)厚生局適時調査・医療監視についてについて (6)業務改善提案書について (7)マニュアルの変更について (8)施設基準の変更について (9)日野町コミュニティチャンネルについて (10)患者さまの声について (11)その他 ・医療施設等設備整備費補助金について ・開院80周年記念式典の開催について ・整形外科10月からの診療体制について ・栄養管理室職員の日南病院研修について ・医師の人事について
第165回	R1.9.20	7名	(1)10月1日付辞令交付について (2)日野病院組合人事評価の実施について (3)外来診察の変更について(10月から) (4)インフルエンザ予防接種について (5)へき地医療拠点病院施設整備事業補助金に係る医療機器の要望について (6)厚生局適時調査(10/4)及び令和元年度医療監視(11/29)の実施について (7)業務改善提案書について (8)マニュアルの変更について (9)施設基準の変更について (10)日野町コミュニティチャンネルについて (11)患者さまの声について (12)その他 ・ひのカフェの開催について ・全館停電の実施について ・第11回鳥取県国保地域医療学会への参加について ・嘱託職員の募集について ・勤務時間の管理について
第166回	R1.10.16	7名	(1)日野病院組合議会定例会の開催について (2)11月1日付辞令交付について (3)厚生局適時調査の結果について (4)インフルエンザ予防接種実施及び職員罹患時の対応について (5)業務改善提案書について (6)マニュアルの変更について (7)施設基準の変更について (8)日野町コミュニティチャンネルについて (9)患者さまの声について (10)その他 ・病院機能報告(厚生労働省)について ・年末年始について ・新型インフルエンザに係る補助金について
第167回	R1.11.13	7名	(1)12月1日付辞令交付について (2)令和2年度当初予算要求について (3)人事評価による勤勉手当の加算(減算)について (4)日野病院職員表彰の推薦について (5)日野病院組合議会定例会の開催について (6)業務改善提案書について

			(7)マニュアルの変更について (8)施設基準の変更について (9)日野町コミュニティチャンネルについて (10)患者さまの声について (11)その他 ・病院機能評価(期中の評価の実施)について ・日野病院互助会忘年会の開催について(・日野病院クリスマスイベントの開催について ・在宅介護支援事業所のケアマネ募集について ・ケアワーカー及びクラークの応募者について ・入院セットの導入について
第168回	R1.12.18	7名	(1)1月1日付辞令交付について (2)仕事納め式及び仕事始め式(辞令交付)の開催について (3)奨学生の募集について (4)日野病院組合議会臨時会について (5)日野病院職員表彰の推薦について (6)地方交付税(負担金)の確定について (7)マニュアルの変更について (8)施設基準の変更について (9)日野町コミュニティチャンネルについて (10)業務改善提案書について (11)患者さまの声について (12)その他 ・総合診療科の標ぼうについて ・出退勤管理システムについて ・会計年度任用職員に係る給料案について
第169回	R2.1.22	7名	(1)2月1日付辞令交付について (2)日野病院組合議会定例会について (3)令和元年度決算見込及び令和2年度当初予算の状況について (4)令和2年度医療機器の購入予定について(当初及び補正対応) (5)令和2年度医師異動について(県派遣医師等) (6)日野病院職員表彰について (7)業務改善提案書について (8)マニュアルの変更について (9)施設基準の変更について (10)日野町コミュニティチャンネルについて (11)患者さまの声について (12)その他 ・応召義務をはじめとした診察治療の求めに対する適切な対応の在り方等について ・コロナウイルスについて
第170回	R2.2.19	7名	(1)3月1日付及び4月1日付辞令交付について (2)日野病院組合議会定例会について(2/20予定) (3)外来診察の変更について(3月～) (4)外来担当医師及び外来診療体制の変更について (5)業務改善提案書について (6)マニュアルの変更について (7)施設基準の変更について (8)日野町コミュニティチャンネルについて (9)患者さまの声について (10)その他 ・診療報酬改定研修会の開催について ・診療用放射線の安全管理のための指針について ・80周年記念式典について(時期、規模、会場等) ・新型コロナウイルスについて

第171回	R2.3.18	7名	(1)3月31日(退職)及び4月1日付け辞令交付について (2)新入職員オリエンテーションの実施について((3)外来診察及び医師の変更について (4)令和2年度各委員会及びワーキングの編成について (5)令和元年度部門別目標の評価及び令和2年度部門別目標の提出について (6)業務改善提案書について (7)マニュアルの変更について (8)施設基準の変更について (9)日野町コミュニティチャンネルについて (10)患者さまの声について (11)その他 ・新型コロナ対策会議(3/11)決定事項について ・日野郡の医療連携に係る協定調印式について(3/23) ・職員互助会歓迎会(兼職員表彰)の開催について ・鳥取県国保診療施設協議会入会について ・民法改正に伴う入院保証書の極度額設定について

(1)倫理委員会

開催状況

会議名	開催年月日	出席者人数	内容
第1回	R1.5.22	6名	**(2019-1)　承認** 高齢者胃癌患者の予後予測に関する検討 **(2019－2) 承認** StageⅡ大腸癌患者の予後予測に関する検討
第2回	R1.6.19	6名	**(2015-3)　承認** チーム制による日野病院総合診療科の導入に関する効果検証
第3回	R1.7.26	7名	**(2019－4) 承認** 生活習慣病における食事内容、多様性についての研究 **(2019－5) 承認** クレアチニン/シスタチンC比によるサルコペニアの診断能に関する研究
第4回	R1.8.16	6名	**(2019-6)　承認** 地域高齢糖尿病患者の「病い」の認知と療養行動障壁の関連についての研究 **(2019-7)　承認** 職務満足度調査 **(2019-8)　承認** 患者満足度調査
第5回	R1.9.20	7名	**(2019-10) 再度審査を要す** ターミナルケアにおける多職種との連携上の課題 **(2019-11) 再度審査を要す** 病棟と外来の看護をつなぐことの現状と課題 **(2019-12) 再度審査を要す** 超高齢化地域での自宅退院関連因子の検討
第6回	R1.11.13	7名	**(2019-17) 内容の再考** 地域包括ケアシステム構築のために継続して対話の場を 持つことはどのような影響を及ぼすのか？

第7回	R2.3.18	7名	**（2019-19）承認** 手術による完全切除が困難な大腸癌患者の治療選択に影響する因子 **（2019-20）承認** 胃癌3次治療に関する検討 **（2019-21）承認** 残胃癌患者の予後予測に関する検討 **（2019-22）承認** 日本整形外科学会症例レジストリー（JOANR）構築に関する研究

２. 管理職会議

開催状況

会議名	開催年月日	出席者 人　数	内容
第1回	H31.4.26	12名	(1)　3月末経営概況及び各種統計について (2)　3月末各種統計について (3)　各種委員会の議事録について (4)　5月1日付け辞令交付について (5)　今後の実習生の受入予定について (6)　平成30年度年報作成に係る委員会活動報告及び業績等の入力について (7)　外来診察の変更について (8)　平成30年度各委員会及びワーキングの編成について (9)　平成29年度部門別目標の評価及び平成30年度目標の提出について (10)　日野町コミュニティーチャンネルについて (11)　業務改善提案書について (12)　施設基準の変更について (13)　マニュアルの作成・変更について (14)　患者さまの声について (15)　その他 ・看護の日イベントの実施について ・救急救命士の救急救命活動に関する連絡会の開催について ・せせらぎカップソフトテニス大会の開催について
第2回	R1.5.28	11名	(1)　4月末経営概況及び各種統計について (2)　4月末各種統計について (3)　各種委員会の議事録について (4)　6月1日付け辞令交付について (5)　今後の実習生の受入予定について (6)　外来診察の変更について (7)　平成30年度病院事業等の決算見込みについて (8)　平成30年度決算分析における各種統計数値の確認について (9)　日野町コミュニティーチャンネルについて (10)　業務改善提案書について (11)　施設基準の変更について (12)　マニュアルの作成・変更について (13)　患者さまの声について (14)　その他 ・職員業務実態調査の実施について
第3回	R1.6.26	14名	(1)　5月末経営概況及び各種統計について (2)　5月末各種統計について (3)　各種委員会の議事録について (4)　7月1日付け辞令交付について (5)　今後の実習生の受入予定について (6)　外来診察の変更について (7)　日野病院組合議会の開催について (8)　日野町コミュニティーチャンネルについて (9)　業務改善提案書について (10)　施設基準の変更について (11)　マニュアルの作成・変更について (12)　患者さまの声について (13)　その他 ・令和元年度正職員の夏季休暇について
第4回	R1.7.31	13名	(1)　6月末経営概況及び各種統計について (2)　6月末各種統計について (3)　各種委員会の議事録について

			(4) 8月1日付け辞令交付について (5) 今後の実習生の受入予定について (6) 職員募集及び採用試験について (7) 外来診察の変更について (8) 日野病院組合議会の開催について (9) 日野町コミュニティーチャンネルについて (10) 業務改善提案書について (11) 施設基準の変更について (12) マニュアルの作成・変更について (13) 患者さまの声について (14) その他 ・委員会の変更
第5回	R1.8.28	13名	(1) 7月末経営概況及び各種統計について (2) 7月末各種統計について (3) 各種委員会の議事録について (4) 9月1日付け辞令交付について (5) 今後の実習生の受入予定について (6) 日野病院組合議会定例会の結果について (7) 職員説明会の開催について (8) 日野町コミュニティーチャンネルについて (9) 業務改善提案書について (10) 施設基準の変更について (11) マニュアルの作成・変更について (12) 患者さまの声について (13) その他 ・厚生局適時調査及び令和元年度医療監視について ・医療施設等設備整備補助金について ・労働基準監督署の監査について
第6回	R1.9.25	13名	(1) 8月末経営概況及び各種統計について (2) 8月末各種統計について (3) 各種委員会の議事録について (4) 10月1日付け辞令交付について (5) 今後の実習生の受入予定について (6) 外来診療の変更について (7) 人事評価の実施について (8) インフルエンザ予防接種について (9) 厚生局適時調査(10/4)及び医療監視(11/29)の実施について (10) 日野町コミュニティーチャンネルについて (11) 業務改善提案書について (12) 施設基準の変更について (13) マニュアルの作成・変更について (14) 患者さまの声について (15) その他 ・ひのカフェについて ・第11回鳥取県国保地域医療学会への参加について ・全館停電の実施について ・タイムカードの導入について
第7回	R1.10.29	14名	(1) 9月末経営概況及び各種統計について (2) 9月末各種統計について (3) 各種委員会の議事録について (4) 11月1日付け辞令交付について (5) 今後の実習生の受入予定について (6) 日野病院組合議会定例会の開催について (7) インフルエンザ予防接種の実施及び職員罹患時の対応について (8) 厚生局適時調査(10/4)の結果について

			(9) 日野町コミュニティーチャンネルについて (10) 業務改善提案書について (11) 施設基準の変更について (12) マニュアルの作成・変更について (13) 患者さまの声について (14) その他 ・秦先生講演会について ・西部自治体病院看護研究発表会
第8回	R1.11.27	12名	(1) 10月末経営概況及び各種統計について (2) 10月末各種統計について (3) 各種委員会の議事録について (4) 12月1日付け辞令交付について (5) 今後の実習生の受入予定について (6) 令和2年度予算要求について (7) 日野病院組合議会定例会の結果(11/25)について (8) 日野町コミュニティーチャンネルについて (9) 業務改善提案書について (10) 施設基準の変更について (11) マニュアルの作成・変更について (12) 患者さまの声について (13) その他 ・病院機能評価(期中の評価の実施)について ・日野病院互助会忘年会の開催について ・日野病院クリスマスイベントの開催について ・伊関友伸先生講演会について
第9回	R1.12.25	11名	(1) 11月末経営概況及び各種統計について (2) 11月末各種統計について (3) 各種委員会の議事録について (4) 1月1日付け辞令交付について (5) 今後の実習生の受入予定について (6) 仕事納め式(12/27)及び仕事始め式(1/6)について (7) 看護師・薬剤師育成奨学生募集について (8) 日野病院組合議会臨時会(1/20)の開催について (9) 日野町コミュニティーチャンネルについて (10) 業務改善提案書について (11) 施設基準の変更について (12) マニュアルの作成・変更について (13) 患者さまの声について (14) その他 ・医療監視の結果について ・総合診療科の標ぼうについて ・出退勤システムの導入について
第10回	R2.1.30	12名	(1) 12月末経営概況及び各種統計について (2) 12月末各種統計について (3) 各種委員会の議事録について (4) 2月1日付け辞令交付について (5) 今後の実習生の受入予定について (6) 令和2年度医師異動について (7) 外来診察の変更について (8) 日野病院組合議会定例会(2/20)の開催について (9) 令和元年度決算見込及び令和2年度当初予算の状況について (10) 令和2年度医療機器の購入予定について (11) 日野町コミュニティーチャンネルについて (12) 業務改善提案書について (13) 施設基準の変更について

			(14) マニュアルの作成・変更について (15) 患者さまの声について (16) その他 ・応召義務をはじめとした診察治療の求めに対する適切な対応の在り方等について ・大韓民国南楊州市老人福祉施設連合会視察について ・日野郡連携会議講演会の出席者数について ・新型コロナウイルスについて
第11回	R2.2.26	14名	(1) 1月末経営概況及び各種統計について (2) 1月末各種統計について (3) 各種委員会の議事録について (4) 3月1日付け辞令交付について (5) 今後の実習生の受入予定について (6) 令和元年度職員表彰について (7) 日野病院組合議会定例会の結果について (8) 令和2年度事業計画等について (9) 外来診察の変更について (10) 医師及び外来診察の変更について(3月、4月～) (11) 日野町コミュニティーチャンネルについて (12) 業務改善提案書について (13) 施設基準の変更について (14) マニュアルの作成・変更について (15) 患者さまの声について (16) その他 ・診療報酬改定研修会の開催について ・診療用放射線の安全管理のための指針について ・管理職及び所属長向けメンタルヘルス対策研修会の開催について ・日野病院開院80周年記念式典について ・出退勤の管理について(練習開始) ・新型コロナウイルスについて
第12回	R2.3.25	14名	(1) 2月末経営概況及び各種統計について (2) 2月末各種統計について (3) 各種委員会の議事録について (4) 3月31日及び4月1日付け辞令交付について (5) 今後の実習生の受入予定について (6) 令和元年度職員表彰について (7) 新規採用職員オリエンテーションの実施について (8) 医師及び外来診察の変更について (9) 令和元年度部門別目標評価及び令和2年度部門別目標の提出について (10) 日野町コミュニティーチャンネルについて (11) 業務改善提案書について (12) 施設基準の変更について (13) マニュアルの作成・変更について (14) 患者さまの声について (15) その他 ・新型コロナ対策会議(3/11)決定事項について ・日野郡の医療連携に係る協定調印について ・職員互助会歓迎会(兼職員表彰)の開催について ・鳥取県国保診療施設協議会入会について ・日野病院開院80周年記念式典について ・診療報酬研修会について

３. 情報システム管理委員会

開催状況

会議名	開催年月日	出席者 人　数	内容
第１回	R2.1.20	11名	・パット見えNet概要説明 ・おしどりネットの現況報告 ・スマホを利用したスケジュール管理について ・会議室Wi-Fi環境整備について報告

（1）電子カルテ検討委員会

開催状況

会議名	開催年月日	出席者 人　数	内容
第１回	R1.5.8	19名	・一部スキャナ表示されない件 ・クライアント動作緩慢事案
第２回	R1.6.12	16名	・クライアント動作緩慢事案調査結果報告 ・NXサーバ仮想化について
第３回	R1.7.10	18名	・通信不具合について ・NXサーバ仮想化について
第４回	R1.9.11	16名	・通信不具合について ・往診端末について
第５回	R1.11.13	13名	・通信不具合について ・患者掲示板について
第６回	R2.2.12	14名	・オフィス（文書系）動作不具合について ・電子カルテ運用相談会について

活動報告

定期的に会を開催し、部署の問題点、改善要望を聴取、検討。

4. 診療局会議

開催状況

会議名	開催年月日	出席者 人　数	内容
第1回	R1.5.14	8名	地域連携推進室より稼働及び在院日数等について報告、看護必要度について、医師とケアマネの連絡シートについて
第2回	R1.6.11	9名	地域連携推進室より稼働及び在院日数等について報告
第3回	R1.7.9	10名	地域連携推進室より稼働及び在院日数等について報告、病棟のベッドコントロールについて、造影剤使用同意書の改定の報告
第4回	R1.8.20	4名	地域連携推進室より稼働及び在院日数等について報告
第5回	R1.9.10	13名	地域連携推進室より稼働及び在院日数等について報告、検査機械導入の報告、AEDについて、訪問服薬指導について、あやめの患者対応について
第6回	R1.10.8	9名	地域連携推進室より稼働及び在院日数等について報告、予防接種について、整形外科の予約について
第7回	R1.11.12	9名	地域連携推進室より稼働及び在院日数等について報告
第8回	R1.12.17	8名	地域連携推進室より稼働及び在院日数等について報告
第9回	R2.1.14	10名	地域連携推進室より稼働及び在院日数等について報告、薬剤の名称変更の報告、MRI問診票に追加文言の報告、厚労省からの通知報告
第10回	R2.2.25	13名	地域連携推進室より稼働及び在院日数等について報告、新型コロナ患者の対応について
第11回	R2.3.10	12名	地域連携推進室より稼働及び在院日数等について報告、新型コロナ患者の対応について
第12回	R2.4.14	12名	地域連携推進室より稼働及び在院日数等について報告、新型コロナ患者の対応について

5. 医療技術局運営会議

開催状況

会議名	開催年月日	出席者人　数	内容
第1回	R1.5.30	7名	先月の経営状況報告、6月付け人事異動報告、外来医師変更報告など
第2回	R1.6.27	6名	先月の経営状況報告、7月付け人事異動報告、外来医師変更報告、夏季休暇取得について等
第3回	R1.8.1	5名	先月の経営状況報告、8月付け人事異動報告、外来医師変更報告ついて等
第4回	R1.8.27	5名	先月の経営状況報告、9月付け人事異動報告、医療監査・監視ついて等
第5回	R1.9.26	5名	先月の経営状況報告、10月付け人事異動報告、人事評価、インフルエンザ予防接種報告等
第6回	R1.10.30	6名	先月の経営状況報告、11月付け人事異動報告、上半期決算報告等
第7回	R1.11.28	6名	先月の経営状況報告、12月付け人事異動報告、令和2年度予算請求、病院機能評価報告等
第8回	R1.12.26	6名	先月の経営状況報告、1月付け人事異動報告、仕事納め・始め式、タイムカード導入についての報告等
第9回	R2.1.30	5名	先月の経営状況報告、2月付け人事異動報告、チャンネル日野についての報告等
第10回	R2.2.27	5名	先月の経営状況報告、3月付け人事異動報告、チャンネル日野についての報告等
第11回	R2.3.26	5名	先月の経営状況報告、4月付け人事異動報告、チャンネル日野についての報告等
第12回	R2.4.30	5名	先月の経営状況報告、5月付け人事異動報告、チャンネル日野についての報告等

活動報告

毎月定期的に管理職会議の報告及び各部署からの提案など会議を通して現状を把握することが出来た。

(4)リハビリ運営委員会

開催状況

会議名	開催年月日	出席者人　数	内容
第1回	R1.6.25	8名	PT・OT新規採用について
第2回	R1.9.24	7名	OT採用について、脳血管リハⅡ算定について
第3回	R1.12.19	7名	PT採用について
第4回	R2.3.24	8名	診療報酬改定について

(2)放射線室運営委員会

開催状況

会議名	開催年月日	出席者人　数	内容
第1回	R1.7.23	7名	X線TV室の使用について 放射線管理区域への立ち入りについて 他院からのCD画像取り組み関して 時間外呼び出しについて
第2回	R1.10.16	7名	リストバンドに関すること

			X線TV室の使用について MRIの問診表について MRI検査におけるペースメーカーの使用について
第3回	R1.10.31	7名	一連のCS検査に関しての説明、対策

(3)検査室運営委員会

開催状況

会議名	開催年月日	出席者 人　数	内　容
第1回	R1.5.23	8名	・平成30年度検査件数および収支報告 ・部門目標(平成30年度:反省、平成31年度:目標設定) ・ﾒｰｶｰｻｰﾍﾞｲ(ﾆｯﾄｰﾎﾞｰﾒﾃﾞｨｶﾙ免疫精度管理調査 H31年2月実施)結果報告 ・TTT/ZTT試薬の使用期限および後続試薬の購入不可、検査項目削除 ・外注検査報告書(病理組織検査・細胞診・微生物検査)の 主治医結果確認および返却方法について
第2回	R1.8.23	8名	・ﾒｰｶｰｻｰﾍﾞｲ(Wakoｻｰﾍﾞｲ R1年5月実施)結果報告 ・免疫検査機器の新規導入・運用法等について ・採血管準備装置(中央処置室設置)更新予定 ・血清ALP、LDH活性測定法(IFCC基準測定法への変更)移行案
第3回	R1.12.4	8名	・ﾒｰｶｰｻｰﾍﾞｲ(ﾃﾞﾀﾐﾅｰｻｰﾍﾞｲ R1年7月実施)結果報告 ・厚生局適時調査(R1年10月実施)報告 ・立ち入り検査(R1年11月実施)報告 ・電子ｶﾙﾃｼｽﾃﾑ〔血液型および不規則抗体検査〕結果入力等について ・血清ALP、LDH活性測定法(IFCC基準測定法への変更)追加情報
第4回	R2.3.11	6名	・採血管準備装置(中央処置室設置)機器更新と運用開始について ・外注用細菌培養容器　使用期限確認の再徹底 ・検査室新規採用職員(R1年4月)入職予定

活動報告

R1.10　鳥取県臨床検査学会　発表(井上)

7. 看護業務検討委員会

開催状況

会議名	開催年月日	出席者人　数	内容
第1回	H31.4.9	10名	新任看護管理者(師長・主任)の挨拶 看護局会計報告 新人看護師研修日程 看護の日イベント計画報告 鳥取県看護協会就職ガイダンスの結果報告 平成31年度実習受け入れ予定日程 ①鳥取看護大学:看護学統合(2W)4年生(8/19～8/30)4名:基盤看護(2W)2年生(9/2～9/13)10名 老年看護(1W)3年生(9/24～9/27)6名:(9/30～10/4)6名 ②北高専攻科:(専攻科1年:老年(7/16～3W)3F 2名　成人(10/15～3W) 2F 2名 各委員会・各部署業務委員会からの報告 ＊今年度の看護局運営方針・目標管理について ＊身だしなみマニュアル・看取り指針の見直し
第2回	R1.5.14	11名	看護の日(5/11)のイベント実施報告 看護職員実習指導者養成講習会1名参加 第54回西部自治体病院看護師懇談会　次回日野病院(6/26) 各学会参加予定 (看護教育学会(和歌山8/8・9)3名看護管理学会(新潟8/23・24)2名) (緩和ケア学会(横浜6/28)1名(自治体病院学会(徳島10/24/25)2名) THOC訪問看護師育成プログラムI(基礎コース):3名参加 チャンネルひの:5月看護局の日野病院便り:肝炎コーディネーターについて 各委員会・各部署業務委員会からの報告
第3回	R1.5.21	11名	今年度各部署目標活動計画発表
第4回	R1.6.11	11名	介護の日(8/4)あやめ　ブース参加計画 西部事務所立入検査(11/25) 看護診断学会(名古屋7/6・7)2名 看護学生見学実習:6/7米子医療センター1名㊚　6/18鳥取看護大学3名㊛ 11/2実践が活きる看護診断研究会発表:2名 12/7西部自治体病院看護研究発表会(担当:日野病院) 10/20 第11回鳥取県国保連地域医療学会(米子ふれあいの里):参加発表 テーマ「地域で支える緩和ケア・看取り―住み慣れた地域で最期を迎える為に―」 看護必要度研修:4名参加予定 6/7認知症カフェ「わすれんぼカフェ」開始(日野町)参加 鳥大看護師長会への参加(6/28)2名　8月ひのチャンネル:看護教育について 働き方改革の有休取得・時間外勤務シート 地域医療学:T-HOCひのセミナー9/6 日野町文化ホール(李Dr) インシュリン研修会3回コース(谷口Dr・紙本Dr・涌波Dr)公開講座 各委員会・各部署業務委員会からの報告
第5回	R1.7.9	11名	褥瘡学会(京都8/23・24):2名参加 インシデント報告p-mSHELL分析4例 医療安全研修会:9/6公開講座「コミュニケーションと報告」損保ジャパン 持参薬・内服マニュアル見直し 働き方改革の規定と有給休暇入力シート作成 ・認知症診断チームの再編成 ・糖尿病治療体制チーム6名の選定 ・第16回西部自治体病院の看護研究発表会及び懇談会の要綱 ・第54回鳥取県西部自治体病院看護部門懇談会議事録の確認 各委員会・各部署業務委員会からの報告
第6回	R1.8.13	9名	看護学生見学:6/7米子医療センター1名6/18鳥取看護大学2名8/9松江医療専門学校2年2名 高校生一日看護体験実習:8/6米子西校生1年生・2年生各1名

８．地域連携推進委員会

開催状況

会議名	開催年月日	出席者人数	内容
第1回	R1.7.17	6名	●パッと見えNet進捗状況●入院時カンファレンス●診療情報提供書の導入●新規透析患者受け入れフローの作成●アセスメントシートの見直し●紹介・逆紹介のデータ収集方法の見直し
第2回	R1.8.22	8名	●パッと見えNet進捗状況●アセスメントシートの見直し●紹介・逆紹介のデータ収集方法の見直し●入退院支援一覧の見直し
第3回	R1.9.19	7名	●パッと見えNet進捗状況●院外訪問薬剤指導フロー●おか歯科医院勉強会
第4回	R1.11.7	7名	●パッと見えNet進捗状況●退院後訪問の流れ●糖尿病・脳神経内科外来予約の案内の変更
第5回	R1.12.19	7名	●パッと見えNet進捗状況●糖尿病・脳神経内科外来予約の案内の変更●情報提供書依頼文
第6回	R2.1.16	6名	●パッと見えNet進捗状況●糖尿病・脳神経内科外来予約の案内の変更●情報提供書依頼文●MRIFAX予約問診票●アセスメントシートの活用
第7回	R2.2.20	7名	●パッと見えNet進捗状況●調剤薬局の認知症における日野郡内情報交換書の活用●ひのチャンネルに地域連携推進室（相談員）の紹介がアップ
第8回	R2.3.26	6名	●パッと見えNet進捗状況●入院時カンファレンス案
第9回	R2.4.16	8名	●入院時カンファレンス●老健への画像情報提供●令和2年度1日平均稼働目標●コロナウイルス感染予防による会議等の中止●洗濯業務

活動報告

	パッと見えNet本稼働→運営管理 データ集計方法の見直し（紹介・逆紹介、入退院一覧表） フローの作成、見直し（透析受け入れ、院外薬剤指導、MRIFAX予約） ライフサポート事業洗濯業務の導入
R1.10	自治体病院学会　学会発表　近藤智富美

			看護学生サマーセミナー(看護体験と施設見学):8/22鳥取看護大学3年生1名㊛ 8/23島根県立大学2年生1名㊛ 訪問看護ステーション:糖尿病性腎症保健指導に係る専門家派遣モデル業務の参加 11/9地域医療連携システム学会の参加募集 各委員会・各部署業務委員会からの報告
第7回	R1.9.10	11名	8/27佐賀県大雨に関する災害報告(9/4 日本看護協会より(災害レベル1) 10/4 ひのカフェ(日野病院外来待合棟)予定　・T-HOCひのセミナー5回目終了 ・厚生局医療監査(10/4)　・西部事務所立入検査(11/29) 第55回鳥取県西部自治体病院看護部門懇談会(9/25 日南病院) 看護必要度指導者研修:1名　・肝炎医療コーディネーター養成研修:4名 チャンネルひの9月日野病院便り:褥瘡について 日本医療マネジメント学会−鳥取支部—:7名 学研eラーニング研修お試し実施 看護補助者:他部署研修にて業務改善　CSセット(入院セット)導入の検討 働き方改革で変更になる業務規程 10月～人事異動について 各委員会・各部署業務委員会からの報告
第8回	R1.10.8	10名	8/27佐賀県大雨に関する災害報告(9/30で派遣終了) 9/9 千葉県台風15号被害(9/24で派遣終了) 厚生局医療監査(10/4)指摘事項の検討 西部事務所立入検査(11/29) 10/25院内看護研究発表会 10/12オレンジリボンたすきリレー日野病院8:30～9:00参加 eラーニング研修お試し視聴実施10/7迄 チャンネルひの10月日野病院便り:インフルエンザについて 個人情報の守秘義務について 人事評価→個人10/11迄 院内一斉計画停電10/19　各病棟部署対応点検訓練を行う 各委員会・各部署業務委員会からの報告
第9回	R1.11.12	11名	看護局各部署の中間評価提出(紙ベース) ・9/9　千葉県台風15号による報告第(6)報 ・10/12　令和元年台風19号による被害(東北、関東、甲信越)報告第(10)報 ・11/5～7　訓練日本看護協会の災害発生→被害調査→災害支援ナース派遣まで3日間実施 11/22/21第25回鳥取県緩和ケア研究会学び直しの緩和ケア~心のケアとフェイスケア~事例紹介 11/1プリセプター会　1月以降e-フィジカルアセスメント企画予定　2/5履修報告会 3/10新人1年目感想会　　新人学会研修　褥瘡学会3名　日本海NST4名 11/29鳥取看護大学実習教育会議予定10/25院内研究発表会 訪問看護ステーション:糖尿病性腎症保健指導に書かかる専門家派遣プログラム11月～2名訪問 12/7西部自治体病院看護研究発表会(当院担当):役割分担 各委員会・各部署業務委員会からの報告
第10回	R1.12.10	10名	10/12　令和元年台風19号による被害(東北、関東、甲信越)活動終了報告 ・厚生局医療監視:准看護師の業務規程を明確化・会計年度任用職員制度決定後説明会 ・西部事務所立入検査(11/29)結果:避難用持ち出し物品の準備 1/29 西部自治体病院看護部懇談会(西伯病院)の予定 →「果たして自治体病院は？存在意義を考える」伊関友伸氏の講演会 12/7西部自治体病院看護研究発表会結果報告 ・看護の宅配便:俣野いこい広場11/28血管年齢(指用)・骨密度測定計 ・倫理審査委員会について書き方帳を作成　・CSセット(入院セット)検討 ・医事課クラークの採用のため移動配置　　・12/13クリスマス会:プレゼント配り 各委員会・各部署業務委員会からの報告
第11回	R2.1.10	11名	1/29 西部自治体病院看護部懇談会:7名参加

			令和2年度ファーストレベル2名 学研e-ラーニング研修1月～3月 人事異動 研究発表　5/29～31広島プライマリーケア連合学会：1題　6/13看護協会研究学会1題発表 各委員会・各部署業務委員会からの報告
第12回	R2.2.4	9名	会計年度任用職員の採用と再任用制度職員・退職職員について 看護宅配便：2/12二部診療所 茶話会14時～16時 看護連盟研修会に参加①パワハラにならない為に出来なかったことをリフレクションより、どうすればよいかを考える②PDCAサイクルを回すのではなく、OODA(見る・解る・決める・動く)③鳥取県看護協会より：薬剤安全確認に関するアンケート結果の集計と医療安全交流会まとめ 各委員会・各部署業務委員会からの報告
第13回	R2.3.10	10名	就職ガイダンス報告：2/22倉吉学生5名の参加有　以後鳥取米子の2回は中止 コロナウイルス対策について病院の対応の検討 令和2年度看護師採用者来院日：3/11　3名　15時採寸　3/19国家試験合格発表 鳥取県看護職員実習指導者養成講習会5月～8月 看護宅配便：2/12二部診療所 茶話会Dr佐々木からコロナウイルス感染対策のお話 看護宅配便(江府町)中止・日野町わすれんぼカフェ中止:6月まで 各委員会・各部署業務委員会からの報告
第14回	R2.3.17	11名	R1年度の成果報告会(12部署・委員会) 次回委員会の日程決定

活動報告

H31年度看護局運営方針：スローガン「人生・ライフをつなぐシームレスな看護を目指そう」
・看護の日「肝炎コーディネーターについて」健康相談・看護衣体験・体組成計測定など）
・看護局教育・新人教育スケジュール企画運営(9名の新人看護師教育）
・鳥大コース研修(脳卒中看護3名・緩和ケア1名・ポジティブマネジメント1名・人工呼吸器管理コース1名・褥瘡ケア2名・救急・災害看護コース2名・摂食嚥下コース2名・がん看護2名・心臓リハビリテーションコース2名・下肢救済ケアコース

・米子医療センター：がん看護公開セミナー特別公演2名参加
・西部自治体看護部門懇談会(6月9月1月）6/26当番病院
・鳥取県実践が活きる看護診断研究会(11/2) 2題：口演・示説各1題
・全国自治体病院学会1名参加1題発表
・国保連合会学会1題発表
・院内看護研究発表会
・第16回西部自治体病院看護研究発表会：2題発表:当番病院
・地域医療システム学会参加(6名）
・看護協会「まちの保健室」で看護の宅配便の活動報告：参加12名
・野の花診療所「第25回鳥取県緩和ケア研究会:学び直しの緩和ケア」1題発表
・訪問看護数テーション：T-HOCナイトセミナー・事例検討
・訪問看護数テーション：糖尿病性腎症保健指導に書かかる専門家派遣プログラム11月～3月に参加し2名の患者訪問指導

・CKD対策研修会参加2名
・看護教育の質の向上支援研修会2名参加
・あやめ「介護の日」にブース参加(認知症プログラム体験・血圧測定・担架体験）
・日野町:わすれんぼカフェ6月～毎月参加
・江府町：俣野いこい広場:健康相談参加(血管年齢・骨年齢・指線脈波）
・看護の宅配便(日野町3回・江府町2回）実施
・病院ひのカフェ・二部カフェ(二部診療所）
・日野町認知症サーポータ養成講座講師2回
・認知症予防リーダー養成講座2名参加
・看護職員認知症対応力向上研修2名参加
・鳥取県看護研究学会7名参加
・病院協会看護部会参加　・31看護研究指導者サポートプログラム
・新人看護職員研修責任者研修：実地指導者3名・研修責任者3名参加

・実地指導者フォローアップ研修2名
・T-HOCコース1：3名参加
・サマーセミナー・1日看護体験・見学実習:6名
・米子北高・鳥取看護大学実習受け入れ
・鳥取県実地指導者養成講習会:1名参加
・就職ガイダンス(鳥取・倉吉・米子)参加し看護師確保対策実施
・肝炎コーディネーター医療従事者研修会：4名
・各部署業務量調査の実施
・看護保助者活用推進のための看護管理者研修会：2名参加
・学研ナーシングサポート研修の導入：257項目e-ラーニング自己学習
・令和1年度看護局成果報告会
・看護局長表彰(医療安全委員会事務局：竹永真由美)

(1)看護助手会議

開催状況

会議名	開催年月日	出席者人　数	内容
第1回	R1.5.13	9名	今年度の目標決定 (ケアワーカー)教育・ケアワーカーのクリニカルラダーについて・リリーフ体制 (クラーク)業務改善　マニュアル変更 個人目標管理シートに形式の説明
第2回	R1.8.30	5名	ケアワーカーの業務改善の問題点について 教育:eラーニングお試し視聴について 入院セット(CSセット) 来年度からの会計年度任用職員の条件説明
第3回	R1.9.24	8名	中間評価 ケアワーカーの業務改善のための他部署研修 学研eラーニング研修お試し9月～実施1月から3月まで(クラーク11項目ケアワーカー15項目) 働き方改革(時間外勤務・有給休暇の消化率)について
第4回	R2.2.3	8名	昨年社協の研修の履修報告3名(ポジショニング・感染予防・口腔ケア・食事介助について) ケアワーカー:他部署研修結果と業務改善について 年度末評価(マニュアル変更・働き方改革を含む) 時期リーダー決定

活動報告

・業務改善　マニュアル変更
・学研ナーシングサポート研修の導入：(クラーク11項目ケアワーカー15項目)e-ラーニング自己学習
・昨年社協の研修の履修報告3名(ポジショニング・感染予防・口腔ケア・食事介助について)
・ケアワーカー:他部署研修結果と業務改善について
・年度末評価(マニュアル変更の把握・働き方改革を含む)

(2)外来業務委員会

開催状況

会議名	開催年月日	出席者人　数	内容
第1回	R1.5.28	7人	各部署からの報告
第2回	R1.8.27	6人	各部署からの報告　　外来患者様満足度調査について
第3回	R2.11.26	6人	各部署からの報告　外来患者満足度調査は集計中
第4回	R2.2.25	6人	各部署からの報告　患者満足度調査結果報告

＊心電図の紙ベースの保存が不要となった（第1回）
＊内科診察時、クラークが診察介助行うことの表示をする（第2回）
＊EOBについての決まり事決定（第3回）
*外来患者様満足度調査を実施し、外来ロビーに結果を掲示

（3）病棟運営委員会

開催状況

会議名	開催年月日	出席者人　数	内容
第1回	R1.7.4	9名	外来の取り決めについて。包括患者移動時の取り決めついて。退院支援シートの活用について。持参薬のミスについて。看護要約の記載の動向。入院時カンファレンスの運営について。

（3）手術室運営委員会

開催状況

会議名	開催年月日	出席者人　数	内容
第1回	R1.5.31	5名	手術室使用状況報告、麻酔器点検結果報告、作業環境測定結果報告、生体監視モニター購入について、慢性硬膜下血腫除去術勉強会報告、インフェクションコントロールセミナー参加報告
第2回	R1.8.29	8名	手術室使用状況報告、WD点検・修理報告、AC点検・検査日程報告、9月から職務満足度調査を実施予定協力依頼、10月から整形手術日変更について
第3回	R1.10.25	7名	手術室使用状況報告、作業環境測定日程について、環境クリーニング日程について、環境モニタリング日程について、日本手術看護学会参加報告
第4回	R1.12.19	6名	手術室使用状況報告、リガシュアー購入について、神経ブロック誤接続防止コネクター切り替えについて、日本手術看護学会中国地区鳥取分会参加報告

活動報告

・病棟からの手術室リリーフ看護師育成

（4）透析室運営委員会

開催状況

会議名	開催年月日	出席者人　数	内容
第1回	H1.5.15	10名	今年度の目標、HD室の現況、シャントPTAについて、鳥大救済科からの依頼対応について、看護師人材育成について、栄養管理室から

活動報告

＊シャントPTA対応・・早期対応し、依頼していく
＊鳥大救済科からの依頼・・・腎内医師に確認していただく
＊看護師人材育成・・・人材育成できるように勤務管理の調整をしていただく

９. 輸血委員会

開催状況

会議名	開催年月日	出席者 人　数	内 容
第1回	R1.5.27	9名	・輸血委員会要綱および活動指針、平成31年度輸血委員会名簿確認 ・部門目標（平成30年度：反省、平成31年度：目標設定） ・診療科別血液製剤使用状況（平成31年3月～4月）報告 ・平成30年度 血液製剤発注・廃棄全集計報告 ・輸血後感染症検査実施状況（平成31年3月～5月）報告 ・日赤輸血情報（「血液製剤の使用指針」の一部改正について） （鳥取県西部血液ｾﾝﾀｰの配送体制について）
第2回	R1.7.29	8名	・診療科別血液製剤使用状況（令和1年5月～6月）報告 ・輸血後感染症検査実施状況（令和1年5月～7月）報告 ・日赤輸血情報（赤十字血液ｾﾝﾀｰに報告された非溶血性輸血副作用－2018年－） （輸血用血液製剤との関連性が高いと考えられた感染症例－2018年－） （新鮮凍結血漿-LR「日赤」480 包装箱形態変更のお知らせ） （近年の献血・供給状況について－中四国ｲﾝﾌｫﾒｰｼｮﾝ－） ・令和元年度 鳥取県合同輸血療法委員会主催研修会（令和1年7月）研修報告 ・2019年度第1回移植検査部門輸血分野研修会（令和1年7月）研修報告
第3回	R1.10.7	7名	・診療科別血液製剤使用状況（令和1年7月～9月）報告 ・輸血副作用疑い症例（令和1年9月発生）経過報告 ・輸血後感染症検査実施状況（令和1年7月～9月）報告 ・日赤輸血情報（新鮮凍結血漿の添付文書改訂のお知らせ） （輸血用血液製剤の薬価等について） （輸血用血液製剤の取り扱いについて） ・血小板製剤（PC）の適正な保存方法
第4回	R1.12.2	9名	・診療科別血液製剤使用状況（令和1年10月～11月）報告 ・輸血後感染症検査実施状況（令和1年10月～11月）報告 ・輸血副作用疑い症例（令和1年9月発生）追加報告 ・輸血時検査における交差適合試験不適合および不規則抗体陽性症例（令和1年11月発生） 経過報告と今後の対応等について
第5回	R2.2.3	7名	・診療科別血液製剤使用状況（令和1年12月～令和2年1月）報告 ・輸血後感染症検査実施状況（令和1年12月～令和2年1月）報告 ・輸血後感染症検査の費用問い合わせ対応について
第6回	R2.3.30	10名	・診療科別血液製剤使用状況（令和2年2月）報告 ・輸血後感染症検査実施状況（令和2年2月～3月）報告 ・血小板製剤（PC）保存用振とう器の導入・設置 ・新鮮凍結血漿製剤（FFP）の容量再確認 ・輸血後感染症検査の保険点数および請求実績 ・輸血後感染症検査の検査方法変更案について

10. 物流委員会

(1)薬事審議委員会

開催状況

会議名	開催年月日	出席者人　数	内容
第1回	H31.4.16	7名	3月、4月の新規採用薬、削除薬について報告
第2回	R1.5.16	8名	4月、5月の新規採用薬、削除薬について報告
第3回	R1.6.11	9名	5月、6月の新規採用薬、削除薬について報告 下剤について見直し(孝田病院長より)
第4回	R1.7.9	9名	新規採用薬、削除薬なし 下剤について見直し
第5回	R1.10.8	11名	抗生物質が品薄となっている状況の報告 下剤について見直し
第6回	R2.1.14	9名	新規採用薬、削除薬について報告。 糖尿病治療薬の新規採用の申請(総合診療科より)→保留
第7回	R2.2.25	11名	新規採用薬、削除薬について報告。 糖尿病治療薬の新規採用の申請(総合診療科より)→却下

(2)SPD委員会

開催状況

会議名	開催年月日	出席者人　数	内容
第1回	R1.5.13	7名	定数変更6件(プラスチックグローブ、ヨックスディスポ用ライナー他) 仕様変更件(中濃度エコライト酸素マスク) 診療材料使用状況報告、その他検討事項他
第2回	R1.6.13	7名	定数変更3件(マスク、うす型パンツ、手術用手袋) 新規採用3件(ディスポカフ、硬膜下ドレナージセット、セラフォームバーホールボタン) 診療材料使用状況報告、その他検討事項他
第3回	R1.7.22	6名	サンプル申請3件(DIBキャップ、DIBシリコーンアタッチメント、セーフタッチTPNプラグ) 新規採用2件(バイオプシーフォーセプス2種類) 診療材料使用状況報告、その他検討事項他
第4回	R1.8.19	8名	定数変更8件(ポリグローブ、アルコール綿、エアウォール他) 新規採用2件(ディスポーザブル高周波スネア、クリップ) 診療材料使用状況報告、その他検討事項他
第5回	R1.9.9	8名	定数変更3件(セイラムサンチューブ、ニトリルグローブ、アルコール綿) 新規採用3件(ビトルスサンプルチップ、吸湿カートリッジ、マイクロサンプルカップ) 診療材料使用状況報告、その他検討事項他
第6回	R1.10.21	8名	定数変更5件(ディスポ蛇管、サラサラパッドウルトラ・エクストラ他) 新規採用2件(BISクワトロセンサ、NMTセンサ固定バンド) 診療材料使用状況報告、その他検討事項他
第7回	R1.11.11	6名	定数変更7件(バードメッシュ、シリンジピンク10ml、マスク他) 新規採用1件(ディスポーザブル結紮装置) 診療材料使用状況報告、その他検討事項他
第8回	R1.12.9	6名	定数変更1件(バリケアパウダー) サンプル申請2件(メディカルクリーナーボックス、ポータブル消毒液) 新規採用3件(ディスポーザブル試験管、キャラクター注射パッチ、オーキューバンエコ) 診療材料使用状況報告、その他検討事項他

第9回	R2.1.20	8名	定数変更2件（シンガープラテ、三方活栓付きエクステンションチューブ） 新規採用2件（リガシュア、モノポーラハンドピース） サンプル申請2件（組織の罠、アムス洗浄ブラシ） 診療材料使用状況報告、その他検討事項他
第10回	R2.2.10	6名	定数変更1件（エラスター針） 新規採用2件（耐アルコールラベル、ディスポーザブル高周波スネア） 診療材料使用状況報告、その他検討事項他
第11回	R2.3.9	8名	定数変更1件（オールシリコンコンフォーリートレイキット16Fr） サンプル申請3件（SBクリップ、SBクリップアプリケータ、コルボセット生検システム） 新規採用5件（メディカルクリーナーボックス、生検トレパン、トップオーバーチューブ他） 診療材料使用状況報告、その他検討事項他

（3）委託業者連絡委員会

開催状況

会議名	開催年月日	出席者人　数	内容
第1回	R1.6.12	5名	各部署、サンクリーンからの連絡事項確認・検討
第2回	R1.7.11	5名	各部署、サンクリーンからの連絡事項確認・検討
第3回	R1.8.13	4名	各部署、サンクリーンからの連絡事項確認・検討
第4回	R1.9.10	4名	各部署、サンクリーンからの連絡事項確認・検討
第5回	R1.10.15	4名	各部署、サンクリーンからの連絡事項確認・検討
第6回	R1.11.12	3名	各部署、サンクリーンからの連絡事項確認・検討
第7回	R2.1.14	3名	各部署、サンクリーンからの連絡事項確認・検討
第8回	R2.2.13	4名	各部署、サンクリーンからの連絡事項確認・検討
第9回	R2.3.10	4名	各部署、サンクリーンからの連絡事項確認・検討

11. 経営企画委員会

(1)クリニカルパス委員会

委員会開催状況

会議名	開催年月日	出席者人　数	内 容
第1回	R1.6.4	7名	今年度の目標について 電子カルテパスの取り込みについて
第2回	R1.10.1	7名	睡眠時無呼吸検査パスの最終確認について 睡眠時無呼吸検査入院パス手順完成:外来・2階・3階には配布した 外来CS検査パス・入院パスを取り込み作成したが、実際の導入には課題がある印象
第3回	R1.12.3	9名	睡眠時無呼吸検査入院パス12月18日～スタート予定 外来分手順を外来が作成する予定
第4回	R2.2.4	8名	睡眠時無呼吸検査入院パス導入開始し2例を実施ずみ 入院計画書をパス内デフォルトで作成しているか河本さんが確認される パスシートの字が小さい、パスシートを出した際に大腸検査パスがダブって出てきた 以上の件は富士通に確認依頼をしている(河本さんより)
第5回	R2,4,7	6名	今年度パス集計 睡眠時無呼吸パス2例 年間紙パス使用件数の報告(以下) 診療報酬改定において睡眠時無呼吸入院:短期滞在入院基本料から削除

活動報告

令和元年度　電子カルテパス　睡眠時無呼吸パス2例 令和元年度紙パス使用件数　　白内障パス　69(前年度90)、手術室全身麻酔用パス　(前年度69) 腰椎麻酔用パス　(前年度36)、局所麻酔用パス　(前年度140) 局所麻酔用パス　(前年度140)　CSパス　144(前年度115)

(2)褥瘡NST委員会

開催状況

会議名	開催年月日	出席者人　数	内容
第1回	R1.5.15	18名	・年間行事予定の検討 ・ポジショニングクッション購入報告(上肢の安定、肢位保持に有効に使用) ・院内新人研修終了(4/24磯江、4/25白岩)　・症例検討　1名 ・全国褥瘡学会・中四国褥瘡学会、教育セミナーの案内 ・褥瘡回診・対策チーム会参加者:5/15　5名　5/16　10名　5/30　4名 ・NSTミーティング参加者:5/15　18名　5/22　7名
第2回	R1.6.5	11名	・褥瘡対策手順書の変更(電子カルテ変更に伴い) ・DESIGN-R勉強会の企画　　・症例検討　1名 ・褥瘡洗浄用生食液の検討:褥瘡洗浄は微温湯で良いので不要 ・NST専門療法士教育セミナー参加　影山 ・褥瘡回診・対策チーム参加者:6/5　6名　6/13　6名　6/27　6名 ・NSTミーティング参加者:6/5　11名　6/19　7名

第3回	R1.7.3	12名	・6/12　DESIGN-R研修会開催　講師:野坂　　参加人数27名 ・褥瘡治療のオリジナルポケット本の作成に取り組む ・症例検討 ・環日本海NSTフォーラム　参加　　白岩、影山 ・褥瘡回診・対策チーム参加者:7/3　6名　7/11　6名　7/25　12名 ・NSTミーティング参加者:7/3　12名　7/11　7名
第4回	R1.8.7	10名	・全国褥瘡学会参加者　松本真理子、松本美紀 ・NST検討者は低アルブミン値＋αでのスクリーニング検討を継続 ・電子カルテ摂取栄養量画面をマスタメンテナンスし運用に向け準備 ・症例検討　1例 ・褥瘡回診・対策チーム参加者　8/7　6名　8/8　7名　8/23　8名 ・NSTミーティング参加者　8/7　10名　　8/21　12名
第5回	R1.9.4	12名	・全国褥瘡学会参加報告 ・電子カルテ摂取栄養量画面マスタメンテナンス済 ・日本静脈経腸栄養学会NST稼働施設認定更新について:更新予定 ・症例検討 ・褥瘡回診・対策チーム会参加者:9/4　6名　9/12　6名　9/26　5名 ・NSTミーティング参加者:9/4　12名　9/18　11名
第6回	R1.10.2	12名	・褥瘡専任看護師について検討 ・日本静脈経腸学会NST稼働施設認定更新手続き書類送付済 ・症例検討　1名　　・10/16　褥瘡回診　参加者3名　医大生3名 ・褥瘡回診・対策チーム会参加者:10/2　6名　　10/23　11名　10/30　８名 ・NSTミーティング参加者:10/2　12名　10/16　1O名
第7回	R1.11.6	9名	・厚生局適時調査あり。褥瘡対策チーム設置及び設置要綱が必要と指摘あり 対策チーム会の活動、出席率を上げる必要あり。開催日時、活動内容見直す 必要あり。褥瘡専任看護師の検討 ・症例検討　1名 ・褥瘡回診・対策チーム会参加者:11/6　５名　　11/14　7名　11/26　5名 ・NSTミーティング参加者:10/6　9名　11/20　8名
第8回	R1.12.4	9名	・褥瘡対策チーム設置及び設置要綱について検討 ・NST患者スクリーニング方法:ALB3以下かつ栄養評価B以下の場合主治医にNST 介入の有無を確認する ・症例検討　4名 ・褥瘡回診・対策チーム参加者:12/4　５名　12/12　6名　12/26　6名 ・NSTミーティング参加者:12/4　9名　12/18　9名
第9回	R2.1.8	8名	・来年度予算請求済 ・褥瘡対策チーム設置及び設置要綱について検討 ・NST専門療法士　ST影山合格 ・症例検討　3名 ・褥瘡回診・対策チーム参加者:1/8　５名　1/16　6名　1/30　11名 ・NSTミーティング参加者:1/8　8名　1/22　7名
第10回	R2.2.5	7名	・中四国褥瘡学会・教育セミナーへの参加 ・褥瘡対策チーム設置及び設置要綱について検討 ・2020臨床栄養代謝学会参加:山本薬剤師・河上看護師・白岩管理栄養士 ・症例検討　2名 ・褥瘡回診・対策チーム参加者:2/5　５名　2/13　8名　２/27　7名 ・NSTミーティング参加者:2/5　７名　2/19　９名

第11回	R2.3.4	9名	・中四国褥瘡学会・教育セミナーへの参加:コロナ感染対応にて中止 ・褥瘡対策チームは日勤者は出席するよう促していく ・2020臨床栄養代謝学会:新型コロナ感染対応にて集合型開催中止 ・山陰臨床栄養研究会:新型コロナ感染対応にて中止 ・症例検討　2名 ・褥瘡回診・対策チーム参加者:3/4　8名　3/12　名　3/26　名 ・NSTミーティング参加者:2/5　7名　3/18　12名
第12回	R2.4.8	12名	・褥瘡対策チーム設置及び委員選出・活動内容について検討 ・日本臨床栄養代謝学会NST稼働施設認定更新 ・褥瘡回診・対策チーム参加者:4/8 9名　4/22　14名 ・NSTミーティング参加者:4/8　12名　4/22　14名

(3)栄養管理委員会

開催状況

会議名	開催年月日	出席者人　数	内容
第1回	R1.5.23	10名	・令和元年度栄養管理委員会の構成メンバーの確認 ・患者食事基準および食品構成表の改訂について ・お茶コップの取り扱いについて ・第23回日野郡栄養士地域連携会議報告 ・退院時の患者様の声報告
第2回	R1.8.6	13名	・経腸栄養剤の採用変更について ・お茶ゼリー、ソフト食について ・夜間から早朝までの食事箋提出について ・食中毒警報の報告 ・第24回日野郡栄養士地域連携会開催予定について ・退院時の患者様の声報告
第3回	R1.11.19	13名	・食止めオーダについて ・SGA入力時の注意点について(Y判定選択不可) ・経管栄養のとろみ水について ・退院時の患者様の声報告
第4回	R2.3.11	14名	・一般食塩分量の変更について(食事摂取基準改訂に伴う変更) ・新型コロナウイルス患者の食事配膳・下膳について ・退院時患者様の声報告

活動報告

・栄養管理に関わる取り決め事項の確認、検討を行った

12. 医療安全管理委員会

開催状況

会議名	開催年月日	出席者人　数	内容
第1回	R1.5.16	12名	＊4月のインシデントレポート集計結果報告 ＊平成30年度インシデントレポート集計結果 ＊平成30年度「部門目標」評価 ＊令和1年「部門目標」について ＊令和1年度の研修会予定について
第2階	R1.6.20	8名	＊5月のインシデントレポート集計結果報告 ＊インシデント報告事例紹介 ＊「医療事故防止対策マニュアル　」見直し依頼
第3回	R1.7.25	10名	＊6月のインシデントレポート集計結果報告 ＊インシデント報告事例紹介 ＊必須研修年間予定
第4回	R1.8.22	9名	＊7月のインシデントレポート集計結果報告 ＊インシデント報告事例紹介
第5回	R1.9.26	9名	＊8月のインシデント報告結果 ＊「医療事故防止対策マニュアル」リハビリ室見直し案 ＊インシデント報告事例紹介
第6回	R1.10.17	12名	＊9月のインシデント報告結果 ＊「医療事故防止対策マニュアル」透析室・事務・栄養管理室見直し案 ＊9月の研修会のアンケート結果報告
第7回	R1.11.21	15名	＊10月のインシデント報告結果 ＊インシデント報告事例紹介 ＊「医療事故防止対策マニュアル」放射線室・臨床検査室見直し案
第8回	R1.12.19	10名	＊11月のインシデント報告結果 ＊医療安全情報紹介
第9回	R2.1.16	15名	＊12月のインシデント報告結果 ＊インシデント報告事例紹介 ＊「医療事故防止対策マニュアル」手術室見直し案
第10回	R2.2.20	13名	＊1月のインシデント報告結果 ＊インシデント報告事例紹介 ＊「医療事故防止対策マニュアル」手術室見直し案 ＊医療安全情報紹介
第11回	R2.3.19	13名	＊2月のインシデント報告結果 ＊インシデント報告事例紹介 ＊医療安全情報紹介
第12回	R2.4.16	11名	＊3月のインシデント報告結果 ＊令和元年度のインシデント報告結果報告 ＊「医療事故防止対策マニュアル」外来見直し案

活動報告

＊医療事故防止対策マニュアルの改訂（リハビリ・透析室・栄養管理室・放射線室・手術室・事務室）
＊インシデントの開示、周知徹底方法の確立　　＊研修会開催：3回/年

13. 院内感染対策委員会

開催状況

会議名	開催年月日	出席者 人　数	内容
第1回	R1.5.9	12名	感染状況・抗菌薬使用状況・サーベイランス・平成30年度反省・令和1年度目標など
第2回	R1.6.13	11名	感染状況・抗菌薬使用状況・サーベイランス・山陰ICセミナー・合同カンファレンスなど
第3回	R1.7.11	11名	感染状況・抗菌薬使用状況・サーベイランス・結核対応・業務継続計画など
第4回	R1..8.8	9名	感染状況・抗菌薬使用状況・サーベイランス・中小病院おける薬剤耐性菌アウトブレイク対応・合同カンファレンス・抗菌薬使用量サーベイランスなど
第5回	R1.9.12	11名	感染状況・抗菌薬使用状況・サーベイランス・厚生局適時調査・インフルエンザなど
第6回	R1.10.10	12名	感染状況・抗菌薬使用状況・サーベイランス・厚生局適時調査・立ち入り調査・針刺し事故など
第7回	R1.11.15	11名	感染状況・抗菌薬使用状況・サーベイランス・インフルエンザ・抗菌薬サーベイランス・多剤耐性アシネトバクターなど
第8回	R1.12.12	11名	感染状況・抗菌薬使用状況・サーベイランス・立ち入り調査・インフルエンザ・合同カンファレンスなど
第9回	R2.1.9	13名	感染状況・抗菌薬使用状況・サーベイランス・インフルエンザ・中国非定型肺炎など
第10回	R2.2.13	11名	感染状況・抗菌薬使用状況・サーベイランス・新型コロナなど
第11回	R2.4.17	13名	感染状況・抗菌薬使用状況・サーベイランス・新型コロナなど

活動報告

・山陰インフェクションコントロールセミナー　参加
・鳥取県院内感染対策講習会（11/24　松本）
・環境感染学会（2/14・15）　瀬藤・石飛
・新型コロナウイルス感染症西部圏域会議　出席
・マニュアルの改訂・周知

14. 労働安全衛生委員会

開催状況

会議名	開催年月日	出席者 人　数	内容
第1回	R1.5.27	7名	・春の健康診断について ・ハラスメント防止要綱の作成について
第2回	R1.6.24	7名	・ハラスメント防止要綱（案）について
第3回	R1.7.29	7名	・ハラスメント防止要綱（案）について ・春の健診における要再検査未受診者について
第4回	R1.8.26	7名	・春の健診における要再検査未受診者について ・ストレスチェックの実施予定について ・ハラスメント防止要綱の周知について ・米子労働基準監督署来院予定について
第5回	R1.9.30	7名	・ストレスチェックの実施状況について ・特定従事者健診の実施について ・米子労働基準監督署来院における報告事項について
第6回	R1.10.28	8名	・特定従事者健診の実施状況について ・職員向け職員増進のための取り組みについて
第7回	R1.11.25	6名	・ストレスチェック外部委託検討について
第8回	R1.12.23	3名	・安全パトロールの実施
第9回	R2.1.27	6名	・管理監督者向けメンタルヘルス対策研修について
第10回	R2.2.25	6名	・管理監督者向けメンタルヘルス対策研修について ・春の健康診断について
第11回	R2.3.23	7名	・管理監督者向けメンタルヘルス対策研修の実施状況について ・来年度ストレスチェック外部委託先の候補及び費用について ・春の健康診断について
第12回	R2.4.27	6名	・令和2年度安全衛生管理活動計画について ・ストレスチェック実施の流れについて ・新型コロナウイルス感染症に対応する職員のサポ^とガイドについて

１５. 診療記録管理委員会

開催状況

会議名	開催年月日	出席者 人　数	内容
第１回	R1.5.10	10名	今年度委員会目標
第２回	R1.6.11	9名	心電図の現物保存について
第３回	R1.7.12	11名	電子カルテ監査について

活動報告

第１回：委員会目標作成。
第２回：心電図システムが平成２５年４月から導入されている現状をふまえ、紙保存の必要性の有無について検討を行った。データはサーバに保存されており、紙保存は必要ないと結論。
第３回：新任医師のカルテ記録監査を行った。

16. サービス推進委員会

開催状況

会議名	開催年月日	出席者人　数	内容
第1回	R1.5.30	11名	・委員会の開催方法について ・イベント関係・広報関係・地域貢献関係のメンバー構成の確認 ・部門目標の決定 ・外来の飾り付けについて・看護宅配便の1年かのスケジュール検討 ・5/12看護の日のイベント開催次回報告
第2回	R1.6.21	8名	・夕涼み会について・・日時決定他 ・看護の宅配便　日野町巡回　6月20日 ・七夕飾りつけについて
第3回	R1.7.11	19名	・夕涼み会の最終打ち合わせ ・ホームページ・ブログの更新 ・広報委員会開催・９月のせせらぎについて話し合う ・８月７日に正面玄関に七夕を飾る予定 ・　介護フェアinあやめ　に打ち合わせ　8月4日予定 ・職員レクレーションについて
第4回	R1.8.23	14名	・ 広報委員会せせらぎ号の議題について ・夕涼み会の振り返り ・職員レクレーションについて（10月26日　土曜日）　場所・慰労会について ・看護の宅配便　　黒坂診療所８月２日 ・日のチャンネル　　８月１７日　　９月１４日：９時から俣野カフェ参加
第５回	R1.9.30	２１名	・職員レクレーションについて　運動会・懇親会 ・広報せせらぎ66号発行 ・江府町　看護の宅配便
第6回	R1.10.21	１０名	・日野カフェ　　10月10日たくさんの参加あり ・クリスマス飾りつけ ・12月14日クリスマス会の打ち合わせ・ポスター確認・企画書確認
第7回	R1.11.22	10 名	・日野町広報誌：インフルエンザ予防接種についてのお知らせ ・看護の宅配便　1月8日・11日李先生にインフルエンザの講演　待合 ・地域貢献：１２月から３月までは地域のコミュニティーに参加11月は俣野カフェ参加 ・１２月14 日クリスマス会の打ち合わせ クリスマスの飾りは１２月３日　　正月：12月28日予定
第8回	R2.1.31	１０名	・日野町広報誌・・ホームページ・ブログの更新・1月にクリスマス会の記事を載せる ・李先生によるインフルエンザについての講演　1月8日　1月11日 ・ クリスマス会の振り返り ・日野町広報誌：１月号発行 ・正月飾り付けの片づけとひな人形飾りつけ
第9回	R2.3.31	6名	・1年間の各ワーキングの振り返り ・ひな人形の片づけ ・5月の飾りつけ中止
第10回	R2.4.30	９名	・今年度の反省・・・各ワーキング資料確認 ・コロナウイルス感染拡大予防にお為当面イベント中止

活動報告

イベント開催

看護の日	5月11日	金持ちテラスにて開催・・介護のついて（肝臓）
夕涼み会	7月17日	マジックショー・バンド演奏・シャン腱ゲーム　　７５名参加
職員レクレーション	10月26日	運動会25名　懇親会　29名参加
クリスマス会	12月13日	生原幸太さんチェロ演奏・ミュージカル他　　９９人参加

看護の宅配便活動

R1.4月17日　　日野町：黒坂診療所：池田、吉川

R1.5月20日
R1.6月20日　　日野町　:池田、山川
R1.7月22日　　江府町:長尾、小林、佐々木
R1.8月1日　　日野町:瀬田、影山
R1.9月9日　　江府町:河上、山形、佐々木
R.10月10日　　日野町カフェ
R1.11月　　俣野カフェ
R1.12月3日　　クリスマス会参加
R21月8日　　インフルエンザ
R2.2月12日　　二部カフェ:佐々木、中島、倉間

外来の飾り付け

正月飾り	12月28日～1月
雛人形	2月末～4月初め
5月人形	中止
七夕	7月初め～8月初めまで
クリスマス	11月末～12月28日まで

広報誌せせらぎ
せせら65号(　1　月発行)
せせらぎ66号(　5　月発行)
せせらぎ67号(　9　月発行)

17. 接遇向上委員会

開催状況

会議名	開催年月日	出席者 人　数	内容
第1回	R1.5.21	5名	年間行事計画を作成、グループ分けを実施した。
第2回	R1.7.2	2名	接遇ポスター作製（言葉使いについて） 接遇チェック項目の検討
第3回	R1.9.3	5名	接遇ポスターの反省 接遇チェックの項目の決定、確認
第4回	R1.11.6	3名	研修の日程、内容検討
第5回	R2.1.7	6名	研修結果報告、反省
第6回	R2.3.3	2名	接遇ポスター作製（あいさつ、笑顔について） 接遇チェックの集計結果

活動報告

接遇啓発ポスター（7月、3月）2回貼付、接遇チェック（10月）、研修会（12月18日／12月20日）2回実施

18. 教育研修委員会

開催状況

会議名	開催年月日	出席者 人　数	内容
第1回	R1.5.16	15名	年間スケジュール作成、業務内容・要綱確認
第2回	R1.6.20	12名	医療安全必須研修会の案内など
第3回	R1.7.11	13名	医療安全必須研修会の報告など
第4回	R1.9.18	11名	第2回医療安全研修会案内及びスケジュール確認など
第5回	R1.10.10	12名	第2回医療安全研修会報告及びスケジュール確認など
第6回	R1.11.14	13名	接遇向上委員会案内及びスケジュール確認
第7回	R1.12.12	11名	接遇向上委員会案内及びスケジュール確認
第8回	R2.1.9	11名	安全対策研修会案内及びスケジュール確認など
第9回	R2.3.12	12名	藤井　麻耶先生研修会案内及びスケジュール確認
第10回	R2.4.9	11名	年間反省点などの検討など

(1)BLS委員会

開催状況

会議名	開催年月日	出席者 人　数	内容
第1回	R1.5.24	10名	スタッフ顔合わせと年間計画の確認
第2回	R1.6.28	15名	BLS研修と振り返り
第3回	R1.7.26	13名	BLS研修と振り返り
第4回	R1.8.23	5名	BLS研修と振り返り
第5回	R1.10.25	10名	BLS研修と振り返り

活動報告

全職員研修を目標として計画を立てたが、急な講習会や感染症の影響で予定とした研修を行うことができなかった。

１９. 災害対策委員会

開催状況

会議名	開催年月日	出席者 人　数	内容
第1回	R1.5.30	7名	令和元年度部門別目標について

2、統　計

患者統計

Ⅰ. 外来患者数統計

1.地域別統計

（人）

区　　分	総数	日野町	日南町	江府町	伯耆町	他県内	新見市	真庭市	新庄村	他県外
患者数（人）	5,136	2,040	1,036	1,100	315	247	136	4	62	196
構成比(%)	100.0	39.7	20.2	21.4	6.1	4.8	2.6	0.1	1.2	3.8

2.年齢階層別統計

（人）

区　分	総数	0歳	1-4歳	5-9歳	10-14歳	15-19歳	20-29歳	30-39歳	40-49歳	50-59歳	60-64歳	65-69歳	70-74歳	75-79歳	80-84歳	85-89歳	90歳-
男	2,329	4	80	70	71	67	101	132	182	216	181	248	261	240	193	181	102
女	2,807	4	61	83	76	61	101	122	132	224	185	244	282	276	334	330	292
計	5,136	8	141	153	147	128	202	254	314	440	366	492	543	516	527	511	394
構成比(%)	100.0	0.2	2.7	3.0	2.9	2.5	3.9	4.9	6.1	8.6	7.1	9.6	10.6	10.0	10.3	9.9	7.7

※　実患者数（同一人が何度通院・入院しても1人）による

Ⅱ. 入院患者数統計

1.地域別統計

（人）

区　　分	総数	日野町	日南町	江府町	伯耆町	他県内	新見市	真庭市	新庄村	他県外
患者数（人）	792	312	128	221	50	34	20	1	6	20
構成比(%)	100.0	39.4	16.2	27.9	6.3	4.3	2.5	0.1	0.8	2.5

※　実患者数（同一人が何度通院・入院しても1人）による

2.診療科別・年齢階層別・入退院歴数

（人）

		総数	構成比(%)	平均年齢	0-9歳	10-14歳	15-19歳	20-29歳	30-39歳	40-49歳	50-59歳	60-64歳	65-69歳	70-74歳	75-79歳	80-84歳	85-89歳	90歳-
総数	計	1,010	100.0	80.1	1	1	5	9	6	11	37	35	71	94	113	145	238	244
	男	444	100.0	75.9	--	1	5	6	6	8	22	21	47	58	56	60	88	66
	女	566	100.0	83.5	1	--	--	3	--	3	15	14	24	36	57	85	150	178
構成比（%）	計	100.0	--	--	0.1	0.1	0.5	0.9	0.6	1.1	3.7	3.5	7.0	9.3	11.2	14.4	23.6	24.2
	男	100.0	--	--	--	0.2	1.1	1.4	1.4	1.8	5.0	4.7	10.6	13.1	12.6	13.5	19.8	14.9
	女	100.0	--	--	0.2	--	--	0.5	--	0.5	2.7	2.5	4.2	6.4	10.1	15.0	26.5	31.4
内科	計	471	46.6	82.1	--	--	--	3	1	6	16	13	24	40	42	62	138	126
	男	199	44.8	77.2	--	--	--	2	1	4	12	11	18	26	26	24	45	30
	女	272	48.1	85.7	--	--	--	1	--	2	4	2	6	14	16	38	93	96
外科	計	85	8.4	72.7	--	--	3	3	--	1	7	2	11	15	8	13	10	12
	男	61	13.7	71.0	--	--	3	1	--	1	6	2	8	12	6	10	8	4
	女	24	4.2	76.8	--	--	--	2	--	--	1	--	3	3	2	3	2	8
整形外科	計	227	22.5	77.8	--	1	2	2	3	3	8	15	17	20	35	37	38	46
	男	81	18.2	71.1	--	1	2	2	3	3	3	5	11	10	8	13	13	7
	女	146	25.8	81.5	--	--	--	--	--	--	5	10	6	10	27	24	25	39
眼科	計	54	5.3	76.0	--	--	--	--	--	--	1	3	7	11	15	7	8	2
	男	19	4.3	75.3	--	--	--	--	--	--	--	1	2	6	5	3	1	1
	女	35	6.2	76.4	--	--	--	--	--	--	1	2	5	5	10	4	7	1
小児科	計	1	0.1	9.0	1	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--
	男	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--
	女	1	0.2	9.0	1	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--
総診	計	172	17.0	83.2	--	--	--	1	2	1	5	2	12	8	13	26	44	58
	男	84	18.9	81.2	--	--	--	1	2	--	1	2	8	4	11	10	21	24
	女	88	15.5	85.2	--	--	--	--	--	1	4	--	4	4	2	16	23	34

3.診療科別・在院期間別・入退院歴数

（人）

		総数	構成比(%)	延べ在院日数	平均在院日数	1-8日	9-15日	16-22日	23-31日	32-61日	62-91日	3-6ヶ月	6ヶ月-1年	1-2年	2年-
総数	計	1,010	100.0	29,216	28.9	293	192	165	97	159	55	32	14	2	1
	男	444	100.0	12,805	28.8	138	87	68	35	72	23	12	8	--	1
	女	566	100.0	16,411	29.0	155	105	97	62	87	32	20	6	2	--
構成比（%）	計	100.0	--	--	--	29.0	19.0	16.3	9.6	15.7	5.4	3.2	1.4	0.2	0.1
	男	100.0	--	--	--	31.1	19.6	15.3	7.9	16.2	5.2	2.7	1.8	--	0.2
	女	100.0	--	--	--	27.4	18.6	17.1	11.0	15.4	5.7	3.5	1.1	0.4	--
内科	計	471	46.6	15,590	33.1	166	88	62	32	54	30	24	13	1	1
	男	199	44.8	7,550	37.9	64	38	26	14	22	16	10	8	--	1
	女	272	48.1	8,040	29.6	102	50	36	18	32	14	14	5	1	--
外科	計	85	8.4	2,492	29.3	29	19	9	8	12	4	3	--	1	--
	男	61	13.7	1,267	20.8	21	13	9	6	8	2	2	--	--	--
	女	24	4.2	1,225	51.0	8	6	--	2	4	2	1	--	1	--
整形外科	計	227	22.5	6,295	27.7	40	41	29	36	68	11	2	--	--	--
	男	81	18.2	1,955	24.1	23	15	9	8	24	2	--	--	--	--
	女	146	25.8	4,340	29.7	17	26	20	28	44	9	2	--	--	--
眼科	計	54	5.3	817	15.1	3	8	43	--	--	--	--	--	--	--
	男	19	4.3	277	14.6	2	2	15	--	--	--	--	--	--	--
	女	35	6.2	540	15.4	1	6	28	--	--	--	--	--	--	--
小児科	計	1	0.1	2	2.0	1	--	--	--	--	--	--	--	--	--
	男	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--
	女	1	0.2	2	2.0	1	--	--	--	--	--	--	--	--	--
総診	計	172	17.0	4,020	23.4	54	36	22	21	25	10	3	1	--	--
	男	84	18.9	1,756	20.9	28	19	9	7	18	3	--	--	--	--
	女	88	15.5	2,264	25.7	26	17	13	14	7	7	3	1	--	--

4.診療科別・退院月別・入退院歴数

（人）

		総数	構成比(%)	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	死亡
総数	計	1,010	100.0	93	89	89	107	70	81	76	72	100	68	80	85	81
	男	444	100.0	38	49	39	39	28	35	33	30	39	29	41	44	44
	女	566	100.0	55	40	50	68	42	46	43	42	61	39	39	41	37
構成比（%）	計	100.0	--	9.2	8.8	8.8	10.6	6.9	8.0	7.5	7.1	9.9	6.7	7.9	8.4	8.0
	男	100.0	--	8.6	11.0	8.8	8.8	6.3	7.9	7.4	6.8	8.8	6.5	9.2	9.9	9.9
	女	100.0	--	9.7	7.1	8.8	12.0	7.4	8.1	7.6	7.4	10.8	6.9	6.9	7.2	6.5
内科	計	471	46.6	39	35	38	53	32	42	37	38	47	39	38	33	49
	男	199	44.8	14	18	15	20	7	18	15	20	19	18	18	17	27
	女	272	48.1	25	17	23	33	25	24	22	18	28	21	20	16	22
外科	計	85	8.4	11	12	6	14	5	9	7	4	5	6	3	3	3
	男	61	13.7	7	9	4	8	5	7	6	2	3	4	3	3	2
	女	24	4.2	4	3	2	6	--	2	1	2	2	2	--	--	1
整形外科	計	227	22.5	16	18	22	17	17	15	14	14	26	14	22	32	2
	男	81	18.2	5	10	5	4	5	4	5	4	9	4	12	14	--
	女	146	25.8	11	8	17	13	12	11	9	10	17	10	10	18	2
眼科	計	54	5.3	7	1	5	6	5	5	3	5	6	2	4	5	--
	男	19	4.3	4	--	3	2	4	1	--	--	1	--	1	3	--
	女	35	6.2	3	1	2	4	1	4	3	5	5	2	3	2	--
小児科	計	1	0.1	--	1	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--
	男	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--
	女	1	0.2	--	1	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--
総診	計	172	17.0	20	22	18	17	11	10	15	11	16	7	13	12	27
	男	84	18.9	8	12	12	5	7	5	7	4	7	3	7	7	15
	女	88	15.5	12	10	6	12	4	5	8	7	9	4	6	5	12

疾病統計（入院患者）

疾病大分類別・診療科別・病名数

			総数	構成比(%)	内科	外科	整形外	眼科	小児科	総診
	総数	計	1,010	100.0	471	85	227	54	1	172
		男	444	100.0	199	61	81	19	--	84
		女	566	100.0	272	24	146	35	1	88
	構成比(%)	計	100.0	--	46.6	8.4	22.5	5.3	0.1	17.0
		男	100.0	--	44.8	13.7	18.2	4.3	--	18.9
		女	100.0	--	48.1	4.2	25.8	6.2	0.2	15.5
I	感染症及び寄生虫症	計	28	2.8	15	--	1	--	--	12
		男	12	2.7	7	--	--	--	--	5
		女	16	2.8	8	--	1	--	--	7
II	新生物＜腫瘍＞	計	89	8.8	53	23	3	--	--	10
		男	37	8.3	14	16	1	--	--	6
		女	52	9.2	39	7	2	--	--	4
III	血液及び造血器の疾患並びに免疫機構の障害	計	6	0.6	2	--	--	--	--	4
		男	1	0.2	--	--	--	--	--	1
		女	5	0.9	2	--	--	--	--	3
IV	内分泌、栄養及び代謝疾患	計	31	3.1	24	--	--	--	--	7
		男	10	2.3	8	--	--	--	--	2
		女	21	3.7	16	--	--	--	--	5
V	精神及び行動の障害	計	6	0.6	3	1	--	--	--	2
		男	4	0.9	1	1	--	--	--	2
		女	2	0.4	2	--	--	--	--	--
VI	神経系の疾患	計	41	4.1	21	1	7	--	--	12
		男	15	3.4	3	--	3	--	--	9
		女	26	4.6	18	1	4	--	--	3
VII	眼及び付属器の疾患	計	54	5.3	--	--	--	54	--	--
		男	19	4.3	--	--	--	19	--	--
		女	35	6.2	--	--	--	35	--	--
VIII	耳及び乳様突起の疾患	計	5	0.5	3	--	--	--	--	2
		男	1	0.2	--	--	--	--	--	1
		女	4	0.7	3	--	--	--	--	1
IX	循環器系の疾患	計	103	10.2	66	1	2	--	--	34
		男	38	8.6	24	1	1	--	--	12
		女	65	11.5	42	--	1	--	--	22
X	呼吸器系の疾患	計	146	14.5	107	3	1	--	--	35
		男	90	20.3	63	3	--	--	--	24
		女	56	9.9	44	--	1	--	--	11
XI	消化器系の疾患	計	114	11.3	65	39	--	--	--	10
		男	70	15.8	36	30	--	--	--	4
		女	44	7.8	29	9	--	--	--	6
XII	皮膚及び皮下組織の疾患	計	17	1.7	6	3	6	--	--	2
		男	4	0.9	--	2	2	--	--	--
		女	13	2.3	6	1	4	--	--	2

疾病大分類別・診療科別・病名数

			総数	構成比(%)	内科	外科	整形外	眼科	小児科	総診
	総数	計	1,010	100.0	471	85	227	54	1	172
		男	444	100.0	199	61	81	19	--	84
		女	566	100.0	272	24	146	35	1	88
	構成比(%)	計	100.0	--	46.6	8.4	22.5	5.3	0.1	17.0
		男	100.0	--	44.8	13.7	18.2	4.3	--	18.9
		女	100.0	--	48.1	4.2	25.8	6.2	0.2	15.5
XIII	筋骨格系及び結合組織の疾患	計	56	5.5	8	--	46	--	--	2
		男	20	4.5	4	--	15	--	--	1
		女	36	6.4	4	--	31	--	--	1
XIV	腎尿路生殖器系の疾患	計	54	5.3	39	1	1	--	--	13
		男	18	4.1	12	1	--	--	--	5
		女	36	6.4	27	--	1	--	--	8
XV	妊娠、分娩及び産じょく＜褥＞	計	--	--	--	--	--	--	--	--
		男	--	--	--	--	--	--	--	--
		女	--	--	--	--	--	--	--	--
XVI	周産期に発生した病態	計	--	--	--	--	--	--	--	--
		男	--	--	--	--	--	--	--	--
		女	--	--	--	--	--	--	--	--
XVII	先天奇形、変形及び染色体異常	計	3	0.3	3	--	--	--	--	--
		男	3	0.7	3	--	--	--	--	--
		女	--	--	--	--	--	--	--	--
XVIII	症状、徴候及び異常臨床所見・異常検査所見で他に分類されないもの	計	70	6.9	38	6	--	--	1	25
		男	30	6.8	15	4	--	--	--	11
		女	40	7.1	23	2	--	--	1	14
XIX	損傷、中毒及びその他の外因の影響	計	157	15.5	12	6	137	--	--	2
		男	51	11.5	6	2	42	--	--	1
		女	106	18.7	6	4	95	--	--	1
XX	傷病及び死亡の外因	計	--	--	--	--	--	--	--	--
		男	--	--	--	--	--	--	--	--
		女	--	--	--	--	--	--	--	--
XXI	健康状態に影響をおよぼす要因及び保健サービスの利用	計	30	3.0	6	1	23	--	--	--
		男	21	4.7	3	1	17	--	--	--
		女	9	1.6	3	--	6	--	--	--
XXII	特殊目的用コード	計	--	--	--	--	--	--	--	--
		男	--	--	--	--	--	--	--	--
		女	--	--	--	--	--	--	--	--

ＩＣＤ１０別・診療科別・病名数

			総数	構成比(%)	内科	外科	整形外	眼科	小児科	総診
	総数	計	1,010	100.0	471	85	227	54	1	172
		男	444	100.0	199	61	81	19	--	84
		女	566	100.0	272	24	146	35	1	88
	構成比(%)	計	100.0	--	46.6	8.4	22.5	5.3	0.1	17.0
		男	100.0	--	44.8	13.7	18.2	4.3	--	18.9
		女	100.0	--	48.1	4.2	25.8	6.2	0.2	15.5
A047	[M]クロストリジウム・ディフィシルによる全腸炎	計	2	0.2	--	--	--	--	--	2
		男	1	0.2	--	--	--	--	--	1
		女	1	0.2	--	--	--	--	--	1
A09	[M]その他の胃腸炎及び大腸炎、感染症及び詳細不明の原因によるもの	計	2	0.2	2	--	--	--	--	--
		男	1	0.2	1	--	--	--	--	--
		女	1	0.2	1	--	--	--	--	--
A090	[M]感染症が原因のその他及び詳細不明の胃腸炎及び大腸炎	計	1	0.1	1	--	--	--	--	--
		男	--	--	--	--	--	--	--	--
		女	1	0.2	1	--	--	--	--	--
A099	[M]詳細不明の原因による胃腸炎及び大腸炎	計	11	1.1	7	--	--	--	--	4
		男	5	1.1	4	--	--	--	--	1
		女	6	1.1	3	--	--	--	--	3
A415	[M]その他のグラム陰性菌による敗血症	計	1	0.1	--	--	--	--	--	1
		男	--	--	--	--	--	--	--	--
		女	1	0.2	--	--	--	--	--	1
A419	[M]敗血症、詳細不明	計	6	0.6	4	--	--	--	--	2
		男	2	0.5	1	--	--	--	--	1
		女	4	0.7	3	--	--	--	--	1
A46	[M]丹毒	計	1	0.1	--	--	--	--	--	1
		男	--	--	--	--	--	--	--	--
		女	1	0.2	--	--	--	--	--	1
A499	[M]細菌感染症、詳細不明	計	2	0.2	1	--	--	--	--	1
		男	2	0.5	1	--	--	--	--	1
		女	--	--	--	--	--	--	--	--
B029	[M]帯状疱疹、合併症を伴わないもの	計	2	0.2	--	--	1	--	--	1
		男	1	0.2	--	--	--	--	--	1
		女	1	0.2	--	--	1	--	--	--
C029	[M]舌、部位不明【舌のその他及び部位不明の悪性新生物＜腫瘍＞】	計	1	0.1	--	--	--	--	--	1
		男	--	--	--	--	--	--	--	--
		女	1	0.2	--	--	--	--	--	1
C07	[M]耳下腺の悪性新生物＜腫瘍＞	計	1	0.1	1	--	--	--	--	--
		男	1	0.2	1	--	--	--	--	--
		女	--	--	--	--	--	--	--	--
C139	[M]下咽頭、部位不明【下咽頭の悪性新生物＜腫瘍＞】	計	1	0.1	1	--	--	--	--	--
		男	1	0.2	1	--	--	--	--	--
		女	--	--	--	--	--	--	--	--
C158	[M]食道の境界部病巣【食道の悪性新生物＜腫瘍＞】	計	1	0.1	--	1	--	--	--	--
		男	1	0.2	--	1	--	--	--	--
		女	--	--	--	--	--	--	--	--
C169	[M]胃、部位不明【胃の悪性新生物＜腫瘍＞】	計	6	0.6	1	4	--	--	--	1
		男	3	0.7	--	3	--	--	--	--
		女	3	0.5	1	1	--	--	--	1

ＩＣＤ１０別・診療科別・病名数

			総数	構成比(%)	内科	外科	整形外	眼科	小児科	総診
	総数	計	1,010	100.0	471	85	227	54	1	172
		男	444	100.0	199	61	81	19	--	84
		女	566	100.0	272	24	146	35	1	88
	構成比(%)	計	100.0	--	46.6	8.4	22.5	5.3	0.1	17.0
		男	100.0	--	44.8	13.7	18.2	4.3	--	18.9
		女	100.0	--	48.1	4.2	25.8	6.2	0.2	15.5
C180	[M]盲腸【結腸の悪性新生物＜腫瘍＞】	計	3	0.3	--	3	--	--	--	--
		男	2	0.5	--	2	--	--	--	--
		女	1	0.2	--	1	--	--	--	--
C184	[M]横行結腸【結腸の悪性新生物＜腫瘍＞】	計	2	0.2	--	2	--	--	--	--
		男	1	0.2	--	1	--	--	--	--
		女	1	0.2	--	1	--	--	--	--
C187	[M]Ｓ状結腸【結腸の悪性新生物＜腫瘍＞】	計	3	0.3	--	3	--	--	--	--
		男	2	0.5	--	2	--	--	--	--
		女	1	0.2	--	1	--	--	--	--
C189	[M]結腸、部位不明【結腸の悪性新生物＜腫瘍＞】	計	4	0.4	4	--	--	--	--	--
		男	--	--	--	--	--	--	--	--
		女	4	0.7	4	--	--	--	--	--
C20	[M]直腸の悪性新生物＜腫瘍＞	計	3	0.3	--	2	--	--	--	1
		男	1	0.2	--	--	--	--	--	1
		女	2	0.4	--	2	--	--	--	--
C220	[M]肝細胞癌【肝及び肝内胆管の悪性新生物＜腫瘍＞】	計	1	0.1	1	--	--	--	--	--
		男	1	0.2	1	--	--	--	--	--
		女	--	--	--	--	--	--	--	--
C221	[M]肝内胆管癌【肝及び肝内胆管の悪性新生物＜腫瘍＞】	計	3	0.3	3	--	--	--	--	--
		男	3	0.7	3	--	--	--	--	--
		女	--	--	--	--	--	--	--	--
C240	[M]肝外胆管【その他及び部位不明の胆道の悪性新生物＜腫瘍＞】	計	1	0.1	--	--	--	--	--	1
		男	1	0.2	--	--	--	--	--	1
		女	--	--	--	--	--	--	--	--
C250	[M]膵頭部【膵の悪性新生物＜腫瘍＞】	計	1	0.1	1	--	--	--	--	--
		男	--	--	--	--	--	--	--	--
		女	1	0.2	1	--	--	--	--	--
C251	[M]膵体部【膵の悪性新生物＜腫瘍＞】	計	1	0.1	--	1	--	--	--	--
		男	1	0.2	--	1	--	--	--	--
		女	--	--	--	--	--	--	--	--
C259	[M]膵、部位不明【膵の悪性新生物＜腫瘍＞】	計	2	0.2	2	--	--	--	--	--
		男	2	0.5	2	--	--	--	--	--
		女	--	--	--	--	--	--	--	--
C341	[M]上葉、気管支又は肺【気管支及び肺の悪性新生物＜腫瘍＞】	計	1	0.1	1	--	--	--	--	--
		男	1	0.2	1	--	--	--	--	--
		女	--	--	--	--	--	--	--	--
C343	[M]下葉、気管支又は肺【気管支及び肺の悪性新生物＜腫瘍＞】	計	1	0.1	1	--	--	--	--	--
		男	1	0.2	1	--	--	--	--	--
		女	--	--	--	--	--	--	--	--
C349	[M]気管支又は肺、部位不明【気管支及び肺の悪性新生物＜腫瘍＞】	計	1	0.1	--	--	--	--	--	1
		男	--	--	--	--	--	--	--	--
		女	1	0.2	--	--	--	--	--	1

ＩＣＤ１０別・診療科別・病名数

			総数	構成比(%)	内科	外科	整形外	眼科	小児科	総診
	総数	計	1,010	100.0	471	85	227	54	1	172
		男	444	100.0	199	61	81	19	--	84
		女	566	100.0	272	24	146	35	1	88
	構成比(%)	計	100.0	--	46.6	8.4	22.5	5.3	0.1	17.0
		男	100.0	--	44.8	13.7	18.2	4.3	--	18.9
		女	100.0	--	48.1	4.2	25.8	6.2	0.2	15.5
C61	[M]前立腺の悪性新生物＜腫瘍＞	計	2	0.2	2	--	--	--	--	--
		男	2	0.5	2	--	--	--	--	--
		女	--	--	--	--	--	--	--	--
C64	[M]腎盂を除く腎の悪性新生物＜腫瘍＞	計	1	0.1	--	--	--	--	--	1
		男	1	0.2	--	--	--	--	--	1
		女	--	--	--	--	--	--	--	--
C679	[M]膀胱、部位不明【膀胱の悪性新生物＜腫瘍＞】	計	1	0.1	1	--	--	--	--	--
		男	--	--	--	--	--	--	--	--
		女	1	0.2	1	--	--	--	--	--
C780	[M]肺の続発性悪性新生物＜腫瘍＞	計	1	0.1	--	--	--	--	--	1
		男	1	0.2	--	--	--	--	--	1
		女	--	--	--	--	--	--	--	--
C782	[M]胸膜の続発性悪性新生物＜腫瘍＞	計	1	0.1	--	--	--	--	--	1
		男	--	--	--	--	--	--	--	--
		女	1	0.2	--	--	--	--	--	1
C786	[M]後腹膜及び腹膜の続発性悪性新生物＜腫瘍＞	計	1	0.1	1	--	--	--	--	--
		男	1	0.2	1	--	--	--	--	--
		女	--	--	--	--	--	--	--	--
C787	[M]肝及び肝内胆管の続発性悪性新生物＜腫瘍＞	計	1	0.1	--	--	--	--	--	1
		男	1	0.2	--	--	--	--	--	1
		女	--	--	--	--	--	--	--	--
C795	[M]骨及び骨髄の続発性悪性新生物＜腫瘍＞	計	1	0.1	--	--	1	--	--	--
		男	--	--	--	--	--	--	--	--
		女	1	0.2	--	--	1	--	--	--
C859	[M]非ホジキン＜ｎｏｎ－Ｈｏｄｇｋｉｎ＞リンパ腫、型不明	計	7	0.7	1	6	--	--	--	--
		男	6	1.4	--	6	--	--	--	--
		女	1	0.2	1	--	--	--	--	--
C929	[M]骨髄性白血病、詳細不明	計	28	2.8	28	--	--	--	--	--
		男	--	--	--	--	--	--	--	--
		女	28	4.9	28	--	--	--	--	--
D171	[M]体幹の皮膚及び皮下組織【良性脂肪腫性新生物＜腫瘍＞(脂肪腫を含む)】	計	1	0.1	--	--	1	--	--	--
		男	--	--	--	--	--	--	--	--
		女	1	0.2	--	--	1	--	--	--
D179	[M]良性脂肪腫性新生物、部位不明【良性脂肪腫性新生物＜腫瘍＞(脂肪腫を含む)】	計	1	0.1	--	--	1	--	--	--
		男	1	0.2	--	--	1	--	--	--
		女	--	--	--	--	--	--	--	--
D376	[M]肝、胆のう＜嚢＞及び胆管【口腔及び消化器の性状不詳又は不明の新生物＜腫瘍＞】	計	1	0.1	1	--	--	--	--	--
		男	--	--	--	--	--	--	--	--
		女	1	0.2	1	--	--	--	--	--
D381	[M]気管、気管支及び肺【中耳、呼吸器及び胸腔内臓器の性状不詳又は不明の新生物＜腫瘍＞】	計	1	0.1	--	--	--	--	--	1
		男	1	0.2	--	--	--	--	--	1
		女	--	--	--	--	--	--	--	--

ＩＣＤ１０別・診療科別・病名数

			総数	構成比(%)	内科	外科	整形外	眼科	小児科	総診
	総数	計	1,010	100.0	471	85	227	54	1	172
		男	444	100.0	199	61	81	19	--	84
		女	566	100.0	272	24	146	35	1	88
	構成比(%)	計	100.0	--	46.6	8.4	22.5	5.3	0.1	17.0
		男	100.0	--	44.8	13.7	18.2	4.3	--	18.9
		女	100.0	--	48.1	4.2	25.8	6.2	0.2	15.5
D382	[Ｍ]胸膜【中耳、呼吸器及び胸腔内臓器の性状不詳又は不明の新生物＜腫瘍＞】	計	1	0.1	1	--	--	--	--	--
		男	--	--	--	--	--	--	--	--
		女	1	0.2	1	--	--	--	--	--
D432	[Ｍ]脳、部位不明【脳及び中枢神経系の性状不詳又は不明の新生物＜腫瘍＞】	計	1	0.1	1	--	--	--	--	--
		男	--	--	--	--	--	--	--	--
		女	1	0.2	1	--	--	--	--	--
D469	[Ｍ]骨髄異形成症候群、詳細不明【骨髄異形成症候群】	計	1	0.1	1	--	--	--	--	--
		男	1	0.2	1	--	--	--	--	--
		女	--	--	--	--	--	--	--	--
D481	[Ｍ]結合組織及びその他の軟部組織【その他及び部位不明の性状不詳又は不明の新生物＜腫瘍＞】	計	1	0.1	--	1	--	--	--	--
		男	--	--	--	--	--	--	--	--
		女	1	0.2	--	1	--	--	--	--
D509	[Ｍ]鉄欠乏性貧血、詳細不明	計	1	0.1	1	--	--	--	--	--
		男	--	--	--	--	--	--	--	--
		女	1	0.2	1	--	--	--	--	--
D62	[Ｍ]急性出血後貧血	計	1	0.1	--	--	--	--	--	1
		男	--	--	--	--	--	--	--	--
		女	1	0.2	--	--	--	--	--	1
D649	[Ｍ]貧血、詳細不明	計	1	0.1	--	--	--	--	--	1
		男	1	0.2	--	--	--	--	--	1
		女	--	--	--	--	--	--	--	--
D65	[Ｍ]播種性血管内凝固症候群[脱線維素症候群]	計	1	0.1	--	--	--	--	--	1
		男	--	--	--	--	--	--	--	--
		女	1	0.2	--	--	--	--	--	1
D696	[Ｍ]血小板減少症、詳細不明	計	1	0.1	1	--	--	--	--	--
		男	--	--	--	--	--	--	--	--
		女	1	0.2	1	--	--	--	--	--
D70	[Ｍ]無顆粒球症	計	1	0.1	--	--	--	--	--	1
		男	--	--	--	--	--	--	--	--
		女	1	0.2	--	--	--	--	--	1
E039	[Ｍ]甲状腺機能低下症、詳細不明	計	1	0.1	--	--	--	--	--	1
		男	--	--	--	--	--	--	--	--
		女	1	0.2	--	--	--	--	--	1
E10	[Ｍ]１型＜インスリン依存性＞糖尿病＜ＩＤＤＭ＞	計	2	0.2	2	--	--	--	--	--
		男	--	--	--	--	--	--	--	--
		女	2	0.4	2	--	--	--	--	--
E11	[Ｍ]２型＜インスリン非依存性＞糖尿病＜ＮＩＤＤＭ＞	計	1	0.1	1	--	--	--	--	--
		男	1	0.2	1	--	--	--	--	--
		女	--	--	--	--	--	--	--	--
E111	[Ｍ]ケトアシドーシスを伴うもの【２型＜インスリン非依存性＞糖尿病＜ＮＩＤＤＭ＞】	計	1	0.1	1	--	--	--	--	--
		男	1	0.2	1	--	--	--	--	--
		女	--	--	--	--	--	--	--	--

ＩＣＤ１０別・診療科別・病名数

			総数	構成比(%)	内科	外科	整形外	眼科	小児科	総診
	総数	計	1,010	100.0	471	85	227	54	1	172
		男	444	100.0	199	61	81	19	--	84
		女	566	100.0	272	24	146	35	1	88
	構成比(%)	計	100.0	--	46.6	8.4	22.5	5.3	0.1	17.0
		男	100.0	--	44.8	13.7	18.2	4.3	--	18.9
		女	100.0	--	48.1	4.2	25.8	6.2	0.2	15.5
E14	[M]詳細不明の糖尿病	計	6	0.6	6	--	--	--	--	--
		男	2	0.5	2	--	--	--	--	--
		女	4	0.7	4	--	--	--	--	--
E142	[M]腎合併症を伴うもの【詳細不明の糖尿病】	計	1	0.1	1	--	--	--	--	--
		男	--	--	--	--	--	--	--	--
		女	1	0.2	1	--	--	--	--	--
E146	[M]その他の明示された合併症を伴うもの【詳細不明の糖尿病】	計	2	0.2	2	--	--	--	--	--
		男	--	--	--	--	--	--	--	--
		女	2	0.4	2	--	--	--	--	--
E162	[M]低血糖症、詳細不明	計	1	0.1	1	--	--	--	--	--
		男	1	0.2	1	--	--	--	--	--
		女	--	--	--	--	--	--	--	--
E46	[M]詳細不明のタンパク＜蛋白＞エネルギー性栄養失調（症）	計	1	0.1	1	--	--	--	--	--
		男	--	--	--	--	--	--	--	--
		女	1	0.2	1	--	--	--	--	--
E835	[M]カルシウム代謝障害	計	1	0.1	1	--	--	--	--	--
		男	--	--	--	--	--	--	--	--
		女	1	0.2	1	--	--	--	--	--
E86	[M]体液量減少（症）	計	6	0.6	5	--	--	--	--	1
		男	1	0.2	1	--	--	--	--	--
		女	5	0.9	4	--	--	--	--	1
E870	[M]高浸透圧及び高ナトリウム血症	計	2	0.2	1	--	--	--	--	1
		男	--	--	--	--	--	--	--	--
		女	2	0.4	1	--	--	--	--	1
E871	[M]低浸透圧及び低ナトリウム血症	計	2	0.2	--	--	--	--	--	2
		男	2	0.5	--	--	--	--	--	2
		女	--	--	--	--	--	--	--	--
E872	[M]アシドーシス	計	1	0.1	1	--	--	--	--	--
		男	1	0.2	1	--	--	--	--	--
		女	--	--	--	--	--	--	--	--
E876	[M]低カリウム＜Ｋ＞血症	計	2	0.2	1	--	--	--	--	1
		男	1	0.2	1	--	--	--	--	--
		女	1	0.2	--	--	--	--	--	1
E888	[M]その他の明示された代謝障害	計	1	0.1	--	--	--	--	--	1
		男	--	--	--	--	--	--	--	--
		女	1	0.2	--	--	--	--	--	1
F03	[M]詳細不明の認知症	計	2	0.2	1	1	--	--	--	--
		男	1	0.2	--	1	--	--	--	--
		女	1	0.2	1	--	--	--	--	--
F070	[M]器質性人格障害	計	1	0.1	--	--	--	--	--	1
		男	1	0.2	--	--	--	--	--	1
		女	--	--	--	--	--	--	--	--

ＩＣＤ１０別・診療科別・病名数

			総数	構成比(%)	内科	外科	整形外	眼科	小児科	総診
	総数	計	1,010	100.0	471	85	227	54	1	172
		男	444	100.0	199	61	81	19	--	84
		女	566	100.0	272	24	146	35	1	88
	構成比(%)	計	100.0	--	46.6	8.4	22.5	5.3	0.1	17.0
		男	100.0	--	44.8	13.7	18.2	4.3	--	18.9
		女	100.0	--	48.1	4.2	25.8	6.2	0.2	15.5
F102	[Ｍ]依存症候群【アルコール使用＜飲酒＞による精神及び行動の障害】	計	1	0.1	1	--	--	--	--	--
		男	1	0.2	1	--	--	--	--	--
		女	--	--	--	--	--	--	--	--
F191	[Ｍ]有害な使用【多剤使用及びその他の精神作用物質使用による精神及び行動の障害】	計	1	0.1	1	--	--	--	--	--
		男	--	--	--	--	--	--	--	--
		女	1	0.2	1	--	--	--	--	--
F329	[Ｍ]うつ病エピソード、詳細不明	計	1	0.1	--	--	--	--	--	1
		男	1	0.2	--	--	--	--	--	1
		女	--	--	--	--	--	--	--	--
G009	[Ｍ]細菌性髄膜炎、詳細不明	計	1	0.1	1	--	--	--	--	--
		男	--	--	--	--	--	--	--	--
		女	1	0.2	1	--	--	--	--	--
G20	[Ｍ]パーキンソン＜Ｐａｒｋｉｎｓｏｎ＞病	計	5	0.5	2	1	--	--	--	2
		男	2	0.5	--	--	--	--	--	2
		女	3	0.5	2	1	--	--	--	--
G214	[Ｍ]血管性パーキンソン＜Ｐａｒｋｉｎｓｏｎ＞症候群	計	1	0.1	1	--	--	--	--	--
		男	1	0.2	1	--	--	--	--	--
		女	--	--	--	--	--	--	--	--
G244	[Ｍ]特発性口顔面ジストニア	計	1	0.1	1	--	--	--	--	--
		男	--	--	--	--	--	--	--	--
		女	1	0.2	1	--	--	--	--	--
G309	[Ｍ]アルツハイマー＜Ａｌｚｈｅｉｍｅｒ＞病、詳細不明	計	2	0.2	2	--	--	--	--	--
		男	--	--	--	--	--	--	--	--
		女	2	0.4	2	--	--	--	--	--
G408	[Ｍ]その他のてんかん	計	4	0.4	3	--	--	--	--	1
		男	2	0.5	1	--	--	--	--	1
		女	2	0.4	2	--	--	--	--	--
G409	[Ｍ]てんかん、詳細不明	計	2	0.2	2	--	--	--	--	--
		男	1	0.2	1	--	--	--	--	--
		女	1	0.2	1	--	--	--	--	--
G459	[Ｍ]一過性脳虚血発作、詳細不明	計	3	0.3	1	--	--	--	--	2
		男	1	0.2	--	--	--	--	--	1
		女	2	0.4	1	--	--	--	--	1
G470	[Ｍ]睡眠の導入及び維持の障害[不眠症]	計	1	0.1	--	--	--	--	--	1
		男	1	0.2	--	--	--	--	--	1
		女	--	--	--	--	--	--	--	--
G473	[Ｍ]睡眠時無呼吸	計	10	1.0	4	--	--	--	--	6
		男	4	0.9	--	--	--	--	--	4
		女	6	1.1	4	--	--	--	--	2
G510	[Ｍ]ベル＜Ｂｅｌｌ＞麻痺	計	1	0.1	1	--	--	--	--	--
		男	--	--	--	--	--	--	--	--
		女	1	0.2	1	--	--	--	--	--

ＩＣＤ１０別・診療科別・病名数

			総数	構成比(%)	内科	外科	整形外	眼科	小児科	総診
	総数	計	1,010	100.0	471	85	227	54	1	172
		男	444	100.0	199	61	81	19	--	84
		女	566	100.0	272	24	146	35	1	88
	構成比(%)	計	100.0	--	46.6	8.4	22.5	5.3	0.1	17.0
		男	100.0	--	44.8	13.7	18.2	4.3	--	18.9
		女	100.0	--	48.1	4.2	25.8	6.2	0.2	15.5
G560	[M]手根管症候群	計	4	0.4	--	--	4	--	--	--
		男	1	0.2	--	--	1	--	--	--
		女	3	0.5	--	--	3	--	--	--
G562	[M]尺骨神経の病変	計	3	0.3	--	--	3	--	--	--
		男	2	0.5	--	--	2	--	--	--
		女	1	0.2	--	--	1	--	--	--
G700	[M]重症筋無力症	計	1	0.1	1	--	--	--	--	--
		男	--	--	--	--	--	--	--	--
		女	1	0.2	1	--	--	--	--	--
G908	[M]自律神経系のその他の障害	計	2	0.2	2	--	--	--	--	--
		男	--	--	--	--	--	--	--	--
		女	2	0.4	2	--	--	--	--	--
H259	[M]老人性白内障、詳細不明	計	54	5.3	--	--	--	54	--	--
		男	19	4.3	--	--	--	19	--	--
		女	35	6.2	--	--	--	35	--	--
H811	[M]良性発作性めまい＜眩暈（症）＞	計	1	0.1	1	--	--	--	--	--
		男	--	--	--	--	--	--	--	--
		女	1	0.2	1	--	--	--	--	--
H813	[M]その他の末梢性めまい＜眩暈（症）＞	計	2	0.2	1	--	--	--	--	1
		男	--	--	--	--	--	--	--	--
		女	2	0.4	1	--	--	--	--	1
H819	[M]前庭機能障害、詳細不明	計	2	0.2	1	--	--	--	--	1
		男	1	0.2	--	--	--	--	--	1
		女	1	0.2	1	--	--	--	--	--
I10	[M]本態性（原発性＜一次性＞）高血圧（症）	計	4	0.4	3	--	--	--	--	1
		男	1	0.2	1	--	--	--	--	--
		女	3	0.5	2	--	--	--	--	1
I200	[M]不安定狭心症	計	1	0.1	1	--	--	--	--	--
		男	--	--	--	--	--	--	--	--
		女	1	0.2	1	--	--	--	--	--
I201	[M]記録されたれん＜攣＞縮を伴う狭心症	計	1	0.1	1	--	--	--	--	--
		男	1	0.2	1	--	--	--	--	--
		女	--	--	--	--	--	--	--	--
I209	[M]狭心症、詳細不明	計	1	0.1	1	--	--	--	--	--
		男	1	0.2	1	--	--	--	--	--
		女	--	--	--	--	--	--	--	--
I211	[M]下壁の急性貫壁性心筋梗塞	計	1	0.1	1	--	--	--	--	--
		男	1	0.2	1	--	--	--	--	--
		女	--	--	--	--	--	--	--	--
I219	[M]急性心筋梗塞、詳細不明	計	2	0.2	--	--	--	--	--	2
		男	1	0.2	--	--	--	--	--	1
		女	1	0.2	--	--	--	--	--	1

ＩＣＤ１０別・診療科別・病名数

			総数	構成比(%)	内科	外科	整形外	眼科	小児科	総診
	総数	計	1,010	100.0	471	85	227	54	1	172
		男	444	100.0	199	61	81	19	--	84
		女	566	100.0	272	24	146	35	1	88
	構成比(%)	計	100.0	--	46.6	8.4	22.5	5.3	0.1	17.0
		男	100.0	--	44.8	13.7	18.2	4.3	--	18.9
		女	100.0	--	48.1	4.2	25.8	6.2	0.2	15.5
I330	[M]急性及び亜急性感染性心内膜炎	計	2	0.2	--	--	--	--	--	2
		男	--	--	--	--	--	--	--	--
		女	2	0.4	--	--	--	--	--	2
I489	[M]心房細動及び心房粗動、詳細不明	計	2	0.2	2	--	--	--	--	--
		男	1	0.2	1	--	--	--	--	--
		女	1	0.2	1	--	--	--	--	--
I500	[M]うっ血性心不全	計	11	1.1	5	--	--	--	--	6
		男	1	0.2	--	--	--	--	--	1
		女	10	1.8	5	--	--	--	--	5
I501	[M]左室不全	計	1	0.1	--	--	--	--	--	1
		男	--	--	--	--	--	--	--	--
		女	1	0.2	--	--	--	--	--	1
I509	[M]心不全、詳細不明	計	41	4.1	29	--	--	--	--	12
		男	12	2.7	8	--	--	--	--	4
		女	29	5.1	21	--	--	--	--	8
I609	[M]くも膜下出血、詳細不明	計	1	0.1	1	--	--	--	--	--
		男	1	0.2	1	--	--	--	--	--
		女	--	--	--	--	--	--	--	--
I610	[M](大脳)半球の脳内出血、皮質下	計	3	0.3	3	--	--	--	--	--
		男	2	0.5	2	--	--	--	--	--
		女	1	0.2	1	--	--	--	--	--
I619	[M]脳内出血、詳細不明	計	2	0.2	1	--	--	--	--	1
		男	--	--	--	--	--	--	--	--
		女	2	0.4	1	--	--	--	--	1
I631	[M]脳実質外動脈（脳底動脈、頚動脈、椎骨動脈）の塞栓症による脳梗塞	計	1	0.1	--	--	--	--	--	1
		男	1	0.2	--	--	--	--	--	1
		女	--	--	--	--	--	--	--	--
I634	[M]脳動脈の塞栓症による脳梗塞	計	1	0.1	1	--	--	--	--	--
		男	--	--	--	--	--	--	--	--
		女	1	0.2	1	--	--	--	--	--
I635	[M]脳動脈の詳細不明の閉塞又は狭窄による脳梗塞	計	5	0.5	3	--	--	--	--	2
		男	4	0.9	3	--	--	--	--	1
		女	1	0.2	--	--	--	--	--	1
I638	[M]その他の脳梗塞	計	6	0.6	4	--	1	--	--	1
		男	4	0.9	2	--	1	--	--	1
		女	2	0.4	2	--	--	--	--	--
I639	[M]脳梗塞、詳細不明	計	6	0.6	4	--	--	--	--	2
		男	3	0.7	2	--	--	--	--	1
		女	3	0.5	2	--	--	--	--	1
I652	[M]頚動脈の閉塞及び狭窄	計	1	0.1	1	--	--	--	--	--
		男	1	0.2	1	--	--	--	--	--
		女	--	--	--	--	--	--	--	--

ＩＣＤ１０別・診療科別・病名数

			総数	構成比(%)	内科	外科	整形外	眼科	小児科	総診
	総数	計	1,010	100.0	471	85	227	54	1	172
		男	444	100.0	199	61	81	19	--	84
		女	566	100.0	272	24	146	35	1	88
	構成比(%)	計	100.0	--	46.6	8.4	22.5	5.3	0.1	17.0
		男	100.0	--	44.8	13.7	18.2	4.3	--	18.9
		女	100.0	--	48.1	4.2	25.8	6.2	0.2	15.5
I690	[M]くも膜下出血の続発・後遺症	計	1	0.1	1	--	--	--	--	--
		男	--	--	--	--	--	--	--	--
		女	1	0.2	1	--	--	--	--	--
I693	[M]脳梗塞の続発・後遺症	計	5	0.5	4	--	--	--	--	1
		男	--	--	--	--	--	--	--	--
		女	5	0.9	4	--	--	--	--	1
I709	[M]全身性及び詳細不明のアテローム＜じゅく＜粥＞状＞硬化（症）	計	1	0.1	--	1	--	--	--	--
		男	1	0.2	--	1	--	--	--	--
		女	--	--	--	--	--	--	--	--
I743	[M]下肢の動脈の塞栓症及び血栓症	計	2	0.2	--	--	1	--	--	1
		男	1	0.2	--	--	--	--	--	1
		女	1	0.2	--	--	1	--	--	--
I831	[M]炎症を伴う下肢の静脈瘤	計	1	0.1	--	--	--	--	--	1
		男	1	0.2	--	--	--	--	--	1
		女	--	--	--	--	--	--	--	--
J029	[M]急性咽頭炎、詳細不明	計	1	0.1	1	--	--	--	--	--
		男	--	--	--	--	--	--	--	--
		女	1	0.2	1	--	--	--	--	--
J039	[M]急性扁桃炎、詳細不明	計	1	0.1	1	--	--	--	--	--
		男	--	--	--	--	--	--	--	--
		女	1	0.2	1	--	--	--	--	--
J101	[M]その他の呼吸器症状を伴うインフルエンザ、その他のインフルエンザウイルスが分離されたもの	計	3	0.3	3	--	--	--	--	--
		男	2	0.5	2	--	--	--	--	--
		女	1	0.2	1	--	--	--	--	--
J13	[M]肺炎連鎖球菌による肺炎	計	1	0.1	1	--	--	--	--	--
		男	1	0.2	1	--	--	--	--	--
		女	--	--	--	--	--	--	--	--
J159	[M]細菌性肺炎、詳細不明	計	12	1.2	4	--	--	--	--	8
		男	9	2.0	3	--	--	--	--	6
		女	3	0.5	1	--	--	--	--	2
J180	[M]気管支肺炎、詳細不明	計	9	0.9	5	--	--	--	--	4
		男	3	0.7	1	--	--	--	--	2
		女	6	1.1	4	--	--	--	--	2
J189	[M]肺炎、詳細不明	計	59	5.8	45	3	1	--	--	10
		男	36	8.1	26	3	--	--	--	7
		女	23	4.1	19	--	1	--	--	3
J209	[M]急性気管支炎、詳細不明	計	5	0.5	4	--	--	--	--	1
		男	4	0.9	3	--	--	--	--	1
		女	1	0.2	1	--	--	--	--	--
J329	[M]慢性副鼻腔炎、詳細不明	計	1	0.1	--	--	--	--	--	1
		男	1	0.2	--	--	--	--	--	1
		女	--	--	--	--	--	--	--	--

ＩＣＤ１０別・診療科別・病名数

			総数	構成比(%)	内科	外科	整形外	眼科	小児科	総診
	総数	計	1,010	100.0	471	85	227	54	1	172
		男	444	100.0	199	61	81	19	--	84
		女	566	100.0	272	24	146	35	1	88
	構成比(%)	計	100.0	--	46.6	8.4	22.5	5.3	0.1	17.0
		男	100.0	--	44.8	13.7	18.2	4.3	--	18.9
		女	100.0	--	48.1	4.2	25.8	6.2	0.2	15.5
J40	[M]気管支炎、急性又は慢性と明示されないもの	計	1	0.1	--	--	--	--	--	1
		男	--	--	--	--	--	--	--	--
		女	1	0.2	--	--	--	--	--	1
J441	[M]急性増悪を伴う慢性閉塞性肺疾患、詳細不明	計	1	0.1	1	--	--	--	--	--
		男	1	0.2	1	--	--	--	--	--
		女	--	--	--	--	--	--	--	--
J449	[M]慢性閉塞性肺疾患、詳細不明	計	2	0.2	1	--	--	--	--	1
		男	2	0.5	1	--	--	--	--	1
		女	--	--	--	--	--	--	--	--
J459	[M]喘息、詳細不明	計	2	0.2	2	--	--	--	--	--
		男	--	--	--	--	--	--	--	--
		女	2	0.4	2	--	--	--	--	--
J46	[M]喘息発作重積状態	計	2	0.2	1	--	--	--	--	1
		男	1	0.2	--	--	--	--	--	1
		女	1	0.2	1	--	--	--	--	--
J690	[M]食物及び吐物による肺臓炎	計	42	4.2	36	--	--	--	--	6
		男	26	5.9	23	--	--	--	--	3
		女	16	2.8	13	--	--	--	--	3
J849	[M]間質性肺疾患、詳細不明	計	1	0.1	--	--	--	--	--	1
		男	1	0.2	--	--	--	--	--	1
		女	--	--	--	--	--	--	--	--
J9609	[I*]急性呼吸不全	計	2	0.2	1	--	--	--	--	1
		男	2	0.5	1	--	--	--	--	1
		女	--	--	--	--	--	--	--	--
J9699	[I]呼吸不全	計	1	0.1	1	--	--	--	--	--
		男	1	0.2	1	--	--	--	--	--
		女	--	--	--	--	--	--	--	--
K112	[M]唾液腺炎	計	2	0.2	--	--	--	--	--	2
		男	1	0.2	--	--	--	--	--	1
		女	1	0.2	--	--	--	--	--	1
K226	[M]食道胃接合部裂傷出血症候群	計	1	0.1	--	--	--	--	--	1
		男	1	0.2	--	--	--	--	--	1
		女	--	--	--	--	--	--	--	--
K259	[M]急性又は慢性の別不明、出血又は穿孔を伴わないもの【胃潰瘍】	計	1	0.1	--	--	--	--	--	1
		男	1	0.2	--	--	--	--	--	1
		女	--	--	--	--	--	--	--	--
K263	[M]急性、出血又は穿孔を伴わないもの【十二指腸潰瘍】	計	1	0.1	--	--	--	--	--	1
		男	1	0.2	--	--	--	--	--	1
		女	--	--	--	--	--	--	--	--
K265	[M]慢性又は詳細不明、穿孔を伴うもの【十二指腸潰瘍】	計	1	0.1	1	--	--	--	--	--
		男	--	--	--	--	--	--	--	--
		女	1	0.2	1	--	--	--	--	--

ＩＣＤ１０別・診療科別・病名数

			総数	構成比(%)	内科	外科	整形外	眼科	小児科	総診
	総数	計	1,010	100.0	471	85	227	54	1	172
		男	444	100.0	199	61	81	19	--	84
		女	566	100.0	272	24	146	35	1	88
	構成比(%)	計	100.0	--	46.6	8.4	22.5	5.3	0.1	17.0
		男	100.0	--	44.8	13.7	18.2	4.3	--	18.9
		女	100.0	--	48.1	4.2	25.8	6.2	0.2	15.5
K279	[M]急性又は慢性の別不明、出血又は穿孔を伴わないもの【部位不明の消化性潰瘍】	計	2	0.2	2	--	--	--	--	--
		男	1	0.2	1	--	--	--	--	--
		女	1	0.2	1	--	--	--	--	--
K350	[I]虫垂炎性腹膜炎	計	1	0.1	--	1	--	--	--	--
		男	--	--	--	--	--	--	--	--
		女	1	0.2	--	1	--	--	--	--
K358	[M]急性虫垂炎、その他及び詳細不明	計	4	0.4	--	4	--	--	--	--
		男	4	0.9	--	4	--	--	--	--
		女	--	--	--	--	--	--	--	--
K359	[I*]急性化膿性虫垂炎	計	3	0.3	--	3	--	--	--	--
		男	2	0.5	--	2	--	--	--	--
		女	1	0.2	--	1	--	--	--	--
K409	[M]一側性又は患側不明のそけい＜鼠径＞ヘルニア、閉塞及びえ＜壊＞疽を伴わないもの	計	11	1.1	--	11	--	--	--	--
		男	9	2.0	--	9	--	--	--	--
		女	2	0.4	--	2	--	--	--	--
K449	[M]横隔膜ヘルニア、閉塞及びえ＜壊＞疽を伴わないもの	計	1	0.1	--	--	--	--	--	1
		男	--	--	--	--	--	--	--	--
		女	1	0.2	--	--	--	--	--	1
K529	[M]非感染性胃腸炎及び非感染性大腸炎、詳細不明	計	1	0.1	1	--	--	--	--	--
		男	--	--	--	--	--	--	--	--
		女	1	0.2	1	--	--	--	--	--
K550	[M]腸の急性血行障害	計	1	0.1	1	--	--	--	--	--
		男	--	--	--	--	--	--	--	--
		女	1	0.2	1	--	--	--	--	--
K559	[M]腸の血行障害、詳細不明	計	4	0.4	4	--	--	--	--	--
		男	1	0.2	1	--	--	--	--	--
		女	3	0.5	3	--	--	--	--	--
K562	[M]軸捻（転）	計	3	0.3	--	3	--	--	--	--
		男	3	0.7	--	3	--	--	--	--
		女	--	--	--	--	--	--	--	--
K565	[M]閉塞を伴う腸癒着[索条物]	計	2	0.2	2	--	--	--	--	--
		男	1	0.2	1	--	--	--	--	--
		女	1	0.2	1	--	--	--	--	--
K567	[M]イレウス、詳細不明	計	3	0.3	1	2	--	--	--	--
		男	1	0.2	--	1	--	--	--	--
		女	2	0.4	1	1	--	--	--	--
K573	[M]穿孔又は膿瘍を伴わない大腸の憩室性疾患	計	3	0.3	3	--	--	--	--	--
		男	2	0.5	2	--	--	--	--	--
		女	1	0.2	1	--	--	--	--	--
K589	[M]下痢を伴わない過敏性腸症候群	計	1	0.1	1	--	--	--	--	--
		男	1	0.2	1	--	--	--	--	--
		女	--	--	--	--	--	--	--	--

ＩＣＤ１０別・診療科別・病名数

			総数	構成比(%)	内科	外科	整形外	眼科	小児科	総診
	総数	計	1,010	100.0	471	85	227	54	1	172
		男	444	100.0	199	61	81	19	--	84
		女	566	100.0	272	24	146	35	1	88
	構成比(%)	計	100.0	--	46.6	8.4	22.5	5.3	0.1	17.0
		男	100.0	--	44.8	13.7	18.2	4.3	--	18.9
		女	100.0	--	48.1	4.2	25.8	6.2	0.2	15.5
K590	[M]便秘	計	1	0.1	--	--	--	--	--	1
		男	--	--	--	--	--	--	--	--
		女	1	0.2	--	--	--	--	--	1
K610	[M]肛門膿瘍	計	1	0.1	--	1	--	--	--	--
		男	1	0.2	--	1	--	--	--	--
		女	--	--	--	--	--	--	--	--
K625	[M]肛門及び直腸の出血	計	1	0.1	1	--	--	--	--	--
		男	1	0.2	1	--	--	--	--	--
		女	--	--	--	--	--	--	--	--
K626	[M]肛門及び直腸の潰瘍	計	1	0.1	--	1	--	--	--	--
		男	1	0.2	--	1	--	--	--	--
		女	--	--	--	--	--	--	--	--
K631	[M]腸穿孔（非外傷性）	計	1	0.1	--	1	--	--	--	--
		男	1	0.2	--	1	--	--	--	--
		女	--	--	--	--	--	--	--	--
K635	[M]大腸＜結腸＞のポリープ	計	22	2.2	20	--	--	--	--	2
		男	16	3.6	16	--	--	--	--	--
		女	6	1.1	4	--	--	--	--	2
K701	[M]アルコール性肝炎	計	1	0.1	1	--	--	--	--	--
		男	1	0.2	1	--	--	--	--	--
		女	--	--	--	--	--	--	--	--
K703	[M]アルコール性肝硬変	計	1	0.1	1	--	--	--	--	--
		男	1	0.2	1	--	--	--	--	--
		女	--	--	--	--	--	--	--	--
K729	[M]肝不全、詳細不明	計	1	0.1	1	--	--	--	--	--
		男	1	0.2	1	--	--	--	--	--
		女	--	--	--	--	--	--	--	--
K769	[M]肝疾患、詳細不明	計	1	0.1	1	--	--	--	--	--
		男	--	--	--	--	--	--	--	--
		女	1	0.2	1	--	--	--	--	--
K802	[M]胆のう＜嚢＞炎を伴わない胆のう＜嚢＞結石	計	3	0.3	--	3	--	--	--	--
		男	3	0.7	--	3	--	--	--	--
		女	--	--	--	--	--	--	--	--
K803	[M]胆管炎を伴う胆管結石	計	2	0.2	1	1	--	--	--	--
		男	--	--	--	--	--	--	--	--
		女	2	0.4	1	1	--	--	--	--
K805	[M]胆管炎及び胆のう＜嚢＞炎を伴わない胆管結石	計	5	0.5	2	3	--	--	--	--
		男	3	0.7	--	3	--	--	--	--
		女	2	0.4	2	--	--	--	--	--
K810	[M]急性胆のう＜嚢＞炎	計	6	0.6	3	3	--	--	--	--
		男	2	0.5	1	1	--	--	--	--
		女	4	0.7	2	2	--	--	--	--

ＩＣＤ１０別・診療科別・病名数

			総数	構成比(%)	内科	外科	整形外	眼科	小児科	総診
	総数	計	1,010	100.0	471	85	227	54	1	172
		男	444	100.0	199	61	81	19	--	84
		女	566	100.0	272	24	146	35	1	88
	構成比(%)	計	100.0	--	46.6	8.4	22.5	5.3	0.1	17.0
		男	100.0	--	44.8	13.7	18.2	4.3	--	18.9
		女	100.0	--	48.1	4.2	25.8	6.2	0.2	15.5
K819	[M]胆のう＜嚢＞炎、詳細不明	計	1	0.1	1	--	--	--	--	--
		男	1	0.2	1	--	--	--	--	--
		女	--	--	--	--	--	--	--	--
K830	[M]胆管炎	計	8	0.8	6	1	--	--	--	1
		男	4	0.9	4	--	--	--	--	--
		女	4	0.7	2	1	--	--	--	1
K85	[M]急性膵炎	計	1	0.1	1	--	--	--	--	--
		男	--	--	--	--	--	--	--	--
		女	1	0.2	1	--	--	--	--	--
K859	[M]急性膵炎、詳細不明	計	3	0.3	2	1	--	--	--	--
		男	2	0.5	1	1	--	--	--	--
		女	1	0.2	1	--	--	--	--	--
K861	[M]その他の慢性膵炎	計	1	0.1	1	--	--	--	--	--
		男	1	0.2	1	--	--	--	--	--
		女	--	--	--	--	--	--	--	--
K913	[M]術後腸閉塞	計	1	0.1	1	--	--	--	--	--
		男	--	--	--	--	--	--	--	--
		女	1	0.2	1	--	--	--	--	--
K921	[M]メレナ	計	1	0.1	1	--	--	--	--	--
		男	--	--	--	--	--	--	--	--
		女	1	0.2	1	--	--	--	--	--
K922	[M]胃腸出血、詳細不明	計	5	0.5	5	--	--	--	--	--
		男	2	0.5	2	--	--	--	--	--
		女	3	0.5	3	--	--	--	--	--
L023	[M]殿部の皮膚膿瘍、せつ＜フルンケル＞及びよう＜カルブンケル＞	計	2	0.2	1	1	--	--	--	--
		男	1	0.2	--	1	--	--	--	--
		女	1	0.2	1	--	--	--	--	--
L031	[M]（四）肢のその他の部位の蜂巣炎＜蜂窩織炎＞	計	6	0.6	1	--	3	--	--	2
		男	2	0.5	--	--	2	--	--	--
		女	4	0.7	1	--	1	--	--	2
L032	[M]顔面の蜂巣炎＜蜂窩織炎＞	計	1	0.1	1	--	--	--	--	--
		男	--	--	--	--	--	--	--	--
		女	1	0.2	1	--	--	--	--	--
L033	[M]体幹の蜂巣炎＜蜂窩織炎＞	計	1	0.1	1	--	--	--	--	--
		男	--	--	--	--	--	--	--	--
		女	1	0.2	1	--	--	--	--	--
L039	[M]蜂巣炎＜蜂窩織炎＞、詳細不明	計	2	0.2	--	1	1	--	--	--
		男	--	--	--	--	--	--	--	--
		女	2	0.4	--	1	1	--	--	--
L089	[M]皮膚及び皮下組織の局所感染症、詳細不明	計	1	0.1	--	1	--	--	--	--
		男	1	0.2	--	1	--	--	--	--
		女	--	--	--	--	--	--	--	--

ＩＣＤ１０別・診療科別・病名数

			総数	構成比(%)	内科	外科	整形外	眼科	小児科	総診
	総数	計	1,010	100.0	471	85	227	54	1	172
		男	444	100.0	199	61	81	19	--	84
		女	566	100.0	272	24	146	35	1	88
	構成比(%)	計	100.0	--	46.6	8.4	22.5	5.3	0.1	17.0
		男	100.0	--	44.8	13.7	18.2	4.3	--	18.9
		女	100.0	--	48.1	4.2	25.8	6.2	0.2	15.5
L120	[M]水疱性類天疱瘡	計	1	0.1	1	--	--	--	--	--
		男	--	--	--	--	--	--	--	--
		女	1	0.2	1	--	--	--	--	--
L89	[M]じょく＜褥＞瘡性潰瘍及び圧迫領域	計	1	0.1	1	--	--	--	--	--
		男	--	--	--	--	--	--	--	--
		女	1	0.2	1	--	--	--	--	--
L984	[M]皮膚の慢性潰瘍、他に分類されないもの	計	2	0.2	--	--	2	--	--	--
		男	--	--	--	--	--	--	--	--
		女	2	0.4	--	--	2	--	--	--
M0094	[I]右中指化膿性関節炎・指関節	計	1	0.1	--	--	1	--	--	--
		男	--	--	--	--	--	--	--	--
		女	1	0.2	--	--	1	--	--	--
M1123	[I]左手関節偽痛風	計	1	0.1	--	--	1	--	--	--
		男	--	--	--	--	--	--	--	--
		女	1	0.2	--	--	1	--	--	--
M1128	[I]頚椎偽痛風の疑い	計	1	0.1	1	--	--	--	--	--
		男	1	0.2	1	--	--	--	--	--
		女	--	--	--	--	--	--	--	--
M1316	[I]右化膿性膝関節炎	計	1	0.1	--	--	1	--	--	--
		男	--	--	--	--	--	--	--	--
		女	1	0.2	--	--	1	--	--	--
M169	[M]股関節症、詳細不明	計	3	0.3	--	--	3	--	--	--
		男	1	0.2	--	--	1	--	--	--
		女	2	0.4	--	--	2	--	--	--
M179	[M]膝関節症、詳細不明	計	10	1.0	--	--	10	--	--	--
		男	--	--	--	--	--	--	--	--
		女	10	1.8	--	--	10	--	--	--
M1995	[I]右仙腸関節症	計	1	0.1	--	--	1	--	--	--
		男	--	--	--	--	--	--	--	--
		女	1	0.2	--	--	1	--	--	--
M2316	[I]左円板状外側半月板	計	1	0.1	--	--	1	--	--	--
		男	1	0.2	--	--	1	--	--	--
		女	--	--	--	--	--	--	--	--
M2441	[I]左反復性肩関節脱臼	計	1	0.1	--	--	1	--	--	--
		男	1	0.2	--	--	1	--	--	--
		女	--	--	--	--	--	--	--	--
M332	[M]多発性筋炎	計	1	0.1	1	--	--	--	--	--
		男	--	--	--	--	--	--	--	--
		女	1	0.2	1	--	--	--	--	--
M4639	[I]化膿性椎間板炎	計	1	0.1	1	--	--	--	--	--
		男	--	--	--	--	--	--	--	--
		女	1	0.2	1	--	--	--	--	--

ＩＣＤ１０別・診療科別・病名数

			総数	構成比(%)	内科	外科	整形外	眼科	小児科	総診
	総数	計	1,010	100.0	471	85	227	54	1	172
		男	444	100.0	199	61	81	19	--	84
		女	566	100.0	272	24	146	35	1	88
	構成比(%)	計	100.0	--	46.6	8.4	22.5	5.3	0.1	17.0
		男	100.0	--	44.8	13.7	18.2	4.3	--	18.9
		女	100.0	--	48.1	4.2	25.8	6.2	0.2	15.5
M4712	[I*]頚椎症性脊髄症	計	6	0.6	--	--	6	--	--	--
		男	4	0.9	--	--	4	--	--	--
		女	2	0.4	--	--	2	--	--	--
M4722	[I]頚椎症性神経根症	計	1	0.1	--	--	1	--	--	--
		男	--	--	--	--	--	--	--	--
		女	1	0.2	--	--	1	--	--	--
M4806	[I*]腰部脊柱管狭窄症	計	9	0.9	--	--	9	--	--	--
		男	1	0.2	--	--	1	--	--	--
		女	8	1.4	--	--	8	--	--	--
M512	[M]その他の明示された椎間板ヘルニア＜変位＞	計	1	0.1	--	--	1	--	--	--
		男	1	0.2	--	--	1	--	--	--
		女	--	--	--	--	--	--	--	--
M519	[M]椎間板障害、詳細不明	計	1	0.1	--	--	1	--	--	--
		男	1	0.2	--	--	1	--	--	--
		女	--	--	--	--	--	--	--	--
M6259	[I*]廃用症候群	計	6	0.6	4	--	--	--	--	2
		男	3	0.7	2	--	--	--	--	1
		女	3	0.5	2	--	--	--	--	1
M6289	[I]薬剤性横紋筋融解症の疑い	計	1	0.1	1	--	--	--	--	--
		男	1	0.2	1	--	--	--	--	--
		女	--	--	--	--	--	--	--	--
M6534	[I*]左示指ばね指	計	2	0.2	--	--	2	--	--	--
		男	1	0.2	--	--	1	--	--	--
		女	1	0.2	--	--	1	--	--	--
M7022	[I]右肘頭滑液包炎	計	1	0.1	--	--	1	--	--	--
		男	--	--	--	--	--	--	--	--
		女	1	0.2	--	--	1	--	--	--
M7046	[I]右膝蓋前滑液包炎	計	1	0.1	--	--	1	--	--	--
		男	--	--	--	--	--	--	--	--
		女	1	0.2	--	--	1	--	--	--
M754	[M]肩のインピンジメント症候群	計	1	0.1	--	--	1	--	--	--
		男	1	0.2	--	--	1	--	--	--
		女	--	--	--	--	--	--	--	--
M7666	[I]両アキレス腱滑液包炎	計	1	0.1	--	--	1	--	--	--
		男	1	0.2	--	--	1	--	--	--
		女	--	--	--	--	--	--	--	--
M8418	[I]第２腰椎偽関節	計	1	0.1	--	--	1	--	--	--
		男	1	0.2	--	--	1	--	--	--
		女	--	--	--	--	--	--	--	--
M8706	[I]右膝関節特発性骨壊死の術後	計	1	0.1	--	--	1	--	--	--
		男	--	--	--	--	--	--	--	--
		女	1	0.2	--	--	1	--	--	--

ＩＣＤ１０別・診療科別・病名数

			総数	構成比(%)	内科	外科	整形外	眼科	小児科	総診
	総数	計	1,010	100.0	471	85	227	54	1	172
		男	444	100.0	199	61	81	19	--	84
		女	566	100.0	272	24	146	35	1	88
	構成比(%)	計	100.0	--	46.6	8.4	22.5	5.3	0.1	17.0
		男	100.0	--	44.8	13.7	18.2	4.3	--	18.9
		女	100.0	--	48.1	4.2	25.8	6.2	0.2	15.5
M932	[M]離断性骨軟骨炎	計	1	0.1	--	--	1	--	--	--
		男	1	0.2	--	--	1	--	--	--
		女	--	--	--	--	--	--	--	--
N10	[M]急性尿細管間質性腎炎	計	16	1.6	11	1	1	--	--	3
		男	5	1.1	3	1	--	--	--	1
		女	11	1.9	8	--	1	--	--	2
N12	[M]尿細管間質性腎炎、急性又は慢性と明示されないもの	計	7	0.7	7	--	--	--	--	--
		男	2	0.5	2	--	--	--	--	--
		女	5	0.9	5	--	--	--	--	--
N178	[M]その他の急性腎不全	計	1	0.1	--	--	--	--	--	1
		男	--	--	--	--	--	--	--	--
		女	1	0.2	--	--	--	--	--	1
N179	[M]急性腎不全、詳細不明	計	1	0.1	--	--	--	--	--	1
		男	1	0.2	--	--	--	--	--	1
		女	--	--	--	--	--	--	--	--
N189	[M]慢性腎臓病、詳細不明	計	2	0.2	1	--	--	--	--	1
		男	2	0.5	1	--	--	--	--	1
		女	--	--	--	--	--	--	--	--
N19	[M]詳細不明の腎不全	計	3	0.3	2	--	--	--	--	1
		男	3	0.7	2	--	--	--	--	1
		女	--	--	--	--	--	--	--	--
N209	[M]尿路結石、詳細不明	計	2	0.2	2	--	--	--	--	--
		男	--	--	--	--	--	--	--	--
		女	2	0.4	2	--	--	--	--	--
N281	[M]腎のう＜嚢＞胞、後天性	計	1	0.1	1	--	--	--	--	--
		男	--	--	--	--	--	--	--	--
		女	1	0.2	1	--	--	--	--	--
N309	[M]膀胱炎、詳細不明	計	1	0.1	1	--	--	--	--	--
		男	--	--	--	--	--	--	--	--
		女	1	0.2	1	--	--	--	--	--
N319	[M]神経因性膀胱(機能障害)、詳細不明	計	1	0.1	1	--	--	--	--	--
		男	1	0.2	1	--	--	--	--	--
		女	--	--	--	--	--	--	--	--
N390	[M]尿路感染症、部位不明	計	19	1.9	13	--	--	--	--	6
		男	4	0.9	3	--	--	--	--	1
		女	15	2.7	10	--	--	--	--	5
Q433a	[M]腸回転異常（症）及び総腸間膜症	計	3	0.3	3	--	--	--	--	--
		男	3	0.7	3	--	--	--	--	--
		女	--	--	--	--	--	--	--	--
R074	[M]胸痛、詳細不明	計	1	0.1	1	--	--	--	--	--
		男	1	0.2	1	--	--	--	--	--
		女	--	--	--	--	--	--	--	--

ＩＣＤ１０別・診療科別・病名数

			総数	構成比(%)	内科	外科	整形外	眼科	小児科	総診
	総数	計	1,010	100.0	471	85	227	54	1	172
		男	444	100.0	199	61	81	19	--	84
		女	566	100.0	272	24	146	35	1	88
	構成比(%)	計	100.0	--	46.6	8.4	22.5	5.3	0.1	17.0
		男	100.0	--	44.8	13.7	18.2	4.3	--	18.9
		女	100.0	--	48.1	4.2	25.8	6.2	0.2	15.5
R100	[M]急性腹症	計	1	0.1	--	1	--	--	--	--
		男	--	--	--	--	--	--	--	--
		女	1	0.2	--	1	--	--	--	--
R104	[M]その他及び詳細不明の腹痛	計	2	0.2	2	--	--	--	--	--
		男	2	0.5	2	--	--	--	--	--
		女	--	--	--	--	--	--	--	--
R11	[M]悪心及び嘔吐	計	1	0.1	--	--	--	--	--	1
		男	--	--	--	--	--	--	--	--
		女	1	0.2	--	--	--	--	--	1
R13	[M]えん＜嚥＞下障害	計	3	0.3	--	--	--	--	--	3
		男	2	0.5	--	--	--	--	--	2
		女	1	0.2	--	--	--	--	--	1
R17	[M]詳細不明の黄疸	計	1	0.1	1	--	--	--	--	--
		男	1	0.2	1	--	--	--	--	--
		女	--	--	--	--	--	--	--	--
R252	[M](有痛性)けいれん＜痙攣＞【異常不随意運動】	計	1	0.1	--	--	--	--	--	1
		男	1	0.2	--	--	--	--	--	1
		女	--	--	--	--	--	--	--	--
R268	[M]歩行及び移動のその他及び詳細不明の異常	計	1	0.1	1	--	--	--	--	--
		男	--	--	--	--	--	--	--	--
		女	1	0.2	1	--	--	--	--	--
R270	[M]運動失調（症）、詳細不明	計	1	0.1	--	--	--	--	--	1
		男	--	--	--	--	--	--	--	--
		女	1	0.2	--	--	--	--	--	1
R298	[M]神経系及び筋骨格系に関するその他及び詳細不明の症状及び徴候【神経系及び筋骨格系に関するその他の症状及び徴候】	計	1	0.1	1	--	--	--	--	--
		男	--	--	--	--	--	--	--	--
		女	1	0.2	1	--	--	--	--	--
R33	[M]尿閉	計	5	0.5	4	1	--	--	--	--
		男	5	1.1	4	1	--	--	--	--
		女	--	--	--	--	--	--	--	--
R402	[M]昏睡、詳細不明	計	6	0.6	2	--	--	--	--	4
		男	3	0.7	--	--	--	--	--	3
		女	3	0.5	2	--	--	--	--	1
R42	[M]めまい＜眩暈＞感及びよろめき感	計	6	0.6	4	--	--	--	--	2
		男	2	0.5	1	--	--	--	--	1
		女	4	0.7	3	--	--	--	--	1
R509	[M]発熱、詳細不明	計	1	0.1	--	--	--	--	1	--
		男	--	--	--	--	--	--	--	--
		女	1	0.2	--	--	--	--	1	--
R522	[M]その他の慢性疼痛	計	3	0.3	--	3	--	--	--	--
		男	3	0.7	--	3	--	--	--	--
		女	--	--	--	--	--	--	--	--

ＩＣＤ１０別・診療科別・病名数

			総数	構成比(%)	内科	外科	整形外	眼科	小児科	総診
	総数	計	1,010	100.0	471	85	227	54	1	172
		男	444	100.0	199	61	81	19	--	84
		女	566	100.0	272	24	146	35	1	88
	構成比(%)	計	100.0	--	46.6	8.4	22.5	5.3	0.1	17.0
		男	100.0	--	44.8	13.7	18.2	4.3	--	18.9
		女	100.0	--	48.1	4.2	25.8	6.2	0.2	15.5
R53	[M]倦怠(感)及び疲労	計	1	0.1	--	1	--	--	--	--
		男	--	--	--	--	--	--	--	--
		女	1	0.2	--	1	--	--	--	--
R54	[M]老衰	計	18	1.8	10	--	--	--	--	8
		男	5	1.1	4	--	--	--	--	1
		女	13	2.3	6	--	--	--	--	7
R55	[M]失神及び虚脱	計	4	0.4	3	--	--	--	--	1
		男	1	0.2	1	--	--	--	--	--
		女	3	0.5	2	--	--	--	--	1
R568	[M]その他及び詳細不明のけいれん＜痙攣＞	計	2	0.2	2	--	--	--	--	--
		男	--	--	--	--	--	--	--	--
		女	2	0.4	2	--	--	--	--	--
R579	[M]ショック、詳細不明	計	1	0.1	1	--	--	--	--	--
		男	--	--	--	--	--	--	--	--
		女	1	0.2	1	--	--	--	--	--
R630	[M]食欲不振	計	8	0.8	5	--	--	--	--	3
		男	2	0.5	--	--	--	--	--	2
		女	6	1.1	5	--	--	--	--	1
R634	[M]異常体重減少	計	2	0.2	1	--	--	--	--	1
		男	2	0.5	1	--	--	--	--	1
		女	--	--	--	--	--	--	--	--
S000	[M]頭皮の表在損傷	計	2	0.2	1	--	1	--	--	--
		男	--	--	--	--	--	--	--	--
		女	2	0.4	1	--	1	--	--	--
S062	[M]びまん性脳損傷	計	1	0.1	1	--	--	--	--	--
		男	1	0.2	1	--	--	--	--	--
		女	--	--	--	--	--	--	--	--
S0650	[I]右外傷性慢性硬膜下血腫	計	1	0.1	1	--	--	--	--	--
		男	1	0.2	1	--	--	--	--	--
		女	--	--	--	--	--	--	--	--
S099	[M]頭部の詳細不明の損傷	計	2	0.2	2	--	--	--	--	--
		男	1	0.2	1	--	--	--	--	--
		女	1	0.2	1	--	--	--	--	--
S134	[M]頚椎の捻挫及びストレイン	計	1	0.1	--	1	--	--	--	--
		男	1	0.2	--	1	--	--	--	--
		女	--	--	--	--	--	--	--	--
S141	[M]頚髄のその他及び詳細不明の損傷	計	3	0.3	--	--	3	--	--	--
		男	3	0.7	--	--	3	--	--	--
		女	--	--	--	--	--	--	--	--
S2200	[I*]第１２胸椎椎体骨折	計	15	1.5	--	--	15	--	--	--
		男	4	0.9	--	--	4	--	--	--
		女	11	1.9	--	--	11	--	--	--

ＩＣＤ１０別・診療科別・病名数

			総数	構成比(%)	内科	外科	整形外	眼科	小児科	総診
	総数	計	1,010	100.0	471	85	227	54	1	172
		男	444	100.0	199	61	81	19	--	84
		女	566	100.0	272	24	146	35	1	88
	構成比(%)	計	100.0	--	46.6	8.4	22.5	5.3	0.1	17.0
		男	100.0	--	44.8	13.7	18.2	4.3	--	18.9
		女	100.0	--	48.1	4.2	25.8	6.2	0.2	15.5
S2220	[I]胸骨骨折	計	1	0.1	--	--	1	--	--	--
		男	1	0.2	--	--	1	--	--	--
		女	--	--	--	--	--	--	--	--
S2230	[I*]右第１０肋骨骨折	計	3	0.3	--	1	2	--	--	--
		男	--	--	--	--	--	--	--	--
		女	3	0.5	--	1	2	--	--	--
S3200	[I*]第５腰椎椎体骨折	計	18	1.8	1	--	17	--	--	--
		男	7	1.6	1	--	6	--	--	--
		女	11	1.9	--	--	11	--	--	--
S3210	[I]仙骨骨折	計	1	0.1	--	--	1	--	--	--
		男	--	--	--	--	--	--	--	--
		女	1	0.2	--	--	1	--	--	--
S3230	[I]左腸骨骨折	計	1	0.1	--	--	1	--	--	--
		男	1	0.2	--	--	1	--	--	--
		女	--	--	--	--	--	--	--	--
S3250	[I*]右恥骨骨折	計	3	0.3	--	--	3	--	--	--
		男	--	--	--	--	--	--	--	--
		女	3	0.5	--	--	3	--	--	--
S3280	[I]左坐骨骨折	計	1	0.1	--	--	1	--	--	--
		男	--	--	--	--	--	--	--	--
		女	1	0.2	--	--	1	--	--	--
S4210	[I*]右肩甲骨関節窩骨折	計	2	0.2	--	--	2	--	--	--
		男	1	0.2	--	--	1	--	--	--
		女	1	0.2	--	--	1	--	--	--
S4220	[I*]右上腕骨外科頚骨折	計	4	0.4	--	--	4	--	--	--
		男	1	0.2	--	--	1	--	--	--
		女	3	0.5	--	--	3	--	--	--
S4240	[I]上腕骨通顆骨折	計	1	0.1	--	--	1	--	--	--
		男	--	--	--	--	--	--	--	--
		女	1	0.2	--	--	1	--	--	--
S430	[M]肩関節脱臼	計	1	0.1	--	--	1	--	--	--
		男	--	--	--	--	--	--	--	--
		女	1	0.2	--	--	1	--	--	--
S460	[M]肩(回旋筋)腱板の筋及び腱の損傷	計	2	0.2	--	--	2	--	--	--
		男	2	0.5	--	--	2	--	--	--
		女	--	--	--	--	--	--	--	--
S498	[M]肩及び上腕のその他の明示された損傷	計	1	0.1	--	--	1	--	--	--
		男	1	0.2	--	--	1	--	--	--
		女	--	--	--	--	--	--	--	--
S5200	[I*]左肘頭骨折	計	3	0.3	--	--	3	--	--	--
		男	2	0.5	--	--	2	--	--	--
		女	1	0.2	--	--	1	--	--	--

ＩＣＤ１０別・診療科別・病名数

			総数	構成比(%)	内科	外科	整形外	眼科	小児科	総診
	総数	計	1,010	100.0	471	85	227	54	1	172
		男	444	100.0	199	61	81	19	--	84
		女	566	100.0	272	24	146	35	1	88
	構成比(%)	計	100.0	--	46.6	8.4	22.5	5.3	0.1	17.0
		男	100.0	--	44.8	13.7	18.2	4.3	--	18.9
		女	100.0	--	48.1	4.2	25.8	6.2	0.2	15.5
S5230	[I]右橈骨骨幹部骨折	計	1	0.1	--	--	1	--	--	--
		男	1	0.2	--	--	1	--	--	--
		女	--	--	--	--	--	--	--	--
S5250	[I*]左橈骨遠位端骨折	計	7	0.7	--	--	7	--	--	--
		男	1	0.2	--	--	1	--	--	--
		女	6	1.1	--	--	6	--	--	--
S533	[M]内側側副靱帯の外傷性断裂	計	1	0.1	--	--	1	--	--	--
		男	1	0.2	--	--	1	--	--	--
		女	--	--	--	--	--	--	--	--
S6230	[I]左第３中手骨骨折	計	1	0.1	--	--	1	--	--	--
		男	--	--	--	--	--	--	--	--
		女	1	0.2	--	--	1	--	--	--
S6260	[I]左小指基節骨骨折	計	1	0.1	--	--	1	--	--	--
		男	1	0.2	--	--	1	--	--	--
		女	--	--	--	--	--	--	--	--
S6261	[I]右示指末節骨開放骨折	計	1	0.1	--	--	1	--	--	--
		男	1	0.2	--	--	1	--	--	--
		女	--	--	--	--	--	--	--	--
S681	[M]その他の単指の外傷性切断（完全）（部分的）	計	1	0.1	--	--	1	--	--	--
		男	--	--	--	--	--	--	--	--
		女	1	0.2	--	--	1	--	--	--
S7200	[I*]左大腿骨頚部骨折	計	9	0.9	--	--	9	--	--	--
		男	2	0.5	--	--	2	--	--	--
		女	7	1.2	--	--	7	--	--	--
S7210	[I*]大腿骨転子部骨折の術後	計	20	2.0	--	--	20	--	--	--
		男	1	0.2	--	--	1	--	--	--
		女	19	3.4	--	--	19	--	--	--
S7230	[I*]右大腿骨骨幹部骨折	計	2	0.2	--	--	2	--	--	--
		男	--	--	--	--	--	--	--	--
		女	2	0.4	--	--	2	--	--	--
S7240	[I*]大腿骨顆上骨折	計	2	0.2	--	--	2	--	--	--
		男	--	--	--	--	--	--	--	--
		女	2	0.4	--	--	2	--	--	--
S800	[M]膝の挫傷	計	2	0.2	--	--	2	--	--	--
		男	--	--	--	--	--	--	--	--
		女	2	0.4	--	--	2	--	--	--
S8200	[I*]右膝蓋骨骨折	計	5	0.5	--	--	5	--	--	--
		男	2	0.5	--	--	2	--	--	--
		女	3	0.5	--	--	3	--	--	--
S8201	[I]膝蓋骨開放骨折の術後	計	1	0.1	--	--	1	--	--	--
		男	--	--	--	--	--	--	--	--
		女	1	0.2	--	--	1	--	--	--

ＩＣＤ１０別・診療科別・病名数

			総数	構成比(%)	内科	外科	整形外	眼科	小児科	総診
	総数	計	1,010	100.0	471	85	227	54	1	172
		男	444	100.0	199	61	81	19	--	84
		女	566	100.0	272	24	146	35	1	88
	構成比(%)	計	100.0	--	46.6	8.4	22.5	5.3	0.1	17.0
		男	100.0	--	44.8	13.7	18.2	4.3	--	18.9
		女	100.0	--	48.1	4.2	25.8	6.2	0.2	15.5
S8210	[I*]脛骨近位端骨折の術後	計	5	0.5	--	--	5	--	--	--
		男	2	0.5	--	--	2	--	--	--
		女	3	0.5	--	--	3	--	--	--
S8220	[I*]左脛骨腓骨骨折の術後	計	2	0.2	--	--	2	--	--	--
		男	1	0.2	--	--	1	--	--	--
		女	1	0.2	--	--	1	--	--	--
S8250	[I*]左足関節内果骨折の術後	計	2	0.2	--	--	2	--	--	--
		男	1	0.2	--	--	1	--	--	--
		女	1	0.2	--	--	1	--	--	--
S8260	[I*]右足関節外果骨折	計	3	0.3	--	--	3	--	--	--
		男	2	0.5	--	--	2	--	--	--
		女	1	0.2	--	--	1	--	--	--
S8280	[I]左足関節脱臼骨折の術後	計	1	0.1	--	--	1	--	--	--
		男	1	0.2	--	--	1	--	--	--
		女	--	--	--	--	--	--	--	--
S832	[M]半月裂傷＜断裂＞＜Ｔｅａｒ＞、新鮮損傷	計	1	0.1	--	--	1	--	--	--
		男	--	--	--	--	--	--	--	--
		女	1	0.2	--	--	1	--	--	--
S860	[M]アキレス腱損傷	計	2	0.2	--	--	2	--	--	--
		男	1	0.2	--	--	1	--	--	--
		女	1	0.2	--	--	1	--	--	--
S899	[M]下腿の詳細不明の損傷	計	1	0.1	--	--	1	--	--	--
		男	1	0.2	--	--	1	--	--	--
		女	--	--	--	--	--	--	--	--
S9200	[I*]右踵骨骨折	計	2	0.2	--	--	2	--	--	--
		男	1	0.2	--	--	1	--	--	--
		女	1	0.2	--	--	1	--	--	--
S9230	[I*]右第５中足骨骨折	計	2	0.2	--	--	2	--	--	--
		男	--	--	--	--	--	--	--	--
		女	2	0.4	--	--	2	--	--	--
S934	[M]足首の捻挫及びストレイン	計	2	0.2	--	--	2	--	--	--
		男	--	--	--	--	--	--	--	--
		女	2	0.4	--	--	2	--	--	--
T182	[M]胃内異物	計	1	0.1	1	--	--	--	--	--
		男	1	0.2	1	--	--	--	--	--
		女	--	--	--	--	--	--	--	--
T242	[M]股関節部及び下肢の第２度熱傷、足首及び足を除く	計	1	0.1	--	1	--	--	--	--
		男	--	--	--	--	--	--	--	--
		女	1	0.2	--	1	--	--	--	--
T630	[M]ヘビ毒【有毒動物との接触による毒作用】	計	3	0.3	--	3	--	--	--	--
		男	1	0.2	--	1	--	--	--	--
		女	2	0.4	--	2	--	--	--	--

ＩＣＤ１０別・診療科別・病名数

			総数	構成比(%)	内科	外科	整形外	眼科	小児科	総診
	総数	計	1,010	100.0	471	85	227	54	1	172
		男	444	100.0	199	61	81	19	--	84
		女	566	100.0	272	24	146	35	1	88
	構成比(%)	計	100.0	--	46.6	8.4	22.5	5.3	0.1	17.0
		男	100.0	--	44.8	13.7	18.2	4.3	--	18.9
		女	100.0	--	48.1	4.2	25.8	6.2	0.2	15.5
T678	[M]熱及び光線のその他の作用【熱及び光線の作用】	計	4	0.4	4	--	--	--	--	--
		男	--	--	--	--	--	--	--	--
		女	4	0.7	4	--	--	--	--	--
T782	[M]アナフィラキシーショック、詳細不明	計	2	0.2	--	--	--	--	--	2
		男	1	0.2	--	--	--	--	--	1
		女	1	0.2	--	--	--	--	--	1
T814	[M]処置に続発する感染症、他に分類されないもの	計	1	0.1	--	--	1	--	--	--
		男	--	--	--	--	--	--	--	--
		女	1	0.2	--	--	1	--	--	--
T835	[M]尿路系プロステーシス、挿入物及び移植片による感染症及び炎症性反応	計	1	0.1	1	--	--	--	--	--
		男	1	0.2	1	--	--	--	--	--
		女	--	--	--	--	--	--	--	--
Z470	[M]骨折プレート及びその他の内固定器具の除去に関する経過観察＜フォローアップ＞ケア	計	8	0.8	--	--	8	--	--	--
		男	7	1.6	--	--	7	--	--	--
		女	1	0.2	--	--	1	--	--	--
Z501	[M]その他の理学療法	計	16	1.6	3	--	13	--	--	--
		男	10	2.3	1	--	9	--	--	--
		女	6	1.1	2	--	4	--	--	--
Z904	[M]消化管のその他の部位の後天性欠損	計	1	0.1	1	--	--	--	--	--
		男	--	--	--	--	--	--	--	--
		女	1	0.2	1	--	--	--	--	--
Z933	[M]人工肛門造設状態	計	1	0.1	--	1	--	--	--	--
		男	1	0.2	--	1	--	--	--	--
		女	--	--	--	--	--	--	--	--
Z950	[M]心臓の電気的デバイスの存在	計	1	0.1	1	--	--	--	--	--
		男	1	0.2	1	--	--	--	--	--
		女	--	--	--	--	--	--	--	--
Z952	[M]人工心臓弁の存在	計	1	0.1	1	--	--	--	--	--
		男	1	0.2	1	--	--	--	--	--
		女	--	--	--	--	--	--	--	--
Z966	[M]整形外科的関節挿入物の存在	計	2	0.2	--	--	2	--	--	--
		男	1	0.2	--	--	1	--	--	--
		女	1	0.2	--	--	1	--	--	--

ＩＣＤ１０別・年齢階層別・病名数

			総数	構成比(%)	平均年齢	0-28日	29日-11月	1-4歳	5-9歳	10-14歳	15-19歳	20-29歳	30-39歳	40-49歳	50-59歳	60-64歳	65-69歳	70-74歳	75-79歳	80-84歳	85-89歳	90歳-
	総数	計	1,010	100.0	80.1	--	--	--	1	1	5	9	6	11	37	35	71	94	113	145	238	244
		男	444	100.0	75.9	--	--	--	--	1	5	6	6	8	22	21	47	58	56	60	88	66
		女	566	100.0	83.5	--	--	--	1	--	--	3	--	3	15	14	24	36	57	85	150	178
	構成比(%)	計	100.0	--	--	--	--	--	0.1	0.1	0.5	0.9	0.6	1.1	3.7	3.5	7.0	9.3	11.2	14.4	23.6	24.2
		男	100.0	--	--	--	--	--	--	0.2	1.1	1.4	1.4	1.8	5.0	4.7	10.6	13.1	12.6	13.5	19.8	14.9
		女	100.0	--	--	--	--	--	0.2	--	--	0.5	--	0.5	2.7	2.5	4.2	6.4	10.1	15.0	26.5	31.4
A047	[M]クロストリジウム・ディフィシルによる全腸炎	計	2	0.2	94.0	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	2
		男	1	0.2	96.0	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	1
		女	1	0.2	92.0	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	1
A09	[M]その他の胃腸炎及び大腸炎、感染症及び詳細不明の原因によるもの	計	2	0.2	70.0	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	2	--	--	--	--
		男	1	0.2	70.0	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	1	--	--	--	--
		女	1	0.2	70.0	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	1	--	--	--	--
A090	[M]感染症が原因のその他及び詳細不明の胃腸炎及び大腸炎	計	1	0.1	84.0	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	1	--	--
		男	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--
		女	1	0.2	84.0	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	1	--	--
A099	[M]詳細不明の原因による胃腸炎及び大腸炎	計	11	1.1	68.9	--	--	--	--	--	--	1	1	--	2	1	--	--	--	--	5	1
		男	5	1.1	51.6	--	--	--	--	--	--	1	1	--	1	1	--	--	--	--	1	--
		女	6	1.1	83.3	--	--	--	--	--	--	--	--	--	1	--	--	--	--	--	4	1
A415	[M]その他のグラム陰性菌による敗血症	計	1	0.1	81.0	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	1	--	--
		男	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--
		女	1	0.2	81.0	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	1	--	--
A419	[M]敗血症、詳細不明	計	6	0.6	85.7	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	1	--	2	--	3
		男	2	0.5	77.5	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	1	--	1	--	--
		女	4	0.7	89.8	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	1	--	3
A46	[M]丹毒	計	1	0.1	82.0	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	1	--	--
		男	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--
		女	1	0.2	82.0	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	1	--	--
A499	[M]細菌感染症、詳細不明	計	2	0.2	81.5	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	1	--	--	--	--	1
		男	2	0.5	81.5	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	1	--	--	--	--	1
		女	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--
B029	[M]帯状疱疹、合併症を伴わないもの	計	2	0.2	89.5	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	1	1
		男	1	0.2	90.0	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	1
		女	1	0.2	89.0	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	1	--
C029	[M]舌、部位不明【舌のその他及び部位不明の悪性新生物＜腫瘍＞】	計	1	0.1	90.0	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	1
		男	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--
		女	1	0.2	90.0	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	1
C07	[M]耳下腺の悪性新生物＜腫瘍＞	計	1	0.1	78.0	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	1	--	--	--
		男	1	0.2	78.0	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	1	--	--	--
		女	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--
C139	[M]下咽頭、部位不明【下咽頭の悪性新生物＜腫瘍＞】	計	1	0.1	82.0	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	1	--	--
		男	1	0.2	82.0	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	1	--	--
		女	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--
C158	[M]食道の境界部病巣【食道の悪性新生物＜腫瘍＞】	計	1	0.1	68.0	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	1	--	--	--	--	--
		男	1	0.2	68.0	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	1	--	--	--	--	--
		女	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--
C169	[M]胃、部位不明【胃の悪性新生物＜腫瘍＞】	計	6	0.6	83.5	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	2	--	2	--	2
		男	3	0.7	76.7	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	2	--	1	--	--
		女	3	0.5	90.3	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	1	--	2
C180	[M]盲腸【結腸の悪性新生物＜腫瘍＞】	計	3	0.3	70.0	--	--	--	--	--	--	--	--	--	1	1	--	--	--	--	--	1
		男	2	0.5	60.0	--	--	--	--	--	--	--	--	--	1	1	--	--	--	--	--	--
		女	1	0.2	90.0	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	1
C184	[M]横行結腸【結腸の悪性新生物＜腫瘍＞】	計	2	0.2	75.5	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	1	--	--	--	1	--
		男	1	0.2	86.0	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	1	--
		女	1	0.2	65.0	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	1	--	--	--	--	--
C187	[M]Ｓ状結腸【結腸の悪性新生物＜腫瘍＞】	計	3	0.3	79.0	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	1	--	--	--	2	--
		男	2	0.5	76.0	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	1	--	--	--	1	--
		女	1	0.2	85.0	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	1	--
C189	[M]結腸、部位不明【結腸の悪性新生物＜腫瘍＞】	計	4	0.4	83.3	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	1	1	2	--
		男	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--
		女	4	0.7	83.3	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	1	1	2	--
C20	[M]直腸の悪性新生物＜腫瘍＞	計	3	0.3	77.7	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	1	1	--	--	--	1
		男	1	0.2	74.0	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	1	--	--	--	--
		女	2	0.4	79.5	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	1	--	--	--	--	1
C220	[M]肝細胞癌【肝及び肝内胆管の悪性新生物＜腫瘍＞】	計	1	0.1	79.0	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	1	--	--	--
		男	1	0.2	79.0	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	1	--	--	--
		女	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--
C221	[M]肝内胆管癌【肝及び肝内胆管の悪性新生物＜腫瘍＞】	計	3	0.3	64.0	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	3	--	--	--	--	--	--
		男	3	0.7	64.0	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	3	--	--	--	--	--	--
		女	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--
C240	[M]肝外胆管【その他及び部位不明の胆道の悪性新生物＜腫瘍＞】	計	1	0.1	86.0	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	1	--
		男	1	0.2	86.0	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	1	--
		女	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--
C250	[M]膵頭部【膵の悪性新生物＜腫瘍＞】	計	1	0.1	88.0	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	1	--
		男	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--
		女	1	0.2	88.0	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	1	--
C251	[M]膵体部【膵の悪性新生物＜腫瘍＞】	計	1	0.1	84.0	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	1	--	--
		男	1	0.2	84.0	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	1	--	--
		女	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--
C259	[M]膵、部位不明【膵の悪性新生物＜腫瘍＞】	計	2	0.2	85.0	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	2	--
		男	2	0.5	85.0	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	2	--
		女	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--
C341	[M]上葉、気管支又は肺【気管支及び肺の悪性新生物＜腫瘍＞】	計	1	0.1	73.0	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	1	--	--	--	--
		男	1	0.2	73.0	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	1	--	--	--	--
		女	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--
C343	[M]下葉、気管支又は肺【気管支及び肺の悪性新生物＜腫瘍＞】	計	1	0.1	67.0	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	1	--	--	--	--	--
		男	1	0.2	67.0	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	1	--	--	--	--	--
		女	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--

ＩＣＤ１０別・年齢階層別・病名数

			総数	構成比(%)	平均年齢	0-28日	29日-11月	1-4歳	5-9歳	10-14歳	15-19歳	20-29歳	30-39歳	40-49歳	50-59歳	60-64歳	65-69歳	70-74歳	75-79歳	80-84歳	85-89歳	90歳-
	総数	計	1,010	100.0	80.1	--	--	--	1	1	5	9	6	11	37	35	71	94	113	145	238	244
		男	444	100.0	75.9	--	--	--	--	1	5	6	6	8	22	21	47	58	56	60	88	66
		女	566	100.0	83.5	--	--	--	1	--	--	3	--	3	15	14	24	36	57	85	150	178
	構成比(%)	計	100.0	--	--	--	--	--	0.1	0.1	0.5	0.9	0.6	1.1	3.7	3.5	7.0	9.3	11.2	14.4	23.6	24.2
		男	100.0	--	--	--	--	--	--	0.2	1.1	1.4	1.4	1.8	5.0	4.7	10.6	13.1	12.6	13.5	19.8	14.9
		女	100.0	--	--	--	--	--	0.2	--	--	0.5	--	0.5	2.7	2.5	4.2	6.4	10.1	15.0	26.5	31.4
C349	[Ｍ]気管支又は肺、部位不明【気管支及び肺の悪性新生物＜腫瘍＞】	計	1	0.1	91.0	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	1
		男	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--
		女	1	0.2	91.0	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	1
C61	[Ｍ]前立腺の悪性新生物＜腫瘍＞	計	2	0.2	83.0	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	1	1	--
		男	2	0.5	83.0	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	1	1	--
		女	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--
C64	[Ｍ]腎盂を除く腎の悪性新生物＜腫瘍＞	計	1	0.1	82.0	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	1	--	--
		男	1	0.2	82.0	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	1	--	--
		女	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--
C679	[Ｍ]膀胱、部位不明【膀胱の悪性新生物＜腫瘍＞】	計	1	0.1	94.0	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	1
		男	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--
		女	1	0.2	94.0	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	1
C780	[Ｍ]肺の続発性悪性新生物＜腫瘍＞	計	1	0.1	92.0	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	1
		男	1	0.2	92.0	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	1
		女	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--
C782	[Ｍ]胸膜の続発性悪性新生物＜腫瘍＞	計	1	0.1	91.0	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	1
		男	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--
		女	1	0.2	91.0	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	1
C786	[Ｍ]後腹膜及び腹膜の続発性悪性新生物＜腫瘍＞	計	1	0.1	64.0	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	1	--	--	--	--	--	--
		男	1	0.2	64.0	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	1	--	--	--	--	--	--
		女	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--
C787	[Ｍ]肝及び肝内胆管の続発性悪性新生物＜腫瘍＞	計	1	0.1	84.0	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	1	--	--
		男	1	0.2	84.0	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	1	--	--
		女	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--
C795	[Ｍ]骨及び骨髄の続発性悪性新生物＜腫瘍＞	計	1	0.1	78.0	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	1	--	--	--
		男	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--
		女	1	0.2	78.0	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	1	--	--	--
C859	[Ｍ]非ホジキン＜ｎｏｎ－Ｈｏｄｇｋｉｎ＞リンパ腫、型不明	計	7	0.7	76.4	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	4	2	--	1	--
		男	6	1.4	74.3	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	4	2	--	--	--
		女	1	0.2	89.0	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	1	--
C929	[Ｍ]骨髄性白血病、詳細不明	計	28	2.8	88.3	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	28	--
		男	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--
		女	28	4.9	88.3	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	28	--
D171	[Ｍ]体幹の皮膚及び皮下組織【良性脂肪腫性新生物＜腫瘍＞(脂肪腫を含む)】	計	1	0.1	77.0	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	1	--	--	--
		男	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--
		女	1	0.2	77.0	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	1	--	--	--
D179	[Ｍ]良性脂肪腫性新生物、部位不明【良性脂肪腫性新生物＜腫瘍＞(脂肪腫を含む)】	計	1	0.1	58.0	--	--	--	--	--	--	--	--	--	1	--	--	--	--	--	--	--
		男	1	0.2	58.0	--	--	--	--	--	--	--	--	--	1	--	--	--	--	--	--	--
		女	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--
D376	[Ｍ]肝、胆のう＜嚢＞及び胆管【口腔及び消化器の性状不詳又は不明の新生物＜腫瘍＞】	計	1	0.1	80.0	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	1	--	--
		男	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--
		女	1	0.2	80.0	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	1	--	--
D381	[Ｍ]気管、気管支及び肺【中耳、呼吸器及び胸腔内臓器の性状不詳又は不明の新生物＜腫瘍＞】	計	1	0.1	66.0	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	1	--	--	--	--	--
		男	1	0.2	66.0	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	1	--	--	--	--	--
		女	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--
D382	[Ｍ]胸膜【中耳、呼吸器及び胸腔内臓器の性状不詳又は不明の新生物＜腫瘍＞】	計	1	0.1	96.0	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	1
		男	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--
		女	1	0.2	96.0	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	1
D432	[Ｍ]脳、部位不明【脳及び中枢神経系の性状不詳又は不明の新生物＜腫瘍＞】	計	1	0.1	87.0	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	1	--
		男	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--
		女	1	0.2	87.0	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	1	--
D469	[Ｍ]骨髄異形成症候群、詳細不明【骨髄異形成症候群】	計	1	0.1	79.0	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	1	--	--	--
		男	1	0.2	79.0	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	1	--	--	--
		女	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--
D481	[Ｍ]結合組織及びその他の軟部組織【その他及び部位不明の性状不詳又は不明の新生物＜腫瘍＞】	計	1	0.1	73.0	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	1	--	--	--	--
		男	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--
		女	1	0.2	73.0	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	1	--	--	--	--
D509	[Ｍ]鉄欠乏性貧血、詳細不明	計	1	0.1	78.0	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	1	--	--	--
		男	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--
		女	1	0.2	78.0	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	1	--	--	--
D62	[Ｍ]急性出血後貧血	計	1	0.1	89.0	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	1	--
		男	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--
		女	1	0.2	89.0	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	1	--
D649	[Ｍ]貧血、詳細不明	計	1	0.1	94.0	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	1
		男	1	0.2	94.0	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	1
		女	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--
D65	[Ｍ]播種性血管内凝固症候群[脱線維素症候群]	計	1	0.1	82.0	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	1	--	--
		男	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--
		女	1	0.2	82.0	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	1	--	--
D696	[Ｍ]血小板減少症、詳細不明	計	1	0.1	92.0	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	1
		男	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--
		女	1	0.2	92.0	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	1
D70	[Ｍ]無顆粒球症	計	1	0.1	95.0	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	1
		男	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--
		女	1	0.2	95.0	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	1
E039	[Ｍ]甲状腺機能低下症、詳細不明	計	1	0.1	72.0	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	1	--	--	--	--
		男	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--
		女	1	0.2	72.0	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	1	--	--	--	--
E10	[Ｍ]１型＜インスリン依存性＞糖尿病＜ＩＤＤＭ＞	計	2	0.2	77.0	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	1	--	1	--	--
		男	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--
		女	2	0.4	77.0	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	1	--	1	--	--

ＩＣＤ１０別・年齢階層別・病名数

			総数	構成比(%)	平均年齢	0-28日	29日-11月	1-4歳	5-9歳	10-14歳	15-19歳	20-29歳	30-39歳	40-49歳	50-59歳	60-64歳	65-69歳	70-74歳	75-79歳	80-84歳	85-89歳	90歳-
	総数	計	1,010	100.0	80.1	--	--	--	1	1	5	9	6	11	37	35	71	94	113	145	238	244
		男	444	100.0	75.9	--	--	--	--	1	5	6	6	8	22	21	47	58	56	60	88	66
		女	566	100.0	83.5	--	--	--	1	--	--	3	--	3	15	14	24	36	57	85	150	178
	構成比(%)	計	100.0	--	--	--	--	--	0.1	0.1	0.5	0.9	0.6	1.1	3.7	3.5	7.0	9.3	11.2	14.4	23.6	24.2
		男	100.0	--	--	--	--	--	--	0.2	1.1	1.4	1.4	1.8	5.0	4.7	10.6	13.1	12.6	13.5	19.8	14.9
		女	100.0	--	--	--	--	--	0.2	--	--	0.5	--	0.5	2.7	2.5	4.2	6.4	10.1	15.0	26.5	31.4
E11	[Ｍ]２型＜インスリン非依存性＞糖尿病＜ＮＩＤＤＭ＞	計	1	0.1	72.0	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	1	--	--	--	--
		男	1	0.2	72.0	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	1	--	--	--	--
		女	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--
E111	[Ｍ]ケトアシドーシスを伴うもの【２型＜インスリン非依存性＞糖尿病＜ＮＩＤＤＭ＞】	計	1	0.1	51.0	--	--	--	--	--	--	--	--	--	1	--	--	--	--	--	--	--
		男	1	0.2	51.0	--	--	--	--	--	--	--	--	--	1	--	--	--	--	--	--	--
		女	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--
E14	[Ｍ]詳細不明の糖尿病	計	6	0.6	80.3	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	1	1	1	--	2	1
		男	2	0.5	74.5	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	1	1	--	--	--
		女	4	0.7	83.3	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	1	--	--	--	2	1
E142	[Ｍ]腎合併症を伴うもの【詳細不明の糖尿病】	計	1	0.1	72.0	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	1	--	--	--	--
		男	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--
		女	1	0.2	72.0	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	1	--	--	--	--
E146	[Ｍ]その他の明示された合併症を伴うもの【詳細不明の糖尿病】	計	2	0.2	79.0	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	1	--	--	--	--	1
		男	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--
		女	2	0.4	79.0	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	1	--	--	--	--	1
E162	[Ｍ]低血糖症、詳細不明	計	1	0.1	56.0	--	--	--	--	--	--	--	--	--	1	--	--	--	--	--	--	--
		男	1	0.2	56.0	--	--	--	--	--	--	--	--	--	1	--	--	--	--	--	--	--
		女	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--
E46	[Ｍ]詳細不明のタンパク＜蛋白＞エネルギー性栄養失調（症）	計	1	0.1	83.0	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	1	--	--
		男	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--
		女	1	0.2	83.0	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	1	--	--
E835	[Ｍ]カルシウム代謝障害	計	1	0.1	77.0	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	1	--	--	--
		男	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--
		女	1	0.2	77.0	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	1	--	--	--
E86	[Ｍ]体液量減少（症）	計	6	0.6	90.3	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	1	2	3
		男	1	0.2	87.0	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	1	--
		女	5	0.9	91.0	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	1	1	3
E870	[Ｍ]高浸透圧及び高ナトリウム血症	計	2	0.2	90.5	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	1	1
		男	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--
		女	2	0.4	90.5	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	1	1
E871	[Ｍ]低浸透圧及び低ナトリウム血症	計	2	0.2	70.0	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	1	1	--	--	--	--
		男	2	0.5	70.0	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	1	1	--	--	--	--
		女	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--
E872	[Ｍ]アシドーシス	計	1	0.1	54.0	--	--	--	--	--	--	--	--	--	1	--	--	--	--	--	--	--
		男	1	0.2	54.0	--	--	--	--	--	--	--	--	--	1	--	--	--	--	--	--	--
		女	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--
E876	[Ｍ]低カリウム＜Ｋ＞血症	計	2	0.2	73.5	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	1	1	--	--	--
		男	1	0.2	77.0	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	1	--	--	--
		女	1	0.2	70.0	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	1	--	--	--	--
E888	[Ｍ]その他の明示された代謝障害	計	1	0.1	71.0	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	1	--	--	--	--
		男	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--
		女	1	0.2	71.0	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	1	--	--	--	--
F03	[Ｍ]詳細不明の認知症	計	2	0.2	84.0	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	1	1	--
		男	1	0.2	83.0	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	1	--	--
		女	1	0.2	85.0	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	1	--
F070	[Ｍ]器質性人格障害	計	1	0.1	90.0	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	1
		男	1	0.2	90.0	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	1
		女	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--
F102	[Ｍ]依存症候群【アルコール使用＜飲酒＞による精神及び行動の障害】	計	1	0.1	67.0	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	1	--	--	--	--	--
		男	1	0.2	67.0	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	1	--	--	--	--	--
		女	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--
F191	[Ｍ]有害な使用【多剤使用及びその他の精神作用物質使用による精神及び行動の障害】	計	1	0.1	89.0	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	1	--
		男	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--
		女	1	0.2	89.0	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	1	--
F329	[Ｍ]うつ病エピソード、詳細不明	計	1	0.1	76.0	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	1	--	--	--
		男	1	0.2	76.0	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	1	--	--	--
		女	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--
G009	[Ｍ]細菌性髄膜炎、詳細不明	計	1	0.1	65.0	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	1	--	--	--	--	--
		男	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--
		女	1	0.2	65.0	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	1	--	--	--	--	--
G20	[Ｍ]パーキンソン＜Ｐａｒｋｉｎｓｏｎ＞病	計	5	0.5	78.8	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	1	1	3	--	--
		男	2	0.5	83.0	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	2	--	--
		女	3	0.5	76.0	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	1	1	1	--	--
G214	[Ｍ]血管性パーキンソン＜Ｐａｒｋｉｎｓｏｎ＞症候群	計	1	0.1	78.0	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	1	--	--	--
		男	1	0.2	78.0	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	1	--	--	--
		女	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--
G244	[Ｍ]特発性口顔面ジストニア	計	1	0.1	87.0	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	1	--
		男	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--
		女	1	0.2	87.0	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	1	--
G309	[Ｍ]アルツハイマー＜Ａｌｚｈｅｉｍｅｒ＞病、詳細不明	計	2	0.2	89.5	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	1	1
		男	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--
		女	2	0.4	89.5	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	1	1
G408	[Ｍ]その他のてんかん	計	4	0.4	75.0	--	--	--	--	--	--	--	--	--	1	--	--	--	1	1	--	1
		男	2	0.5	62.5	--	--	--	--	--	--	--	--	--	1	--	--	--	1	--	--	--
		女	2	0.4	87.5	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	1	--	1
G409	[Ｍ]てんかん、詳細不明	計	2	0.2	55.5	--	--	--	--	--	--	1	--	--	--	--	--	--	--	--	1	--
		男	1	0.2	24.0	--	--	--	--	--	--	1	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--
		女	1	0.2	87.0	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	1	--
G459	[Ｍ]一過性脳虚血発作、詳細不明	計	3	0.3	80.0	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	1	--	1	1	--
		男	1	0.2	85.0	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	1	--
		女	2	0.4	77.5	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	1	--	1	--	--

ＩＣＤ１０別・年齢階層別・病名数

			総数	構成比(%)	平均年齢	0-28日	29日-11月	1-4歳	5-9歳	10-14歳	15-19歳	20-29歳	30-39歳	40-49歳	50-59歳	60-64歳	65-69歳	70-74歳	75-79歳	80-84歳	85-89歳	90歳-
	総数	計	1,010	100.0	80.1	--	--	--	1	1	5	9	6	11	37	35	71	94	113	145	238	244
		男	444	100.0	75.9	--	--	--	--	1	5	6	6	8	22	21	47	58	56	60	88	66
		女	566	100.0	83.5	--	--	--	1	--	--	3	--	3	15	14	24	36	57	85	150	178
	構成比(%)	計	100.0	--	--	--	--	--	0.1	0.1	0.5	0.9	0.6	1.1	3.7	3.5	7.0	9.3	11.2	14.4	23.6	24.2
		男	100.0	--	--	--	--	--	--	0.2	1.1	1.4	1.4	1.8	5.0	4.7	10.6	13.1	12.6	13.5	19.8	14.9
		女	100.0	--	--	--	--	--	0.2	--	--	0.5	--	0.5	2.7	2.5	4.2	6.4	10.1	15.0	26.5	31.4
G470	[Ｍ]睡眠の導入及び維持の障害[不眠症]	計	1	0.1	78.0	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	1	--	--	--
		男	1	0.2	78.0	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	1	--	--	--
		女	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--
G473	[Ｍ]睡眠時無呼吸	計	10	1.0	68.4	--	--	--	--	--	--	--	1	--	2	1	2	--	1	1	--	2
		男	4	0.9	61.0	--	--	--	--	--	--	--	1	--	--	1	1	--	1	--	--	--
		女	6	1.1	73.3	--	--	--	--	--	--	--	--	--	2	--	1	--	--	1	--	2
G510	[Ｍ]ベル＜Ｂｅｌｌ＞麻痺	計	1	0.1	49.0	--	--	--	--	--	--	--	--	1	--	--	--	--	--	--	--	--
		男	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--
		女	1	0.2	49.0	--	--	--	--	--	--	--	--	1	--	--	--	--	--	--	--	--
G560	[Ｍ]手根管症候群	計	4	0.4	78.8	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	1	1	--	--	1	1
		男	1	0.2	71.0	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	1	--	--	--	--
		女	3	0.5	81.3	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	1	--	--	--	1	1
G562	[Ｍ]尺骨神経の病変	計	3	0.3	66.3	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	1	1	1	--	--	--	--
		男	2	0.5	69.5	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	1	1	--	--	--	--
		女	1	0.2	60.0	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	1	--	--	--	--	--	--
G700	[Ｍ]重症筋無力症	計	1	0.1	87.0	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	1	--
		男	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--
		女	1	0.2	87.0	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	1	--
G908	[Ｍ]自律神経系のその他の障害	計	2	0.2	82.0	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	1	--	1	--
		男	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--
		女	2	0.4	82.0	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	1	--	1	--
H259	[Ｍ]老人性白内障、詳細不明	計	54	5.3	76.0	--	--	--	--	--	--	--	--	--	1	3	7	11	15	7	8	2
		男	19	4.3	75.3	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	1	2	6	5	3	1	1
		女	35	6.2	76.4	--	--	--	--	--	--	--	--	--	1	2	5	5	10	4	7	1
H811	[Ｍ]良性発作性めまい＜眩暈（症）＞	計	1	0.1	84.0	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	1	--	--
		男	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--
		女	1	0.2	84.0	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	1	--	--
H813	[Ｍ]その他の末梢性めまい＜眩暈（症）＞	計	2	0.2	63.5	--	--	--	--	--	--	--	--	--	1	--	--	1	--	--	--	--
		男	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--
		女	2	0.4	63.5	--	--	--	--	--	--	--	--	--	1	--	--	1	--	--	--	--
H819	[Ｍ]前庭機能障害、詳細不明	計	2	0.2	74.0	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	1	--	--	1	--	--
		男	1	0.2	65.0	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	1	--	--	--	--	--
		女	1	0.2	83.0	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	1	--	--
I10	[Ｍ]本態性（原発性＜一次性＞）高血圧（症）	計	4	0.4	84.8	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	2	1	1
		男	1	0.2	81.0	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	1	--	--
		女	3	0.5	86.0	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	1	1	1
I200	[Ｍ]不安定狭心症	計	1	0.1	97.0	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	1
		男	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--
		女	1	0.2	97.0	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	1
I201	[Ｍ]記録されたれん＜攣＞縮を伴う狭心症	計	1	0.1	76.0	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	1	--	--	--
		男	1	0.2	76.0	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	1	--	--	--
		女	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--
I209	[Ｍ]狭心症、詳細不明	計	1	0.1	71.0	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	1	--	--	--	--
		男	1	0.2	71.0	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	1	--	--	--	--
		女	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--
I211	[Ｍ]下壁の急性貫壁性心筋梗塞	計	1	0.1	94.0	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	1
		男	1	0.2	94.0	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	1
		女	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--
I219	[Ｍ]急性心筋梗塞、詳細不明	計	2	0.2	90.5	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	1	1
		男	1	0.2	89.0	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	1	--
		女	1	0.2	92.0	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	1
I330	[Ｍ]急性及び亜急性感染性心内膜炎	計	2	0.2	75.5	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	1	--	--	1	--	--
		男	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--
		女	2	0.4	75.5	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	1	--	--	1	--	--
I489	[Ｍ]心房細動及び心房粗動、詳細不明	計	2	0.2	89.0	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	1	1
		男	1	0.2	92.0	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	1
		女	1	0.2	86.0	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	1	--
I500	[Ｍ]うっ血性心不全	計	11	1.1	88.5	--	--	--	--	--	--	--	--	--	1	--	--	--	--	--	3	7
		男	1	0.2	97.0	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	1
		女	10	1.8	87.6	--	--	--	--	--	--	--	--	--	1	--	--	--	--	--	3	6
I501	[Ｍ]左室不全	計	1	0.1	93.0	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	1
		男	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--
		女	1	0.2	93.0	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	1
I509	[Ｍ]心不全、詳細不明	計	41	4.1	88.4	--	--	--	--	--	--	--	--	1	--	--	2	--	--	4	13	21
		男	12	2.7	83.2	--	--	--	--	--	--	--	--	1	--	--	1	--	--	1	6	3
		女	29	5.1	90.6	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	1	--	--	3	7	18
I609	[Ｍ]くも膜下出血、詳細不明	計	1	0.1	86.0	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	1	--
		男	1	0.2	86.0	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	1	--
		女	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--
I610	[Ｍ](大脳)半球の脳内出血、皮質下	計	3	0.3	72.7	--	--	--	--	--	--	--	--	--	1	--	--	--	1	--	--	1
		男	2	0.5	84.0	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	1	--	--	1
		女	1	0.2	50.0	--	--	--	--	--	--	--	--	--	1	--	--	--	--	--	--	--
I619	[Ｍ]脳内出血、詳細不明	計	2	0.2	86.5	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	1	--	1
		男	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--
		女	2	0.4	86.5	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	1	--	1
I631	[Ｍ]脳実質外動脈（脳底動脈、頚動脈、椎骨動脈）の塞栓症による脳梗塞	計	1	0.1	89.0	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	1	--
		男	1	0.2	89.0	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	1	--
		女	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--
I634	[Ｍ]脳動脈の塞栓症による脳梗塞	計	1	0.1	84.0	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	1	--	--
		男	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--
		女	1	0.2	84.0	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	1	--	--

ＩＣＤ１０別・年齢階層別・病名数

			総数	構成比(%)	平均年齢	0-28日	29日-11月	1-4歳	5-9歳	10-14歳	15-19歳	20-29歳	30-39歳	40-49歳	50-59歳	60-64歳	65-69歳	70-74歳	75-79歳	80-84歳	85-89歳	90歳-
	総数	計	1,010	100.0	80.1	--	--	--	1	1	5	9	6	11	37	35	71	94	113	145	238	244
		男	444	100.0	75.9	--	--	--	--	1	5	6	6	8	22	21	47	58	56	60	88	66
		女	566	100.0	83.5	--	--	--	1	--	--	3	--	3	15	14	24	36	57	85	150	178
	構成比(%)	計	100.0	--	--	--	--	--	0.1	0.1	0.5	0.9	0.6	1.1	3.7	3.5	7.0	9.3	11.2	14.4	23.6	24.2
		男	100.0	--	--	--	--	--	--	0.2	1.1	1.4	1.4	1.8	5.0	4.7	10.6	13.1	12.6	13.5	19.8	14.9
		女	100.0	--	--	--	--	--	0.2	--	--	0.5	--	0.5	2.7	2.5	4.2	6.4	10.1	15.0	26.5	31.4
I635	[M]脳動脈の詳細不明の閉塞又は狭窄による脳梗塞	計	5	0.5	83.8	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	1	1	--	--	1	2
		男	4	0.9	81.0	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	1	1	--	--	1	1
		女	1	0.2	95.0	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	1
I638	[M]その他の脳梗塞	計	6	0.6	82.2	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	1	1	--	--	1	--	3
		男	4	0.9	83.5	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	1	--	--	1	--	2
		女	2	0.4	79.5	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	1	--	--	--	--	--	1
I639	[M]脳梗塞、詳細不明	計	6	0.6	86.8	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	2	--	1	3
		男	3	0.7	82.7	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	2	--	--	1
		女	3	0.5	91.0	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	1	2
I652	[M]頚動脈の閉塞及び狭窄	計	1	0.1	90.0	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	1
		男	1	0.2	90.0	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	1
		女	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--
I690	[M]くも膜下出血の続発・後遺症	計	1	0.1	80.0	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	1	--	--
		男	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--
		女	1	0.2	80.0	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	1	--	--
I693	[M]脳梗塞の続発・後遺症	計	5	0.5	89.4	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	1	1	3
		男	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--
		女	5	0.9	89.4	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	1	1	3
I709	[M]全身性及び詳細不明のアテローム＜じゅく＜粥＞状＞硬化（症）	計	1	0.1	92.0	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	1
		男	1	0.2	92.0	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	1
		女	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--
I743	[M]下肢の動脈の塞栓症及び血栓症	計	2	0.2	75.5	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	1	--	--	1	--	--
		男	1	0.2	69.0	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	1	--	--	--	--	--
		女	1	0.2	82.0	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	1	--	--
I831	[M]炎症を伴う下肢の静脈瘤	計	1	0.1	77.0	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	1	--	--	--
		男	1	0.2	77.0	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	1	--	--	--
		女	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--
J029	[M]急性咽頭炎、詳細不明	計	1	0.1	26.0	--	--	--	--	--	--	1	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--
		男	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--
		女	1	0.2	26.0	--	--	--	--	--	--	1	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--
J039	[M]急性扁桃炎、詳細不明	計	1	0.1	44.0	--	--	--	--	--	--	--	--	1	--	--	--	--	--	--	--	--
		男	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--
		女	1	0.2	44.0	--	--	--	--	--	--	--	--	1	--	--	--	--	--	--	--	--
J101	[M]その他の呼吸器症状を伴うインフルエンザ、その他のインフルエンザウイルスが分離されたもの	計	3	0.3	84.7	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	1	--	1	1
		男	2	0.5	83.5	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	1	--	--	1
		女	1	0.2	87.0	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	1	--
J13	[M]肺炎連鎖球菌による肺炎	計	1	0.1	86.0	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	1	--
		男	1	0.2	86.0	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	1	--
		女	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--
J159	[M]細菌性肺炎、詳細不明	計	12	1.2	87.2	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	1	2	5	4
		男	9	2.0	86.2	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	1	2	3	3
		女	3	0.5	90.0	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	2	1
J180	[M]気管支肺炎、詳細不明	計	9	0.9	87.1	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	1	1	5	2
		男	3	0.7	86.3	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	1	2	--
		女	6	1.1	87.5	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	1	--	3	2
J189	[M]肺炎、詳細不明	計	59	5.8	84.8	--	--	--	--	--	--	--	--	1	--	1	3	4	5	5	22	18
		男	36	8.1	83.7	--	--	--	--	--	--	--	--	1	--	1	3	2	4	3	11	11
		女	23	4.1	86.7	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	2	1	2	11	7
J209	[M]急性気管支炎、詳細不明	計	5	0.5	78.8	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	1	1	1	--	1	1
		男	4	0.9	75.5	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	1	1	1	--	1	--
		女	1	0.2	92.0	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	1
J329	[M]慢性副鼻腔炎、詳細不明	計	1	0.1	92.0	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	1
		男	1	0.2	92.0	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	1
		女	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--
J40	[M]気管支炎、急性又は慢性と明示されないもの	計	1	0.1	90.0	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	1
		男	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--
		女	1	0.2	90.0	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	1
J441	[M]急性増悪を伴う慢性閉塞性肺疾患、詳細不明	計	1	0.1	76.0	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	1	--	--	--
		男	1	0.2	76.0	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	1	--	--	--
		女	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--
J449	[M]慢性閉塞性肺疾患、詳細不明	計	2	0.2	89.0	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	1	1
		男	2	0.5	89.0	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	1	1
		女	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--
J459	[M]喘息、詳細不明	計	2	0.2	89.5	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	1	1
		男	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--
		女	2	0.4	89.5	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	1	1
J46	[M]喘息発作重積状態	計	2	0.2	90.0	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	1	1
		男	1	0.2	92.0	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	1
		女	1	0.2	88.0	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	1	--
J690	[M]食物及び吐物による肺臓炎	計	42	4.2	87.2	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	1	3	9	15	14
		男	26	5.9	85.3	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	1	2	8	9	6
		女	16	2.8	90.4	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	1	1	6	8
J849	[M]間質性肺疾患、詳細不明	計	1	0.1	95.0	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	1
		男	1	0.2	95.0	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	1
		女	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--
J9609	[I*]急性呼吸不全	計	2	0.2	79.5	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	1	--	--	1	--
		男	2	0.5	79.5	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	1	--	--	1	--
		女	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--
J9699	[I]呼吸不全	計	1	0.1	70.0	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	1	--	--	--	--
		男	1	0.2	70.0	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	1	--	--	--	--
		女	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--

ＩＣＤ１０別・年齢階層別・病名数

			総数	構成比(%)	平均年齢	0-28日	29日-11月	1-4歳	5-9歳	10-14歳	15-19歳	20-29歳	30-39歳	40-49歳	50-59歳	60-64歳	65-69歳	70-74歳	75-79歳	80-84歳	85-89歳	90歳-
	総数	計	1,010	100.0	80.1	--	--	--	1	1	5	9	6	11	37	35	71	94	113	145	238	244
		男	444	100.0	75.9	--	--	--	--	1	5	6	6	8	22	21	47	58	56	60	88	66
		女	566	100.0	83.5	--	--	--	1	--	--	3	--	3	15	14	24	36	57	85	150	178
	構成比(%)	計	100.0	--	--	--	--	--	0.1	0.1	0.5	0.9	0.6	1.1	3.7	3.5	7.0	9.3	11.2	14.4	23.6	24.2
		男	100.0	--	--	--	--	--	--	0.2	1.1	1.4	1.4	1.8	5.0	4.7	10.6	13.1	12.6	13.5	19.8	14.9
		女	100.0	--	--	--	--	--	0.2	--	--	0.5	--	0.5	2.7	2.5	4.2	6.4	10.1	15.0	26.5	31.4
K112	[Ｍ]唾液腺炎	計	2	0.2	84.0	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	2	--	--
		男	1	0.2	84.0	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	1	--	--
		女	1	0.2	84.0	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	1	--	--
K226	[Ｍ]食道胃接合部裂傷出血症候群	計	1	0.1	87.0	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	1	--
		男	1	0.2	87.0	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	1	--
		女	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--
K259	[Ｍ]急性又は慢性の別不明、出血又は穿孔を伴わないもの【胃潰瘍】	計	1	0.1	85.0	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	1	--
		男	1	0.2	85.0	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	1	--
		女	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--
K263	[Ｍ]急性、出血又は穿孔を伴わないもの【十二指腸潰瘍】	計	1	0.1	28.0	--	--	--	--	--	--	1	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--
		男	1	0.2	28.0	--	--	--	--	--	--	1	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--
		女	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--
K265	[Ｍ]慢性又は詳細不明、穿孔を伴うもの【十二指腸潰瘍】	計	1	0.1	67.0	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	1	--	--	--	--	--
		男	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--
		女	1	0.2	67.0	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	1	--	--	--	--	--
K279	[Ｍ]急性又は慢性の別不明、出血又は穿孔を伴わないもの【部位不明の消化性潰瘍】	計	2	0.2	78.5	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	1	--	1	--	--
		男	1	0.2	73.0	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	1	--	--	--	--
		女	1	0.2	84.0	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	1	--	--
K350	[Ｉ]虫垂炎性腹膜炎	計	1	0.1	94.0	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	1
		男	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--
		女	1	0.2	94.0	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	1
K358	[Ｍ]急性虫垂炎、その他及び詳細不明	計	4	0.4	42.5	--	--	--	--	--	1	1	--	--	1	--	--	1	--	--	--	--
		男	4	0.9	42.5	--	--	--	--	--	1	1	--	--	1	--	--	1	--	--	--	--
		女	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--
K359	[I*]急性化膿性虫垂炎	計	3	0.3	44.3	--	--	--	--	--	1	--	--	1	--	--	--	1	--	--	--	--
		男	2	0.5	31.0	--	--	--	--	--	1	--	--	1	--	--	--	--	--	--	--	--
		女	1	0.2	71.0	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	1	--	--	--	--
K409	[Ｍ]一側性又は患側不明のそけい＜鼠径＞ヘルニア、閉塞及びえ＜壊＞疽を伴わないもの	計	11	1.1	70.8	--	--	--	--	--	--	--	--	--	2	1	1	3	1	3	--	--
		男	9	2.0	68.1	--	--	--	--	--	--	--	--	--	2	1	1	3	1	1	--	--
		女	2	0.4	83.0	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	2	--	--
K449	[Ｍ]横隔膜ヘルニア、閉塞及びえ＜壊＞疽を伴わないもの	計	1	0.1	82.0	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	1	--	--
		男	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--
		女	1	0.2	82.0	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	1	--	--
K529	[Ｍ]非感染性胃腸炎及び非感染性大腸炎、詳細不明	計	1	0.1	95.0	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	1
		男	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--
		女	1	0.2	95.0	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	1
K550	[Ｍ]腸の急性血行障害	計	1	0.1	75.0	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	1	--	--	--
		男	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--
		女	1	0.2	75.0	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	1	--	--	--
K559	[Ｍ]腸の血行障害、詳細不明	計	4	0.4	71.3	--	--	--	--	--	--	--	--	--	1	--	1	1	--	--	1	--
		男	1	0.2	59.0	--	--	--	--	--	--	--	--	--	1	--	--	--	--	--	--	--
		女	3	0.5	75.3	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	1	1	--	--	1	--
K562	[Ｍ]軸捻（転）	計	3	0.3	88.0	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	1	--	2
		男	3	0.7	88.0	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	1	--	2
		女	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--
K565	[Ｍ]閉塞を伴う腸癒着[索条物]	計	2	0.2	82.0	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	1	--	1	--
		男	1	0.2	78.0	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	1	--	--	--
		女	1	0.2	86.0	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	1	--
K567	[Ｍ]イレウス、詳細不明	計	3	0.3	86.7	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	1	--	--	--	2
		男	1	0.2	70.0	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	1	--	--	--	--
		女	2	0.4	95.0	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	2
K573	[Ｍ]穿孔又は膿瘍を伴わない大腸の憩室性疾患	計	3	0.3	77.3	--	--	--	--	--	--	--	--	--	1	--	--	--	--	--	1	1
		男	2	0.5	69.5	--	--	--	--	--	--	--	--	--	1	--	--	--	--	--	1	--
		女	1	0.2	93.0	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	1
K589	[Ｍ]下痢を伴わない過敏性腸症候群	計	1	0.1	79.0	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	1	--	--	--
		男	1	0.2	79.0	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	1	--	--	--
		女	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--
K590	[Ｍ]便秘	計	1	0.1	41.0	--	--	--	--	--	--	--	--	1	--	--	--	--	--	--	--	--
		男	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--
		女	1	0.2	41.0	--	--	--	--	--	--	--	--	1	--	--	--	--	--	--	--	--
K610	[Ｍ]肛門膿瘍	計	1	0.1	56.0	--	--	--	--	--	--	--	--	--	1	--	--	--	--	--	--	--
		男	1	0.2	56.0	--	--	--	--	--	--	--	--	--	1	--	--	--	--	--	--	--
		女	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--
K625	[Ｍ]肛門及び直腸の出血	計	1	0.1	73.0	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	1	--	--	--	--
		男	1	0.2	73.0	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	1	--	--	--	--
		女	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--
K626	[Ｍ]肛門及び直腸の潰瘍	計	1	0.1	87.0	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	1	--
		男	1	0.2	87.0	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	1	--
		女	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--
K631	[Ｍ]腸穿孔（非外傷性）	計	1	0.1	83.0	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	1	--	--
		男	1	0.2	83.0	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	1	--	--
		女	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--
K635	[Ｍ]大腸＜結腸＞のポリープ	計	22	2.2	72.1	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	3	6	7	1	3	2	--
		男	16	3.6	69.1	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	3	6	5	1	1	--	--
		女	6	1.1	80.3	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	2	--	2	2	--
K701	[Ｍ]アルコール性肝炎	計	1	0.1	45.0	--	--	--	--	--	--	--	--	1	--	--	--	--	--	--	--	--
		男	1	0.2	45.0	--	--	--	--	--	--	--	--	1	--	--	--	--	--	--	--	--
		女	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--
K703	[Ｍ]アルコール性肝硬変	計	1	0.1	58.0	--	--	--	--	--	--	--	--	--	1	--	--	--	--	--	--	--
		男	1	0.2	58.0	--	--	--	--	--	--	--	--	--	1	--	--	--	--	--	--	--
		女	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--

ＩＣＤ１０別・年齢階層別・病名数

			総数	構成比(%)	平均年齢	0-28日	29日-11月	1-4歳	5-9歳	10-14歳	15-19歳	20-29歳	30-39歳	40-49歳	50-59歳	60-64歳	65-69歳	70-74歳	75-79歳	80-84歳	85-89歳	90歳-
	総数	計	1,010	100.0	80.1	--	--	--	1	1	5	9	6	11	37	35	71	94	113	145	238	244
		男	444	100.0	75.9	--	--	--	--	1	5	6	6	8	22	21	47	58	56	60	88	66
		女	566	100.0	83.5	--	--	--	1	--	--	3	--	3	15	14	24	36	57	85	150	178
	構成比(%)	計	100.0	--	--	--	--	--	0.1	0.1	0.5	0.9	0.6	1.1	3.7	3.5	7.0	9.3	11.2	14.4	23.6	24.2
		男	100.0	--	--	--	--	--	--	0.2	1.1	1.4	1.4	1.8	5.0	4.7	10.6	13.1	12.6	13.5	19.8	14.9
		女	100.0	--	--	--	--	--	0.2	--	--	0.5	--	0.5	2.7	2.5	4.2	6.4	10.1	15.0	26.5	31.4
K729	[M]肝不全、詳細不明	計	1	0.1	68.0	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	1	--	--	--	--	--
		男	1	0.2	68.0	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	1	--	--	--	--	--
		女	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--
K769	[M]肝疾患、詳細不明	計	1	0.1	76.0	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	1	--	--	--
		男	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--
		女	1	0.2	76.0	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	1	--	--	--
K802	[M]胆のう＜嚢＞炎を伴わない胆のう＜嚢＞結石	計	3	0.3	81.7	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	1	1	1	--
		男	3	0.7	81.7	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	1	1	1	--
		女	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--
K803	[M]胆管炎を伴う胆管結石	計	2	0.2	91.0	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	2
		男	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--
		女	2	0.4	91.0	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	2
K805	[M]胆管炎及び胆のう＜嚢＞炎を伴わない胆管結石	計	5	0.5	80.6	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	1	--	1	1	1	1
		男	3	0.7	81.3	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	1	1	1	--
		女	2	0.4	79.5	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	1	--	--	--	--	1
K810	[M]急性胆のう＜嚢＞炎	計	6	0.6	73.0	--	--	--	--	--	--	1	--	--	--	--	--	1	1	1	1	1
		男	2	0.5	81.0	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	1	--	1	--
		女	4	0.7	69.0	--	--	--	--	--	--	1	--	--	--	--	--	1	--	1	--	1
K819	[M]胆のう＜嚢＞炎、詳細不明	計	1	0.1	83.0	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	1	--	--
		男	1	0.2	83.0	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	1	--	--
		女	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--
K830	[M]胆管炎	計	8	0.8	76.9	--	--	--	--	--	--	1	--	--	--	--	--	1	--	2	3	1
		男	4	0.9	84.3	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	1	--	--	2	1
		女	4	0.7	69.5	--	--	--	--	--	--	1	--	--	--	--	--	--	--	2	1	--
K85	[M]急性膵炎	計	1	0.1	89.0	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	1	--
		男	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--
		女	1	0.2	89.0	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	1	--
K859	[M]急性膵炎、詳細不明	計	3	0.3	88.7	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	1	1	1
		男	2	0.5	86.0	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	1	1	--
		女	1	0.2	94.0	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	1
K861	[M]その他の慢性膵炎	計	1	0.1	60.0	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	1	--	--	--	--	--	--
		男	1	0.2	60.0	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	1	--	--	--	--	--	--
		女	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--
K913	[M]術後腸閉塞	計	1	0.1	79.0	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	1	--	--	--
		男	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--
		女	1	0.2	79.0	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	1	--	--	--
K921	[M]メレナ	計	1	0.1	77.0	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	1	--	--	--
		男	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--
		女	1	0.2	77.0	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	1	--	--	--
K922	[M]胃腸出血、詳細不明	計	5	0.5	87.0	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	1	--	1	1	2
		男	2	0.5	76.5	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	1	--	1	--	--
		女	3	0.5	94.0	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	1	2
L023	[M]殿部の皮膚膿瘍、せつ＜フルンケル＞及びよう＜カルブンケル＞	計	2	0.2	89.5	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	1	1
		男	1	0.2	90.0	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	1
		女	1	0.2	89.0	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	1	--
L031	[M]（四）肢のその他の部位の蜂巣炎＜蜂窩織炎＞	計	6	0.6	71.5	--	--	--	--	--	--	--	--	--	2	--	1	--	1	1	--	1
		男	2	0.5	71.5	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	1	--	1	--	--	--
		女	4	0.7	71.5	--	--	--	--	--	--	--	--	--	2	--	--	--	--	1	--	1
L032	[M]顔面の蜂巣炎＜蜂窩織炎＞	計	1	0.1	80.0	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	1	--	--
		男	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--
		女	1	0.2	80.0	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	1	--	--
L033	[M]体幹の蜂巣炎＜蜂窩織炎＞	計	1	0.1	79.0	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	1	--	--	--
		男	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--
		女	1	0.2	79.0	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	1	--	--	--
L039	[M]蜂巣炎＜蜂窩織炎＞、詳細不明	計	2	0.2	88.0	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	1	--	1
		男	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--
		女	2	0.4	88.0	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	1	--	1
L089	[M]皮膚及び皮下組織の局所感染症、詳細不明	計	1	0.1	15.0	--	--	--	--	--	1	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--
		男	1	0.2	15.0	--	--	--	--	--	1	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--
		女	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--
L120	[M]水疱性類天疱瘡	計	1	0.1	88.0	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	1	--
		男	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--
		女	1	0.2	88.0	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	1	--
L89	[M]じょく＜褥＞瘡性潰瘍及び圧迫領域	計	1	0.1	87.0	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	1	--
		男	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--
		女	1	0.2	87.0	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	1	--
L984	[M]皮膚の慢性潰瘍、他に分類されないもの	計	2	0.2	82.0	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	2	--	--
		男	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--
		女	2	0.4	82.0	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	2	--	--
M0094	[I]右中指化膿性関節炎・指関節	計	1	0.1	60.0	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	1	--	--	--	--	--	--
		男	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--
		女	1	0.2	60.0	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	1	--	--	--	--	--	--
M1123	[I]左手関節偽痛風	計	1	0.1	86.0	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	1	--
		男	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--
		女	1	0.2	86.0	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	1	--
M1128	[I]頚椎偽痛風の疑い	計	1	0.1	85.0	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	1	--
		男	1	0.2	85.0	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	1	--
		女	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--
M1316	[I]右化膿性膝関節炎	計	1	0.1	64.0	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	1	--	--	--	--	--	--
		男	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--
		女	1	0.2	64.0	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	1	--	--	--	--	--	--

ＩＣＤ１０別・年齢階層別・病名数

			総数	構成比(%)	平均年齢	0-28日	29日-11月	1-4歳	5-9歳	10-14歳	15-19歳	20-29歳	30-39歳	40-49歳	50-59歳	60-64歳	65-69歳	70-74歳	75-79歳	80-84歳	85-89歳	90歳-
	総数	計	1,010	100.0	80.1	--	--	--	1	1	5	9	6	11	37	35	71	94	113	145	238	244
		男	444	100.0	75.9	--	--	--	--	1	5	6	6	8	22	21	47	58	56	60	88	66
		女	566	100.0	83.5	--	--	--	1	--	--	3	--	3	15	14	24	36	57	85	150	178
	構成比(%)	計	100.0	--	--	--	--	--	0.1	0.1	0.5	0.9	0.6	1.1	3.7	3.5	7.0	9.3	11.2	14.4	23.6	24.2
		男	100.0	--	--	--	--	--	--	0.2	1.1	1.4	1.4	1.8	5.0	4.7	10.6	13.1	12.6	13.5	19.8	14.9
		女	100.0	--	--	--	--	--	0.2	--	--	0.5	--	0.5	2.7	2.5	4.2	6.4	10.1	15.0	26.5	31.4
M169	[M]股関節症、詳細不明	計	3	0.3	83.3	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	1	1	--	1
		男	1	0.2	81.0	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	1	--	--
		女	2	0.4	84.5	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	1	--	--	1
M179	[M]膝関節症、詳細不明	計	10	1.0	82.2	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	5	2	1	2
		男	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--
		女	10	1.8	82.2	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	5	2	1	2
M1995	[I]右仙腸関節症	計	1	0.1	54.0	--	--	--	--	--	--	--	--	--	1	--	--	--	--	--	--	--
		男	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--
		女	1	0.2	54.0	--	--	--	--	--	--	--	--	--	1	--	--	--	--	--	--	--
M2316	[I]左円板状外側半月板	計	1	0.1	62.0	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	1	--	--	--	--	--	--
		男	1	0.2	62.0	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	1	--	--	--	--	--	--
		女	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--
M2441	[I]左反復性肩関節脱臼	計	1	0.1	38.0	--	--	--	--	--	--	--	1	--	--	--	--	--	--	--	--	--
		男	1	0.2	38.0	--	--	--	--	--	--	--	1	--	--	--	--	--	--	--	--	--
		女	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--
M332	[M]多発性筋炎	計	1	0.1	83.0	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	1	--	--
		男	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--
		女	1	0.2	83.0	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	1	--	--
M4639	[I]化膿性椎間板炎	計	1	0.1	100.0	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	1
		男	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--
		女	1	0.2	100.0	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	1
M4712	[I*]頚椎症性脊髄症	計	6	0.6	86.0	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	2	2	2
		男	4	0.9	86.5	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	1	2	1
		女	2	0.4	85.0	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	1	--	1
M4722	[I]頚椎症性神経根症	計	1	0.1	74.0	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	1	--	--	--	--
		男	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--
		女	1	0.2	74.0	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	1	--	--	--	--
M4806	[I*]腰部脊柱管狭窄症	計	9	0.9	80.6	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	2	4	1	1	1
		男	1	0.2	93.0	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	1
		女	8	1.4	79.0	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	2	4	1	1	--
M512	[M]その他の明示された椎間板ヘルニア＜変位＞	計	1	0.1	31.0	--	--	--	--	--	--	--	1	--	--	--	--	--	--	--	--	--
		男	1	0.2	31.0	--	--	--	--	--	--	--	1	--	--	--	--	--	--	--	--	--
		女	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--
M519	[M]椎間板障害、詳細不明	計	1	0.1	100.0	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	1
		男	1	0.2	100.0	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	1
		女	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--
M6259	[I*]廃用症候群	計	6	0.6	80.2	--	--	--	--	--	--	--	--	--	1	--	--	1	--	--	3	1
		男	3	0.7	77.3	--	--	--	--	--	--	--	--	--	1	--	--	--	--	--	2	--
		女	3	0.5	83.0	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	1	--	--	1	1
M6289	[I]薬剤性横紋筋融解症の疑い	計	1	0.1	45.0	--	--	--	--	--	--	--	--	1	--	--	--	--	--	--	--	--
		男	1	0.2	45.0	--	--	--	--	--	--	--	--	1	--	--	--	--	--	--	--	--
		女	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--
M6534	[I*]左示指ばね指	計	2	0.2	67.0	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	2	--	--	--	--	--
		男	1	0.2	68.0	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	1	--	--	--	--	--
		女	1	0.2	66.0	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	1	--	--	--	--	--
M7022	[I]右肘頭滑液包炎	計	1	0.1	81.0	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	1	--	--
		男	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--
		女	1	0.2	81.0	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	1	--	--
M7046	[I]右膝蓋前滑液包炎	計	1	0.1	93.0	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	1
		男	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--
		女	1	0.2	93.0	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	1
M754	[M]肩のインピンジメント症候群	計	1	0.1	76.0	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	1	--	--	--
		男	1	0.2	76.0	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	1	--	--	--
		女	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--
M7666	[I]両アキレス腱滑液包炎	計	1	0.1	89.0	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	1	--
		男	1	0.2	89.0	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	1	--
		女	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--
M8418	[I]第２腰椎偽関節	計	1	0.1	87.0	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	1	--
		男	1	0.2	87.0	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	1	--
		女	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--
M8706	[I]右膝関節特発性骨壊死の術後	計	1	0.1	73.0	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	1	--	--	--	--
		男	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--
		女	1	0.2	73.0	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	1	--	--	--	--
M932	[M]離断性骨軟骨炎	計	1	0.1	14.0	--	--	--	--	1	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--
		男	1	0.2	14.0	--	--	--	--	1	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--
		女	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--
N10	[M]急性尿細管間質性腎炎	計	16	1.6	81.3	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	1	1	--	3	6	3	2
		男	5	1.1	73.0	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	1	1	--	2	1	--	--
		女	11	1.9	85.0	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	1	5	3	2
N12	[M]尿細管間質性腎炎、急性又は慢性と明示されないもの	計	7	0.7	89.6	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	1	--	2	4
		男	2	0.5	95.0	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	2
		女	5	0.9	87.4	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	1	--	2	2
N178	[M]その他の急性腎不全	計	1	0.1	93.0	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	1
		男	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--
		女	1	0.2	93.0	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	1
N179	[M]急性腎不全、詳細不明	計	1	0.1	65.0	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	1	--	--	--	--	--
		男	1	0.2	65.0	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	1	--	--	--	--	--
		女	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--
N189	[M]慢性腎臓病、詳細不明	計	2	0.2	76.0	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	1	--	1	--	--
		男	2	0.5	76.0	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	1	--	1	--	--
		女	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--

ＩＣＤ１０別・年齢階層別・病名数

			総数	構成比(%)	平均年齢	0-28日	29日-11月	1-4歳	5-9歳	10-14歳	15-19歳	20-29歳	30-39歳	40-49歳	50-59歳	60-64歳	65-69歳	70-74歳	75-79歳	80-84歳	85-89歳	90歳-
	総数	計	1,010	100.0	80.1	--	--	--	1	1	5	9	6	11	37	35	71	94	113	145	238	244
		男	444	100.0	75.9	--	--	--	--	1	5	6	6	8	22	21	47	58	56	60	88	66
		女	566	100.0	83.5	--	--	--	1	--	--	3	--	3	15	14	24	36	57	85	150	178
	構成比(%)	計	100.0	--	--	--	--	--	0.1	0.1	0.5	0.9	0.6	1.1	3.7	3.5	7.0	9.3	11.2	14.4	23.6	24.2
		男	100.0	--	--	--	--	--	--	0.2	1.1	1.4	1.4	1.8	5.0	4.7	10.6	13.1	12.6	13.5	19.8	14.9
		女	100.0	--	--	--	--	--	0.2	--	--	0.5	--	0.5	2.7	2.5	4.2	6.4	10.1	15.0	26.5	31.4
N19	[M]詳細不明の腎不全	計	3	0.3	82.7	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	1	1	--	1
		男	3	0.7	82.7	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	1	1	--	1
		女	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--
N209	[M]尿路結石、詳細不明	計	2	0.2	91.0	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	2
		男	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--
		女	2	0.4	91.0	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	2
N281	[M]腎のう＜嚢＞胞、後天性	計	1	0.1	80.0	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	1	--	--
		男	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--
		女	1	0.2	80.0	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	1	--	--
N309	[M]膀胱炎、詳細不明	計	1	0.1	87.0	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	1	--
		男	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--
		女	1	0.2	87.0	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	1	--
N319	[M]神経因性膀胱(機能障害)、詳細不明	計	1	0.1	56.0	--	--	--	--	--	--	--	--	--	1	--	--	--	--	--	--	--
		男	1	0.2	56.0	--	--	--	--	--	--	--	--	--	1	--	--	--	--	--	--	--
		女	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--
N390	[M]尿路感染症、部位不明	計	19	1.9	85.2	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	2	--	1	3	6	7
		男	4	0.9	80.3	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	1	--	1	--	1	1
		女	15	2.7	86.5	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	1	--	--	3	5	6
Q433a	[M]腸回転異常（症）及び総腸間膜症	計	3	0.3	71.0	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	3	--	--	--	--
		男	3	0.7	71.0	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	3	--	--	--	--
		女	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--
R074	[M]胸痛、詳細不明	計	1	0.1	85.0	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	1	--
		男	1	0.2	85.0	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	1	--
		女	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--
R100	[M]急性腹症	計	1	0.1	93.0	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	1
		男	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--
		女	1	0.2	93.0	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	1
R104	[M]その他及び詳細不明の腹痛	計	2	0.2	70.5	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	2	--	--	--	--
		男	2	0.5	70.5	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	2	--	--	--	--
		女	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--
R11	[M]悪心及び嘔吐	計	1	0.1	91.0	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	1
		男	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--
		女	1	0.2	91.0	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	1
R13	[M]えん＜嚥＞下障害	計	3	0.3	87.3	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	1	--	1	1
		男	2	0.5	87.0	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	1	--	--	1
		女	1	0.2	88.0	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	1	--
R17	[M]詳細不明の黄疸	計	1	0.1	76.0	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	1	--	--	--
		男	1	0.2	76.0	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	1	--	--	--
		女	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--
R252	[M](有痛性)けいれん＜痙攣＞【異常不随意運動】	計	1	0.1	85.0	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	1	--
		男	1	0.2	85.0	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	1	--
		女	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--
R268	[M]歩行及び移動のその他及び詳細不明の異常	計	1	0.1	95.0	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	1
		男	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--
		女	1	0.2	95.0	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	1
R270	[M]運動失調（症）、詳細不明	計	1	0.1	94.0	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	1
		男	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--
		女	1	0.2	94.0	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	1
R298	[M]神経系及び筋骨格系に関するその他及び詳細不明の症状及び徴候【神経系及び筋骨格系に関するその他の症状及び徴候】	計	1	0.1	82.0	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	1	--	--
		男	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--
		女	1	0.2	82.0	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	1	--	--
R33	[M]尿閉	計	5	0.5	59.0	--	--	--	--	--	--	--	--	--	3	--	2	--	--	--	--	--
		男	5	1.1	59.0	--	--	--	--	--	--	--	--	--	3	--	2	--	--	--	--	--
		女	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--
R402	[M]昏睡、詳細不明	計	6	0.6	85.0	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	1	--	1	2	2
		男	3	0.7	88.3	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	2	1
		女	3	0.5	81.7	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	1	--	1	--	1
R42	[M]めまい＜眩暈＞感及びよろめき感	計	6	0.6	73.2	--	--	--	--	--	--	--	--	--	1	--	1	--	2	2	--	--
		男	2	0.5	76.0	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	1	--	--	1	--	--
		女	4	0.7	71.8	--	--	--	--	--	--	--	--	--	1	--	--	--	2	1	--	--
R509	[M]発熱、詳細不明	計	1	0.1	9.0	--	--	--	1	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--
		男	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--
		女	1	0.2	9.0	--	--	--	1	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--
R522	[M]その他の慢性疼痛	計	3	0.3	75.3	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	2	--	--	--	1	--
		男	3	0.7	75.3	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	2	--	--	--	1	--
		女	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--
R53	[M]倦怠(感)及び疲労	計	1	0.1	88.0	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	1	--
		男	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--
		女	1	0.2	88.0	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	1	--
R54	[M]老衰	計	18	1.8	92.9	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	1	4	13
		男	5	1.1	90.2	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	3	2
		女	13	2.3	93.9	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	1	1	11
R55	[M]失神及び虚脱	計	4	0.4	82.5	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	1	--	1	2	--
		男	1	0.2	82.0	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	1	--	--
		女	3	0.5	82.7	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	1	--	--	2	--
R568	[M]その他及び詳細不明のけいれん＜痙攣＞	計	2	0.2	93.5	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	1	1
		男	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--
		女	2	0.4	93.5	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	1	1
R579	[M]ショック、詳細不明	計	1	0.1	90.0	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	1
		男	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--
		女	1	0.2	90.0	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	1

ＩＣＤ１０別・年齢階層別・病名数

			総数	構成比(%)	平均年齢	0-28日	29日-11月	1-4歳	5-9歳	10-14歳	15-19歳	20-29歳	30-39歳	40-49歳	50-59歳	60-64歳	65-69歳	70-74歳	75-79歳	80-84歳	85-89歳	90歳-
	総数	計	1,010	100.0	80.1	--	--	--	1	1	5	9	6	11	37	35	71	94	113	145	238	244
		男	444	100.0	75.9	--	--	--	--	1	5	6	6	8	22	21	47	58	56	60	88	66
		女	566	100.0	83.5	--	--	--	1	--	--	3	--	3	15	14	24	36	57	85	150	178
	構成比(%)	計	100.0	--	--	--	--	--	0.1	0.1	0.5	0.9	0.6	1.1	3.7	3.5	7.0	9.3	11.2	14.4	23.6	24.2
		男	100.0	--	--	--	--	--	--	0.2	1.1	1.4	1.4	1.8	5.0	4.7	10.6	13.1	12.6	13.5	19.8	14.9
		女	100.0	--	--	--	--	--	0.2	--	--	0.5	--	0.5	2.7	2.5	4.2	6.4	10.1	15.0	26.5	31.4
R630	[M]食欲不振	計	8	0.8	88.3	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	1	1	1	5
		男	2	0.5	83.5	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	1	--	--	1
		女	6	1.1	89.8	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	1	1	4
R634	[M]異常体重減少	計	2	0.2	81.0	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	1	--	1	--
		男	2	0.5	81.0	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	1	--	1	--
		女	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--
S000	[M]頭皮の表在損傷	計	2	0.2	75.0	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	1	--	--	--	--	1	--
		男	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--
		女	2	0.4	75.0	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	1	--	--	--	--	1	--
S062	[M]びまん性脳損傷	計	1	0.1	74.0	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	1	--	--	--	--
		男	1	0.2	74.0	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	1	--	--	--	--
		女	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--
S0650	[I]右外傷性慢性硬膜下血腫	計	1	0.1	78.0	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	1	--	--	--
		男	1	0.2	78.0	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	1	--	--	--
		女	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--
S099	[M]頭部の詳細不明の損傷	計	2	0.2	88.5	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	1	--	1
		男	1	0.2	81.0	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	1	--	--
		女	1	0.2	96.0	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	1
S134	[M]頚椎の捻挫及びストレイン	計	1	0.1	67.0	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	1	--	--	--	--	--
		男	1	0.2	67.0	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	1	--	--	--	--	--
		女	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--
S141	[M]頚髄のその他及び詳細不明の損傷	計	3	0.3	81.0	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	3	--	--
		男	3	0.7	81.0	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	3	--	--
		女	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--
S2200	[I*]第１２胸椎椎体骨折	計	15	1.5	80.3	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	1	--	2	3	4	5	--
		男	4	0.9	75.0	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	1	--	1	--	2	--	--
		女	11	1.9	82.3	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	1	3	2	5	--
S2220	[I]胸骨骨折	計	1	0.1	99.0	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	1
		男	1	0.2	99.0	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	1
		女	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--
S2230	[I*]右第１０肋骨骨折	計	3	0.3	71.3	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	1	--	1	--	1	--	--
		男	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--
		女	3	0.5	71.3	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	1	--	1	--	1	--	--
S3200	[I*]第５腰椎椎体骨折	計	18	1.8	83.9	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	1	1	--	2	2	9	3
		男	7	1.6	84.3	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	1	--	--	1	4	1
		女	11	1.9	83.6	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	1	--	--	2	1	5	2
S3210	[I]仙骨骨折	計	1	0.1	90.0	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	1
		男	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--
		女	1	0.2	90.0	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	1
S3230	[I]左腸骨骨折	計	1	0.1	47.0	--	--	--	--	--	--	--	--	1	--	--	--	--	--	--	--	--
		男	1	0.2	47.0	--	--	--	--	--	--	--	--	1	--	--	--	--	--	--	--	--
		女	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--
S3250	[I*]右恥骨骨折	計	3	0.3	87.3	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	1	--	--	2
		男	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--
		女	3	0.5	87.3	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	1	--	--	2
S3280	[I]左坐骨骨折	計	1	0.1	90.0	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	1
		男	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--
		女	1	0.2	90.0	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	1
S4210	[I*]右肩甲骨関節窩骨折	計	2	0.2	63.0	--	--	--	--	--	--	--	1	--	--	--	--	--	--	--	--	1
		男	1	0.2	36.0	--	--	--	--	--	--	--	1	--	--	--	--	--	--	--	--	--
		女	1	0.2	90.0	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	1
S4220	[I*]右上腕骨外科頚骨折	計	4	0.4	82.3	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	1	1	--	1	1
		男	1	0.2	88.0	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	1	--
		女	3	0.5	80.3	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	1	1	--	--	1
S4240	[I]上腕骨通顆骨折	計	1	0.1	83.0	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	1	--	--
		男	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--
		女	1	0.2	83.0	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	1	--	--
S430	[M]肩関節脱臼	計	1	0.1	89.0	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	1	--
		男	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--
		女	1	0.2	89.0	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	1	--
S460	[M]肩(回旋筋)腱板の筋及び腱の損傷	計	2	0.2	75.0	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	1	--	--	--	--	1	--
		男	2	0.5	75.0	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	1	--	--	--	--	1	--
		女	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--
S498	[M]肩及び上腕のその他の明示された損傷	計	1	0.1	17.0	--	--	--	--	--	1	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--
		男	1	0.2	17.0	--	--	--	--	--	1	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--
		女	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--
S5200	[I*]左肘頭骨折	計	3	0.3	58.7	--	--	--	--	--	1	--	--	--	--	--	--	1	--	--	--	1
		男	2	0.5	43.0	--	--	--	--	--	1	--	--	--	--	--	--	1	--	--	--	--
		女	1	0.2	90.0	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	1
S5230	[I]右橈骨骨幹部骨折	計	1	0.1	68.0	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	1	--	--	--	--	--
		男	1	0.2	68.0	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	1	--	--	--	--	--
		女	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--
S5250	[I*]左橈骨遠位端骨折	計	7	0.7	68.9	--	--	--	--	--	--	--	--	--	1	2	2	--	1	1	--	--
		男	1	0.2	69.0	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	1	--	--	--	--	--
		女	6	1.1	68.8	--	--	--	--	--	--	--	--	--	1	2	1	--	1	1	--	--
S533	[M]内側側副靱帯の外傷性断裂	計	1	0.1	26.0	--	--	--	--	--	--	1	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--
		男	1	0.2	26.0	--	--	--	--	--	--	1	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--
		女	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--
S6230	[I]左第３中手骨骨折	計	1	0.1	59.0	--	--	--	--	--	--	--	--	--	1	--	--	--	--	--	--	--
		男	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--
		女	1	0.2	59.0	--	--	--	--	--	--	--	--	--	1	--	--	--	--	--	--	--

ＩＣＤ１０別・年齢階層別・病名数

			総数	構成比(%)	平均年齢	0-28日	29日-11月	1-4歳	5-9歳	10-14歳	15-19歳	20-29歳	30-39歳	40-49歳	50-59歳	60-64歳	65-69歳	70-74歳	75-79歳	80-84歳	85-89歳	90歳-
	総数	計	1,010	100.0	80.1	--	--	--	1	1	5	9	6	11	37	35	71	94	113	145	238	244
		男	444	100.0	75.9	--	--	--	--	1	5	6	6	8	22	21	47	58	56	60	88	66
		女	566	100.0	83.5	--	--	--	1	--	--	3	--	3	15	14	24	36	57	85	150	178
	構成比(%)	計	100.0	--	--	--	--	--	0.1	0.1	0.5	0.9	0.6	1.1	3.7	3.5	7.0	9.3	11.2	14.4	23.6	24.2
		男	100.0	--	--	--	--	--	--	0.2	1.1	1.4	1.4	1.8	5.0	4.7	10.6	13.1	12.6	13.5	19.8	14.9
		女	100.0	--	--	--	--	--	0.2	--	--	0.5	--	0.5	2.7	2.5	4.2	6.4	10.1	15.0	26.5	31.4
S6260	[Ｉ]左小指基節骨骨折	計	1	0.1	71.0	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	1	--	--	--	--
		男	1	0.2	71.0	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	1	--	--	--	--
		女	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--
S6261	[Ｉ]右示指末節骨開放骨折	計	1	0.1	74.0	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	1	--	--	--	--
		男	1	0.2	74.0	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	1	--	--	--	--
		女	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--
S681	[Ｍ]その他の単指の外傷性切断（完全）（部分的）	計	1	0.1	66.0	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	1	--	--	--	--	--
		男	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--
		女	1	0.2	66.0	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	1	--	--	--	--	--
S7200	[Ｉ*]左大腿骨頚部骨折	計	9	0.9	84.7	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	1	--	1	2	3	2
		男	2	0.5	77.0	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	1	--	--	--	1	--
		女	7	1.2	86.9	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	1	2	2	2
S7210	[Ｉ*]大腿骨転子部骨折の術後	計	20	2.0	90.4	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	3	4	13
		男	1	0.2	86.0	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	1	--
		女	19	3.4	90.6	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	3	3	13
S7230	[Ｉ*]右大腿骨骨幹部骨折	計	2	0.2	94.5	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	2
		男	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--
		女	2	0.4	94.5	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	2
S7240	[Ｉ*]大腿骨顆上骨折	計	2	0.2	90.5	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	1	1
		男	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--
		女	2	0.4	90.5	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	1	1
S800	[Ｍ]膝の挫傷	計	2	0.2	84.0	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	1	--	--	1
		男	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--
		女	2	0.4	84.0	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	1	--	--	1
S8200	[Ｉ*]右膝蓋骨骨折	計	5	0.5	84.0	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	1	2	2	--
		男	2	0.5	88.5	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	2	--
		女	3	0.5	81.0	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	1	2	--	--
S8201	[Ｉ]膝蓋骨開放骨折の術後	計	1	0.1	68.0	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	1	--	--	--	--	--
		男	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--
		女	1	0.2	68.0	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	1	--	--	--	--	--
S8210	[Ｉ*]脛骨近位端骨折の術後	計	5	0.5	73.4	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	1	2	1	1	--	--
		男	2	0.5	70.0	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	2	--	--	--	--
		女	3	0.5	75.7	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	1	--	1	1	--	--
S8220	[Ｉ*]左脛骨腓骨骨折の術後	計	2	0.2	70.5	--	--	--	--	--	--	--	--	1	--	--	--	--	--	--	--	1
		男	1	0.2	47.0	--	--	--	--	--	--	--	--	1	--	--	--	--	--	--	--	--
		女	1	0.2	94.0	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	1
S8250	[Ｉ*]左足関節内果骨折の術後	計	2	0.2	69.5	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	1	--	--	1	--	--	--
		男	1	0.2	75.0	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	1	--	--	--
		女	1	0.2	64.0	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	1	--	--	--	--	--	--
S8260	[Ｉ*]右足関節外果骨折	計	3	0.3	65.3	--	--	--	--	--	--	--	--	--	1	1	--	--	1	--	--	--
		男	2	0.5	58.5	--	--	--	--	--	--	--	--	--	1	1	--	--	--	--	--	--
		女	1	0.2	79.0	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	1	--	--	--
S8280	[Ｉ]左足関節脱臼骨折の術後	計	1	0.1	68.0	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	1	--	--	--	--	--
		男	1	0.2	68.0	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	1	--	--	--	--	--
		女	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--
S832	[Ｍ]半月裂傷＜断裂＞＜Ｔｅａｒ＞、新鮮損傷	計	1	0.1	70.0	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	1	--	--	--	--
		男	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--
		女	1	0.2	70.0	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	1	--	--	--	--
S860	[Ｍ]アキレス腱損傷	計	2	0.2	62.0	--	--	--	--	--	--	--	--	--	1	--	1	--	--	--	--	--
		男	1	0.2	65.0	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	1	--	--	--	--	--
		女	1	0.2	59.0	--	--	--	--	--	--	--	--	--	1	--	--	--	--	--	--	--
S899	[Ｍ]下腿の詳細不明の損傷	計	1	0.1	42.0	--	--	--	--	--	--	--	--	1	--	--	--	--	--	--	--	--
		男	1	0.2	42.0	--	--	--	--	--	--	--	--	1	--	--	--	--	--	--	--	--
		女	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--
S9200	[Ｉ*]右踵骨骨折	計	2	0.2	83.0	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	1	1	--
		男	1	0.2	81.0	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	1	--	--
		女	1	0.2	85.0	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	1	--
S9230	[Ｉ*]右第５中足骨骨折	計	2	0.2	93.5	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	2
		男	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--
		女	2	0.4	93.5	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	2
S934	[Ｍ]足首の捻挫及びストレイン	計	2	0.2	76.5	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	1	1	--	--	--
		男	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--
		女	2	0.4	76.5	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	1	1	--	--	--
T182	[Ｍ]胃内異物	計	1	0.1	62.0	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	1	--	--	--	--	--	--
		男	1	0.2	62.0	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	1	--	--	--	--	--	--
		女	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--
T242	[Ｍ]股関節部及び下肢の第２度熱傷、足首及び足を除く	計	1	0.1	78.0	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	1	--	--	--
		男	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--
		女	1	0.2	78.0	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	1	--	--	--
T630	[Ｍ]ヘビ毒【有毒動物との接触による毒作用】	計	3	0.3	59.3	--	--	--	--	--	--	--	--	--	2	--	1	--	--	--	--	--
		男	1	0.2	56.0	--	--	--	--	--	--	--	--	--	1	--	--	--	--	--	--	--
		女	2	0.4	61.0	--	--	--	--	--	--	--	--	--	1	--	1	--	--	--	--	--
T678	[Ｍ]熱及び光線のその他の作用【熱及び光線の作用】	計	4	0.4	86.0	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	1	1	1	1
		男	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--
		女	4	0.7	86.0	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	1	1	1	1
T782	[Ｍ]アナフィラキシーショック、詳細不明	計	2	0.2	55.5	--	--	--	--	--	--	--	1	--	--	--	--	--	1	--	--	--
		男	1	0.2	35.0	--	--	--	--	--	--	--	1	--	--	--	--	--	--	--	--	--
		女	1	0.2	76.0	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	1	--	--	--
T814	[Ｍ]処置に続発する感染症、他に分類されないもの	計	1	0.1	90.0	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	1
		男	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--
		女	1	0.2	90.0	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	1

ＩＣＤ１０別・年齢階層別・病名数

			総数	構成比(%)	平均年齢	0-28日	29日-11月	1-4歳	5-9歳	10-14歳	15-19歳	20-29歳	30-39歳	40-49歳	50-59歳	60-64歳	65-69歳	70-74歳	75-79歳	80-84歳	85-89歳	90歳-
	総数	計	1,010	100.0	80.1	--	--	--	1	1	5	9	6	11	37	35	71	94	113	145	238	244
		男	444	100.0	75.9	--	--	--	--	1	5	6	6	8	22	21	47	58	56	60	88	66
		女	566	100.0	83.5	--	--	--	1	--	--	3	--	3	15	14	24	36	57	85	150	178
	構成比(%)	計	100.0	--	--	--	--	--	0.1	0.1	0.5	0.9	0.6	1.1	3.7	3.5	7.0	9.3	11.2	14.4	23.6	24.2
		男	100.0	--	--	--	--	--	--	0.2	1.1	1.4	1.4	1.8	5.0	4.7	10.6	13.1	12.6	13.5	19.8	14.9
		女	100.0	--	--	--	--	--	0.2	--	--	0.5	--	0.5	2.7	2.5	4.2	6.4	10.1	15.0	26.5	31.4
T835	[M]尿路系プロステーシス、挿入物及び移植片による感染症及び炎症性反応	計	1	0.1	87.0	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	1	--
		男	1	0.2	87.0	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	1	--
		女	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--
Z470	[M]骨折プレート及びその他の内固定器具の除去に関する経過観察<フォローアップ>ケア	計	8	0.8	65.8	--	--	--	--	--	--	1	--	--	1	2	1	--	2	--	--	1
		男	7	1.6	66.3	--	--	--	--	--	--	1	--	--	1	1	1	--	2	--	--	1
		女	1	0.2	62.0	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	1	--	--	--	--	--	--
Z501	[M]その他の理学療法	計	16	1.6	79.1	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	1	1	4	2	4	1	3
		男	10	2.3	79.1	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	1	2	2	3	1	1
		女	6	1.1	79.0	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	1	--	2	--	1	--	2
Z904	[M]消化管のその他の部位の後天性欠損	計	1	0.1	90.0	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	1
		男	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--
		女	1	0.2	90.0	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	1
Z933	[M]人工肛門造設状態	計	1	0.1	83.0	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	1	--	--
		男	1	0.2	83.0	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	1	--	--
		女	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--
Z950	[M]心臓の電気的デバイスの存在	計	1	0.1	93.0	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	1
		男	1	0.2	93.0	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	1
		女	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--
Z952	[M]人工心臓弁の存在	計	1	0.1	82.0	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	1	--	--
		男	1	0.2	82.0	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	1	--	--
		女	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--
Z966	[M]整形外科的関節挿入物の存在	計	2	0.2	79.0	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	2	--	--	--
		男	1	0.2	79.0	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	1	--	--	--
		女	1	0.2	79.0	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	1	--	--	--

ＩＣＤ１０別・在院期間別・病名数

			総数	構成比(%)	延べ在院日数	平均在院日数	1-8日	9-15日	16-22日	23-31日	32-61日	62-91日	3-6ヶ月	6ヶ月-1年	1-2年	2年-
	総数	計	1,010	100.0	29,216	28.9	293	192	165	97	159	55	32	14	2	1
		男	444	100.0	12,805	28.8	138	87	68	35	72	23	12	8	--	1
		女	566	100.0	16,411	29.0	155	105	97	62	87	32	20	6	2	--
	構成比(%)	計	100.0	--	--	--	29.0	19.0	16.3	9.6	15.7	5.4	3.2	1.4	0.2	0.1
		男	100.0	--	--	--	31.1	19.6	15.3	7.9	16.2	5.2	2.7	1.8	--	0.2
		女	100.0	--	--	--	27.4	18.6	17.1	11.0	15.4	5.7	3.5	1.1	0.4	--
A047	[M]クロストリジウム・ディフィシルによる全腸炎	計	2	0.2	59	29.5	--	--	1	--	1	--	--	--	--	--
		男	1	0.2	43	43.0	--	--	--	--	1	--	--	--	--	--
		女	1	0.2	16	16.0	--	--	1	--	--	--	--	--	--	--
A09	[M]その他の胃腸炎及び大腸炎、感染症及び詳細不明の原因によるもの	計	2	0.2	45	22.5	--	--	1	1	--	--	--	--	--	--
		男	1	0.2	24	24.0	--	--	--	1	--	--	--	--	--	--
		女	1	0.2	21	21.0	--	--	1	--	--	--	--	--	--	--
A090	[M]感染症が原因のその他及び詳細不明の胃腸炎及び大腸炎	計	1	0.1	5	5.0	1	--	--	--	--	--	--	--	--	--
		男	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--
		女	1	0.2	5	5.0	1	--	--	--	--	--	--	--	--	--
A099	[M]詳細不明の原因による胃腸炎及び大腸炎	計	11	1.1	92	8.4	7	2	2	--	--	--	--	--	--	--
		男	5	1.1	39	7.8	4	--	1	--	--	--	--	--	--	--
		女	6	1.1	53	8.8	3	2	1	--	--	--	--	--	--	--
A415	[M]その他のグラム陰性菌による敗血症	計	1	0.1	10	10.0	--	1	--	--	--	--	--	--	--	--
		男	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--
		女	1	0.2	10	10.0	--	1	--	--	--	--	--	--	--	--
A419	[M]敗血症、詳細不明	計	6	0.6	184	30.7	--	2	1	1	1	1	--	--	--	--
		男	2	0.5	82	41.0	--	1	--	--	--	1	--	--	--	--
		女	4	0.7	102	25.5	--	1	1	1	1	--	--	--	--	--
A46	[M]丹毒	計	1	0.1	7	7.0	1	--	--	--	--	--	--	--	--	--
		男	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--
		女	1	0.2	7	7.0	1	--	--	--	--	--	--	--	--	--
A499	[M]細菌感染症、詳細不明	計	2	0.2	194	97.0	--	--	--	--	--	1	1	--	--	--
		男	2	0.5	194	97.0	--	--	--	--	--	1	1	--	--	--
		女	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--
B029	[M]帯状疱疹、合併症を伴わないもの	計	2	0.2	42	21.0	--	1	--	1	--	--	--	--	--	--
		男	1	0.2	30	30.0	--	--	--	1	--	--	--	--	--	--
		女	1	0.2	12	12.0	--	1	--	--	--	--	--	--	--	--
C029	[M]舌、部位不明【舌のその他及び部位不明の悪性新生物＜腫瘍＞】	計	1	0.1	24	24.0	--	--	--	1	--	--	--	--	--	--
		男	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--
		女	1	0.2	24	24.0	--	--	--	1	--	--	--	--	--	--
C07	[M]耳下腺の悪性新生物＜腫瘍＞	計	1	0.1	9	9.0	--	1	--	--	--	--	--	--	--	--
		男	1	0.2	9	9.0	--	1	--	--	--	--	--	--	--	--
		女	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--
C139	[M]下咽頭、部位不明【下咽頭の悪性新生物＜腫瘍＞】	計	1	0.1	106	106.0	--	--	--	--	--	--	1	--	--	--
		男	1	0.2	106	106.0	--	--	--	--	--	--	1	--	--	--
		女	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--
C158	[M]食道の境界部病巣【食道の悪性新生物＜腫瘍＞】	計	1	0.1	32	32.0	--	--	--	--	1	--	--	--	--	--
		男	1	0.2	32	32.0	--	--	--	--	1	--	--	--	--	--
		女	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--
C169	[M]胃、部位不明【胃の悪性新生物＜腫瘍＞】	計	6	0.6	232	38.7	1	1	1	--	2	--	1	--	--	--
		男	3	0.7	125	41.7	1	--	1	--	--	--	1	--	--	--
		女	3	0.5	107	35.7	--	1	--	--	2	--	--	--	--	--
C180	[M]盲腸【結腸の悪性新生物＜腫瘍＞】	計	3	0.3	148	49.3	--	--	1	--	1	--	1	--	--	--
		男	2	0.5	56	28.0	--	--	1	--	1	--	--	--	--	--
		女	1	0.2	92	92.0	--	--	--	--	--	--	1	--	--	--
C184	[M]横行結腸【結腸の悪性新生物＜腫瘍＞】	計	2	0.2	84	42.0	--	1	--	--	--	1	--	--	--	--
		男	1	0.2	74	74.0	--	--	--	--	--	1	--	--	--	--
		女	1	0.2	10	10.0	--	1	--	--	--	--	--	--	--	--
C187	[M]S状結腸【結腸の悪性新生物＜腫瘍＞】	計	3	0.3	104	34.7	--	--	--	1	2	--	--	--	--	--
		男	2	0.5	70	35.0	--	--	--	1	1	--	--	--	--	--
		女	1	0.2	34	34.0	--	--	--	--	1	--	--	--	--	--
C189	[M]結腸、部位不明【結腸の悪性新生物＜腫瘍＞】	計	4	0.4	94	23.5	3	--	--	--	--	1	--	--	--	--
		男	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--
		女	4	0.7	94	23.5	3	--	--	--	--	1	--	--	--	--
C20	[M]直腸の悪性新生物＜腫瘍＞	計	3	0.3	80	26.7	--	1	--	1	1	--	--	--	--	--
		男	1	0.2	11	11.0	--	1	--	--	--	--	--	--	--	--
		女	2	0.4	69	34.5	--	--	--	1	1	--	--	--	--	--
C220	[M]肝細胞癌【肝及び肝内胆管の悪性新生物＜腫瘍＞】	計	1	0.1	4	4.0	1	--	--	--	--	--	--	--	--	--
		男	1	0.2	4	4.0	1	--	--	--	--	--	--	--	--	--
		女	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--
C221	[M]肝内胆管癌【肝及び肝内胆管の悪性新生物＜腫瘍＞】	計	3	0.3	102	34.0	--	1	--	--	2	--	--	--	--	--
		男	3	0.7	102	34.0	--	1	--	--	2	--	--	--	--	--
		女	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--
C240	[M]肝外胆管【その他及び部位不明の胆道の悪性新生物＜腫瘍＞】	計	1	0.1	13	13.0	--	1	--	--	--	--	--	--	--	--
		男	1	0.2	13	13.0	--	1	--	--	--	--	--	--	--	--
		女	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--
C250	[M]膵頭部【膵の悪性新生物＜腫瘍＞】	計	1	0.1	118	118.0	--	--	--	--	--	--	1	--	--	--
		男	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--
		女	1	0.2	118	118.0	--	--	--	--	--	--	1	--	--	--

ＩＣＤ１０別・在院期間別・病名数

			総数	構成比(%)	延べ在院日数	平均在院日数	1-8日	9-15日	16-22日	23-31日	32-61日	62-91日	3-6ヶ月	6ヶ月-1年	1-2年	2年-
	総数	計	1,010	100.0	29,216	28.9	293	192	165	97	159	55	32	14	2	1
		男	444	100.0	12,805	28.8	138	87	68	35	72	23	12	8	--	1
		女	566	100.0	16,411	29.0	155	105	97	62	87	32	20	6	2	--
	構成比(%)	計	100.0	--	--	--	29.0	19.0	16.3	9.6	15.7	5.4	3.2	1.4	0.2	0.1
		男	100.0	--	--	--	31.1	19.6	15.3	7.9	16.2	5.2	2.7	1.8	--	0.2
		女	100.0	--	--	--	27.4	18.6	17.1	11.0	15.4	5.7	3.5	1.1	0.4	--
C251	[Ｍ]膵体部【膵の悪性新生物＜腫瘍＞】	計	1	0.1	32	32.0	--	--	--	--	1	--	--	--	--	--
		男	1	0.2	32	32.0	--	--	--	--	1	--	--	--	--	--
		女	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--
C259	[Ｍ]膵、部位不明【膵の悪性新生物＜腫瘍＞】	計	2	0.2	40	20.0	1	--	--	--	1	--	--	--	--	--
		男	2	0.5	40	20.0	1	--	--	--	1	--	--	--	--	--
		女	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--
C341	[Ｍ]上葉、気管支又は肺【気管支及び肺の悪性新生物＜腫瘍＞】	計	1	0.1	89	89.0	--	--	--	--	--	1	--	--	--	--
		男	1	0.2	89	89.0	--	--	--	--	--	1	--	--	--	--
		女	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--
C343	[Ｍ]下葉、気管支又は肺【気管支及び肺の悪性新生物＜腫瘍＞】	計	1	0.1	37	37.0	--	--	--	--	1	--	--	--	--	--
		男	1	0.2	37	37.0	--	--	--	--	1	--	--	--	--	--
		女	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--
C349	[Ｍ]気管支又は肺、部位不明【気管支及び肺の悪性新生物＜腫瘍＞】	計	1	0.1	25	25.0	--	--	--	1	--	--	--	--	--	--
		男	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--
		女	1	0.2	25	25.0	--	--	--	1	--	--	--	--	--	--
C61	[Ｍ]前立腺の悪性新生物＜腫瘍＞	計	2	0.2	68	34.0	1	--	--	--	--	1	--	--	--	--
		男	2	0.5	68	34.0	1	--	--	--	--	1	--	--	--	--
		女	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--
C64	[Ｍ]腎盂を除く腎の悪性新生物＜腫瘍＞	計	1	0.1	81	81.0	--	--	--	--	--	1	--	--	--	--
		男	1	0.2	81	81.0	--	--	--	--	--	1	--	--	--	--
		女	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--
C679	[Ｍ]膀胱、部位不明【膀胱の悪性新生物＜腫瘍＞】	計	1	0.1	76	76.0	--	--	--	--	--	1	--	--	--	--
		男	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--
		女	1	0.2	76	76.0	--	--	--	--	--	1	--	--	--	--
C780	[Ｍ]肺の続発性悪性新生物＜腫瘍＞	計	1	0.1	8	8.0	1	--	--	--	--	--	--	--	--	--
		男	1	0.2	8	8.0	1	--	--	--	--	--	--	--	--	--
		女	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--
C782	[Ｍ]胸膜の続発性悪性新生物＜腫瘍＞	計	1	0.1	23	23.0	--	--	--	1	--	--	--	--	--	--
		男	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--
		女	1	0.2	23	23.0	--	--	--	1	--	--	--	--	--	--
C786	[Ｍ]後腹膜及び腹膜の続発性悪性新生物＜腫瘍＞	計	1	0.1	6	6.0	1	--	--	--	--	--	--	--	--	--
		男	1	0.2	6	6.0	1	--	--	--	--	--	--	--	--	--
		女	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--
C787	[Ｍ]肝及び肝内胆管の続発性悪性新生物＜腫瘍＞	計	1	0.1	24	24.0	--	--	--	1	--	--	--	--	--	--
		男	1	0.2	24	24.0	--	--	--	1	--	--	--	--	--	--
		女	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--
C795	[Ｍ]骨及び骨髄の続発性悪性新生物＜腫瘍＞	計	1	0.1	10	10.0	--	1	--	--	--	--	--	--	--	--
		男	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--
		女	1	0.2	10	10.0	--	1	--	--	--	--	--	--	--	--
C859	[Ｍ]非ホジキン＜ｎｏｎ－Ｈｏｄｇｋｉｎ＞リンパ腫、型不明	計	7	0.7	133	19.0	5	--	--	--	1	1	--	--	--	--
		男	6	1.4	64	10.7	5	--	--	--	1	--	--	--	--	--
		女	1	0.2	69	69.0	--	--	--	--	--	1	--	--	--	--
C929	[Ｍ]骨髄性白血病、詳細不明	計	28	2.8	90	3.2	25	2	1	--	--	--	--	--	--	--
		男	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--
		女	28	4.9	90	3.2	25	2	1	--	--	--	--	--	--	--
D171	[Ｍ]体幹の皮膚及び皮下組織【良性脂肪腫性新生物＜腫瘍＞(脂肪腫を含む)】	計	1	0.1	21	21.0	--	--	1	--	--	--	--	--	--	--
		男	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--
		女	1	0.2	21	21.0	--	--	1	--	--	--	--	--	--	--
D179	[Ｍ]良性脂肪腫性新生物、部位不明【良性脂肪腫性新生物＜腫瘍＞(脂肪腫を含む)】	計	1	0.1	3	3.0	1	--	--	--	--	--	--	--	--	--
		男	1	0.2	3	3.0	1	--	--	--	--	--	--	--	--	--
		女	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--
D376	[Ｍ]肝、胆のう＜嚢＞及び胆管【口腔及び消化器の性状不詳又は不明の新生物＜腫瘍＞】	計	1	0.1	12	12.0	--	1	--	--	--	--	--	--	--	--
		男	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--
		女	1	0.2	12	12.0	--	1	--	--	--	--	--	--	--	--
D381	[Ｍ]気管、気管支及び肺【中耳、呼吸器及び胸腔内臓器の性状不詳又は不明の新生物＜腫瘍＞】	計	1	0.1	49	49.0	--	--	--	--	1	--	--	--	--	--
		男	1	0.2	49	49.0	--	--	--	--	1	--	--	--	--	--
		女	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--
D382	[Ｍ]胸膜【中耳、呼吸器及び胸腔内臓器の性状不詳又は不明の新生物＜腫瘍＞】	計	1	0.1	11	11.0	--	1	--	--	--	--	--	--	--	--
		男	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--
		女	1	0.2	11	11.0	--	1	--	--	--	--	--	--	--	--
D432	[Ｍ]脳、部位不明【脳及び中枢神経系の性状不詳又は不明の新生物＜腫瘍＞】	計	1	0.1	5	5.0	1	--	--	--	--	--	--	--	--	--
		男	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--
		女	1	0.2	5	5.0	1	--	--	--	--	--	--	--	--	--
D469	[Ｍ]骨髄異形成症候群、詳細不明【骨髄異形成症候群】	計	1	0.1	75	75.0	--	--	--	--	--	1	--	--	--	--
		男	1	0.2	75	75.0	--	--	--	--	--	1	--	--	--	--
		女	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--
D481	[Ｍ]結合組織及びその他の軟部組織【その他及び部位不明の性状不詳又は不明の新生物＜腫瘍＞】	計	1	0.1	3	3.0	1	--	--	--	--	--	--	--	--	--
		男	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--
		女	1	0.2	3	3.0	1	--	--	--	--	--	--	--	--	--

ＩＣＤ１０別・在院期間別・病名数

			総数	構成比(%)	延べ在院日数	平均在院日数	1-8日	9-15日	16-22日	23-31日	32-61日	62-91日	3-6ヶ月	6ヶ月-1年	1-2年	2年-
	総数	計	1,010	100.0	29,216	28.9	293	192	165	97	159	55	32	14	2	1
		男	444	100.0	12,805	28.8	138	87	68	35	72	23	12	8	--	1
		女	566	100.0	16,411	29.0	155	105	97	62	87	32	20	6	2	--
	構成比(%)	計	100.0	--	--	--	29.0	19.0	16.3	9.6	15.7	5.4	3.2	1.4	0.2	0.1
		男	100.0	--	--	--	31.1	19.6	15.3	7.9	16.2	5.2	2.7	1.8	--	0.2
		女	100.0	--	--	--	27.4	18.6	17.1	11.0	15.4	5.7	3.5	1.1	0.4	--
D509	[Ｍ]鉄欠乏性貧血、詳細不明	計	1	0.1	20	20.0	--	--	1	--	--	--	--	--	--	--
		男	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--
		女	1	0.2	20	20.0	--	--	1	--	--	--	--	--	--	--
D62	[Ｍ]急性出血後貧血	計	1	0.1	12	12.0	--	1	--	--	--	--	--	--	--	--
		男	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--
		女	1	0.2	12	12.0	--	1	--	--	--	--	--	--	--	--
D649	[Ｍ]貧血、詳細不明	計	1	0.1	3	3.0	1	--	--	--	--	--	--	--	--	--
		男	1	0.2	3	3.0	1	--	--	--	--	--	--	--	--	--
		女	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--
D65	[Ｍ]播種性血管内凝固症候群[脱線維素症候群]	計	1	0.1	5	5.0	1	--	--	--	--	--	--	--	--	--
		男	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--
		女	1	0.2	5	5.0	1	--	--	--	--	--	--	--	--	--
D696	[Ｍ]血小板減少症、詳細不明	計	1	0.1	57	57.0	--	--	--	--	1	--	--	--	--	--
		男	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--
		女	1	0.2	57	57.0	--	--	--	--	1	--	--	--	--	--
D70	[Ｍ]無顆粒球症	計	1	0.1	25	25.0	--	--	--	1	--	--	--	--	--	--
		男	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--
		女	1	0.2	25	25.0	--	--	--	1	--	--	--	--	--	--
E039	[Ｍ]甲状腺機能低下症、詳細不明	計	1	0.1	16	16.0	--	--	1	--	--	--	--	--	--	--
		男	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--
		女	1	0.2	16	16.0	--	--	1	--	--	--	--	--	--	--
E10	[Ｍ]１型＜インスリン依存性＞糖尿病＜ＩＤＤＭ＞	計	2	0.2	55	27.5	--	--	--	1	1	--	--	--	--	--
		男	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--
		女	2	0.4	55	27.5	--	--	--	1	1	--	--	--	--	--
E11	[Ｍ]２型＜インスリン非依存性＞糖尿病＜ＮＩＤＤＭ＞	計	1	0.1	19	19.0	--	--	1	--	--	--	--	--	--	--
		男	1	0.2	19	19.0	--	--	1	--	--	--	--	--	--	--
		女	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--
E111	[Ｍ]ケトアシドーシスを伴うもの【２型＜インスリン非依存性＞糖尿病＜ＮＩＤＤＭ＞】	計	1	0.1	2	2.0	1	--	--	--	--	--	--	--	--	--
		男	1	0.2	2	2.0	1	--	--	--	--	--	--	--	--	--
		女	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--
E14	[Ｍ]詳細不明の糖尿病	計	6	0.6	166	27.7	--	3	1	--	1	1	--	--	--	--
		男	2	0.5	51	25.5	--	--	1	--	1	--	--	--	--	--
		女	4	0.7	115	28.8	--	3	--	--	--	1	--	--	--	--
E142	[Ｍ]腎合併症を伴うもの【詳細不明の糖尿病】	計	1	0.1	49	49.0	--	--	--	--	1	--	--	--	--	--
		男	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--
		女	1	0.2	49	49.0	--	--	--	--	1	--	--	--	--	--
E146	[Ｍ]その他の明示された合併症を伴うもの【詳細不明の糖尿病】	計	2	0.2	29	14.5	--	1	1	--	--	--	--	--	--	--
		男	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--
		女	2	0.4	29	14.5	--	1	1	--	--	--	--	--	--	--
E162	[Ｍ]低血糖症、詳細不明	計	1	0.1	2	2.0	1	--	--	--	--	--	--	--	--	--
		男	1	0.2	2	2.0	1	--	--	--	--	--	--	--	--	--
		女	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--
E46	[Ｍ]詳細不明のタンパク＜蛋白＞エネルギー性栄養失調（症）	計	1	0.1	9	9.0	--	1	--	--	--	--	--	--	--	--
		男	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--
		女	1	0.2	9	9.0	--	1	--	--	--	--	--	--	--	--
E835	[Ｍ]カルシウム代謝障害	計	1	0.1	5	5.0	1	--	--	--	--	--	--	--	--	--
		男	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--
		女	1	0.2	5	5.0	1	--	--	--	--	--	--	--	--	--
E86	[Ｍ]体液量減少（症）	計	6	0.6	161	26.8	--	2	3	--	--	1	--	--	--	--
		男	1	0.2	12	12.0	--	1	--	--	--	--	--	--	--	--
		女	5	0.9	149	29.8	--	1	3	--	--	1	--	--	--	--
E870	[Ｍ]高浸透圧及び高ナトリウム血症	計	2	0.2	63	31.5	--	--	1	--	1	--	--	--	--	--
		男	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--
		女	2	0.4	63	31.5	--	--	1	--	1	--	--	--	--	--
E871	[Ｍ]低浸透圧及び低ナトリウム血症	計	2	0.2	11	5.5	2	--	--	--	--	--	--	--	--	--
		男	2	0.5	11	5.5	2	--	--	--	--	--	--	--	--	--
		女	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--
E872	[Ｍ]アシドーシス	計	1	0.1	13	13.0	--	1	--	--	--	--	--	--	--	--
		男	1	0.2	13	13.0	--	1	--	--	--	--	--	--	--	--
		女	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--
E876	[Ｍ]低カリウム＜Ｋ＞血症	計	2	0.2	26	13.0	1	--	--	1	--	--	--	--	--	--
		男	1	0.2	24	24.0	--	--	--	1	--	--	--	--	--	--
		女	1	0.2	2	2.0	1	--	--	--	--	--	--	--	--	--
E888	[Ｍ]その他の明示された代謝障害	計	1	0.1	5	5.0	1	--	--	--	--	--	--	--	--	--
		男	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--
		女	1	0.2	5	5.0	1	--	--	--	--	--	--	--	--	--
F03	[Ｍ]詳細不明の認知症	計	2	0.2	17	8.5	1	1	--	--	--	--	--	--	--	--
		男	1	0.2	5	5.0	1	--	--	--	--	--	--	--	--	--
		女	1	0.2	12	12.0	--	1	--	--	--	--	--	--	--	--

ＩＣＤ１０別・在院期間別・病名数

			総数	構成比(%)	延べ在院日数	平均在院日数	1-8日	9-15日	16-22日	23-31日	32-61日	62-91日	3-6ヶ月	6ヶ月-1年	1-2年	2年-
	総数	計	1,010	100.0	29,216	28.9	293	192	165	97	159	55	32	14	2	1
		男	444	100.0	12,805	28.8	138	87	68	35	72	23	12	8	--	1
		女	566	100.0	16,411	29.0	155	105	97	62	87	32	20	6	2	--
	構成比(%)	計	100.0	--	--	--	29.0	19.0	16.3	9.6	15.7	5.4	3.2	1.4	0.2	0.1
		男	100.0	--	--	--	31.1	19.6	15.3	7.9	16.2	5.2	2.7	1.8	--	0.2
		女	100.0	--	--	--	27.4	18.6	17.1	11.0	15.4	5.7	3.5	1.1	0.4	--
F070	[M]器質性人格障害	計	1	0.1	15	15.0	--	1	--	--	--	--	--	--	--	--
		男	1	0.2	15	15.0	--	1	--	--	--	--	--	--	--	--
		女	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--
F102	[M]依存症候群【アルコール使用＜飲酒＞による精神及び行動の障害】	計	1	0.1	37	37.0	--	--	--	--	1	--	--	--	--	--
		男	1	0.2	37	37.0	--	--	--	--	1	--	--	--	--	--
		女	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--
F191	[M]有害な使用【多剤使用及びその他の精神作用物質使用による精神及び行動の障害】	計	1	0.1	3	3.0	1	--	--	--	--	--	--	--	--	--
		男	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--
		女	1	0.2	3	3.0	1	--	--	--	--	--	--	--	--	--
F329	[M]うつ病エピソード、詳細不明	計	1	0.1	50	50.0	--	--	--	--	1	--	--	--	--	--
		男	1	0.2	50	50.0	--	--	--	--	1	--	--	--	--	--
		女	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--
G009	[M]細菌性髄膜炎、詳細不明	計	1	0.1	113	113.0	--	--	--	--	--	--	1	--	--	--
		男	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--
		女	1	0.2	113	113.0	--	--	--	--	--	--	1	--	--	--
G20	[M]パーキンソン＜Ｐａｒｋｉｎｓｏｎ＞病	計	5	0.5	110	22.0	2	2	--	--	--	1	--	--	--	--
		男	2	0.5	18	9.0	1	1	--	--	--	--	--	--	--	--
		女	3	0.5	92	30.7	1	1	--	--	--	1	--	--	--	--
G214	[M]血管性パーキンソン＜Ｐａｒｋｉｎｓｏｎ＞症候群	計	1	0.1	17	17.0	--	--	1	--	--	--	--	--	--	--
		男	1	0.2	17	17.0	--	--	1	--	--	--	--	--	--	--
		女	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--
G244	[M]特発性口顔面ジストニア	計	1	0.1	111	111.0	--	--	--	--	--	--	1	--	--	--
		男	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--
		女	1	0.2	111	111.0	--	--	--	--	--	--	1	--	--	--
G309	[M]アルツハイマー＜Ａｌｚｈｅｉｍｅｒ＞病、詳細不明	計	2	0.2	87	43.5	--	--	--	1	1	--	--	--	--	--
		男	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--
		女	2	0.4	87	43.5	--	--	--	1	1	--	--	--	--	--
G408	[M]その他のてんかん	計	4	0.4	53	13.3	2	--	1	1	--	--	--	--	--	--
		男	2	0.5	29	14.5	1	--	--	1	--	--	--	--	--	--
		女	2	0.4	24	12.0	1	--	1	--	--	--	--	--	--	--
G409	[M]てんかん、詳細不明	計	2	0.2	16	8.0	1	1	--	--	--	--	--	--	--	--
		男	1	0.2	2	2.0	1	--	--	--	--	--	--	--	--	--
		女	1	0.2	14	14.0	--	1	--	--	--	--	--	--	--	--
G459	[M]一過性脳虚血発作、詳細不明	計	3	0.3	10	3.3	3	--	--	--	--	--	--	--	--	--
		男	1	0.2	3	3.0	1	--	--	--	--	--	--	--	--	--
		女	2	0.4	7	3.5	2	--	--	--	--	--	--	--	--	--
G470	[M]睡眠の導入及び維持の障害[不眠症]	計	1	0.1	18	18.0	--	--	1	--	--	--	--	--	--	--
		男	1	0.2	18	18.0	--	--	1	--	--	--	--	--	--	--
		女	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--
G473	[M]睡眠時無呼吸	計	10	1.0	36	3.6	9	--	1	--	--	--	--	--	--	--
		男	4	0.9	8	2.0	4	--	--	--	--	--	--	--	--	--
		女	6	1.1	28	4.7	5	--	1	--	--	--	--	--	--	--
G510	[M]ベル＜Ｂｅｌｌ＞麻痺	計	1	0.1	15	15.0	--	1	--	--	--	--	--	--	--	--
		男	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--
		女	1	0.2	15	15.0	--	1	--	--	--	--	--	--	--	--
G560	[M]手根管症候群	計	4	0.4	72	18.0	1	1	1	--	1	--	--	--	--	--
		男	1	0.2	16	16.0	--	--	1	--	--	--	--	--	--	--
		女	3	0.5	56	18.7	1	1	--	--	1	--	--	--	--	--
G562	[M]尺骨神経の病変	計	3	0.3	28	9.3	1	2	--	--	--	--	--	--	--	--
		男	2	0.5	16	8.0	1	1	--	--	--	--	--	--	--	--
		女	1	0.2	12	12.0	--	1	--	--	--	--	--	--	--	--
G700	[M]重症筋無力症	計	1	0.1	75	75.0	--	--	--	--	--	1	--	--	--	--
		男	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--
		女	1	0.2	75	75.0	--	--	--	--	--	1	--	--	--	--
G908	[M]自律神経系のその他の障害	計	2	0.2	7	3.5	2	--	--	--	--	--	--	--	--	--
		男	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--
		女	2	0.4	7	3.5	2	--	--	--	--	--	--	--	--	--
H259	[M]老人性白内障、詳細不明	計	54	5.3	817	15.1	3	8	43	--	--	--	--	--	--	--
		男	19	4.3	277	14.6	2	2	15	--	--	--	--	--	--	--
		女	35	6.2	540	15.4	1	6	28	--	--	--	--	--	--	--
H811	[M]良性発作性めまい＜眩暈（症）＞	計	1	0.1	4	4.0	1	--	--	--	--	--	--	--	--	--
		男	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--
		女	1	0.2	4	4.0	1	--	--	--	--	--	--	--	--	--
H813	[M]その他の末梢性めまい＜眩暈（症）＞	計	2	0.2	11	5.5	2	--	--	--	--	--	--	--	--	--
		男	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--
		女	2	0.4	11	5.5	2	--	--	--	--	--	--	--	--	--
H819	[M]前庭機能障害、詳細不明	計	2	0.2	4	2.0	2	--	--	--	--	--	--	--	--	--
		男	1	0.2	1	1.0	1	--	--	--	--	--	--	--	--	--
		女	1	0.2	3	3.0	1	--	--	--	--	--	--	--	--	--

ＩＣＤ１０別・在院期間別・病名数

			総数	構成比(%)	延べ在院日数	平均在院日数	1-8日	9-15日	16-22日	23-31日	32-61日	62-91日	3-6ヶ月	6ヶ月-1年	1-2年	2年-
	総数	計	1,010	100.0	29,216	28.9	293	192	165	97	159	55	32	14	2	1
		男	444	100.0	12,805	28.8	138	87	68	35	72	23	12	8	--	1
		女	566	100.0	16,411	29.0	155	105	97	62	87	32	20	6	2	--
	構成比(%)	計	100.0	--	--	--	29.0	19.0	16.3	9.6	15.7	5.4	3.2	1.4	0.2	0.1
		男	100.0	--	--	--	31.1	19.6	15.3	7.9	16.2	5.2	2.7	1.8	--	0.2
		女	100.0	--	--	--	27.4	18.6	17.1	11.0	15.4	5.7	3.5	1.1	0.4	--
I10	[M]本態性（原発性＜一次性＞）高血圧（症）	計	4	0.4	32	8.0	3	1	--	--	--	--	--	--	--	--
		男	1	0.2	7	7.0	1	--	--	--	--	--	--	--	--	--
		女	3	0.5	25	8.3	2	1	--	--	--	--	--	--	--	--
I200	[M]不安定狭心症	計	1	0.1	3	3.0	1	--	--	--	--	--	--	--	--	--
		男	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--
		女	1	0.2	3	3.0	1	--	--	--	--	--	--	--	--	--
I201	[M]記録されたれん＜攣＞縮を伴う狭心症	計	1	0.1	22	22.0	--	--	1	--	--	--	--	--	--	--
		男	1	0.2	22	22.0	--	--	1	--	--	--	--	--	--	--
		女	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--
I209	[M]狭心症、詳細不明	計	1	0.1	2	2.0	1	--	--	--	--	--	--	--	--	--
		男	1	0.2	2	2.0	1	--	--	--	--	--	--	--	--	--
		女	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--
I211	[M]下壁の急性貫壁性心筋梗塞	計	1	0.1	20	20.0	--	--	1	--	--	--	--	--	--	--
		男	1	0.2	20	20.0	--	--	1	--	--	--	--	--	--	--
		女	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--
I219	[M]急性心筋梗塞、詳細不明	計	2	0.2	27	13.5	--	1	1	--	--	--	--	--	--	--
		男	1	0.2	18	18.0	--	--	1	--	--	--	--	--	--	--
		女	1	0.2	9	9.0	--	1	--	--	--	--	--	--	--	--
I330	[M]急性及び亜急性感染性心内膜炎	計	2	0.2	166	83.0	--	--	--	--	--	1	1	--	--	--
		男	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--
		女	2	0.4	166	83.0	--	--	--	--	--	1	1	--	--	--
I489	[M]心房細動及び心房粗動、詳細不明	計	2	0.2	104	52.0	1	--	--	--	--	--	1	--	--	--
		男	1	0.2	102	102.0	--	--	--	--	--	--	1	--	--	--
		女	1	0.2	2	2.0	1	--	--	--	--	--	--	--	--	--
I500	[M]うっ血性心不全	計	11	1.1	262	23.8	4	2	--	1	3	1	--	--	--	--
		男	1	0.2	8	8.0	1	--	--	--	--	--	--	--	--	--
		女	10	1.8	254	25.4	3	2	--	1	3	1	--	--	--	--
I501	[M]左室不全	計	1	0.1	117	117.0	--	--	--	--	--	--	1	--	--	--
		男	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--
		女	1	0.2	117	117.0	--	--	--	--	--	--	1	--	--	--
I509	[M]心不全、詳細不明	計	41	4.1	2,192	53.5	6	9	6	8	8	1	1	1	--	1
		男	12	2.7	1,215	101.3	2	1	1	3	3	--	1	--	--	1
		女	29	5.1	977	33.7	4	8	5	5	5	1	--	1	--	--
I609	[M]くも膜下出血、詳細不明	計	1	0.1	2	2.0	1	--	--	--	--	--	--	--	--	--
		男	1	0.2	2	2.0	1	--	--	--	--	--	--	--	--	--
		女	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--
I610	[M](大脳)半球の脳内出血、皮質下	計	3	0.3	171	57.0	1	--	--	--	--	2	--	--	--	--
		男	2	0.5	87	43.5	1	--	--	--	--	1	--	--	--	--
		女	1	0.2	84	84.0	--	--	--	--	--	1	--	--	--	--
I619	[M]脳内出血、詳細不明	計	2	0.2	304	152.0	--	--	--	--	1	--	--	1	--	--
		男	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--
		女	2	0.4	304	152.0	--	--	--	--	1	--	--	1	--	--
I631	[M]脳実質外動脈（脳底動脈、頚動脈、椎骨動脈）の塞栓症による脳梗塞	計	1	0.1	58	58.0	--	--	--	--	1	--	--	--	--	--
		男	1	0.2	58	58.0	--	--	--	--	1	--	--	--	--	--
		女	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--
I634	[M]脳動脈の塞栓症による脳梗塞	計	1	0.1	269	269.0	--	--	--	--	--	--	--	1	--	--
		男	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--
		女	1	0.2	269	269.0	--	--	--	--	--	--	--	1	--	--
I635	[M]脳動脈の詳細不明の閉塞又は狭窄による脳梗塞	計	5	0.5	184	36.8	1	1	--	--	2	1	--	--	--	--
		男	4	0.9	106	26.5	1	1	--	--	2	--	--	--	--	--
		女	1	0.2	78	78.0	--	--	--	--	--	1	--	--	--	--
I638	[M]その他の脳梗塞	計	6	0.6	88	14.7	2	3	--	--	1	--	--	--	--	--
		男	4	0.9	41	10.3	1	3	--	--	--	--	--	--	--	--
		女	2	0.4	47	23.5	1	--	--	--	1	--	--	--	--	--
I639	[M]脳梗塞、詳細不明	計	6	0.6	143	23.8	2	1	1	--	1	1	--	--	--	--
		男	3	0.7	85	28.3	1	1	--	--	--	1	--	--	--	--
		女	3	0.5	58	19.3	1	--	1	--	1	--	--	--	--	--
I652	[M]頚動脈の閉塞及び狭窄	計	1	0.1	11	11.0	--	1	--	--	--	--	--	--	--	--
		男	1	0.2	11	11.0	--	1	--	--	--	--	--	--	--	--
		女	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--
I690	[M]くも膜下出血の続発・後遺症	計	1	0.1	122	122.0	--	--	--	--	--	--	1	--	--	--
		男	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--
		女	1	0.2	122	122.0	--	--	--	--	--	--	1	--	--	--
I693	[M]脳梗塞の続発・後遺症	計	5	0.5	36	7.2	4	1	--	--	--	--	--	--	--	--
		男	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--
		女	5	0.9	36	7.2	4	1	--	--	--	--	--	--	--	--
I709	[M]全身性及び詳細不明のアテローム＜じゅく＜粥＞状＞硬化（症）	計	1	0.1	131	131.0	--	--	--	--	--	--	1	--	--	--
		男	1	0.2	131	131.0	--	--	--	--	--	--	1	--	--	--
		女	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--

ＩＣＤ１０別・在院期間別・病名数

			総数	構成比(%)	延べ在院日数	平均在院日数	1-8日	9-15日	16-22日	23-31日	32-61日	62-91日	3-6ヶ月	6ヶ月-1年	1-2年	2年-
	総数	計	1,010	100.0	29,216	28.9	293	192	165	97	159	55	32	14	2	1
		男	444	100.0	12,805	28.8	138	87	68	35	72	23	12	8	--	1
		女	566	100.0	16,411	29.0	155	105	97	62	87	32	20	6	2	--
	構成比(%)	計	100.0	--	--	--	29.0	19.0	16.3	9.6	15.7	5.4	3.2	1.4	0.2	0.1
		男	100.0	--	--	--	31.1	19.6	15.3	7.9	16.2	5.2	2.7	1.8	--	0.2
		女	100.0	--	--	--	27.4	18.6	17.1	11.0	15.4	5.7	3.5	1.1	0.4	--
I743	[M]下肢の動脈の塞栓症及び血栓症	計	2	0.2	35	17.5	--	1	1	--	--	--	--	--	--	--
		男	1	0.2	14	14.0	--	1	--	--	--	--	--	--	--	--
		女	1	0.2	21	21.0	--	--	1	--	--	--	--	--	--	--
I831	[M]炎症を伴う下肢の静脈瘤	計	1	0.1	3	3.0	1	--	--	--	--	--	--	--	--	--
		男	1	0.2	3	3.0	1	--	--	--	--	--	--	--	--	--
		女	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--
J029	[M]急性咽頭炎、詳細不明	計	1	0.1	7	7.0	1	--	--	--	--	--	--	--	--	--
		男	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--
		女	1	0.2	7	7.0	1	--	--	--	--	--	--	--	--	--
J039	[M]急性扁桃炎、詳細不明	計	1	0.1	11	11.0	--	1	--	--	--	--	--	--	--	--
		男	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--
		女	1	0.2	11	11.0	--	1	--	--	--	--	--	--	--	--
J101	[M]その他の呼吸器症状を伴うインフルエンザ、その他のインフルエンザウイルスが分離されたもの	計	3	0.3	22	7.3	2	1	--	--	--	--	--	--	--	--
		男	2	0.5	14	7.0	1	1	--	--	--	--	--	--	--	--
		女	1	0.2	8	8.0	1	--	--	--	--	--	--	--	--	--
J13	[M]肺炎連鎖球菌による肺炎	計	1	0.1	14	14.0	--	1	--	--	--	--	--	--	--	--
		男	1	0.2	14	14.0	--	1	--	--	--	--	--	--	--	--
		女	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--
J159	[M]細菌性肺炎、詳細不明	計	12	1.2	386	32.2	3	2	3	1	1	1	1	--	--	--
		男	9	2.0	341	37.9	2	2	1	1	1	1	1	--	--	--
		女	3	0.5	45	15.0	1	--	2	--	--	--	--	--	--	--
J180	[M]気管支肺炎、詳細不明	計	9	0.9	185	20.6	3	2	1	1	2	--	--	--	--	--
		男	3	0.7	86	28.7	1	--	1	--	1	--	--	--	--	--
		女	6	1.1	99	16.5	2	2	--	1	1	--	--	--	--	--
J189	[M]肺炎、詳細不明	計	59	5.8	2,136	36.2	4	16	13	8	9	2	5	2	--	--
		男	36	8.1	1,161	32.3	2	9	10	6	4	2	2	1	--	--
		女	23	4.1	975	42.4	2	7	3	2	5	--	3	1	--	--
J209	[M]急性気管支炎、詳細不明	計	5	0.5	72	14.4	--	4	1	--	--	--	--	--	--	--
		男	4	0.9	50	12.5	--	4	--	--	--	--	--	--	--	--
		女	1	0.2	22	22.0	--	--	1	--	--	--	--	--	--	--
J329	[M]慢性副鼻腔炎、詳細不明	計	1	0.1	51	51.0	--	--	--	--	1	--	--	--	--	--
		男	1	0.2	51	51.0	--	--	--	--	1	--	--	--	--	--
		女	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--
J40	[M]気管支炎、急性又は慢性と明示されないもの	計	1	0.1	5	5.0	1	--	--	--	--	--	--	--	--	--
		男	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--
		女	1	0.2	5	5.0	1	--	--	--	--	--	--	--	--	--
J441	[M]急性増悪を伴う慢性閉塞性肺疾患、詳細不明	計	1	0.1	32	32.0	--	--	--	--	1	--	--	--	--	--
		男	1	0.2	32	32.0	--	--	--	--	1	--	--	--	--	--
		女	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--
J449	[M]慢性閉塞性肺疾患、詳細不明	計	2	0.2	36	18.0	--	1	1	--	--	--	--	--	--	--
		男	2	0.5	36	18.0	--	1	1	--	--	--	--	--	--	--
		女	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--
J459	[M]喘息、詳細不明	計	2	0.2	132	66.0	--	1	--	--	--	--	1	--	--	--
		男	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--
		女	2	0.4	132	66.0	--	1	--	--	--	--	1	--	--	--
J46	[M]喘息発作重積状態	計	2	0.2	20	10.0	--	2	--	--	--	--	--	--	--	--
		男	1	0.2	11	11.0	--	1	--	--	--	--	--	--	--	--
		女	1	0.2	9	9.0	--	1	--	--	--	--	--	--	--	--
J690	[M]食物及び吐物による肺臓炎	計	42	4.2	1,488	35.4	4	8	11	6	6	4	2	1	--	--
		男	26	5.9	1,206	46.4	2	5	4	2	6	4	2	1	--	--
		女	16	2.8	282	17.6	2	3	7	4	--	--	--	--	--	--
J849	[M]間質性肺疾患、詳細不明	計	1	0.1	15	15.0	--	1	--	--	--	--	--	--	--	--
		男	1	0.2	15	15.0	--	1	--	--	--	--	--	--	--	--
		女	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--
J9609	[I*]急性呼吸不全	計	2	0.2	25	12.5	1	--	1	--	--	--	--	--	--	--
		男	2	0.5	25	12.5	1	--	1	--	--	--	--	--	--	--
		女	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--
J9699	[I]呼吸不全	計	1	0.1	3	3.0	1	--	--	--	--	--	--	--	--	--
		男	1	0.2	3	3.0	1	--	--	--	--	--	--	--	--	--
		女	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--
K112	[M]唾液腺炎	計	2	0.2	47	23.5	--	1	--	--	1	--	--	--	--	--
		男	1	0.2	34	34.0	--	--	--	--	1	--	--	--	--	--
		女	1	0.2	13	13.0	--	1	--	--	--	--	--	--	--	--
K226	[M]食道胃接合部裂傷出血症候群	計	1	0.1	5	5.0	1	--	--	--	--	--	--	--	--	--
		男	1	0.2	5	5.0	1	--	--	--	--	--	--	--	--	--
		女	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--
K259	[M]急性又は慢性の別不明、出血又は穿孔を伴わないもの【胃潰瘍】	計	1	0.1	6	6.0	1	--	--	--	--	--	--	--	--	--
		男	1	0.2	6	6.0	1	--	--	--	--	--	--	--	--	--
		女	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--

ＩＣＤ１０別・在院期間別・病名数

			総数	構成比(%)	延べ在院日数	平均在院日数	1-8日	9-15日	16-22日	23-31日	32-61日	62-91日	3-6ヶ月	6ヶ月-1年	1-2年	2年-
	総数	計	1,010	100.0	29,216	28.9	293	192	165	97	159	55	32	14	2	1
		男	444	100.0	12,805	28.8	138	87	68	35	72	23	12	8	--	1
		女	566	100.0	16,411	29.0	155	105	97	62	87	32	20	6	2	--
	構成比(%)	計	100.0	--	--	--	29.0	19.0	16.3	9.6	15.7	5.4	3.2	1.4	0.2	0.1
		男	100.0	--	--	--	31.1	19.6	15.3	7.9	16.2	5.2	2.7	1.8	--	0.2
		女	100.0	--	--	--	27.4	18.6	17.1	11.0	15.4	5.7	3.5	1.1	0.4	--
K263	[M]急性、出血又は穿孔を伴わないもの【十二指腸潰瘍】	計	1	0.1	11	11.0	--	1	--	--	--	--	--	--	--	--
		男	1	0.2	11	11.0	--	1	--	--	--	--	--	--	--	--
		女	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--
K265	[M]慢性又は詳細不明、穿孔を伴うもの【十二指腸潰瘍】	計	1	0.1	29	29.0	--	--	--	1	--	--	--	--	--	--
		男	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--
		女	1	0.2	29	29.0	--	--	--	1	--	--	--	--	--	--
K279	[M]急性又は慢性の別不明、出血又は穿孔を伴わないもの【部位不明の消化性潰瘍】	計	2	0.2	53	26.5	1	--	--	--	1	--	--	--	--	--
		男	1	0.2	3	3.0	1	--	--	--	--	--	--	--	--	--
		女	1	0.2	50	50.0	--	--	--	--	1	--	--	--	--	--
K350	[I]虫垂炎性腹膜炎	計	1	0.1	8	8.0	1	--	--	--	--	--	--	--	--	--
		男	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--
		女	1	0.2	8	8.0	1	--	--	--	--	--	--	--	--	--
K358	[M]急性虫垂炎、その他及び詳細不明	計	4	0.4	33	8.3	2	2	--	--	--	--	--	--	--	--
		男	4	0.9	33	8.3	2	2	--	--	--	--	--	--	--	--
		女	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--
K359	[I*]急性化膿性虫垂炎	計	3	0.3	23	7.7	2	1	--	--	--	--	--	--	--	--
		男	2	0.5	13	6.5	2	--	--	--	--	--	--	--	--	--
		女	1	0.2	10	10.0	--	1	--	--	--	--	--	--	--	--
K409	[M]一側性又は患側不明のそけい＜鼠径＞ヘルニア、閉塞及びえ＜壊＞疽を伴わないもの	計	11	1.1	105	9.5	5	5	--	1	--	--	--	--	--	--
		男	9	2.0	81	9.0	5	3	--	1	--	--	--	--	--	--
		女	2	0.4	24	12.0	--	2	--	--	--	--	--	--	--	--
K449	[M]横隔膜ヘルニア、閉塞及びえ＜壊＞疽を伴わないもの	計	1	0.1	63	63.0	--	--	--	--	--	1	--	--	--	--
		男	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--
		女	1	0.2	63	63.0	--	--	--	--	--	1	--	--	--	--
K529	[M]非感染性胃腸炎及び非感染性大腸炎、詳細不明	計	1	0.1	50	50.0	--	--	--	--	1	--	--	--	--	--
		男	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--
		女	1	0.2	50	50.0	--	--	--	--	1	--	--	--	--	--
K550	[M]腸の急性血行障害	計	1	0.1	2	2.0	1	--	--	--	--	--	--	--	--	--
		男	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--
		女	1	0.2	2	2.0	1	--	--	--	--	--	--	--	--	--
K559	[M]腸の血行障害、詳細不明	計	4	0.4	29	7.3	3	1	--	--	--	--	--	--	--	--
		男	1	0.2	6	6.0	1	--	--	--	--	--	--	--	--	--
		女	3	0.5	23	7.7	2	1	--	--	--	--	--	--	--	--
K562	[M]軸捻（転）	計	3	0.3	57	19.0	--	--	3	--	--	--	--	--	--	--
		男	3	0.7	57	19.0	--	--	3	--	--	--	--	--	--	--
		女	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--
K565	[M]閉塞を伴う腸癒着[索条物]	計	2	0.2	284	142.0	--	--	--	--	1	--	--	1	--	--
		男	1	0.2	242	242.0	--	--	--	--	--	--	--	1	--	--
		女	1	0.2	42	42.0	--	--	--	--	1	--	--	--	--	--
K567	[M]イレウス、詳細不明	計	3	0.3	99	33.0	2	--	--	--	--	1	--	--	--	--
		男	1	0.2	8	8.0	1	--	--	--	--	--	--	--	--	--
		女	2	0.4	91	45.5	1	--	--	--	--	1	--	--	--	--
K573	[M]穿孔又は膿瘍を伴わない大腸の憩室性疾患	計	3	0.3	30	10.0	1	1	1	--	--	--	--	--	--	--
		男	2	0.5	12	6.0	1	1	--	--	--	--	--	--	--	--
		女	1	0.2	18	18.0	--	--	1	--	--	--	--	--	--	--
K589	[M]下痢を伴わない過敏性腸症候群	計	1	0.1	3	3.0	1	--	--	--	--	--	--	--	--	--
		男	1	0.2	3	3.0	1	--	--	--	--	--	--	--	--	--
		女	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--
K590	[M]便秘	計	1	0.1	4	4.0	1	--	--	--	--	--	--	--	--	--
		男	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--
		女	1	0.2	4	4.0	1	--	--	--	--	--	--	--	--	--
K610	[M]肛門膿瘍	計	1	0.1	5	5.0	1	--	--	--	--	--	--	--	--	--
		男	1	0.2	5	5.0	1	--	--	--	--	--	--	--	--	--
		女	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--
K625	[M]肛門及び直腸の出血	計	1	0.1	8	8.0	1	--	--	--	--	--	--	--	--	--
		男	1	0.2	8	8.0	1	--	--	--	--	--	--	--	--	--
		女	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--
K626	[M]肛門及び直腸の潰瘍	計	1	0.1	33	33.0	--	--	--	--	1	--	--	--	--	--
		男	1	0.2	33	33.0	--	--	--	--	1	--	--	--	--	--
		女	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--
K631	[M]腸穿孔（非外傷性）	計	1	0.1	28	28.0	--	--	--	1	--	--	--	--	--	--
		男	1	0.2	28	28.0	--	--	--	1	--	--	--	--	--	--
		女	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--
K635	[M]大腸＜結腸＞のポリープ	計	22	2.2	56	2.5	22	--	--	--	--	--	--	--	--	--
		男	16	3.6	40	2.5	16	--	--	--	--	--	--	--	--	--
		女	6	1.1	16	2.7	6	--	--	--	--	--	--	--	--	--
K701	[M]アルコール性肝炎	計	1	0.1	3	3.0	1	--	--	--	--	--	--	--	--	--
		男	1	0.2	3	3.0	1	--	--	--	--	--	--	--	--	--
		女	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--

ＩＣＤ１０別・在院期間別・病名数

			総数	構成比(%)	延べ在院日数	平均在院日数	1-8日	9-15日	16-22日	23-31日	32-61日	62-91日	3-6ヶ月	6ヶ月-1年	1-2年	2年-
	総数	計	1,010	100.0	29,216	28.9	293	192	165	97	159	55	32	14	2	1
		男	444	100.0	12,805	28.8	138	87	68	35	72	23	12	8	--	1
		女	566	100.0	16,411	29.0	155	105	97	62	87	32	20	6	2	--
	構成比(%)	計	100.0	--	--	--	29.0	19.0	16.3	9.6	15.7	5.4	3.2	1.4	0.2	0.1
		男	100.0	--	--	--	31.1	19.6	15.3	7.9	16.2	5.2	2.7	1.8	--	0.2
		女	100.0	--	--	--	27.4	18.6	17.1	11.0	15.4	5.7	3.5	1.1	0.4	--
K703	[M]アルコール性肝硬変	計	1	0.1	24	24.0	--	--	--	1	--	--	--	--	--	--
		男	1	0.2	24	24.0	--	--	--	1	--	--	--	--	--	--
		女	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--
K729	[M]肝不全、詳細不明	計	1	0.1	20	20.0	--	--	1	--	--	--	--	--	--	--
		男	1	0.2	20	20.0	--	--	1	--	--	--	--	--	--	--
		女	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--
K769	[M]肝疾患、詳細不明	計	1	0.1	8	8.0	1	--	--	--	--	--	--	--	--	--
		男	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--
		女	1	0.2	8	8.0	1	--	--	--	--	--	--	--	--	--
K802	[M]胆のう＜嚢＞炎を伴わない胆のう＜嚢＞結石	計	3	0.3	31	10.3	--	3	--	--	--	--	--	--	--	--
		男	3	0.7	31	10.3	--	3	--	--	--	--	--	--	--	--
		女	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--
K803	[M]胆管炎を伴う胆管結石	計	2	0.2	35	17.5	1	--	--	1	--	--	--	--	--	--
		男	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--
		女	2	0.4	35	17.5	1	--	--	1	--	--	--	--	--	--
K805	[M]胆管炎及び胆のう＜嚢＞炎を伴わない胆管結石	計	5	0.5	142	28.4	1	2	1	--	--	--	1	--	--	--
		男	3	0.7	43	14.3	--	2	1	--	--	--	--	--	--	--
		女	2	0.4	99	49.5	1	--	--	--	--	--	1	--	--	--
K810	[M]急性胆のう＜嚢＞炎	計	6	0.6	55	9.2	4	1	1	--	--	--	--	--	--	--
		男	2	0.5	22	11.0	1	1	--	--	--	--	--	--	--	--
		女	4	0.7	33	8.3	3	--	1	--	--	--	--	--	--	--
K819	[M]胆のう＜嚢＞炎、詳細不明	計	1	0.1	8	8.0	1	--	--	--	--	--	--	--	--	--
		男	1	0.2	8	8.0	1	--	--	--	--	--	--	--	--	--
		女	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--
K830	[M]胆管炎	計	8	0.8	78	9.8	3	4	1	--	--	--	--	--	--	--
		男	4	0.9	37	9.3	1	3	--	--	--	--	--	--	--	--
		女	4	0.7	41	10.3	2	1	1	--	--	--	--	--	--	--
K85	[M]急性膵炎	計	1	0.1	56	56.0	--	--	--	--	1	--	--	--	--	--
		男	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--
		女	1	0.2	56	56.0	--	--	--	--	1	--	--	--	--	--
K859	[M]急性膵炎、詳細不明	計	3	0.3	67	22.3	1	--	--	1	1	--	--	--	--	--
		男	2	0.5	33	16.5	1	--	--	1	--	--	--	--	--	--
		女	1	0.2	34	34.0	--	--	--	--	1	--	--	--	--	--
K861	[M]その他の慢性膵炎	計	1	0.1	10	10.0	--	1	--	--	--	--	--	--	--	--
		男	1	0.2	10	10.0	--	1	--	--	--	--	--	--	--	--
		女	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--
K913	[M]術後腸閉塞	計	1	0.1	3	3.0	1	--	--	--	--	--	--	--	--	--
		男	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--
		女	1	0.2	3	3.0	1	--	--	--	--	--	--	--	--	--
K921	[M]メレナ	計	1	0.1	8	8.0	1	--	--	--	--	--	--	--	--	--
		男	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--
		女	1	0.2	8	8.0	1	--	--	--	--	--	--	--	--	--
K922	[M]胃腸出血、詳細不明	計	5	0.5	232	46.4	3	--	--	--	--	1	1	--	--	--
		男	2	0.5	69	34.5	1	--	--	--	--	1	--	--	--	--
		女	3	0.5	163	54.3	2	--	--	--	--	--	1	--	--	--
L023	[M]殿部の皮膚膿瘍、せつ＜フルンケル＞及びよう＜カルブンケル＞	計	2	0.2	40	20.0	--	--	1	1	--	--	--	--	--	--
		男	1	0.2	16	16.0	--	--	1	--	--	--	--	--	--	--
		女	1	0.2	24	24.0	--	--	--	1	--	--	--	--	--	--
L031	[M]（四）肢のその他の部位の蜂巣炎＜蜂窩織炎＞	計	6	0.6	88	14.7	1	3	1	1	--	--	--	--	--	--
		男	2	0.5	27	13.5	--	2	--	--	--	--	--	--	--	--
		女	4	0.7	61	15.3	1	1	1	1	--	--	--	--	--	--
L032	[M]顔面の蜂巣炎＜蜂窩織炎＞	計	1	0.1	21	21.0	--	--	1	--	--	--	--	--	--	--
		男	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--
		女	1	0.2	21	21.0	--	--	1	--	--	--	--	--	--	--
L033	[M]体幹の蜂巣炎＜蜂窩織炎＞	計	1	0.1	13	13.0	--	1	--	--	--	--	--	--	--	--
		男	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--
		女	1	0.2	13	13.0	--	1	--	--	--	--	--	--	--	--
L039	[M]蜂巣炎＜蜂窩織炎＞、詳細不明	計	2	0.2	19	9.5	1	1	--	--	--	--	--	--	--	--
		男	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--
		女	2	0.4	19	9.5	1	1	--	--	--	--	--	--	--	--
L089	[M]皮膚及び皮下組織の局所感染症、詳細不明	計	1	0.1	9	9.0	--	1	--	--	--	--	--	--	--	--
		男	1	0.2	9	9.0	--	1	--	--	--	--	--	--	--	--
		女	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--
L120	[M]水疱性類天疱瘡	計	1	0.1	230	230.0	--	--	--	--	--	--	--	1	--	--
		男	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--
		女	1	0.2	230	230.0	--	--	--	--	--	--	--	1	--	--
L89	[M]じょく＜褥＞瘡性潰瘍及び圧迫領域	計	1	0.1	170	170.0	--	--	--	--	--	--	1	--	--	--
		男	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--
		女	1	0.2	170	170.0	--	--	--	--	--	--	1	--	--	--

ＩＣＤ１０別・在院期間別・病名数

			総数	構成比(%)	延べ在院日数	平均在院日数	1-8日	9-15日	16-22日	23-31日	32-61日	62-91日	3-6ヶ月	6ヶ月-1年	1-2年	2年-
	総数	計	1,010	100.0	29,216	28.9	293	192	165	97	159	55	32	14	2	1
		男	444	100.0	12,805	28.8	138	87	68	35	72	23	12	8	--	1
		女	566	100.0	16,411	29.0	155	105	97	62	87	32	20	6	2	--
	構成比(%)	計	100.0	--	--	--	29.0	19.0	16.3	9.6	15.7	5.4	3.2	1.4	0.2	0.1
		男	100.0	--	--	--	31.1	19.6	15.3	7.9	16.2	5.2	2.7	1.8	--	0.2
		女	100.0	--	--	--	27.4	18.6	17.1	11.0	15.4	5.7	3.5	1.1	0.4	--
L984	[M]皮膚の慢性潰瘍、他に分類されないもの	計	2	0.2	128	64.0	--	--	--	--	1	1	--	--	--	--
		男	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--
		女	2	0.4	128	64.0	--	--	--	--	1	1	--	--	--	--
M0094	[I]右中指化膿性関節炎・指関節	計	1	0.1	11	11.0	--	1	--	--	--	--	--	--	--	--
		男	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--
		女	1	0.2	11	11.0	--	1	--	--	--	--	--	--	--	--
M1123	[I]左手関節偽痛風	計	1	0.1	10	10.0	--	1	--	--	--	--	--	--	--	--
		男	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--
		女	1	0.2	10	10.0	--	1	--	--	--	--	--	--	--	--
M1128	[I]頚椎偽痛風の疑い	計	1	0.1	11	11.0	--	1	--	--	--	--	--	--	--	--
		男	1	0.2	11	11.0	--	1	--	--	--	--	--	--	--	--
		女	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--
M1316	[I]右化膿性膝関節炎	計	1	0.1	4	4.0	1	--	--	--	--	--	--	--	--	--
		男	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--
		女	1	0.2	4	4.0	1	--	--	--	--	--	--	--	--	--
M169	[M]股関節症、詳細不明	計	3	0.3	141	47.0	--	--	--	--	3	--	--	--	--	--
		男	1	0.2	47	47.0	--	--	--	--	1	--	--	--	--	--
		女	2	0.4	94	47.0	--	--	--	--	2	--	--	--	--	--
M179	[M]膝関節症、詳細不明	計	10	1.0	235	23.5	2	--	--	7	1	--	--	--	--	--
		男	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--
		女	10	1.8	235	23.5	2	--	--	7	1	--	--	--	--	--
M1995	[I]右仙腸関節症	計	1	0.1	3	3.0	1	--	--	--	--	--	--	--	--	--
		男	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--
		女	1	0.2	3	3.0	1	--	--	--	--	--	--	--	--	--
M2316	[I]左円板状外側半月板	計	1	0.1	4	4.0	1	--	--	--	--	--	--	--	--	--
		男	1	0.2	4	4.0	1	--	--	--	--	--	--	--	--	--
		女	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--
M2441	[I]左反復性肩関節脱臼	計	1	0.1	4	4.0	1	--	--	--	--	--	--	--	--	--
		男	1	0.2	4	4.0	1	--	--	--	--	--	--	--	--	--
		女	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--
M332	[M]多発性筋炎	計	1	0.1	73	73.0	--	--	--	--	--	1	--	--	--	--
		男	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--
		女	1	0.2	73	73.0	--	--	--	--	--	1	--	--	--	--
M4639	[I]化膿性椎間板炎	計	1	0.1	113	113.0	--	--	--	--	--	--	1	--	--	--
		男	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--
		女	1	0.2	113	113.0	--	--	--	--	--	--	1	--	--	--
M4712	[I*]頚椎症性脊髄症	計	6	0.6	234	39.0	1	--	--	2	1	2	--	--	--	--
		男	4	0.9	187	46.8	1	--	--	--	1	2	--	--	--	--
		女	2	0.4	47	23.5	--	--	--	2	--	--	--	--	--	--
M4722	[I]頚椎症性神経根症	計	1	0.1	15	15.0	--	1	--	--	--	--	--	--	--	--
		男	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--
		女	1	0.2	15	15.0	--	1	--	--	--	--	--	--	--	--
M4806	[I*]腰部脊柱管狭窄症	計	9	0.9	163	18.1	1	3	2	3	--	--	--	--	--	--
		男	1	0.2	30	30.0	--	--	--	1	--	--	--	--	--	--
		女	8	1.4	133	16.6	1	3	2	2	--	--	--	--	--	--
M512	[M]その他の明示された椎間板ヘルニア＜変位＞	計	1	0.1	7	7.0	1	--	--	--	--	--	--	--	--	--
		男	1	0.2	7	7.0	1	--	--	--	--	--	--	--	--	--
		女	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--
M519	[M]椎間板障害、詳細不明	計	1	0.1	31	31.0	--	--	--	1	--	--	--	--	--	--
		男	1	0.2	31	31.0	--	--	--	1	--	--	--	--	--	--
		女	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--
M6259	[I*]廃用症候群	計	6	0.6	979	163.2	1	1	--	--	--	2	--	1	1	--
		男	3	0.7	419	139.7	1	--	--	--	--	1	--	1	--	--
		女	3	0.5	560	186.7	--	1	--	--	--	1	--	--	1	--
M6289	[I]薬剤性横紋筋融解症の疑い	計	1	0.1	3	3.0	1	--	--	--	--	--	--	--	--	--
		男	1	0.2	3	3.0	1	--	--	--	--	--	--	--	--	--
		女	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--
M6534	[I*]左示指ばね指	計	2	0.2	15	7.5	1	1	--	--	--	--	--	--	--	--
		男	1	0.2	13	13.0	--	1	--	--	--	--	--	--	--	--
		女	1	0.2	2	2.0	1	--	--	--	--	--	--	--	--	--
M7022	[I]右肘頭滑液包炎	計	1	0.1	50	50.0	--	--	--	--	1	--	--	--	--	--
		男	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--
		女	1	0.2	50	50.0	--	--	--	--	1	--	--	--	--	--
M7046	[I]右膝蓋前滑液包炎	計	1	0.1	99	99.0	--	--	--	--	--	--	1	--	--	--
		男	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--
		女	1	0.2	99	99.0	--	--	--	--	--	--	1	--	--	--
M754	[M]肩のインピンジメント症候群	計	1	0.1	20	20.0	--	--	1	--	--	--	--	--	--	--
		男	1	0.2	20	20.0	--	--	1	--	--	--	--	--	--	--
		女	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--

ＩＣＤ１０別・在院期間別・病名数

			総数	構成比(%)	延べ在院日数	平均在院日数	1-8日	9-15日	16-22日	23-31日	32-61日	62-91日	3-6ヶ月	6ヶ月-1年	1-2年	2年-
	総数	計	1,010	100.0	29,216	28.9	293	192	165	97	159	55	32	14	2	1
		男	444	100.0	12,805	28.8	138	87	68	35	72	23	12	8	--	1
		女	566	100.0	16,411	29.0	155	105	97	62	87	32	20	6	2	--
	構成比(%)	計	100.0	--	--	--	29.0	19.0	16.3	9.6	15.7	5.4	3.2	1.4	0.2	0.1
		男	100.0	--	--	--	31.1	19.6	15.3	7.9	16.2	5.2	2.7	1.8	--	0.2
		女	100.0	--	--	--	27.4	18.6	17.1	11.0	15.4	5.7	3.5	1.1	0.4	--
M7666	[I]両アキレス腱滑液包炎	計	1	0.1	18	18.0	--	--	1	--	--	--	--	--	--	--
		男	1	0.2	18	18.0	--	--	1	--	--	--	--	--	--	--
		女	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--
M8418	[I]第２腰椎偽関節	計	1	0.1	18	18.0	--	--	1	--	--	--	--	--	--	--
		男	1	0.2	18	18.0	--	--	1	--	--	--	--	--	--	--
		女	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--
M8706	[I]右膝関節特発性骨壊死の術後	計	1	0.1	19	19.0	--	--	1	--	--	--	--	--	--	--
		男	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--
		女	1	0.2	19	19.0	--	--	1	--	--	--	--	--	--	--
M932	[M]離断性骨軟骨炎	計	1	0.1	6	6.0	1	--	--	--	--	--	--	--	--	--
		男	1	0.2	6	6.0	1	--	--	--	--	--	--	--	--	--
		女	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--
N10	[M]急性尿細管間質性腎炎	計	16	1.6	364	22.8	6	4	2	1	--	3	--	--	--	--
		男	5	1.1	100	20.0	2	2	--	--	--	1	--	--	--	--
		女	11	1.9	264	24.0	4	2	2	1	--	2	--	--	--	--
N12	[M]尿細管間質性腎炎、急性又は慢性と明示されないもの	計	7	0.7	166	23.7	--	2	3	1	--	1	--	--	--	--
		男	2	0.5	25	12.5	--	1	1	--	--	--	--	--	--	--
		女	5	0.9	141	28.2	--	1	2	1	--	1	--	--	--	--
N178	[M]その他の急性腎不全	計	1	0.1	7	7.0	1	--	--	--	--	--	--	--	--	--
		男	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--
		女	1	0.2	7	7.0	1	--	--	--	--	--	--	--	--	--
N179	[M]急性腎不全、詳細不明	計	1	0.1	3	3.0	1	--	--	--	--	--	--	--	--	--
		男	1	0.2	3	3.0	1	--	--	--	--	--	--	--	--	--
		女	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--
N189	[M]慢性腎臓病、詳細不明	計	2	0.2	301	150.5	1	--	--	--	--	--	--	1	--	--
		男	2	0.5	301	150.5	1	--	--	--	--	--	--	1	--	--
		女	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--
N19	[M]詳細不明の腎不全	計	3	0.3	201	67.0	2	--	--	--	--	--	--	1	--	--
		男	3	0.7	201	67.0	2	--	--	--	--	--	--	1	--	--
		女	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--
N209	[M]尿路結石、詳細不明	計	2	0.2	15	7.5	1	1	--	--	--	--	--	--	--	--
		男	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--
		女	2	0.4	15	7.5	1	1	--	--	--	--	--	--	--	--
N281	[M]腎のう＜嚢＞胞、後天性	計	1	0.1	5	5.0	1	--	--	--	--	--	--	--	--	--
		男	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--
		女	1	0.2	5	5.0	1	--	--	--	--	--	--	--	--	--
N309	[M]膀胱炎、詳細不明	計	1	0.1	2	2.0	1	--	--	--	--	--	--	--	--	--
		男	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--
		女	1	0.2	2	2.0	1	--	--	--	--	--	--	--	--	--
N319	[M]神経因性膀胱(機能障害)、詳細不明	計	1	0.1	35	35.0	--	--	--	--	1	--	--	--	--	--
		男	1	0.2	35	35.0	--	--	--	--	1	--	--	--	--	--
		女	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--
N390	[M]尿路感染症、部位不明	計	19	1.9	671	35.3	2	4	6	2	2	1	1	1	--	--
		男	4	0.9	56	14.0	1	--	3	--	--	--	--	--	--	--
		女	15	2.7	615	41.0	1	4	3	2	2	1	1	1	--	--
Q433a	[M]腸回転異常（症）及び総腸間膜症	計	3	0.3	76	25.3	--	1	1	--	1	--	--	--	--	--
		男	3	0.7	76	25.3	--	1	1	--	1	--	--	--	--	--
		女	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--
R074	[M]胸痛、詳細不明	計	1	0.1	21	21.0	--	--	1	--	--	--	--	--	--	--
		男	1	0.2	21	21.0	--	--	1	--	--	--	--	--	--	--
		女	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--
R100	[M]急性腹症	計	1	0.1	5	5.0	1	--	--	--	--	--	--	--	--	--
		男	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--
		女	1	0.2	5	5.0	1	--	--	--	--	--	--	--	--	--
R104	[M]その他及び詳細不明の腹痛	計	2	0.2	34	17.0	--	--	2	--	--	--	--	--	--	--
		男	2	0.5	34	17.0	--	--	2	--	--	--	--	--	--	--
		女	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--
R11	[M]悪心及び嘔吐	計	1	0.1	16	16.0	--	--	1	--	--	--	--	--	--	--
		男	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--
		女	1	0.2	16	16.0	--	--	1	--	--	--	--	--	--	--
R13	[M]えん＜嚥＞下障害	計	3	0.3	81	27.0	--	--	1	1	1	--	--	--	--	--
		男	2	0.5	53	26.5	--	--	1	--	1	--	--	--	--	--
		女	1	0.2	28	28.0	--	--	--	1	--	--	--	--	--	--
R17	[M]詳細不明の黄疸	計	1	0.1	2	2.0	1	--	--	--	--	--	--	--	--	--
		男	1	0.2	2	2.0	1	--	--	--	--	--	--	--	--	--
		女	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--
R252	[M](有痛性)けいれん＜痙攣＞【異常不随意運動】	計	1	0.1	8	8.0	1	--	--	--	--	--	--	--	--	--
		男	1	0.2	8	8.0	1	--	--	--	--	--	--	--	--	--
		女	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--

ＩＣＤ１０別・在院期間別・病名数

			総数	構成比(%)	延べ在院日数	平均在院日数	1-8日	9-15日	16-22日	23-31日	32-61日	62-91日	3-6ヶ月	6ヶ月-1年	1-2年	2年-
	総数	計	1,010	100.0	29,216	28.9	293	192	165	97	159	55	32	14	2	1
		男	444	100.0	12,805	28.8	138	87	68	35	72	23	12	8	--	1
		女	566	100.0	16,411	29.0	155	105	97	62	87	32	20	6	2	--
	構成比(%)	計	100.0	--	--	--	29.0	19.0	16.3	9.6	15.7	5.4	3.2	1.4	0.2	0.1
		男	100.0	--	--	--	31.1	19.6	15.3	7.9	16.2	5.2	2.7	1.8	--	0.2
		女	100.0	--	--	--	27.4	18.6	17.1	11.0	15.4	5.7	3.5	1.1	0.4	--
R268	[M]歩行及び移動のその他及び詳細不明の異常	計	1	0.1	14	14.0	--	1	--	--	--	--	--	--	--	--
		男	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--
		女	1	0.2	14	14.0	--	1	--	--	--	--	--	--	--	--
R270	[M]運動失調（症）、詳細不明	計	1	0.1	3	3.0	1	--	--	--	--	--	--	--	--	--
		男	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--
		女	1	0.2	3	3.0	1	--	--	--	--	--	--	--	--	--
R298	[M]神経系及び筋骨格系に関するその他及び詳細不明の症状及び徴候【神経系及び筋骨格系に関するその他の症状及び徴候】	計	1	0.1	66	66.0	--	--	--	--	--	1	--	--	--	--
		男	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--
		女	1	0.2	66	66.0	--	--	--	--	--	1	--	--	--	--
R33	[M]尿閉	計	5	0.5	77	15.4	2	2	--	--	1	--	--	--	--	--
		男	5	1.1	77	15.4	2	2	--	--	1	--	--	--	--	--
		女	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--
R402	[M]昏睡、詳細不明	計	6	0.6	149	24.8	4	1	--	--	--	--	1	--	--	--
		男	3	0.7	27	9.0	2	1	--	--	--	--	--	--	--	--
		女	3	0.5	122	40.7	2	--	--	--	--	--	1	--	--	--
R42	[M]めまい＜眩暈＞感及びよろめき感	計	6	0.6	56	9.3	4	--	2	--	--	--	--	--	--	--
		男	2	0.5	5	2.5	2	--	--	--	--	--	--	--	--	--
		女	4	0.7	51	12.8	2	--	2	--	--	--	--	--	--	--
R509	[M]発熱、詳細不明	計	1	0.1	2	2.0	1	--	--	--	--	--	--	--	--	--
		男	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--
		女	1	0.2	2	2.0	1	--	--	--	--	--	--	--	--	--
R522	[M]その他の慢性疼痛	計	3	0.3	131	43.7	--	--	--	1	2	--	--	--	--	--
		男	3	0.7	131	43.7	--	--	--	1	2	--	--	--	--	--
		女	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--
R53	[M]倦怠(感)及び疲労	計	1	0.1	646	646.0	--	--	--	--	--	--	--	--	1	--
		男	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--
		女	1	0.2	646	646.0	--	--	--	--	--	--	--	--	1	--
R54	[M]老衰	計	18	1.8	1,145	63.6	3	1	--	3	6	1	2	2	--	--
		男	5	1.1	557	111.4	--	--	--	1	2	--	--	2	--	--
		女	13	2.3	588	45.2	3	1	--	2	4	1	2	--	--	--
R55	[M]失神及び虚脱	計	4	0.4	19	4.8	4	--	--	--	--	--	--	--	--	--
		男	1	0.2	3	3.0	1	--	--	--	--	--	--	--	--	--
		女	3	0.5	16	5.3	3	--	--	--	--	--	--	--	--	--
R568	[M]その他及び詳細不明のけいれん＜痙攣＞	計	2	0.2	11	5.5	1	1	--	--	--	--	--	--	--	--
		男	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--
		女	2	0.4	11	5.5	1	1	--	--	--	--	--	--	--	--
R579	[M]ショック、詳細不明	計	1	0.1	3	3.0	1	--	--	--	--	--	--	--	--	--
		男	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--
		女	1	0.2	3	3.0	1	--	--	--	--	--	--	--	--	--
R630	[M]食欲不振	計	8	0.8	208	26.0	--	2	2	2	2	--	--	--	--	--
		男	2	0.5	84	42.0	--	--	--	1	1	--	--	--	--	--
		女	6	1.1	124	20.7	--	2	2	1	1	--	--	--	--	--
R634	[M]異常体重減少	計	2	0.2	103	51.5	--	--	--	--	1	1	--	--	--	--
		男	2	0.5	103	51.5	--	--	--	--	1	1	--	--	--	--
		女	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--
S000	[M]頭皮の表在損傷	計	2	0.2	8	4.0	2	--	--	--	--	--	--	--	--	--
		男	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--
		女	2	0.4	8	4.0	2	--	--	--	--	--	--	--	--	--
S062	[M]びまん性脳損傷	計	1	0.1	157	157.0	--	--	--	--	--	--	1	--	--	--
		男	1	0.2	157	157.0	--	--	--	--	--	--	1	--	--	--
		女	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--
S0650	[I]右外傷性慢性硬膜下血腫	計	1	0.1	9	9.0	--	1	--	--	--	--	--	--	--	--
		男	1	0.2	9	9.0	--	1	--	--	--	--	--	--	--	--
		女	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--
S099	[M]頭部の詳細不明の損傷	計	2	0.2	20	10.0	--	2	--	--	--	--	--	--	--	--
		男	1	0.2	9	9.0	--	1	--	--	--	--	--	--	--	--
		女	1	0.2	11	11.0	--	1	--	--	--	--	--	--	--	--
S134	[M]頚椎の捻挫及びストレイン	計	1	0.1	3	3.0	1	--	--	--	--	--	--	--	--	--
		男	1	0.2	3	3.0	1	--	--	--	--	--	--	--	--	--
		女	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--
S141	[M]頚髄のその他及び詳細不明の損傷	計	3	0.3	126	42.0	--	--	1	--	2	--	--	--	--	--
		男	3	0.7	126	42.0	--	--	1	--	2	--	--	--	--	--
		女	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--
S2200	[I*]第１２胸椎椎体骨折	計	15	1.5	382	25.5	1	3	2	5	4	--	--	--	--	--
		男	4	0.9	92	23.0	--	1	--	3	--	--	--	--	--	--
		女	11	1.9	290	26.4	1	2	2	2	4	--	--	--	--	--
S2220	[I]胸骨骨折	計	1	0.1	9	9.0	--	1	--	--	--	--	--	--	--	--
		男	1	0.2	9	9.0	--	1	--	--	--	--	--	--	--	--
		女	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--

ＩＣＤ１０別・在院期間別・病名数

			総数	構成比(%)	延べ在院日数	平均在院日数	1-8日	9-15日	16-22日	23-31日	32-61日	62-91日	3-6ヶ月	6ヶ月-1年	1-2年	2年-
	総数	計	1,010	100.0	29,216	28.9	293	192	165	97	159	55	32	14	2	1
		男	444	100.0	12,805	28.8	138	87	68	35	72	23	12	8	--	1
		女	566	100.0	16,411	29.0	155	105	97	62	87	32	20	6	2	--
	構成比(%)	計	100.0	--	--	--	29.0	19.0	16.3	9.6	15.7	5.4	3.2	1.4	0.2	0.1
		男	100.0	--	--	--	31.1	19.6	15.3	7.9	16.2	5.2	2.7	1.8	--	0.2
		女	100.0	--	--	--	27.4	18.6	17.1	11.0	15.4	5.7	3.5	1.1	0.4	--
S2230	[I*]右第１０肋骨骨折	計	3	0.3	93	31.0	--	2	--	--	--	1	--	--	--	--
		男	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--
		女	3	0.5	93	31.0	--	2	--	--	--	1	--	--	--	--
S3200	[I*]第５腰椎椎体骨折	計	18	1.8	558	31.0	2	3	--	5	7	1	--	--	--	--
		男	7	1.6	196	28.0	2	2	--	1	1	1	--	--	--	--
		女	11	1.9	362	32.9	--	1	--	4	6	--	--	--	--	--
S3210	[I]仙骨骨折	計	1	0.1	13	13.0	--	1	--	--	--	--	--	--	--	--
		男	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--
		女	1	0.2	13	13.0	--	1	--	--	--	--	--	--	--	--
S3230	[I]左腸骨骨折	計	1	0.1	31	31.0	--	--	--	1	--	--	--	--	--	--
		男	1	0.2	31	31.0	--	--	--	1	--	--	--	--	--	--
		女	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--
S3250	[I*]右恥骨骨折	計	3	0.3	133	44.3	--	--	--	--	3	--	--	--	--	--
		男	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--
		女	3	0.5	133	44.3	--	--	--	--	3	--	--	--	--	--
S3280	[I]左坐骨骨折	計	1	0.1	40	40.0	--	--	--	--	1	--	--	--	--	--
		男	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--
		女	1	0.2	40	40.0	--	--	--	--	1	--	--	--	--	--
S4210	[I*]右肩甲骨関節窩骨折	計	2	0.2	75	37.5	1	--	--	--	--	1	--	--	--	--
		男	1	0.2	6	6.0	1	--	--	--	--	--	--	--	--	--
		女	1	0.2	69	69.0	--	--	--	--	--	1	--	--	--	--
S4220	[I*]右上腕骨外科頚骨折	計	4	0.4	166	41.5	1	--	--	--	2	1	--	--	--	--
		男	1	0.2	36	36.0	--	--	--	--	1	--	--	--	--	--
		女	3	0.5	130	43.3	1	--	--	--	1	1	--	--	--	--
S4240	[I]上腕骨通顆骨折	計	1	0.1	78	78.0	--	--	--	--	--	1	--	--	--	--
		男	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--
		女	1	0.2	78	78.0	--	--	--	--	--	1	--	--	--	--
S430	[M]肩関節脱臼	計	1	0.1	2	2.0	1	--	--	--	--	--	--	--	--	--
		男	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--
		女	1	0.2	2	2.0	1	--	--	--	--	--	--	--	--	--
S460	[M]肩(回旋筋)腱板の筋及び腱の損傷	計	2	0.2	77	38.5	--	--	--	--	2	--	--	--	--	--
		男	2	0.5	77	38.5	--	--	--	--	2	--	--	--	--	--
		女	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--
S498	[M]肩及び上腕のその他の明示された損傷	計	1	0.1	6	6.0	1	--	--	--	--	--	--	--	--	--
		男	1	0.2	6	6.0	1	--	--	--	--	--	--	--	--	--
		女	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--
S5200	[I*]左肘頭骨折	計	3	0.3	78	26.0	1	--	--	--	2	--	--	--	--	--
		男	2	0.5	42	21.0	1	--	--	--	1	--	--	--	--	--
		女	1	0.2	36	36.0	--	--	--	--	1	--	--	--	--	--
S5230	[I]右橈骨骨幹部骨折	計	1	0.1	16	16.0	--	--	1	--	--	--	--	--	--	--
		男	1	0.2	16	16.0	--	--	1	--	--	--	--	--	--	--
		女	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--
S5250	[I*]左橈骨遠位端骨折	計	7	0.7	123	17.6	2	--	3	2	--	--	--	--	--	--
		男	1	0.2	17	17.0	--	--	1	--	--	--	--	--	--	--
		女	6	1.1	106	17.7	2	--	2	2	--	--	--	--	--	--
S533	[M]内側側副靱帯の外傷性断裂	計	1	0.1	4	4.0	1	--	--	--	--	--	--	--	--	--
		男	1	0.2	4	4.0	1	--	--	--	--	--	--	--	--	--
		女	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--
S6230	[I]左第３中手骨骨折	計	1	0.1	2	2.0	1	--	--	--	--	--	--	--	--	--
		男	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--
		女	1	0.2	2	2.0	1	--	--	--	--	--	--	--	--	--
S6260	[I]左小指基節骨骨折	計	1	0.1	3	3.0	1	--	--	--	--	--	--	--	--	--
		男	1	0.2	3	3.0	1	--	--	--	--	--	--	--	--	--
		女	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--
S6261	[I]右示指末節骨開放骨折	計	1	0.1	12	12.0	--	1	--	--	--	--	--	--	--	--
		男	1	0.2	12	12.0	--	1	--	--	--	--	--	--	--	--
		女	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--
S681	[M]その他の単指の外傷性切断（完全）（部分的）	計	1	0.1	45	45.0	--	--	--	--	1	--	--	--	--	--
		男	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--
		女	1	0.2	45	45.0	--	--	--	--	1	--	--	--	--	--
S7200	[I*]左大腿骨頚部骨折	計	9	0.9	395	43.9	1	--	2	1	2	3	--	--	--	--
		男	2	0.5	66	33.0	1	--	--	--	1	--	--	--	--	--
		女	7	1.2	329	47.0	--	--	2	1	1	3	--	--	--	--
S7210	[I*]大腿骨転子部骨折の術後	計	20	2.0	625	31.3	--	3	6	4	5	2	--	--	--	--
		男	1	0.2	21	21.0	--	--	1	--	--	--	--	--	--	--
		女	19	3.4	604	31.8	--	3	5	4	5	2	--	--	--	--
S7230	[I*]右大腿骨骨幹部骨折	計	2	0.2	52	26.0	--	--	1	1	--	--	--	--	--	--
		男	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--
		女	2	0.4	52	26.0	--	--	1	1	--	--	--	--	--	--

ＩＣＤ１０別・在院期間別・病名数

			総数	構成比(%)	延べ在院日数	平均在院日数	1-8日	9-15日	16-22日	23-31日	32-61日	62-91日	3-6ヶ月	6ヶ月-1年	1-2年	2年-
	総数	計	1,010	100.0	29,216	28.9	293	192	165	97	159	55	32	14	2	1
		男	444	100.0	12,805	28.8	138	87	68	35	72	23	12	8	--	1
		女	566	100.0	16,411	29.0	155	105	97	62	87	32	20	6	2	--
	構成比(%)	計	100.0	--	--	--	29.0	19.0	16.3	9.6	15.7	5.4	3.2	1.4	0.2	0.1
		男	100.0	--	--	--	31.1	19.6	15.3	7.9	16.2	5.2	2.7	1.8	--	0.2
		女	100.0	--	--	--	27.4	18.6	17.1	11.0	15.4	5.7	3.5	1.1	0.4	--
S7240	[I*]大腿骨顆上骨折	計	2	0.2	68	34.0	--	--	--	1	1	--	--	--	--	--
		男	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--
		女	2	0.4	68	34.0	--	--	--	1	1	--	--	--	--	--
S800	[M]膝の挫傷	計	2	0.2	44	22.0	--	1	--	1	--	--	--	--	--	--
		男	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--
		女	2	0.4	44	22.0	--	1	--	1	--	--	--	--	--	--
S8200	[I*]右膝蓋骨骨折	計	5	0.5	229	45.8	--	--	--	--	5	--	--	--	--	--
		男	2	0.5	101	50.5	--	--	--	--	2	--	--	--	--	--
		女	3	0.5	128	42.7	--	--	--	--	3	--	--	--	--	--
S8201	[I]膝蓋骨開放骨折の術後	計	1	0.1	5	5.0	1	--	--	--	--	--	--	--	--	--
		男	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--
		女	1	0.2	5	5.0	1	--	--	--	--	--	--	--	--	--
S8210	[I*]脛骨近位端骨折の術後	計	5	0.5	216	43.2	--	1	--	--	4	--	--	--	--	--
		男	2	0.5	104	52.0	--	--	--	--	2	--	--	--	--	--
		女	3	0.5	112	37.3	--	1	--	--	2	--	--	--	--	--
S8220	[I*]左脛骨腓骨骨折の術後	計	2	0.2	58	29.0	--	1	--	--	1	--	--	--	--	--
		男	1	0.2	10	10.0	--	1	--	--	--	--	--	--	--	--
		女	1	0.2	48	48.0	--	--	--	--	1	--	--	--	--	--
S8250	[I*]左足関節内果骨折の術後	計	2	0.2	68	34.0	--	1	--	--	1	--	--	--	--	--
		男	1	0.2	56	56.0	--	--	--	--	1	--	--	--	--	--
		女	1	0.2	12	12.0	--	1	--	--	--	--	--	--	--	--
S8260	[I*]右足関節外果骨折	計	3	0.3	93	31.0	--	--	1	--	2	--	--	--	--	--
		男	2	0.5	58	29.0	--	--	1	--	1	--	--	--	--	--
		女	1	0.2	35	35.0	--	--	--	--	1	--	--	--	--	--
S8280	[I]左足関節脱臼骨折の術後	計	1	0.1	38	38.0	--	--	--	--	1	--	--	--	--	--
		男	1	0.2	38	38.0	--	--	--	--	1	--	--	--	--	--
		女	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--
S832	[M]半月裂傷<断裂><Ｔｅａｒ>、新鮮損傷	計	1	0.1	9	9.0	--	1	--	--	--	--	--	--	--	--
		男	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--
		女	1	0.2	9	9.0	--	1	--	--	--	--	--	--	--	--
S860	[M]アキレス腱損傷	計	2	0.2	77	38.5	--	--	1	--	1	--	--	--	--	--
		男	1	0.2	55	55.0	--	--	--	--	1	--	--	--	--	--
		女	1	0.2	22	22.0	--	--	1	--	--	--	--	--	--	--
S899	[M]下腿の詳細不明の損傷	計	1	0.1	3	3.0	1	--	--	--	--	--	--	--	--	--
		男	1	0.2	3	3.0	1	--	--	--	--	--	--	--	--	--
		女	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--
S9200	[I*]右踵骨骨折	計	2	0.2	98	49.0	--	--	--	--	2	--	--	--	--	--
		男	1	0.2	52	52.0	--	--	--	--	1	--	--	--	--	--
		女	1	0.2	46	46.0	--	--	--	--	1	--	--	--	--	--
S9230	[I*]右第５中足骨骨折	計	2	0.2	72	36.0	--	--	--	--	2	--	--	--	--	--
		男	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--
		女	2	0.4	72	36.0	--	--	--	--	2	--	--	--	--	--
S934	[M]足首の捻挫及びストレイン	計	2	0.2	42	21.0	--	1	--	--	1	--	--	--	--	--
		男	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--
		女	2	0.4	42	21.0	--	1	--	--	1	--	--	--	--	--
T182	[M]胃内異物	計	1	0.1	2	2.0	1	--	--	--	--	--	--	--	--	--
		男	1	0.2	2	2.0	1	--	--	--	--	--	--	--	--	--
		女	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--
T242	[M]股関節部及び下肢の第２度熱傷、足首及び足を除く	計	1	0.1	38	38.0	--	--	--	--	1	--	--	--	--	--
		男	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--
		女	1	0.2	38	38.0	--	--	--	--	1	--	--	--	--	--
T630	[M]ヘビ毒【有毒動物との接触による毒作用】	計	3	0.3	28	9.3	2	1	--	--	--	--	--	--	--	--
		男	1	0.2	5	5.0	1	--	--	--	--	--	--	--	--	--
		女	2	0.4	23	11.5	1	1	--	--	--	--	--	--	--	--
T678	[M]熱及び光線のその他の作用【熱及び光線の作用】	計	4	0.4	75	18.8	3	--	--	--	1	--	--	--	--	--
		男	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--
		女	4	0.7	75	18.8	3	--	--	--	1	--	--	--	--	--
T782	[M]アナフィラキシーショック、詳細不明	計	2	0.2	4	2.0	2	--	--	--	--	--	--	--	--	--
		男	1	0.2	2	2.0	1	--	--	--	--	--	--	--	--	--
		女	1	0.2	2	2.0	1	--	--	--	--	--	--	--	--	--
T814	[M]処置に続発する感染症、他に分類されないもの	計	1	0.1	19	19.0	--	--	1	--	--	--	--	--	--	--
		男	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--
		女	1	0.2	19	19.0	--	--	1	--	--	--	--	--	--	--
T835	[M]尿路系プロステーシス、挿入物及び移植片による感染症及び炎症性反応	計	1	0.1	9	9.0	--	1	--	--	--	--	--	--	--	--
		男	1	0.2	9	9.0	--	1	--	--	--	--	--	--	--	--
		女	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--
Z470	[M]骨折プレート及びその他の内固定器具の除去に関する経過観察<フォローアップ>ケア	計	8	0.8	36	4.5	8	--	--	--	--	--	--	--	--	--
		男	7	1.6	29	4.1	7	--	--	--	--	--	--	--	--	--
		女	1	0.2	7	7.0	1	--	--	--	--	--	--	--	--	--

ＩＣＤ１０別・在院期間別・病名数

			総数	構成比(%)	延べ在院日数	平均在院日数	1-8日	9-15日	16-22日	23-31日	32-61日	62-91日	3-6ヶ月	6ヶ月-1年	1-2年	2年-
	総数	計	1,010	100.0	29,216	28.9	293	192	165	97	159	55	32	14	2	1
		男	444	100.0	12,805	28.8	138	87	68	35	72	23	12	8	--	1
		女	566	100.0	16,411	29.0	155	105	97	62	87	32	20	6	2	--
	構成比(%)	計	100.0	--	--	--	29.0	19.0	16.3	9.6	15.7	5.4	3.2	1.4	0.2	0.1
		男	100.0	--	--	--	31.1	19.6	15.3	7.9	16.2	5.2	2.7	1.8	--	0.2
		女	100.0	--	--	--	27.4	18.6	17.1	11.0	15.4	5.7	3.5	1.1	0.4	--
Z501	[M]その他の理学療法	計	16	1.6	497	31.1	--	5	--	2	9	--	--	--	--	--
		男	10	2.3	286	28.6	--	4	--	1	5	--	--	--	--	--
		女	6	1.1	211	35.2	--	1	--	1	4	--	--	--	--	--
Z904	[M]消化管のその他の部位の後天性欠損	計	1	0.1	27	27.0	--	--	--	1	--	--	--	--	--	--
		男	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--
		女	1	0.2	27	27.0	--	--	--	1	--	--	--	--	--	--
Z933	[M]人工肛門造設状態	計	1	0.1	29	29.0	--	--	--	1	--	--	--	--	--	--
		男	1	0.2	29	29.0	--	--	--	1	--	--	--	--	--	--
		女	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--
Z950	[M]心臓の電気的デバイスの存在	計	1	0.1	33	33.0	--	--	--	--	1	--	--	--	--	--
		男	1	0.2	33	33.0	--	--	--	--	1	--	--	--	--	--
		女	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--
Z952	[M]人工心臓弁の存在	計	1	0.1	30	30.0	--	--	--	1	--	--	--	--	--	--
		男	1	0.2	30	30.0	--	--	--	1	--	--	--	--	--	--
		女	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--
Z966	[M]整形外科的関節挿入物の存在	計	2	0.2	95	47.5	--	--	--	--	2	--	--	--	--	--
		男	1	0.2	49	49.0	--	--	--	--	1	--	--	--	--	--
		女	1	0.2	46	46.0	--	--	--	--	1	--	--	--	--	--

疾病中分類別・上位疾病別・病名数

番号	順位	コード	分類名	件数	構成比(%)	延べ在院日数	平均在院日数	平均年齢
1	1	102	インフルエンザ及び肺炎	84	8.3	2,743	32.7	85.4
2	2	096	その他の型の心疾患	57	5.6	2,841	49.8	88.1
3	3	079	水晶体の障害	54	5.3	817	15.1	76.0
4	4	116	腸のその他の疾患	44	4.4	638	14.5	74.7
5	5	106	外的因子による肺疾患	42	4.2	1,488	35.4	87.2
6	6	191	全身症状及び徴候	40	4.0	2,268	56.7	86.8
7	7	035	リンパ組織、造血組織及び関連組織の悪性新生物＜腫瘍＞、原発と記載された又は推定されたもの	35	3.5	223	6.4	85.9
8	8	204	股関節部及び大腿の損傷	33	3.3	1,140	34.5	89.1
9	9	097	脳血管疾患	32	3.2	1,388	43.4	84.4
10	10	023	消化器の悪性新生物＜腫瘍＞	31	3.1	1,083	34.9	78.5
11	11	119	胆のう＜嚢＞、胆管及び膵の障害	30	3.0	482	16.1	79.4
12	12	205	膝及び下腿の損傷	25	2.5	840	33.6	72.1
13	13	200	腹部、下背部、腰椎及び骨盤部の損傷	24	2.4	775	32.3	83.3
14	13	223	特定の処置及び保健ケアのための保健サービスの利用者	24	2.4	533	22.2	74.6
15	15	145	腎尿細管間質性疾患	23	2.3	530	23.0	83.8
16	16	149	尿路系のその他の疾患	21	2.1	708	33.7	83.9
17	17	070	挿間性及び発作性障害	20	2.0	133	6.7	70.7
18	18	199	胸部＜郭＞損傷	19	1.9	484	25.5	79.9
19	19	135	脊椎障害	17	1.7	525	30.9	83.2
20	20	001	腸管感染症	16	1.6	201	12.6	73.1

部門別統計

日野病院部門別各種統計調べ(№1)

1、病院事業関係

（単位:人）

手術件数	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	1年度	差引
外科	47	52	59	68	66	59	△ 7
整形外科	102	102	95	165	135	145	10
眼科	122	111	99	90	98	95	△ 3
脳外科	0	0	0	0	0	2	2
計	271	265	253	323	299	301	2

（単位:件）

内視鏡検査	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	1年度	差引
胃カメラ	606	641	713	735	737	791	54
胃透視	1	0	0	0	1	5	4
大腸ファイバー	106	93	120	139	126	182	56
嚥下カメラ	0	15	6	1	0	1	1
気管支鏡	12	4	5	11	2	0	△ 2
胃ろう造設術	13	14	22	13	15	12	△ 3
膀胱鏡	29	20	33	21	16	9	△ 7
ステント交換	22	18	25	9	13	8	△ 5

（単位:件）

超音波診断検査	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	1年度	差引
腹部エコー	497	634	898	939	1,051	1,163	112
心エコー	281	244	104	220	164	282	118
その他エコー	－	21	219	263	230	208	△ 22

（単位:件）

薬局状況	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	1年度	差引
服薬指導（人数）	373	324	359	406	356	412	56
服薬指導（件数）	556	518	596	716	626	696	70
訪問服薬指導	23	0	0	0	0	0	0
処方箋枚数	11,340	9,826	9,189	9,750	10,036	11,946	1,910
薬剤数	34,405	30,420	28,446	28,019	26,115	34,210	8,095
注射箋枚数	12,966	13,495	13,618	13,620	12,718	12,884	166
製剤数	829	697	526	210	174	0	△ 174
ＩＶＨ本数	745	2,193	2,015	2,615	2,973	2,919	△ 54
疑義照会	551	558	774	811	758	700	△ 58

（単位:人）

人工透析状況	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	1年度	差引
実日数	205	209	228	259	255	249	△ 6
実患者数	145	148	164	179	176	179	3
延べ患者数	1,714	1,804	1,995	2,121	2,142	2,108	△ 34

（単位:件）

放射線室状況	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	1年度	差引
一般撮影	5,821	6,197	6,650	6,739	6,052	6,251	199
ポータブル撮影	707	831	900	802	584	541	△ 43
外科用イメージ撮影	55	48	51	86	72	61	△ 11
骨塩定量	540	565	578	787	828	886	58
マンモ撮影	15	9	13	11	17	13	△ 4
造影・透視	173	136	173	110	150	134	△ 16
訪問撮影	74	64	38	19	25	25	0
ＣＴ検査	1,554	1,555	1,858	2,001	1,963	2,183	220
ＭＲＩ検査	640	563	802	1,166	1,054	1,057	3
計	9,579	9,968	11,063	11,721	10,745	11,151	406
遠隔読影	1,854	1,992	2,478	3,240	3,091	3,573	482

（単位:件）

検診実施状況	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	1年度	差引
人間ドック	114	106	115	107	107	115	8
人間ドック（ＭＲＩ含）	20	27	22	42	28	28	0
共済組合ドック	55	66	75	71	67	61	△ 6
脳ドック	64	66	61	65	70	81	11
生活習慣病健診	122	119	123	134	145	164	19
子宮がん	29	33	30	27	38	33	△ 5
乳がんマンモ	3	0	4	1	7	6	△ 1
骨塩	35	31	41	23	37	37	0
原爆検診	10	4	3	2	1	1	0
予防接種	1,778	1,993	1,767	1,760	1,988	2,132	144
特定健診	12	13	9	11	10	6	△ 4
事業所健診	26	19	33	39	53	51	△ 2
計	2,268	2,477	2,283	2,282	2,551	2,715	164

日野病院部門別各種統計調べ（№2）

（単位：件）

栄養管理室状況	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	1年度	差引
入院時食事療養	67,609	64,485	73,387	73,484	71,839	73,877	2,038
特別食加算	38,906	35,680	29,805	30,952	33,841	36,346	2,505
食堂加算	22,927	21,953	24,760	24,956	24,400	25,134	734
入院時延べ食数	67,609	64,485	73,387	73,484	71,839	73,877	2,038
外来透析食数	887	888	975	867	662	588	△ 74
栄養指導	516	526	524	548	559	669	110
訪問栄養指導	0	2	2	0	0	0	0
その他イベント等指導	240	238	236	87	171	67	△ 104

（単位：件）

検査室状況	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	1年度	差引
生化学セット	8,700	9,122	10,388	10,944	10,816	11,796	980
C B C	7,878	8,233	9,232	9,711	9,519	10,296	777
凝固検査	2,762	2,838	3,088	2,669	2,889	2,763	△ 126
尿検査	5,064	5,236	4,758	4,557	5,214	5,735	521
心電図	1,668	1,685	1,673	1,728	1,763	1,859	96
呼吸機能	382	422	447	368	318	348	30
誘発筋電図	109	102	108	126	72	101	29
眼底カメラ	257	271	279	288	279	288	9
脳波	24	12	12	27	13	12	△ 1
血圧脈波	120	116	268	197	234	234	0
計	26,964	28,037	30,253	30,615	31,117	33,432	2,315

（単位：単位数）

理学療法状況	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	1年度	差引
運動器Ⅰ	10,328	5,081	10,454	9,469	10,224	8,650	△ 1,574
呼吸器Ⅰ	1,253	1,638	3,261	3,836	4,642	4,113	△ 529
脳血管Ⅱ	6,528	2,045	4,329	4,847	3,998	1,773	△ 2,225
脳血管Ⅲ	0	0	0	0	0	375	375
地域包括ケア病床分	6,801	13,181	13,365	13,479	14,356	13,873	△ 483
単位数合計	24,910	21,945	31,409	31,631	33,220	28,784	△ 4,436
消炎鎮痛（件数）	915	658	533	520	320	263	△ 57
退院時指導（件数）	255	247	312	330	364	370	6
退院前指導（件数）	90	100	119	112	102	119	17

（単位：単位数）

作業療法状況	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	1年度	差引
運動器Ⅰ	1,288	2,114	2,821	1,862	1,006	590	△ 416
呼吸器Ⅰ	77	200	1,226	1,276	86	167	81
脳血管Ⅱ	1,953	820	1,752	1,984	1,436	370	△ 1,066
地域包括ケア病床分	803	1,471	2,774	1,765	1,384	1,023	△ 361
単位数合計	4,121	4,605	8,573	6,887	3,912	2,150	△ 1,762

（単位：単位数）

言語聴覚療法状況	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	1年度	差引
脳血管Ⅱ	3,099	2,806	2,876	2,639	2,116	1,093	△ 1,023
脳血管Ⅲ	0	0	0	0	0	312	312
地域包括ケア病床分	442	1,189	108	107	69	12	△ 57
単位数合計	3,541	3,995	2,984	2,746	2,185	1,417	△ 768
摂食機能療法（件数）	667	1,496	2,611	3,235	3,389	3,315	△ 74

（単位：単位数）

リハビリテーション合計	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	1年度	差引
運動器Ⅰ	11,616	7,195	13,275	11,331	11,230	9,240	△ 1,990
呼吸器Ⅰ	1,330	1,838	4,487	5,112	4,728	4,280	△ 448
脳血管Ⅱ	11,580	5,671	8,957	9,470	7,550	3,236	△ 4,314
脳血管Ⅲ	0	0	0	0	0	687	687
地域包括ケア病床分	8,046	15,841	16,247	15,351	15,809	14,908	△ 901
単位数合計	32,572	30,545	42,966	41,264	39,317	32,351	△ 6,966

2、在宅介護支援事業関係

（単位：人）

訪問看護	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	1年度	差引
実利用者数	451	513	593	503	508	537	29
延べ利用者数	1,815	1,734	2,189	1,920	1,760	1,863	103

（単位：人）

訪問リハビリ	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	1年度	差引
実利用者数	680	647	696	777	831	908	77
延べ利用者数	3,530	3,447	3,680	4,074	4,354	4,460	106

（単位：件）

居宅支援	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	1年度	差引
介護	936	1,117	1,242	1,075	1,120	1,182	62
予防	524	499	603	609	610	564	△ 46

メディカルソーシャルワーカー業務統計（令和1年度）

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
援助　　件数		**521**	**450**	**458**	**483**	**360**	**501**	**492**	**501**	**445**	**463**	**384**	**442**	**5,500**
入院・外来の内訳	入院	450	398	424	440	301	436	403	446	350	402	342	398	4,790
	外来	71	52	34	43	59	65	89	55	95	61	42	44	710
新規・継続の内訳	新規	108	77	99	68	76	88	76	89	78	81	81	68	989
	継続	413	373	359	415	284	413	416	412	367	382	303	374	4,511
援助内容	経済的・社会的問題の解決調整	32	41	62	40	11	43	34	12	24	40	35	47	421
	診療関係の援助	325	267	287	327	227	280	269	244	210	248	199	196	3,079
	人間関係の援助	70	82	94	62	33	101	51	65	67	73	69	60	827
	心理情緒的問題の援助	115	77	70	68	44	90	52	34	45	61	80	96	832
	社会復帰・退院援助	328	273	277	352	212	314	336	330	272	301	251	303	3,549
	関係（者）機関との連携・協力	360	263	273	362	237	361	361	324	329	339	286	311	3,806
面接等対象者	医師	348	265	312	375	248	329	332	286	250	291	253	247	3,536
	看護師	355	176	225	231	163	199	196	147	141	175	160	174	2,342
	職員	158	124	154	169	139	146	122	98	87	118	108	115	1,538
	本人	250	220	236	273	155	262	195	195	198	226	199	249	2,658
	家族	259	212	225	239	155	294	233	248	200	217	178	245	2,705
	関係機関	360	263	273	362	237	361	361	324	329	339	286	311	3,806
	その他	3	1	0	0	0	3	11	0	4	0	0	1	23
援助方法	面接	256	204	222	294	143	255	191	209	184	201	174	211	2,544
	協議	121	101	131	103	110	99	113	109	65	101	81	99	1,233
	訪問	8	9	5	11	9	8	7	14	10	6	7	11	105
	電話	155	299	311	374	216	382	385	347	300	299	279	328	3,675
	文書	135	116	126	106	102	88	144	82	68	84	76	116	1,243
新規紹介経路	医師	68	62	86	47	54	63	55	64	54	46	51	44	694
	看護師	41	43	57	29	29	36	29	34	28	32	48	34	440
	職員	11	13	16	8	11	17	9	11	9	12	8	11	136
	本人	44	33	57	22	33	43	22	24	32	35	28	35	408
	家族	38	31	46	18	22	35	21	22	19	22	23	21	318
	関係機関	75	46	64	41	55	63	56	53	54	52	52	48	659
	その他	0	1	0	0	0	1	1	0	1	0	0	0	4
介護支援連携指導（400点）		9	12	8	11	11	12	9	16	14	17	12	13	144
退院後訪問（580点）		2			1									3
退院支援計画（600点）		16	8	9	10	16	8	16	9	8	13	7	13	133
退院時共同指導（2000点）							1					1		2
在宅患者緊急時カンファレンス(200点)														0

3、業　績

論文誌上発表

１．原著論文

病院職員に対するラニナビル吸引によるインフルエンザ予防対策の有効性

山形睦美、孝田雅彦、佐々木修一、下坂拓矢、李英伊、長尾孝夫、池田清香、木戸脇久美、長尾加奈子、三好妙子、住田亜矢子、李瑛、朴天昊、紙本美菜子、井上和興、濱田紀宏、谷口晋一、千酌浩樹

The Japanese Journal of Antibiotics　2019;70(2):113-121:0368-2781

プリセプター経験による新人看護師教育に対する意識の違い

平石愛里、生田磨美、木村多亜子、野坂由貴子、妹尾小百合、深田美香

日本看護学会論文集：看護教育　2020;50;67-70.1347-8265

２．その他

日野病院病院長コラム 第 28 回　いびきをかいて寝ていませんか？

孝田 雅彦

広報ひの 4 月号（平成 31 年 4 月発行）p21,2019

犬・猫由来の新感染症

玉井嗣彦

毎日新聞鳥取版　第 49108 号（平成 31 年 4 月 23 日発行）P22.2019

視野欠損が治り視力が 0.01→1.5 に急上昇！納豆は目の血管の詰まりに特効

玉井嗣彦

マキノ出版ムック「老眼・近視を自力で治す最強療法」マキノ出版,東京

（平成 31 年 4 月 25 日発行）p54-55,2019

日野病院病院長コラム 第 29 回 令和から平成へ。医学はどう進歩したか

孝田 雅彦

広報ひの 5 月号（令和元年 5 月発行）p19,2019

犬・猫由来の人畜共通感染症

玉井嗣彦

日野病院組合だより　せせらぎ　第 65 号（令和元年 5 月発行）p3,2019

令和を迎えて

孝田 雅彦

日野病院組合だより　せせらぎ　第 65 号（令和元年 5 月発行） p 2, 2019

日野病院院長コラム第 30 回　ＡＩが医療にやってくる

孝田 雅彦

広報ひの 6 月号（令和元年 6 月発行）p17, 2019

日々是好日を求めて

玉井嗣彦

毎日新聞鳥取版　第 49150 号（令和元年 6 月 4 日発行）p18, 2019

日野病院病院長コラム 第 31 回 あなたの運転大丈夫ですか？

孝田 雅彦

広報ひの 7 月号（令和元年 7 月発行）p17, 2019

緑内障患者の白内障

玉井嗣彦

毎日新聞鳥取版　第 49185 号（令和元年 7 月 9 日発行）p24, 2019

第 50 回　日本看護教育学会論文集

妹尾小百合

「看護展望」（2019 年 8 月号）誌 44 巻 10 メヂカルフレンド社

特集：成功例に学ぶ看護師からのタスクシフト

退院支援のなかで取り組む看護師および他部署とのタスクシェア

日野病院病院長コラム 第 32 回 あなたの血管は硬い、柔らかい？動脈硬化の話

孝田 雅彦

広報ひの 8 月号（令和元年 8 月発行）p13, 2019

今後の地域連携はどうあるべきか

孝田 雅彦

日野病院組合だより　せせらぎ　第 66 号（平成 31 年 9 月発行）p2, 2019

日野病院病院長コラム 第 33 回 頭の中の時限爆弾

孝田 雅彦

広報ひの 9 月号（令和元年 9 月発行）p13, 2018

糖尿病網膜症の治療戦略

玉井嗣彦

毎日新聞鳥取版　第 49241 号（令和元年 9 月 13 日発行）p20, 2019

高齢者の目の健康管理　―白内障手術開始 18 周年を迎えて―

玉井嗣彦

日野病院組合だより　せせらぎ　第 66 号（令和元年 9 月発行）p3, 2019

日野病院病院長コラム 第 34 回 嚥下力

孝田 雅彦

広報ひの 10 月号（令和元年 10 月発行）p21, 2019

飛蚊症の原因とその対策

玉井嗣彦

毎日新聞鳥取版　第 49290 号（令和元年 10 月 22 日発行）p18, 2019

日野病院病院長コラム 第 35 回 「減塩食」実践していますか？

孝田 雅彦

広報ひの 11 月号（令和元年 11 月発行）p17, 2019

視野欠損が治り視力が 0.1→1.5 に急上昇　納豆は目の血管の詰まりに特効

玉井嗣彦

マキノ出版ムック「血圧がぐんぐん下がる！やせる！納豆最強レシピ」マキノ出版, 東京（令和元年 11 月 22 日発行）p6-7, 2019

日野病院病院長コラム 第 36 回 あなたのおしっこは健康ですか？その 1

孝田 雅彦

広報ひの 12 月号（令和元年 12 月発行）p19, 2019

高齢者の目の健康管理　―白内障手術開始 18 周年を迎えて―

玉井嗣彦

鳥取大学医学部眼科同門会だより　第 36 号（令和元年 12 月発行）p41-42, 2019

「日々是好日」を求めて

玉井嗣彦

豊瞳（高知大学医学部眼科学教室同門会誌）第 22 号（令和元年 12 月発行）p39-40, 2019

目の保養と足の運動

玉井嗣彦

毎日新聞鳥取版　第 49332 号（令和元年 12 月 3 日発行）p22,2019

日野病院病院長コラム 第 37 回 あなたのおしっこは健康ですか？その 2

孝田 雅彦

広報ひの 1 月号（令和元年 1 月発行）p15,2020

年頭のご挨拶　～真の地域医療構想とは～

孝田 雅彦

日野病院組合だより　せせらぎ　第 67 号（令和元年 1 月発行）p2,2020

新春随想　―プロ意識を忘れずに―

玉井嗣彦

日野病院組合だより　せせらぎ　第 67 回（令和 2 年 1 月発行）p3,2020

栄養ニュース No.19「野菜のかしこい食べ方！」

日野病院組合だより　せせらぎ　第 67 号（令和元年 1 月発行）p5,2020

米子ロータリークラブ　第 3258 回例会プログラム「新年を迎えて」年男

玉井嗣彦

米子ロータリークラブ週報　No.2415（令和 2 年 1 月 10 日発行）p2,2020

84 歳の随想

玉井嗣彦

日本の眼科 91 巻 1 号（令和 2 年 1 月 20 日発行）p6-7,2020

日野病院病院長コラム 第 38 回 新型コロナウイルス感染症～武漢肺炎～

孝田 雅彦

広報ひの 2 月号（令和元年 2 月発行）p15,2020

先制医療への展望

玉井嗣彦

毎日新聞鳥取版　第 49394 号（令和 2 年 2 月 4 日発行）p18,2020

日野病院病院長コラム 第 39 回 新型コロナウイルス感染症（COVID-19）続編

孝田 雅彦

広報ひの 3 月号（令和元年 3 月発行）p15,2020

視覚障碍者スポーツ

玉井嗣彦

毎日新聞鳥取版　第 49435.6 号（令和 2 年 3 月 17 日発行）p24,2020

学会等発表

1．国内学会

第 10 回　日本プライマリ・ケア連合学会学術大会（令和元年 5 月 17-19 日　京都）

中山間地域病院で緩和ケアに携わる医療福祉従事者の困難感

田中武志、孝田雅彦、谷口晋一、井上和興、近藤智富美

第 24 回　日本緩和医療学術大会（令和元年 6 月 21 日～23 日　神奈川）

在宅終末期がん患者の QOL 評価

～Functional Assessment of ChronicIllnessTherapy-Spiritual（FACIT-Sp）を利用して～

田中武志

第 50 回　日本看護教育学会　（令和元年 8 月 8-9 日　和歌山）

プリセプター経験における新人看護師教育に対する思いや考えの違い

平石愛里、生田磨美、野坂由貴子、木村多亜子

第 33 回　中国ブロック理学療法士学会（令和元年 9 月 7-8 日　山口）

緩和ケアの現場で働くリハビリテーションスタッフの困難感とは？

田中武志、孝田雅彦、谷口晋一、井上和興、近藤智富美

第 11 回鳥取県国保地域医療学会（令和元年 10 月 20 日　米子ふれあいの里）

ターミナルケアにつなげるデスカンファレンス

―デスカンファレンス記録を通して見えたもの―

金田明子、森原伸子、徳岡靖子、朝野純子、近藤智富美

第 45 回　鳥取県医学検査学会（令和 1 年 10 月 20 日　鳥取市総合福祉センター）

肝硬変における夜間低血糖の治療にグルコースモニタリングシステムが有用であった一例

井上碧、亀髙さつき、長尾孝夫、孝田雅彦

第 58 回全国自治阿知病院学会（令和元年 10 月 24-25 日　徳島）

超高齢化地域での自宅退院関連因子の検討

近藤智富美、山口浩一、孝田雅彦、池田清香、　森田芙美江、稲田香織

遠藤和幸、大谷眞二

第 16 回鳥取県西部自治体病院看護研究発表会（令和元年 12 月 7 日　日野病院）

病棟と外来の看護をつなぐことの現状と課題　―意識調査から見えてきたもの―

高橋徳章、生田磨美、朝野純子、妹尾小百合

インフォームドコンセント同席における看護師の役割向上への取り組み

―家族の思い聞き取り用紙から見えたもの―

住田亜矢子　安達節子　篠田多美子　池田悠　平石愛里　野坂由貴子

２．研究会　その他

中海テレビ放送（チャンネルひの）　週刊ひのニュース（平成 31 年 4 月放送）

日野病院だより：「健康診断・人間ドックについて」

佐々木修一

日野病院看護の日イベントでの講演（令和元年 5 月 11 日　金持テラスひの）

肝炎について

松本真理子

脂肪肝について

朝野純子

第 9 回米子緩和ケア研究会（令和元年 5 月 15 日）

在宅終末期がん患者の QOL 評価

田中武志

中海テレビ放送（チャンネルひの）　週刊ひのニュース（令和元年 5 月放送）

日野病院だより：「ウイルス性肝炎」

朝野純子、松本真理子

日野町ぽかぽか教室（令和元年 6 月 14 日　根雨 1 区、12 月 4 日　下榎）

認知症サポーター養成講座

山川千秋　池田清香

中海テレビ放送（チャンネルひの）　週刊ひのニュース（令和元年 6 月放送）

日野病院だより：「腎臓の機能と血液透析」

濵副隆一

中海テレビ放送（チャンネルひの）　週刊ひのニュース（令和元年 7 月放送）

日野病院だより：「脳ドックと慢性硬膜下血腫」

長尾裕一郎

介護職員初任者研修に係る講義（令和元年 8 月 27-30 日　日野高校）
老化の理解：高齢者に多い病気と生活上の留意点
バイタルサイン測定・麻痺患者の移乗・食事介助・口腔ケア・感染対策
池田清香

中海テレビ放送（チャンネルひの）　週刊ひのニュース（令和元年 8 月放送）
日野病院だより：「看護実習について」
妹尾小百合

Ｔ-ＨＯＣ　ひのセミナー研修（在宅医療・看護体験コース集合研修　ナイトセミナー）
（令和元年 9 月 6-7 日　日野町リバーサイド）
山間地の訪問看護の実際
濱田辰美

事例検討会
濱田辰美

中海テレビ放送（チャンネルひの）　週刊ひのニュース（令和元年 9 月放送）
日野病院だより：「日野病院の取り組み『褥瘡』」
野坂由貴子

YMCA 米子医療福祉専門学校（令和元年 10 月 8 日　ＹＭＣＡ米子医療福祉専門学校）
訪問リハビリの現状
田中武志

日野病院院内研究発表会（令和元年 10 月 25 日　日野病院）
インフォームドコンセント同席における看護師の役割向上への取り組み
―家族の思い聞き取り用紙から見えたもの―
住田亜矢子、安達節子、篠田多美子、池田悠、平石愛里、野坂由貴子

病棟と外来の看護をつなぐことの現状と課題　―意識調査から見えてきたもの―
高橋徳章、生田磨美、朝野純子、妹尾小百合

中海テレビ放送（チャンネルひの）　週刊ひのニュース（令和元年 10 月放送）
日野病院だより：「インフルエンザ」
池田悠

鳥取県実践が生きる看護診断研究会（令和元年 11 月 2 日　鳥取大学記念講堂）
外出支援から学んだこと
石飛明日香、池田悠、松本真理子

せん妄があり早期退院した患者を振り返る
瀬藤拓海、安達節子、山川千秋、足澤亜珠香

鳥取県立白鳳高校社会人講師（令和元年 11 月 8 日　白鳳高校）
看護師の職業紹介・在宅看取りの体験をもとに
野坂由貴子

日野郡地域リハビリテーション連絡協議会（令和元年 11 月 14 日　日野病院）
「パッと見えNet」の運用について
多職種で考えよう！日野郡でのパッと見えNetの活用方法
田中武志、山口浩一、井上和興

おしどり学園（平成 31 年度　日野町老人福祉センター）
田中武志、中村友昭、大塚美沙、小巌香織、影山通香

日野病院院内履修報告会（平成 31 年度　日野病院）
認知症実践研修
森川美保

日本褥瘡学会
松本美紀

肝炎コーディネーター
高橋徳章

看護診断学会
安達節子、久光優希

環境感染学会
瀬藤拓海

看護管理学会
磯江光代

中国地区手術看護学会

上田宏美

緩和医療学会
金田明子

まちの保健室（令和元年 11 月 24 日　鳥取県看護協会）
看護の宅配便の活動の報告
池田清香

第 19 回鳥取県理学療法士学会
（令和元年 11 月 24 日　琴浦町生涯学習センターまなびタウン東伯）
田中武志

中海テレビ放送（チャンネルひの）　週刊ひのニュース（令和元年 11 月放送）
日野病院だより：「おにぎらず」
權代恭介

日野町ぽかぽか教室（令和元年 12 月 4 日　下榎）
認知症サポーター養成講座
山川千秋　池田清香

鳥取緩和ケア研究会（令和元年 12 月 21 日　とりぎん文化会館）
意思決定を支える中での迷い
野坂由貴子　篠田多美子　イヨンイ

中海テレビ放送（チャンネルひの）　週刊ひのニュース（令和元年 12 月放送）
日野病院だより：「誤嚥性肺炎の予防」
影山道香

米子ロータリークラブ　第 3258 回例会（令和 2 年 1 月 10 日　ＡＮＡクラウンプラザホテル米子）
プログラム「新年を迎えて」
１．年男
玉井嗣彦

中海テレビ放送（チャンネルひの）　週刊ひのニュース（令和 2 年 1 月放送）
日野病院だより：「放射線室の業務」
足羽康治

中海テレビ放送（チャンネルひの）　週刊ひのニュース（令和 2 年 2 月放送）

日野病院だより：「相談員について」
近藤智富美、山口浩一

中海テレビ放送（チャンネルひの）　週刊ひのニュース（令和２年３月放送）
日野病院だより：「減塩食について」
イ・ヨンイ

４、新聞記事等

ご近所のお医者さん

（毎日新聞鳥取版）

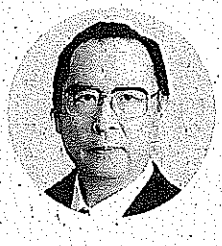
玉井　嗣彦　名誉病院長

毎日新聞

2019年(平成31年)4月23日(火)　鳥取　22

ご近所のお医者さん

日野病院(日野町)
玉井　嗣彦 名誉病院長



犬・猫由来の新感染症

前回、本欄で紹介した犬・猫由来の新感染症であるカプノサイトファーガ属菌によるものは、現在、保健所等への感染症法に基づく届け出は不要です。しかし、口腔内常在菌として、国内の犬の74～82%、猫の57～64%が、3種の属菌の一つであるカプノサイトファーガ・カニモルサスを保菌しているデータがあります。同様にカプノサイトファーガ・サイノデグミの保菌率は犬86～98%、猫84～86%です。カプノサイトファーガ・カニスは近年報告された新菌種のため、現在調査中です。

いずれにしても、犬・猫の保菌率が高いことから、全ての犬や猫が保菌していると考えた方が良いでしょう。

なお、これらの菌は犬や猫の口腔内に常在している菌ですので、犬や猫は保菌していても症状は示しません。

飼っている犬や猫の保菌状況を検査できますか、また、菌の排除は可能ですかという問い合わせがありましたが、犬・猫の保菌検査に対応している民間検査機関はありません。本菌は犬や猫の常在菌ですから、排除することはできません。従って、飼っている犬や猫が保菌していることを前提に、過度なふれあいは避けましょう。

本症は主に犬や猫による咬傷・掻傷から感染しますが、傷口をなめられて感染した例も報告されています。これまで、ヒトからヒトへの感染の報告はありません。

潜伏期間は、1～14日(多くは1～5日)で、発熱、倦怠感、腹痛、吐き気、頭痛などを前駆症状として発症し、重症化した例では敗血症が最も多く、その約26%は亡くなるとされています。

診断上、血液培養が行える検査施設であれば、菌の分離及びカプノサイトファーガである可能性が高いことを確認することは可能です。ただ、生育が遅い菌であり、分離・同定に一定程度の時間を要することから、必要な治療は菌の同定を待たずに始めることになります。その際、犬や猫の咬掻傷歴を伝えることはとても重要です。

本症が疑われた場合には、患者さんの臨床所見に応じて、早期に咬傷に対する抗菌薬としては、ペニシリン系の他、テトラサイクリン系や第3世代セフェム系抗菌薬が一般的に用いられています。ただ、カプノサイトファーガ・カニモルサスには、専門的になって恐縮ですが、βラクタマーゼを産生する菌株もあるため、ペニシリン系の抗菌薬を用いる際にはβラクタマーゼ阻害剤との合剤が推奨されています。

ペットといえど、感染予防のためには、本感染症だけでなく、一般的な動物由来感染症予防の対応が必要ですが、このようなリスクを理解した上での可愛がりようが必要です。

毎日新聞

2019年（令和元年）6月4日（火）　鳥取　18

ご近所のお医者さん

日野病院（日野町）
玉井 嗣彦 名誉病院長

私は鳥取大学を定年退官後、県西部の自治体病院の一つである日野病院に名誉病院長として赴任してから、早くも19度目の初夏を迎えました。

今日の医療界をとりまく〝改革の嵐〟の中では〝待ちの医療〟からの脱却や〝癒やしの医療〟の構想は、組合病院管理者はじめ歴代の病院長の目標で、その実現に向って関係各位がこぞって努力してきたところです。

人は年齢を重ねるほどに、生きているうちは元気でいたいという思いが強くなるのは当然ですが、併せて多くの友人、同僚、家族とともに、共に生きる喜びを肌で感じたいと思うものです。

私は、105歳までお元気で東京・聖路加国際病院の名誉院長として活躍しておられた日野原重明先生（2017年7月18日、ご逝去）が、2000年に設立された「新老人の会・鳥取支部」の会員でしたので、時々お会いする機会がありました。その際、ご本人はいつも「しんどいけどな、仕事があるから幸せなんだ」と、その都度5年先のスケジュールが一杯書かれた手帳をかざして、我々を鼓舞してくださいました。

日々是好日を求めて

①70歳になれば、新しいことを創める、また腹七分目に②80歳になれば、よく歩き、若い者と好んで接する③90歳になれば、心の思うままに生きる④100歳になれば、よい友を持ち、わがままに生きる――これが先生の人生訓でした。

医療従事者としての立場からしますと、日野原イズムは、現場で患者さんと「苦しみや治る希望、喜び」を分かち合えるように「勇気を持って、老後の生き方を選ぼう」と呼びかけておられたようです。

日本人の平均寿命は年々延び続けており、厚生労働省の資料によれば、男性が約81歳、女性が約87歳で〝人生90年〟に手が届こうとしています。しかし一方で、日常生活に制限なく自立して過ごせる期間である「健康寿命」は平均寿命より短く、男性では約9年、女性では約12年も短いことが報告されています。

平均寿命と健康寿命の差は、健康上の問題により介護や医療が必要となる期間であることを意味します。ずっと元気に人生をエンジョイするための健康寿命の延長大作戦は、最近手にした米子市5月発行の「よなご広報」でも取り上げられていますが、令和時代の健康対策課の最大の課題でありましょう。

その際、先にも本欄で指摘しましたが、健康寿命を損わせる危険因子の一つに「視力障害」がありますので、〝成人眼科検診〟の重要性を再度指摘したいと思います。

「日々是好日」の人生を求めて、今日もまた、老骨に鞭を入れているところです。

毎日新聞

2019年(令和元年)7月9日(火) 鳥取 24

ご近所のお医者さん

日野病院(日野町)
玉井 嗣彦 名誉病院長

緑内障患者の白内障

超高齢社会を迎えたわが国では、加齢に伴って白内障に罹患する人口が増加しており、白内障治療（手術）は非常に頻度の高い外科手術の一つになっています。一方、高齢者では緑内障に罹患している方も多く、緑内障と白内障の両方の治療を必要とする患者さんは今後さらに増加するものと推測されます。

双方の進行を見極めた上での的確な治療が求められ、またそれらの治療が患者自身のQOV（視覚の質）に及ぼす影響をかえりみる必要があります。

かつて本欄でも指摘しましたが、今でも眼圧上昇に伴う眼痛などの急性症状を呈する緑内障に対しては、緑内障手術が優先で、白内障との同時手術は合併症が多く予後不良例を避けられないので、極力控えるようにされているのが現状です。

眼圧の上昇している病態を通常「緑内障」と呼称しますが、眼圧が21ミリHg（ミリメートル水銀柱）を超えない程度の正常範囲であっても、視神経に及ぼす眼圧の影響は変わらず、視野の欠損から失明にいたる「正常眼圧緑内障」が、日本人の場合、緑内障患者の7割にみられるとされています。

しかし、本症は視野変化を自覚するまで、無治療でも10～14年の余裕がありますから、白内障が生じた場合、経過を観察するとともに、高齢の方は自分の余生にあった白内障手術の選択をする必要があります。

いずれのタイプの緑内障であっても眼圧を13ミリHg台まで下げるのが理想ですが、点眼治療だけでは、医師の期待通りに点眼しておられるかどうか、大変疑問の事例が多いことも既報の事実です。

米国の多施設共同臨床研究によれば、高眼圧症例の経過観察中に白内障手術を受けた群は、コントロール群に比べて眼圧が3～4ミリHg低下しており、白内障手術は緑内障患者にとっては眼圧管理の上では基本的にはプラスに働くと考えられています。

もちろん、緑内障手術併用時の影響や施術の時期を考慮する必要がありますが、最近は緑内障患者における白内障手術は早い方がいいとする傾向にあるようです。それは単に眼圧が下がるとか薬剤数を減らせるといった理由だけでなく、視野やOCT（光干渉断層計）などで進行を評価する際に検査の再現性が上がるので、進行判定上も有利だと考えられています。

「眼圧が下がるから白内障手術をしましょう」というのは少し安易すぎますが、超高齢社会においてはQOVの改善に伴うQOL（生活の質）の向上は無視できませんので、日野病院眼科でも最近、積極的に正常眼圧緑内障患者さんの白内障手術（眼内レンズ挿入術）を施行しています。

術後は、緑内障点眼薬を極力制御しながら経過をみています。

毎　日　新　聞

2019年（令和元年）9月3日（火）　鳥取　20

ご近所のお医者さん

糖尿病は血液の中の糖分が正常範囲を超えて高くなる病気です。膵臓にあるランゲルハンス島の細胞の働きが悪く、インスリンが不足して、毎日注射がかかせない「インスリン依存型・1型糖尿病」と、運動不足や肥満、ストレスなどが引き金になる「インスリン非依存型・2型糖尿病」があります。1型は子どもや若者での発症が多いのですが、2型は40歳以降に発症することが多く、食事療法と運動療法である程度の血糖コントロールが可能です。本邦患者の95%は2型のようです。

日野病院（日野町）
玉井　嗣彦 名誉病院長

糖尿病網膜症の治療戦略

いずれの糖尿病においても、血糖値や血圧など全身的危険因子のコントロールは網膜症の発症、進展を抑制する上で基本的かつ重要な治療であり、内科と眼科の診療連携がますます必要になります。

特に糖尿病網膜症の発症・進展を出来る限り抑制するために目指すべき血糖コントロールの目標は、糖化ヘモグロビンA1c（HbA1c）値を7%未満におさえることが望ましいと、内外の糖尿病学会で指摘されています。

本症は大きく分類して、網膜毛細血管の閉塞が少ない単純網膜症、閉塞が広範囲の増殖前網膜症、血管新生が起こった増殖網膜症、黄斑部に浮腫を生じる黄斑症に分けられます。そのうち失明原因となるのは、増殖網膜症と黄斑症です。

厚生労働省の平成28年度の実態調査では、糖尿病が強く疑われた患者数約1000万人のうち、網膜症合併患者は約300万人、そのうち増殖網膜症患者は約70万人、黄斑症患者は約65万人と推測されています。

糖尿病黄斑症への薬物治療の現在の国際的な第一選択は、抗血管内皮増殖因子（VEGF）薬の硝子体内投与です。しかし、抗VEGF治療単独で視力を長期にわたって維持することが困難であることが、最近判明しつつあり、従来の網膜症全体を含めて、レーザー光凝固と硝子体手術が脚光を浴びています。

最新の網膜硝子体手術は、重症度が高くなく、再手術を要しない症例で視力の予後は良く、手術に至るタイミングが遅くならないようにすることが重要と指摘されています。

新しい治療薬として脂質異常症合併症例にフェノフィブラート、スタチン投与の効果を指摘した報告もありますが、山形大学の山下英俊教授らの共同研究グループは眼局所副腎皮質ステロイド治療薬として、ジフルプレドナート点眼の有効性を最近報告しています。トリアムシノロン（ステロイド）の硝子体あるいはテノン嚢下注入に匹敵する薬効を、期待したいものです。

糖尿病網膜症による完全失明者は年間3000人以上で、超高齢社会を迎えて、社会的損失の軽減に、我々医療関係者の積極的な対応が一層望まれます。

毎日新聞

2019年(令和元年)10月22日(火) 鳥取 18

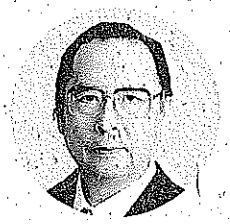
ご近所のお医者さん

日野病院(日野町)
玉井 嗣彦 名誉病院長

飛蚊症の原因とその対策

日常、眼科では3～7%の割合で「飛蚊症」(目の前にゴミが飛んで見える)を訴え受診される主に高齢、時に比較的若い患者さんを拝見いたします。

先に本欄でも「気になる飛蚊症」として話題にとりあげましたが、10月10日は目の愛護デーでしたので、その機会に、再度飛蚊症の原因とその対策について考えることにしました。



飛蚊症は眼球容積の7割(体積では8割)を占める硝子体の混濁が網膜に影を作るために起こる症状ですが、①明るい所(青空などの戸外、白い紙面上など)で自覚しやすい②目を動かすと一緒に舞うように動く③固視しようとしても逃げていく――などの特徴をもっています。

硝子体はどろっとした無色透明な物質ですが、中に含まれる透明な線維に老化による濁りが生じ、硝子体の液化に伴って飛ぶようになりますと、その影の動きを自覚するようになるわけです。

この種の生理的な飛蚊症は一度発生すると大抵は生涯治りませんが、これは病気ではないので治療法はなく、また治療する必要もありません。気にしないようにして、放置すればよいのです。

このような人は割合に多く、60歳ごろになると、10人に1人は目を動かす度に黒点ないしゴミが飛ぶように見えると訴えられます。これはちょうど、髪の毛が白髪になるのと同じで、老化現象の一種です。若くても白髪になる人があるように、若い人でも濁ることがありますので、比較的若い患者さんとも接する機会になるかもしれません。

時には、硝子体中の水分がぬけて、硝子体が眼底から浮き上る後部硝子体剥離に伴う飛蚊症もみられます。その場合、視神経乳頭の形に一致したリング状の混濁(ワイス・リング)が浮遊してみられます。

硝子体は柔らかいですから、しばらくするとこのリングはぐちゃぐちゃになって、線や点などいろいろな形になることがあります。このようにして、いろいろな形の影が眼底に影をおとすようになりますが、影が動かない時には、目はこの影をあまり感じません。

後部硝子体剥離の頻度は年齢とともに増加して、正常眼では40歳代より生じ、50歳代で20%、60歳代で40%、70歳代で70%、80歳代で85%にみられます。強度近視眼では、正常眼より10歳若く生じます。また、性別では男性より女性に頻度が高いといわれています。

一方、糖尿病網膜症などの網膜循環障害やぶどう膜炎では、硝子体が病的に萎縮して、年齢と関係なく後部硝子体剥離が生じますので、注意が必要です。

中には網膜剥離や硝子体出血など緊急を要する重要な疾患がその背景に隠れている場合があるので、眼科専門医の診察が必須です。

毎　日　新　聞

2019年（令和元年）12月3日（火）　鳥取　22

ご近所のお医者さん

日野病院（日野町）
玉井　嗣彦 名誉病院長

目の保養と足の運動

昭和も遠くなりましたが、昭和35年当時に米子に初めてゴルフの練習場が、医大傍の湊山球場横の、現在の市医師会館あたりにできたとき、医学生の身分で有志とともに練習場の会員になったのが、ゴルフとのつきあいの始まりです。

今私は鳥取大学医学部学生会のゴルフ部の賛助会員をしていますが、ゴルフ歴の長さの面からは資格がないわけではありません。

当時名声を博していた、ゴルフ界の大御所である中村寅吉プロがコーチに来られ、生まれて初めて、クラブの振り方を手とり足とり教えていただいたのを覚えています。右利きのものは右手を使いたがるが、ゴルフは左手が基本であると、左手のみでポンポンとゴルフボールをネットの標的に正確に打ってみせてくれた姿が今でも目に焼きついています。

腕の力が弱い私はどうしても中村コーチのように真っすぐに腕を延ばしてボールを打つことは難しかったが、延ばすコツを教えてくださったのは先輩の佐々木孝夫元第三内科教授で、それはクラブをグリップする際に、中指と薬指と小指の3本に力を入れて握るということでした。試しにしてみると、前腕が内転気味になると同時に肘が伸展するようで、解剖学的なことはよくわかりませんが、いいコツを教わったと今でも感謝しています。

鳥取大学教授時代、韓国の名門コース釜山カントリークラブで行われた第九回日韓眼科ジョイントミーティング主催のゴルフコンペに参加して、図らずもテクニカルプライズ（技能賞）をいただきました。180ヤード近いパー3のショートホールを1人だけワンオンしたので、これが効いたものと思っています。

申すまでもなく、今回話題の「目の保養と足の運動」にはゴルフはかかせず、広い緑の大地と空間をワンラウンド約6・5キロも歩くので、心身ともにリフレッシュできます。スコアを気にせず、楽しんでいるところです。

しかし、最近面白くないことは、ゴーカートに無理やり乗せられてラウンドするゴルフ場が増えて、歩く機会が少なくなったことです。ただ棒振りに行くだけなら、わざわざ高い金を払ってゴルフ場に行く必要はなく、庭先での素振りと、ゲームを楽しむなら、美人がぐっと増えた女子プロ出場のテレビ観戦だけで、目の保養は十分保障されるからです。

ゴルフの勝負はグリーン上のパッティングのうまさで決まりますが、最近テレビ解説者より先にグリーンの芝目をテレビのブラウン管上で読んで、プロのパッティングを楽しんでいます。大体、解説者も同じことを言いますが、ボールの行く先はその通りに行かないことが多い。人生の縮図を見るようで、面白い屋外スポーツを満喫しています。

毎　日　新　聞

2020年(令和2年)2月4日(火)　鳥取　18

ご近所のお医者さん

日野病院(日野町)
玉井嗣彦名誉病院長

今回話題にした〝先制医療〟とは、病気が発症する前になんらかの手段を用いてそれを高い確率で予測し、適切な対策と介入により発症を遅らせる、あるいは疾患の重症化を抑えるような医療の概念を示した言葉です。

これは先に話題にした〝個別化医療〟などとも共通した考え方であり、治療や介護にかかる全体的な費用を抑制する取り組みでもあるとされています。

現在、生産年齢人口4・7人が1人の75歳以上の高齢者を支えていますが、その比率は2025年には3・3人、2055年には1・9人となります。しかも生産年齢人口が減るので、当然国内総生産は減少し、医療制度や介護制度をどう持続可能なものにしていくかが、深刻な課題となって、われわれの眼前に横たわっています。

先制医療を実現し、健康寿命の長い社会を実現するためには、ヘルスケアのあり方を変えていかねばなりません。重要な点は、治療医学から予防医学への転換です。現在の医療制度では、医師を含め医療提供者の大部分は病院または診療所で、不調を訴えて来られる患者さんをお待ち申し上げる体制でいます。

先制医療への展望

いわば、人々が病気になるのを待って、診療行為を行っているわけです。しかし、それでは先制医療を実現することはできないし、高齢者が要介護状態になるのを防ぐことはできません。医療は、受け身から能動的な姿勢に転換することが求められています。

それと同時に、先制医療を実現するためには、現在の個人(患者さん)と医療機関の関係のみでなく、社会のあらゆる組織、自治体はじめ企業、NPO法人などが関与するものにしていかなければなりません。

感染症、外傷、中毒以外の疾患を対象とする先制医療対象患者さんは、遺伝素因を背景として、環境的因子(年齢や食生活、喫煙など)の影響を受けながら、長い経過後に発症します。そのために「疾患感受性遺伝子」の検索が必須になりますが、今後遺伝子の研究がさらに進めば、遺伝子治療を含めて、個の予防、あるいは予測診断による医療も夢ではなくなります。

アルツハイマー病、パーキンソン病などの神経変性疾患、閉塞性肺疾患、腎不全に加えて、心筋梗塞や脳血管障害は重篤な後遺症をもたらし、QOL(生活の質)の低下はまぬがれませんので、とくに重点化が要求されます。

眼科疾患としては、糖尿病、高血圧、動脈硬化などの全身所見に伴うものと、加齢黄斑変性、緑内障などの眼科に特有の疾患があります。

「唯一生き残るのは変化できるものだけである」というダーウィンの名言を信じ、われわれも日々努力しているところです。

毎　日　新　聞

2020年（令和2年）3月17日（火）　鳥取　24

ご近所のお医者さん

日野病院（日野町）
玉井　嗣彦 名誉病院長

視覚障害者スポーツ

先に本欄で話題にしましたが、見えにくい視力（ロービジョン）は、世界保健機関（WHO）の基準では、「矯正視力が両眼で0・02以上0・3未満」と定義されていますが、実際にはまだ確定されていないのが実情です。

日常生活で、本人が視覚的に困難さを感じたときが、ロービジョンケアの対象者になると考えられます。

視覚障害は情報障害であり、移動障害であるともよく言われています。運動機能に問題がなくても、視覚での空間認知把握が難しいために、自分が好きな時に自由に移動することが困難になります。

2020年のパラリンピックもいよいよ近づきました。競技の具体名は省略しますが、22競技中視覚障害者が出場できるのは9競技です。出場者の日々の努力が拝見できる機会を心待ちにしていますが、ここに参加できる視覚障害者の視力は、0・1以下というのは驚きです。国際視覚障害者スポーツ連盟の主催する大会でも取り入れられている条件のようです。

しかし、盲学校主体で競技者を養成派遣している我が国では、視覚障害者スポーツを目標とすることができる生徒とそうでない生徒が混在することになる現実は、盲学校の指導者にとっては悩ましい問題となっています。

ロービジョン患者さんの診察中にスポーツに興味ある患者と対峙した場合、かっては障害者スポーツの団体と盲学校で連絡を取りながら、新しい選手の登録が主に行われてきました。しかし、昨今、盲学校の数も生徒も減少し、盲学校在席の生徒には重複障害児も多いことを考慮すれば、従来の選手登録方法に限界が生じています。新選手の発掘・登録方法の模索は現代の緊急課題です。

比較的若い中途視覚障害者の中には、少年期、青年期にスポーツ経験が豊富な場合もあり、そういった例では短期間でトップアスリートに駆け上がる可能性も少なくはありません。もしスポーツ団体に紹介した患者が、後にパラリンピックで活躍したとしたら、これ程眼科医冥利に尽きることはないのではないでしょうか。

「障害のない人はスポーツをした方がよいが、障害のある人はスポーツをしなければならない」とはスイスの車いすのトップアスリートのハインツ・フライ選手の名言ですが、視覚障害者にあてはめると、「視覚障害がある人はスポーツをしなければならない」となります。

障害者スポーツの理念の一つに、障害のある人とない人が一緒にスポーツの世界で人生を共生するインクルージョンという言葉がありますが、視覚障害者スポーツは好例です。

その際、ロービジョンケアとの接点を関係者は無視できません。その対策にご関心を!!

日野病院病院長コラム

（広報ひの）

日野病院
病院長コラム

第28回　いびきをかいて寝ていませんか

―いびきの中に隠れている睡眠時無呼吸症候群

日野病院 病院長　孝田　雅彦

日野病院の孝田雅彦病院長が、さまざまな病気や健康について、その予防法や健康に過ごすための豆知識などお役立ち情報をお届けします。

あなたは大丈夫？眠っている間に無呼吸になっているかも

「お父さんのいびきがうるさい」「お昼にウトウトばかりしている」など言われたことはありませんか。

いびきの原因は気道（空気の通り道）の一部が狭くなることによって起こります。これがひどくなると一時的に気道が閉塞し、無呼吸となります。つまり、睡眠時無呼吸症候群（sleep apnea syndrome: SAS）です。

SASは皆さんもお聞きになったことがあるかと思います。2003年、新幹線の運転手が居眠り運転をしたことで注目されました。SASがあると居眠り運転の頻度は5倍に増加し、心臓病や脳卒中の発症率も2～3倍に増加します。

どんな人がなりやすい？SASの診断方法

実は、いびきは危険な病気の徴候なのです。どのような患者さんがなりやすいかというと、「太っている」「首が短い」「太い」「飲酒をする」「タバコを吸う」などがあります。男性の方が女性よりもなりやすいですが、閉経後は女性も頻度が増えます。

では、どのようにSASを診断すればいいでしょうか。いびきをかく、寝ている時に息が止まる方は一度内科を受診し相談して下さい。

日野病院では、指先で酸素濃度を24時間測定できる携帯型の装置があります。まずは、この装置をつけて自宅で夜間、無呼吸による酸素濃度の低下がないか調べて下さい。異常が見つかれば、一泊入院して精密検査を受けましょう。

あなたに合った治療方法で、健康的な睡眠ライフを

治療法は、肥満のある方は減量するために食事・運動療法を行います。飲酒は無呼吸を誘発するため控えるようにします。また、気道の閉塞を防ぐために口腔内装具をつけることもあります。

重症例では鼻腔に特殊なマスクを取り付け、気道内を陽圧にすることで気道の閉塞を防ぐ持続陽圧呼吸療法を行います。

快眠と健康の維持のためにいびきのある方は一度検査を受けましょう。

日野病院
病院長コラム

第29回　平成から令和へ。医学はどう進歩したか

日野病院 病院長　孝田　雅彦

日野病院の孝田雅彦病院長が、さまざまな病気や健康について、その予防法や健康に過ごすための豆知識などお役立ち情報をお届けします。

「平成」が医学に何をもたらしたのか

今月は、令和元年最初の町報となります。そこで平成の時代に医学の大きな進歩は何であったのか、残された問題は何かを考えてみたいと思います。

私が考える平成の医学の大きな進歩は、①画像診断の発展、②遺伝子医療。特にヒトの全ゲノム解読、③臓器移植の普及だと思います。

コンピューターの進化が医学の進歩に大きく貢献

特に、画像診断と遺伝子医療の進歩はコンピューターサイエンスの発展によるところが大きく、コンピューターの高速化が高解像度の画像構成を可能としました。

今のCTは全身を1ミリ単位で、数秒でスキャンすることができます。MRIではまだ時間はかかりますが、組織の性状を数ミリ単位で評価することができます。超音波検査では、血流や心臓の弁の動きが3D、つまり立体的にしかもリアルタイムにみることができます。

近い将来、日野病院でも最新の診療ができる日が

このような画像診断の進歩はがんの早期発見、心機能評価、脳血管病変の発見に大きく寄与しています。画像診断は今後もさらに高速・高解像度になり、形態だけでなく各臓器機能も視覚化できるようになると思います。

また、人工知能（AI）による診断はもう目の前まで来ています。CTやMRIを撮影すればAIが診断をしてくれます。特に、専門医がいない中小の病院でも大病院と同じように診断が可能となります。日野病院にとっても待ち遠しいことです。

令和の時代、さらなる解明を期待したい遺伝子医療

ヒトの全ゲノム解析も高速のコンピューターを備えた次世代シークエンサーの開発によって予定よりも早く完成しました。全ゲノムが明らかとなり、いろいろな病気の原因が分かるかと期待されました。

しかし、残念ながら特殊な遺伝疾患の原因遺伝子は分かりましたが、高血圧や糖尿病といった患者の多い疾患に関しては治療に結びつくような遺伝子の発見は今のところありません。

令和の時代にはエピジェネティック（遺伝子変化以外の後天的な遺伝子発現の制御）についての研究が重要になると考えられます。これもコンピューターの発達が複雑な遺伝子発現の変化を解明してくれるのではないかと思います。

iPS細胞研究が移植医療を大きく変える時がくる

最後に臓器移植は角膜、腎臓、肝臓、肺、心臓など発展、普及してきました。しかし、海外に比べれば日本の移植医療はそれほど一般的とはいえません。やはり、別の人から臓器をもらう、あるいは別の人にあげるという行為は日本人にはすんなりと受け入れることはできないようです。

平成が始まったころ、人工臓器の開発に期待が寄せられていました。人工臓器ならば臓器移植のように他人の犠牲を考えなくてもいいからです。しかし、人工臓器の開発はこれまで遅々として進まなかったので、令和の時代に発展することを期待しましょう。

iPS細胞の研究が人工臓器の開発を大きく進めてくれるかもしれません。令和が終わるころには多くの人が老衰で天寿を全うできるようになればと願っています。

日野病院
病院長コラム

第30回　AI（artificial intelligence: 人工知能）が医療にやってくる

日野病院 病院長　孝田　雅彦

日野病院の孝田雅彦病院長が、さまざまな病気や健康について、その予防法や健康に過ごすための豆知識などお役立ち情報をお届けします。

AIが医療をさらに変える時代がやってくる

先月号の町報に令和時代の医療について書きました。その中でAIが画像診断をしてくれることを述べましたが、今回はもっと広範囲にAIが医療を変える可能性について述べてみたいと思います。

数年前から画像診断の分野ではAIの研究報告が多くなされています。肺がんや乳がんの診断、脳動脈瘤の検出では専門医に匹敵する能力が報告されています。

胃カメラや大腸カメラにおいても観察している動画の中にがん病変を指摘し、見逃しがないようにしてくれます。超ベテランの専門医がしても新人が行っても、カメラさえ胃の中に入れば同じように病気が見つかるようになります。

超音波検査においても、観察中に画面の中で病変を示してくれますので、患者自身が自分で検査ができるようになるかもしれません。また、撮影したCTやMRIをAIによって再構成することで何倍もの高画質にすることができます。レントゲンでは線量を落としても良い画像が撮れることになり、被ばくの心配が減ります。

人口減少、高齢化が進んだ地域の救世主にも

病理診断の分野での応用も期待されています。これまで病理医が何年もかけて積み重ねてきた経験を、AIはその何万倍ものデータを学習して診断することができます。全国的に病理医が減少する中、病理医のいない病院や遠隔診療でAIの利用が待たれます。

AIの介護分野への利用も注目されています。超高齢化社会を迎えた日本では介護は社会的な大問題です。この解決策として介護ロボットが開発されています。高齢者の移乗、入浴、排泄の世話をするなど介護者の負担を軽減し、見守りを代行したりすることができます。

次に高齢者の低下した身体機能を補助して自立支援を行い、患者にあった最適なリハビリを計算し、行うことができます。最後に患者と会話を行って、精神的なサポートを行うロボットまで実用化されています。

10年後の医療は？生身の医師なくしては語れない

このようにAIが進歩しても医師、専門医がいらなくなるわけではありません。診断がついても、それをどのように治療に結びつけるか、患者さんへの説明や気持ちをくんで治療方針を決定するのは生身の医師しかできません。最終的な決断は医師しかできません。決してAIは責任をとってくれませんし、患者さんの相談には乗ってくれません。あくまでも客観的事実を示すだけです。そこには個人個人の人生観が入る余地は今のところありません。

人としての医師とAIがうまく融合すれば全く次元の違う発展が期待され、10年後の医療はAIなしでは成り立たないものになっているでしょう。

日野病院
病院長コラム

第31回　あなたの運転大丈夫ですか？～軽度認知障害と運転免許～

日野病院 病院長　孝田　雅彦

日野病院の孝田雅彦病院長が、さまざまな病気や健康について、その予防法や健康に過ごすための豆知識などお役立ち情報をお届けします。

相次ぐ高齢ドライバーによる事故と軽度認知障害

最近、高齢者の運転による悲惨な事故が相次ぎました。高齢ドライバーの暴走、高速道路の逆走、高齢夫の車に妻がひかれ死亡、高齢運転事故、高校生死亡、幼児死亡など、マスコミにも多く報道されました。

認知症と診断された患者は運転をすることはできません。しかし、認知症と診断される一歩前の軽度認知障害（MCI: mild cognitive impairment）は、日本で400万人いると推定されており、これらの方の多くは運転を継続しています。

次回の免許更新時では遅い？認知症への進行具合

MCIから認知症への進行は、年率3～4％と報告されています。つまり、毎年14万人が認知症になりますので、免許返納が必要ですが、必ずしも行われていません。

実際に認知症になれば、理解力や判断力が低下するため、運転すべきでないかどうかも自分自身で分からなくなる可能性があります。したがって、認知症になる前に自分でチェックしておきましょう。

「自分は免許の更新時に認知機能検査を通過しているから大丈夫」と思っておられるかもしれませんが、次回の更新は3年後になりますので、年率3％で認知症になれば、3年後の更新までに十人に一人が運転すべきではないということになります。

あなたはどう？軽度認知障害の症状を自分でチェック

ではどうすればよいでしょうか。警視庁のホームページに運転時認知障害・早期発見チェックリスト30があります（https://www.keishicho.metro.tokyo.jp/smph/kotsu/jikoboshi/koreisha/korei_check_list30.html）。

運転に関してMCIが疑われる症状をまとめてあり、30項目中5項目以上あればMCIの疑いとなります。

具体的に頻度の多かった項目トップ5は、「①以前ほど車の汚れが気にならず、あまり洗車しなくなった、②好きだったドライブに行く回数が減った、③車のキーや免許証を探し回ることがある、④高速道路を利用することが怖く（苦手に）なった、⑤スーパーなどの駐車場で自分の車を止めた位置が分からなくなることがある」です。

悲惨な事故を起こさないために、あなたができること

65歳を超えたら一度チェックをしてみて下さい。5項目以上当てはまれば神経内科での精密検査をおすすめします。少しでも早い段階で発見し、本当の認知症への予防対策を行うとともに、交通事故の防止に努めましょう。

一方で、田舎で車がなければ生活できないというのも事実です。政府・自動車メーカーが時速30～40㎞で走る完全自動運転車を開発し、生活道路を走れるように整備してほしいものです。

日野病院
病院長コラム

第31回　あなたの血管は硬い、柔らかい？動脈硬化の話

日野病院 病院長　孝田　雅彦

日野病院の孝田雅彦病院長が、さまざまな病気や健康について、その予防法や健康に過ごすための豆知識などお役立ち情報をお届けします。

さまざまな病態をみせる「動脈硬化」の話

動脈硬化は皆さん良く聞く言葉であり、このために通院されている患者さんも多いと思います。しかし、本当のところはよくは知らないという方が多いのではないでしょうか。今回は動脈硬化を少し掘り下げてみたいと思います。

動脈硬化には3種類ありますが、重要なものは粥状硬化症（アテローム硬化症）と細動脈硬化症です。

特に、粥状硬化症が重要で、これは動脈の内膜にコレステロールが沈着し、さらに脂肪が沈着し、炎症が起こって血小板が付着し、血栓を作り、血管の内腔を狭くしていく病態です。完全につまれば梗塞になります。さらにそこに線維も加わって硬くなり柔軟性がなくなるために、大きな力（高血圧）が加わるとひび割れが起こり、破裂したり出血したりします。

症状の出にくい病気。どうやって見つける？

どこの血管が障害されるかによって脳梗塞、脳出血、心筋梗塞、狭心症、大動脈瘤、大動脈解離、閉塞性動脈硬化症などの疾患となります。つまり、病名はいろいろでも起こっている血管の変化はほとんど同じです。日本人の死因の第2位は心疾患、4位は脳卒中ですので大変重大な病気です。しかも動脈硬化はゆっくりと進行するため、狭窄や閉塞、出血が起こらない限り症状は出ません。

ではどのようにして、動脈硬化を見つければ良いでしょうか。皆さんの手首にある動脈を触ってみてください。血管がこりこりとしていれば動脈硬化はもうかなり進行しています。子どもさんがいれば比較してみてください。きっと違うはずです。

早期発見が期待できる「頸動脈エコー」

病院では動脈硬化を発見するためにいろいろな検査がありますが、今最も頻用され、早期の動脈硬化が発見できる方法として頸動脈エコーがあります。この検査は超音波で頸動脈を直接観察し、内膜と中膜の厚さ（IMT）、プラーク（血管内のコレステロールの溜まり）の有無、動脈狭窄の程度、血流の状態を調べます。

特に柔らかいプラークは破綻し、脳梗塞の原因となるため早急に治療が必要です。高血圧、糖尿病、肥満、高脂血症（特に高コレステロール血症）、喫煙者はリスクが非常に高いので、ぜひ一度検査を受けられることをお勧めします。

動脈硬化は上記の疾患を治療し、リスクを減らすことによって心疾患や脳卒中を予防できることは多くの研究で証明されていますので、早期発見、早期治療が重要です。主治医の先生と相談し、頸動脈エコーを一度受けてみて下さい。

日野病院
病院長コラム

第33回　頭の中の時限爆弾　～脳動脈瘤の話～

日野病院 病院長　孝田　雅彦

日野病院の孝田雅彦病院長が、さまざまな病気や健康について、その予防法や健康に過ごすための豆知識などお役立ち情報をお届けします。

動脈瘤の破裂が引き起こす恐ろしい病気

「突然バットで殴られたような頭痛」。これがクモ膜下出血の症状です。

クモ膜下出血は極めて重大な病気で発症した患者さんの3分の1は死亡し、3分の1は重度の後遺症を残し、残りの3分の1が社会復帰できるといわれています。

このクモ膜下出血の原因の80％以上は脳動脈瘤の破裂です。つまり、脳動脈瘤を早く見つけて治療をすれば、クモ膜下出血を防ぐことができます。では、この脳動脈瘤はどのようにして見つければ良いでしょうか。

実はとても簡単です。頭部MRI検査で見つけることができます。MRIの機械の中で20分ほど寝ているだけでOKです。点滴もいりませんし、呼吸を止める必要もありません。

頭部MRIでは3ミリぐらいからの脳動脈瘤が見つかります。できている場所によって多少変わりますが、7ミリを超えると年に1％の確率で破裂します。つまり、クモ膜下出血が起こります。10ミリ以上では年率5％の破裂率です。

私は何の症状もないから大丈夫と思ってはいけません。脳動脈瘤のほとんどは破裂するまで症状は出ません。症状のないのが普通なのです。

高齢者の病気とは言い切れない。こんな人は注意を

では、どのような人にできやすいのでしょうか。高血圧、動脈硬化、喫煙者、多飲酒者に起こりやすいことが分かっています。また、遺伝的な要因もあることから、血縁にクモ膜下出血や脳動脈瘤の人がいればさらに注意が必要です。

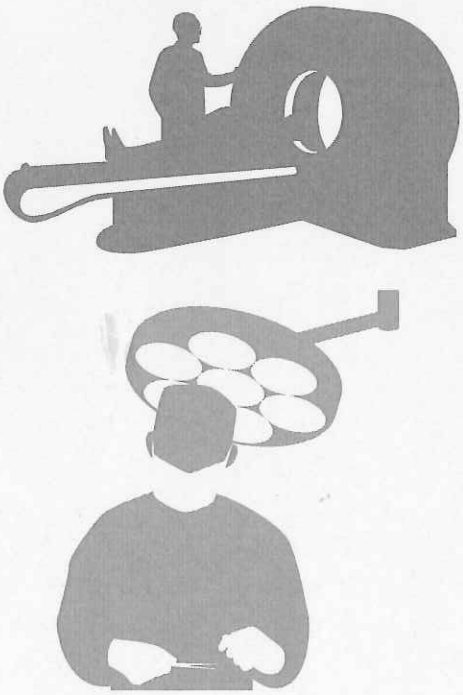
年齢では50歳を中心に40～60歳代に好発し、女性は男性の2倍の頻度です。必ずしも高齢者の病気ではありません。脳動脈瘤があることを知らずにいることは、時限爆弾を頭に入れているようなものです。いつ爆発するか分かりません。しかし、早く見つければ手術（クリッピング術）や血管からのコイル塞栓術などで治療が可能です。小さいものであれば、血圧のコントロールで経過を見ることもできます。

MRI・脳ドックで簡単に確認。適切な治療を

この病気は放っておけば命に関わる重大な結果になりますが、簡単な検査で見つけて治療ができるため、検査を受ける価値が非常に高い疾患です。

「血縁に脳動脈瘤患者がいる」「高血圧がある」「動脈硬化がある」「たばこを吸っていた」「お酒をたくさん飲む」など、一つでもあてはまれば頭部MRIを受けましょう。日野病院では脳ドックで受けることができますし、通院患者さんは主治医と相談して検査をしてもらって下さい。

あなたの頭の中に時限爆弾があるかどうか、あればいつ爆発しそうか分かります。適切に治療してもらって下さい。



日野病院
病院長コラム

第34回　嚥下（えんげ）力 ～誤嚥性肺炎の予防～

日野病院 病院長　孝田　雅彦

日野病院の孝田雅彦病院長が、さまざまな病気や健康について、その予防法や健康に過ごすための豆知識などお役立ち情報をお届けします。

嚥下（飲み込む）力の低下が引き起こす病気

皆さんの中にこんな症状の方はありませんか。

「唾液でむせることがある」「ジョッキでビールを飲むとよく咳き込む」「大きい錠剤が飲みにくくなった」「しょっちゅう咳払いをしている」「のど仏の位置が低くなった（首の半分よりも下）」などなど。私も喉が渇いて水をラッパ飲みすると必ず咳き込むようになりました。これらは明らかに嚥下力の低下です。少しぐらいむせたって問題ないと思われるかもしれませんが、5年後、10年後に誤嚥性肺炎をおこす前兆と考えられます。

今や日本人の死因第3位。誤嚥性肺炎の怖さとは

嚥下力の低下は40歳ぐらいからすでに始まり60歳から急速に低下していきます。特に男性で顕著だといわれています。

実は、2011年に日本人の死因第3位が、脳血管疾患から肺炎に変わりました。肺炎の増加は高齢者の誤嚥性肺炎によるものです。誤嚥性肺炎は抗生剤を投与して治ってもまた再発してしまいます。それは誤嚥性肺炎の原因である嚥下力が良くならないからです。

多くの患者さんは誤嚥性肺炎を3回、4回と繰り返すうちに全身状態が悪化し、食事がとれなくなり亡くなるという経過をとります。

今から始めよう！嚥下力を鍛える筋トレ

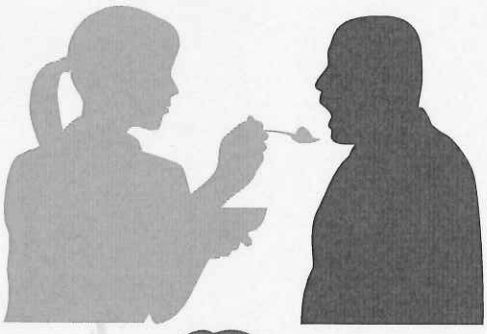
では、どうすれば誤嚥性肺炎を防げるでしょうか。それは嚥下力を鍛えるしかありません。高齢になって鍛えるのは至難の業です。できれば、嚥下力が低下する60歳までに喉頭挙上筋群の筋トレをしましょう。筋トレと言っても大変な運動をするわけではありません。地道な喉の体操を続けることが大切です。

筋肉は年齢に関係なく鍛えることができますし、少なくとも筋肉をつけるには6週間以上の持続が必要ですので、効果を焦ってはいけません。80歳でも90歳からでも可能です。

100歳まで食事を楽しむために―。

実際の体操は日野病院の内科外来でパンフレットをもらって下さい。また、インターネットでも体操が掲載されています（例：YouTube 口腔ケアチャンネル、シャキア体操など）。そのほか、カラオケなどで大きな声で歌うこともトレーニングになります。特に高音を出すと良いといわれています。お風呂で大きな声で歌ってみてはどうでしょうか。

どの運動も40～50歳台の人には物足りないものですが、地道に続けることで嚥下力は維持されます。還暦を過ぎたら、ぜひ行ってみて下さい。100歳まで美味しく食事を楽しむために、今始めましょう。



日野病院
病院長コラム

第35回「減塩食」実践していますか？

日野病院 病院長　孝田　雅彦

日野病院の孝田雅彦病院長が、さまざまな病気や健康について、その予防法や健康に過ごすための豆知識などお役立ち情報をお届けします。

こんなことを言われた経験ありませんか？

「減塩食をして下さい」。この言葉はどのお医者さんでも言われることではないでしょうか。でも、「薄味になると美味しくない」「食べた気がせん」など、なかなか実行できない人が多いようです。

２０１６年の調査によると鳥取県20歳以上の一日食塩摂取量は９・６ｇ、２０１２年の調査では９・９ｇでしたのでやや減少しています。全国的にもほとんどの県で減少しており、２０１２年に最も摂取量の多かった岩手県は、12ｇから10・７ｇと１・３ｇも減少しています。ちなみに最も少ないのは沖縄で両年とも８・６ｇです。この10年で全国の塩分摂取量は11・２ｇから９・９ｇに減少しています。しかし、それでも厚生労働省が目標としている８ｇにはまだまだで、海外では５ｇが目標となっています。

塩分過剰によって引き起こされる疾患

では、塩分はどうしてこんなに問題にされるのでしょうか。それは塩分過剰によって多くの疾患が発症し、悪化するからです。

まずは高血圧です。塩分が体にたまると水を体に引き込みます。多すぎる水分は血圧を上げ、血圧の上昇は心臓に負担をかけ、脳、心臓、腎臓の血管を硬くし（動脈硬化）、脳卒中、心筋梗塞、腎不全となります。

肝硬変や心疾患の患者さんでは浮腫（むくみ）を悪化させ、腹水、胸水を来し、肝不全、心不全、呼吸不全となり死に至ります。つまり、体に入る塩分の総量を減らすことが重要です。時に、薄味にしてたくさん食べる方がいますが、薄味にしても総量が増えれば意味がありません。

減塩には体を慣らすこと。毎日の料理にひと工夫を

それでは、どのようにして減塩すればいいでしょうか。減塩で重要なことは薄味になれることです。人間の味覚は味が濃くなれば鈍感になり、濃くしても味を感じなくなります。薄くなれば敏感になって味をよく感じるようになります。つまり、塩分は濃くても薄くても慣れれば同じように味を感じるということです。

体が慣れるまではしばらく我慢が必要です。そのためにいろいろな工夫をしましょう。塩分の代わりに出汁を利かしたり、コショウやトウガラシ、わさび、ゴマ油、お酢などを加えることで味を出します。ただし、ポン酢、顆粒出汁、チューブ入りのわさびには塩分が加えてあるので注意して下さい。

食べ方にも注意が必要です。「味噌汁は具を食べ、汁は半分以上は飲まない」「ラーメンや麺類は特に塩分が多いので汁は飲まないようにする」「しょうゆやソースはおかずに直接かけて食べるのではなく、小皿にとっておかずの先端に少しつけ、つけた部位を舌にのせるようにして食べる」。そのほかにもレモンやすだち、大葉やハーブなどを利用するものよい方法です。

ちなみに私は塩魚ではなく、生魚しか買いませんし、焼き魚ではしょうゆはつけずに辛めの大根おろしのみで食べます。味噌汁、麺類の汁は飲みませんし、食パンにバターもつけません。パンには十分な塩分が含まれており、よくかめばしっかり甘い味が出ます。

ときどき、トマトやスイカに塩をふって食べる方がいますが、どんどん味覚が鈍感になって塩分量が増えてしまいます。減塩に慣れるにはいっぺんに薄味にするのではなく少しずつ塩分量を減らしていって下さい。ただし、夏の暑い時期で汗をたくさんかいて仕事をする方は塩分の補充も必要です。

長い間の生活習慣、食習慣を変えるのは大変ですが、工夫すればそれほど苦痛ではありません。病気になって急に減塩食を食べることの方がずっと苦痛で大変です。

日野病院
病院長コラム

第36回　あなたのおしっこは健康ですか？ その1

日野病院 病院長　孝田　雅彦

日野病院の孝田雅彦病院長が、さまざまな病気や健康について、その予防法や健康に過ごすための豆知識などお役立ち情報をお届けします。

尿（おしっこ）のにおいで分かるあなたの健康

まだ水洗トイレではなく、くみ取り式トイレの時代、くみ取りの業者さんが〝この家には糖尿病の患者さんがいますよ〟と教えてくれたそうです。つまり、尿中に糖が出ているため業者さんがにおいで分かったということです。

このように尿は体の代謝産物を排泄するため、尿を検査することでいろいろなことが分かります。最近では、犬（がん探知犬）に尿を嗅がせるとがんがあるかどうかが分かるという研究まであります。

色で分かる、重大な病気のサイン

では、皆さんはおしっこをするとき尿の状態を観察していますか？簡単な観察でも重要な発見があります。まずは色です。赤い尿は血尿です。目で見て赤い血尿は肉眼的血尿と呼び、尿検査で分かる血尿（顕微鏡的血尿）と区別しています。

肉眼的血尿は重大な病気が隠れていることが多いのです。血液の尿への混入は腎臓、尿管、膀胱、前立腺、尿道のいずれでも起こります。肉眼的血尿の場合はこのような部位のがんの可能性があります。特に、血液の塊が混じっているときはがんの可能性が高いので、早急に泌尿器科を受診して下さい。

尿路結石は尿の通路を転がりますので結石がどこにあっても血尿が出ます。結石では顕微鏡的血尿の場合が多く、疼痛や不快感が主症状となります。一方、がんは肉眼的血尿以外、症状のないことの方が多いため、疼痛がないからといって放置してはいけません。糸球体腎炎や膀胱炎、前立腺炎でも血尿は起こりますが、次に述べる濁りを伴います。

すぐに受診が必要な場合も。よく観察してみよう

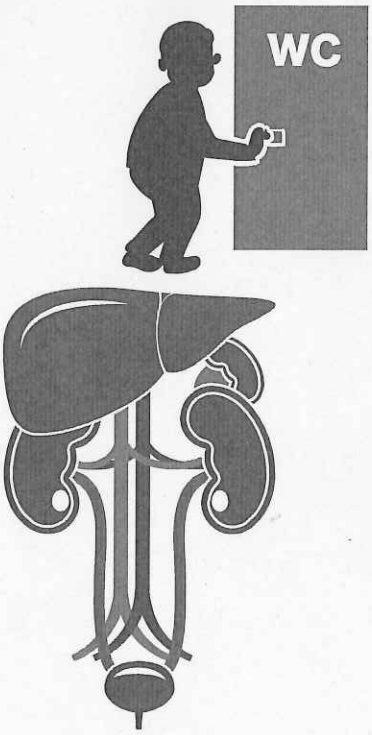
白く濁った尿は細菌感染の所見です。つまり膀胱炎や腎盂腎炎、前立腺炎です。尿路感染症では発熱、頻尿、残尿感、排尿時痛を呈します。急性膀胱炎は発熱を伴わないことが特徴ですが、腎盂腎炎では高熱を伴うことが多く、全身に細菌が広がって敗血症になる可能性があるため早急に治療が必要です。

少し濃いめの黄色い尿は脱水による濃縮尿ですが、紅茶のような茶色の尿が出たときは黄疸によるビリルビン尿が疑われます。濃縮尿は十分に水分をとれば尿は薄くなりますが、ビリルビン尿は水分をとっても薄くはなりません。これは肝臓病が考えられますので、早急に内科を受診してください。

内服している薬によって尿に色がつくことがあります。ビタミン剤は尿が黄色くなったり、少し橙色になったりします。薬を中止すれば元に戻りますので問題はありません。最後に、尿が泡立つときがあります。これは尿中に糖や蛋白が多くでていることが多く、糖尿病や腎臓病の可能性があります。一度、精密検査を受けてみて下さい。

おしっこの性状だけでも多くのことが分かり、病気の早期発見につながります。皆さんも排尿時によく観察してみてください。

次回は、おしっこの出方についてお話しします。



日野病院
病院長コラム

第37回　あなたのおしっこは健康ですか？ その2

日野病院 病院長　孝田　雅彦

日野病院の孝田雅彦病院長が、さまざまな病気や健康について、その予防法や健康に過ごすための豆知識などお役立ち情報をお届けします。

新年早々、排尿（おしっこ）に関する大事なお話です

新年明けましておめでとうございます。令和初めてのお正月はいかがでしたでしょうか。今年も、あるいは今年こそは、皆さんが健康で過ごせる年になりますように日野病院職員一同祈念いたします。

さて、新年早々おしっこの話かと思われるかもしれませんが、今回お話しする排尿に関する症状は、本人にとっては非常につらいものです。

私も前立腺炎を発症したときは、頻尿と残尿感が夜間も続き、その不快感には耐えきれず、不眠、倦怠感へと悪化していきました。3日ほどでなんとか改善しましたが、これが長期に続くと日常生活は制限され、仕事もできませんし、QOL（生活の質）は大きく損なわれます。

見逃してはならない病気が隠れていることも

尿の出方の障害は蓄尿障害と排尿障害に分けられます。蓄尿障害には頻尿、尿意切迫感、尿失禁があり、排尿障害には尿勢低下、尿の途絶、尿閉、残尿感、排尿後滴下があります。

皆さんも一つぐらいは経験している方が多いのではないでしょうか。蓄尿障害と排尿障害は病気によって複合して起こるため、いくつもの症状がみられることは珍しくありません。

一日8回以上の排尿を頻尿といいます。頻尿の原因には膀胱炎、前立腺肥大症、過活動膀胱、がんなどがあります。膀胱炎や過活動膀胱では少ししか尿がたまらないのに尿意が起こり、前立腺肥大症では残尿が多くてすぐ膀胱がいっぱいになり尿意が起こります。残尿が悪化すると尿閉になり緊急処置が必要となります。

夜間頻尿（就寝後起床までに1回以上排尿する）は不眠を来たしたり、転倒のリスクを上昇させます。夜間頻尿の原因はやはり前立腺肥大症が最も多いのですが、全身疾患を見逃してはいけません。

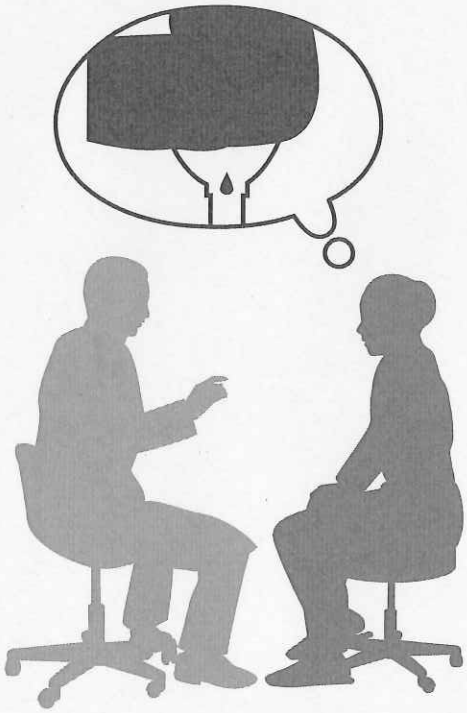
心不全、腎不全、肝不全の患者さんは夜間仰臥位になると腎臓の血流が増加し、尿量が増え、頻尿になります。したがって、一度は内科を受診して、肝心腎のチェックが必要です。

女性も悩まされる排尿問題。一人で悩まず泌尿器科へ

尿失禁は特に女性が経験することの多い症状です。尿失禁は4つに分類されますが主なものは2つです。腹圧性尿失禁は尿道括約筋の働きが低下し、少しいきんだときや、くしゃみをしたときに尿が漏れます。85％は女性に起こるといわれています。

切迫性尿失禁は尿が溜まったとき、急に尿意を感じて我慢できずに出てしまうものです。過活動膀胱や神経因性膀胱で起こります。日常生活で尿が漏れないかと不安に思うのはつらいものです。

上述のような症状は原因がはっきりすれば、有効な薬があります。悩まず気軽に泌尿器科へご相談ください。



日野病院
病院長コラム

第38回　新型コロナウイルス感染症 ～武漢肺炎～

日野病院 病院長　孝田　雅彦

日野病院の孝田雅彦病院長が、さまざまな病気や健康について、その予防法や健康に過ごすための豆知識などお役立ち情報をお届けします。

日本でも感染者が。世界で猛威を振るう新型ウイルス

今、新型コロナウイルス（2019-nCoV）が世界中を震え上がらせています。

２０２０年２月１日現在までの感染者数が１万１９４８人（うち、死亡者２５８人）と日に日に増加しています。日本でも17人の感染が確認され、３次感染と考えられる症例もあります。

本日（２月１日）、指定感染症となりましたが、この感染症は発症前からウイルスを排出していることから、より厳重な予防策が必要です。先日、武漢から日本のチャーター便で帰国した人の中にウイルス検査を拒否して帰宅した人がありました。もしこのような人がウイルス陽性であれば、一人が多数の人に感染させるいわゆるスーパースプレッダーになる可能性があります。

多くの人が予防を行っても、スーパースプレッダーが出ると、その効果は無に帰してしまいます。個人個人がしっかりした予防を行うことは個人を守るだけでなく、集団を守ることにもなります。

自分がスーパースプレッダーにならないために

日野病院でもインフルエンザの季節には病院に受診した患者さん、お見舞いに来た方にマスクの着用をお願いしています。

時に、「自分はインフルエンザなんてかかったことがないからマスクをしない」と拒否する人がいますが、自分がかからないというのは何の根拠もないことですし、このような人が多くの人に感染させる元になります。個人の自由だとか言う前に社会人として守るべきルールを理解してほしいものです。

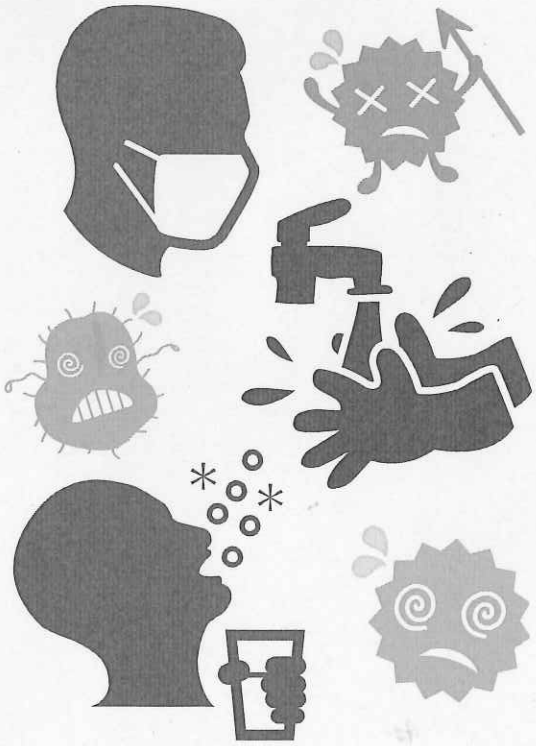
一人一人の心遣いで感染の拡大は防げる

新型コロナウイルスは今後どこまで広がるか予断を許しません。この２週間で中国での感染者は１００倍となりました。また、死亡率は今のところ２％程度といわれています。

中国から世界中へ広がれば億単位の感染者が出るかもしれません。１億人の感染者が出れば、２００万人の死亡者が出る計算となります。一刻も早い封じ込めが必要です。

新型コロナウイルスに対する治療法は今のところありません。症状も初期は通常のかぜ症候群と変わりません。予防しか有効な方法はありません。予防法としては外出時、特に人混みに出るときや交通機関に乗るときはマスクをすること、帰宅時は石鹸で手洗いをしっかり行うこと、うがいをすること、アルコール消毒をすることです。

全員がこれを守れば、感染は終息していくはずです。自分は関係ないと思うのではなく、自分のため、家族のため、町のために予防して下さい。この町報がでるころには感染が減っていることを祈っています。



日野病院
病院長コラム

第39回　新型コロナウイルス感染症（COVID-19）続編

日野病院 病院長　孝田　雅彦

日野病院の孝田雅彦病院長が、さまざまな病気や健康について、その予防法や健康に過ごすための豆知識などお役立ち情報をお届けします。

歯止めかからぬ感染。拡大の一途をたどる新型コロナ

先月の町報では、新型コロナウイルス感染症が終息していることを祈念して終えましたが、残念ながら感染は世界中に広がり続けています。

3月1日現在、世界中で8万7579人。うち、中国7万9824人、韓国3736人、イラン978人、日本242人、ヨーロッパでもイタリア、ドイツ、フランスで急速に増加しています。

そして、ダイヤモンドプリンセス号では706人が、国内でも北海道、東京、愛知で感染が拡大し、感染者が発生した県も増加し続けています。

どのように感染していくのか。ウイルスの特徴を探る

ここで、これまでに分かっている新型コロナウイルス（COVID-19）の特徴を述べます。

まず、このウイルスは飛沫・接触感染を中心に感染していきます。また、最近エアロゾル感染の可能性が報告されました。飛沫感染では咳をしても半径2mぐらいでウイルスは落下します。

一方、エアロゾル感染では、空気感染ほどではありませんが、かなりの範囲にウイルスが浮遊します。換気をしなければ、密閉された部屋全体が感染可能になると考えられます。ダイアモンドプリンセス号や大阪のライブハウス、東京の屋形船の感染率が高いのも密閉した空間だからです。

したがって換気が重要です。換気はSARSの感染を減らすのに効果を上げました。さらにウイルスは糞便中にも排泄されるので糞口感染も成立します。これは接触感染と同じく手洗いが重要です。

コロナウイルスは名前のようにウイルス粒子の表面に王冠の様なスパイクがたくさん出ており、このスパイクが人の細胞に接着して細胞内に侵入します。石けんなどの界面活性剤はこのスパイクを破壊するため、細胞に接着できなくなり、病原性がなくなります。

つまり、予防法は飛沫・エアロゾル感染を防ぐために、「マスクをする」「部屋の換気をする」「人混みや密閉された空間に行かない」、接触・糞口感染に対して、「石けんで十分に手洗いをする」「アルコール消毒をする」ことです。

致死率も増加傾向。高齢者ほど重症化するリスクが

次に、COVID-19による致死率は年齢によって大きく異なることが報告されています。大まかには50歳未満0・4%、50歳台1%、60歳台3%、70歳台10%、80歳以上15%です。また、入院患者の死亡率は14%です。これらは中国のデータなので医療レベルの高い日本ではもっと低くなると考えたいのですが、治療法がない疾患なのでまだ分かりません。

いずれにせよ、感染が広がれば高齢者を中心に亡くなる方が増加することは確かですので、感染を減らすことが重要です。特に、急速な患者の増加を減らして、病院が満杯にならないよう、感染者が充分な治療が受けられるように患者増加速度を下げることが重要です。今のところ、一人の患者が二人ぐらいの人に感染させているといわれていますが、これを1以下にしないと感染は終息しません。

感染拡大を阻止するには？一人一人の意識付けが重要

COVID-19のやっかいなところは発症する前からウイルスをばらまいていることです。したがって、症状が出てから周りに感染させないように注意してもすでに広めている可能性があります。

理論的には全国民が2週間自宅にこもれば、この間に感染者は発症するので、すべてのウイルス保因者をあぶり出すことができます。しかし、現実にはこれは困難であるため「不必要な外出はできるだけ控える」「人が集まるところへは行かない」「特に感染者が出ている地区から来た人とは接触しない」ことが望まれます。

差別的は対応はよくありませんが、これは一時的な緊急の対応なのでみんなが協力しないと効果が薄れてしまいます。経済的な問題もありますが、感染が広がればもっと大きな経済的損失が引き起こされると思います。

個人個人が自分のこととして行動して下さい。今度こそ、この町報がでるときには感染がピークを越えていることを祈ります。

その他の新聞記事

地域医療を学びたい

スイス人留学生 日野病院で研修

李助教（右）の指導を受けるヤニックさん（右から２人目）ら＝28日、日野町野田の日野病院

鳥取大に留学しているスイス・ローザンヌ大医学部4年のトゥード・ヤニックさん(25)が28日、日野町野田の日野病院で研修を始めた。30日まで3日間、病院内や医師の診察を見学するなどし、中山間地域での地域医療について学ぶ。

ヤニックさんは日本の医療システムに興味があり、留学先に日本を希望。国際医学生連盟を通じて来日し、鳥取大が受け入れた。

主に県西部の病院や診療所で研修し、日野病院では病棟や外来の現場を見学するほか、高齢者施設などにも出掛ける。ヤニックさんは「将来、どの分野に進むかは決めていないけど、今後の研究や総合診療医としてのヒントがつかめれば」と意気込んでいる。

一方、日野病院には鳥取大医学部の学生も実習に訪れており、同学部の李瑛（リヨン）助教は「他国の医療の話を聞くことで、学生たちにはいい刺激になる。勤務しているスタッフにとってもスキルアップの機会として捉えている」と歓迎している。

（岡野耕次）

憂楽帳

高齢化の先進地で

「痛みはありますか」。鳥取県日野町の日野病院で、入院患者の腹部を触りながら堪能な日本語で声をかけるのは内科医の李英伊（イヨンイ）さん(55)。患者の表情や声の張りにも細心の注意を配る。

李さんは韓国・東亜日報の元記者で東京特派員などを歴任し、夫の後押しもあって47歳で母国の医師免許を取り家庭医になった。高齢化の進む日本の地域医療に関心を持って日本の医師免許も取得、昨年末に正式採用された。

岡山県境の山あいにある日野町は人口約3000人で高齢化率48%。開業医はおらず、公立の同病院が訪問診療も行う。退院後も医療、介護など多職種が協力し、患者や家族を見守りながら亡くなるまで関わる実践に「目からうろこ。学ぶことが多い」と話す。

だが、課題もみえる。終末期医療だ。患者の意思が確認できず延命治療の選択に悩む家族も少なくない。「死への考え方など社会全体の認識の変化が必要」と話す。いつか母国の医療政策に反映させたいという。両国の関係は冷え込むが、日本での経験と人間関係は未来につながるはずだ。【有田浩子】

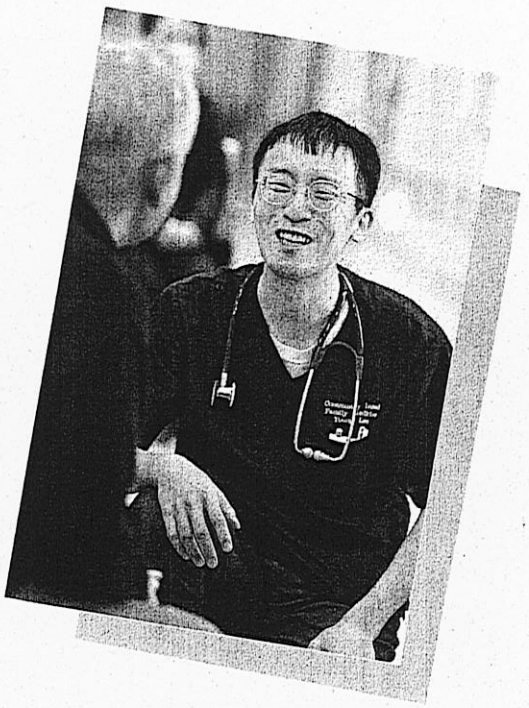
2019.7.19

With ウィズ
あなたと一緒に

信仰体験

在日コリアン

揺れる日韓関係――。連載「with」では、両国のはざまで生きる在日コリアンの方を取材し、互いを理解する意味を考えます。今回は、在日コリアン4世として日本に生まれ、自分のアイデンティティーを見つめてきた、李瑛さん(36)を紹介します。



李瑛／リ・ヨン　鳥取県・日野町在住。在日コリアン4世として日本で生まれ育ち、現在は家庭医として地域に密着した医療に尽くす。男子部副部長。中国青年医学者会議議長。

揺らぐから、掘り下げた。

「どうして、そんなに日本語が上手なの？」

転校先の隣町の中学校で、同級生が聞いてきた。和歌山の田舎町で「李瑛」の名で育ったが、いじめられたことも、差別されたこともなかった。

同級生もバカにしたわけではない。ただ、不思議そうに尋ねる彼に、どう答えていいのか戸惑った。

父も母も在日コリアン。自分には韓国の血が流れている。けれど、日本で生まれ、韓国語は話せない。日本人なのか、韓国人なのか。自分が何者か、分からない。アイデンティティーがぐらぐらと揺らいだ。

関西創価高校に入学した1999年（平成11年）5月、創立者・池田先生との記念撮影会に臨んだ。先生は、韓国・済州島から大阪に帰国したばかりだった。

「韓国は、大切な大切な『文化の大恩人の国』であり、『師匠の国』です」

先生の言葉に衝撃を受けた。自分を真正面から認めてもらったように感じた。学園時代は、韓国から賓客が来るたびに歓迎を。自身の中に「韓国」のアイデンティティーが強く育っていった。

2004年、鳥取大学の医学部に進学。県内に住む母方の祖父母の家に下宿した。祖父が亡くなった後、日本語の読み書きが苦手な祖母のために、書類の手続きなどを手伝うように。二人の時間が増え、ふと、祖母の人生が知りたくなった。

――1926年（大正15年）、朝鮮半島の慶尚北道で生まれた祖母。貧しく苦しい生活だったため、日本へ行くことには、「都会に出るような憧れがあった」という。17歳で日本へ渡った。

しかし、日本の生活はさらに貧しく、差別も根強かった。日本名を名乗り、朝鮮人であることを隠すために、和服を着た。言葉が通じず、最初は苦労した。戦後、祖父が鳥取で理容店を始めたが、家計は火の車。

何度も、母国を思った。けれど、半島は二つに分断され、動乱の渦中にあった。その後、1959年（昭和34年）、近所の創価学会員に折伏され、入会する。

「池田先生のおかげで、人生が変わったんよ」

語り尽くせぬ苦労が、自分の今につながっている。祖母の人生を知るにつれ、「在日コリアン」としての誇りが強まった。

大学を卒業後、沖縄本島と宮古島の病院で働いた。沖縄の人たちは多様だった。ウチナーンチュ（沖縄人）がいれば、内地（本土）の人もいる。さらにアメリカ人やフィリピン人も。自分は〝在日〟というものに固執しすぎなのかもしれない。「国籍なんて関係ない。違いがあって、それがいいんだって思えた」

臓器別専門医ではなく、家庭医の道に進んだ。家庭医は身体の疾患だけでなく、患者の精神面や生活状況、家庭環境まで見つめて、総合的な診療を行う。

膨大な勉強量に、診療を担当する責任。重圧に押しつぶされそうになるたびに、真剣に唱題し、目の前の患者に寄り添おうと決めた。そうして患者の背景を知ると、ルーツを持つ意味を深く感じるようになった。

本島の病院で、入院中の老婦人を担当した。元気がなく、食欲もなかったが、彼女の故郷である離島の旅行誌を見せると、様子が一変。島での暮らしを楽しそうに語り始め、その後、体調も快方へ向かった。

「患者さんのバックグラウンド（背景）に思いをはせ、一人一人の〝人生を丸ごと診る〟。ルーツにこだわってきた自分らしい仕事だなって」

昨年、鳥取県に戻り、日野町の病院に勤務する。患者が生きてきた環境や経験してきたことは、一人として同じではない。病状もそれぞれ異なる。目の前の一人。その後ろに広がる人生まで見つめると、いろんなものが分かち合える。

「僕にとっては学会活動も、その実践なんです」。仕事が多忙な中でも懸命に活動に取り組んできた。

妻・聖美さんも在日4世。5世の長女には「美陽」と名付けた。国籍は今も韓国のまま。固執しているわけではない。ただ、「在日コリアン」というルーツと、自分につながる、祖父母や父母が生きてきた人生を大切にしたい。

アイデンティティーが揺らいだからこそ、ルーツを掘り下げた。その先で学んだ、違いを尊重し合って心を結ぶ生き方。「それって、人と人だけでなく、国と国にも通じるものだと思うんです」

写真上から、家族とのひとときー（左から李瑛さん、長女・美陽ちゃん、妻・聖美さん）／男子部の仲間と李さん（中）／鳥取県・日野町が家庭医としての舞台

医療連携で基本協定

日野郡3町と鳥大病院

日野郡3町と鳥取大医学部付属病院（米子市西町）は23日、医療提供体制の確保と医療人材の育成での連携を目指し、「日野郡の医療連携に係る基本協定」を結んだ。

医療資源が限られる中、日野郡では各町が単独で医療体制を維持することが難しく、町を超えた連携の必要性が叫ばれていた。昨年9月、日野、日南両病院と江府町の江尾診療所が中心となり「日野郡の医療連携を考える会」を組織。数回にわたって病院間連携の在り方を協議してきた。

協定によると、各医療機関による医師などの派遣協力▽総合診療専門医など地域医療を担う医療従事者の育成▽住民が地域医療を守り育てる意識の醸成―などで連携。具体的な連携内容は今後協議していく。

鳥取大病院で調印式があり、3町長と同病院の原田省院長が協定書に署名。原田病院長は「医師の偏在をなくし、限られた医療人材を有効に使うとともに地域医療を担う若い医師を育てたい」と話した。（本高屋修）

協定書を手にする（左から）垰田淳一日野町長、中村英明日南町長、原田病院長、白石祐治江府町長＝23日、米子市西町

地域医療維持へスクラム

「日野郡の医療連携に係る基本協定」調印式

持続可能な地域医療提供を目指して協定を結び、記念写真撮影に応じる鳥取大病院と日野郡3町の関係者

鳥取大病院 日野郡3町 連携協定を締結

持続可能な地域医療の提供体制構築や人材育成を目的に、鳥取大医学部付属病院（米子市西町）と日野郡（日南、日野、江府）3町が23日、医療連携の基本協定を結んだ。深刻な医師偏在化の解消や、急務となっている医療人材の確保・養成など、中山間地域の地域医療が直面する課題の解決へスクラムを組む。鳥取大病院と県内市町村との連携協定締結は初めてで、今後の取り組みが注目される。（山根行雄）

人口約1万人、高齢化率50％の日野郡には現在、日南病院（99床、日南町）、日野病院（同、日野町）、江尾診療所（江府町）の3公立医療機関がある。このうち日南病院は、厚生労働省が昨年9月に「病院再編統合の検討が必要」とした全国424公立・公的病院名の公表で名指しされた。

地域医療を取り巻く厳しい環境を踏まえ昨秋、3医療機関が中心となって「日野郡の医療連携を考える会」を発足。計4回開いた会合の中で、医師不足解消や地域医療の担い手育成には、医師派遣・養成機能を併せ持つ鳥取大病院との連携強化が欠かせないと判断した。

鳥取大病院であった調印式には関係者約20人が出席。4者の代表が、医師派遣協力▽日野病院内にある鳥取大地域医療総合教育研修センターを拠点にした学生教育、医療従事者養成、総合診療専門医養成の強化▽地域医療を守り、育てる住民意識醸成―などを盛り込んだ協定書を交わした。

日南町の中村英明町長は「3町とも医療体制維持は最重要課題だ。（協定を機に）郡内で人材育成に向けた取り組みを進めたい」と期待感をにじませ、鳥取大病院の原田省病院長は「限られた医療資源の有効活用には、地域連携はとても重要。総合診療専門医育成など地域の期待に応えたい」と述べた。

4者は今後、日野郡の医療連携を考える会で具体策を練り、地域住民の安全・安心につながる独自の地域医療体制を形作る考え。

５、広報誌　せせらぎ

日野病院組合だより

せせらぎ

No.65
令和元年５月発行

題字　孝田雅彦 病院長

発行／日野病院組合 編集／日野病院広報委員会 〒689-4504 鳥取県日野郡日野町野田332番地 TEL0859-72-0351
日野病院ホームページ http://www.hinohp.com/ FAX0859-72-0089

日本医療機能評価機構
認定第JC1483号

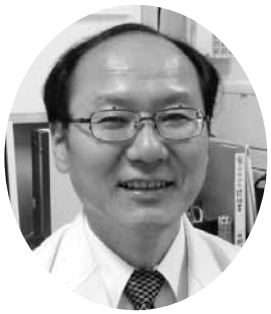
日野病院の基本理念

一　地域住民のニーズにあった良質な医療、保健、福祉のサービスを行い、山間地中核病院として信頼される病院を目指す
二　自治体病院の職員としての自覚と使命感をもって、より良い患者サービスに努める

基本方針

1．高齢者の疾病に対応する慢性疾患をはじめ、急性期医療にも取り組み、地域包括ケアシステムの一翼を担います
2．住民が安心して地域で暮らすことができるよう、救急医療に対応します
3．安全な医療を提供するため、安全管理対策を推進します
4．子育て支援に協力します
5．多機能に対応できるリハビリテーションを実践します
6．出かける医療、近づく医療に努めます
7．地域住民の心と身体の健康的な生活を維持増進する予防指導をはじめ、ドック検診事業を積極的に展開します
8．人材育成に努め、地域に貢献します

令和を迎えて



日野病院病院長
孝田雅彦

今年は昨年とは異なり暖冬でしたので皆さんには過ごしやすい冬ではなかったでしょうか。さて、去る4月30日には天皇陛下が退位され、新天皇陛下の即位とともに平成から新元号令和に変わりました。新しい時代への転換点となり、日野病院も時代の変化とともに変わっていかなければならないと考えています。

今年は長年病院に貢献された生田哲二副病院長、影山光恵看護師長、竹永真由美看護師長、角嶋美鈴主任看護師、小林博子看護師が定年退職となりました。特に生田副院長は赤字が続く日野病院に平成16年に役場から派遣で来られ、経営を立て直していただきました。私も平成28年に副病院長として来て、経営については素人のところを一から指導していただきました。できれば今後もこの経験知、ノウハウ、人脈を日野病院のために活かしていただきたいと考えております。

4名の看護師は4月からも日野病院に残って後進の指導をしていただいています。その他にも日野病院を退職されたスタッフはおられます。いずれの方も日野病院を支えて頂いたことに深謝いたします。

次に今年は9名の新卒看護師と1名の若手看護師、1名の若手管理栄養士が入職しました。こんなに多くの看護師が入るのは初めてのことで、この数年はしっかりと若手を育成する時期です。10年、20年後の日野郡の医療を支える人材として育てたいと考えています。

また、長尾裕一郎医師が内科医として加わっていただきました。長尾先生は将来的に脳神経外科医を志望されており、昨年は鳥取大学脳神経外科で診療されていました。神経系が得意な先生が増えたことで日野病院の診療の質も上がるものと期待しています。

平成30年度の病院長賞は残念ながら該当なしとなりましたが、3名が局長賞を受賞されました（竹永真由美看護師長、田中武志主任理学療法士、河本亮介係長）。各々が病院に地域にそして医療に貢献されました。引き続きさらなる高みを目指して頑張ってほしいと思います。

日野病院ではスタッフは増えましたが、まだまだ新人が多く、至らぬ点も多いかと思います。住民、患者の皆さんにはご意見ご指導を頂き、新人の育成とともに日野病院を育てていただければ嬉しく思います。令和が日野病院、そしてこの地域にとって良い時代になるように祈念いたします。

犬・猫由来の人蓄共通感染症

日野病院名誉病院長　玉　井　嗣　彦

近年、さまざまな動物がペットとして飼育されており、癒やしを求める人間自身に彼らとの接触は大変意義があるものと思われます。なかでも、特に犬や猫は昔からペットとして可愛がられていますが、気分によって、時に愛情表現かもしれませんが、咬みついたり、ふいに引っ掻いたりします。

本邦にはまだ正確な調査資料がありませんが、米国では動物による咬傷のために、年間100万人から200万人が医療機関で治療を受け、救急外来の受診者の約１％を占めています。しかし、軽傷者は医療機関を受診することが少ないと考えられ、真の発生率は不明です。

判明している範囲では、その80％は犬によるもので、受傷者の多くは若年男性です。一方、猫によるものは全体の５～19％を占め、受傷者の大部分は若年女性です。ある大規模な疫学調査では、受傷者の約４分の１が６歳未満であったと報告されています。

子猫がじゃれて、５歳の女の子の顔に引っ掻き傷ができ、まぶたも腫れているので目が心配だと受診された親子を最近、診察する機会がありました。

幸い角結膜や眼内には損傷がみられず、皮膚への抗生物質の塗布程度で、事なきを得ましたが、猫に引っ掻かれて角膜穿孔や角膜潰瘍を起こしたり、眼内炎を生じて眼球内容除去術に至った症例なども報告されていますので、安心できません。

猫の爪は細く非常に鋭利なため、角膜創の場合も含めて、組織の挫滅が少なく、縫合なしでも自然に傷は閉じやすいのですが、咬まれた場合、毎日新聞の「ご近所のお医者さん」欄でもしばしば話題にしていますが、通常29％から50％に創傷感染がみられ、その原因菌の50％以上に、パスツレーラ・マルトシダという、猫の気道ないし消化管に常在するグラム陰性桿菌が検出され、本菌には一般に、ペニシリン系、第２、第３世代セファロスポリン、テトラサイクリンに加えてクロラムフェニコールの投与が有効とされています。

犬・猫の口腔内に常在しているカプノサイトファーガ属菌による人蓄共通感染症の最新の情報が昨年秋、厚生労働省保険局よりもたらされましたが、本症が疑われた場合には、患者さんの臨床所見に応じて、早期に抗菌薬等による治療を開始することが重要となります。咬傷に対する抗菌薬としては、ペニシリン系の他、テトラサイクリン系や第３世代セフェム系抗菌薬が一般的に用いられます。本症は犬・猫による咬傷・掻傷以外に、傷口をなめられて感染した例も報告されていますので、要注意です。

潜伏期間は１～14日（多くは１～５日）で、発熱、倦怠感、腹痛、吐き気、頭痛などを前駆症状として発症し、重症化した例では敗血症が最も多く、その約26％は亡くなるとされています。血液培養が陽性になるのに数日を要することから、早期診断が可能な検査方法がありません。さらなる検討が必要です。

感染予防のためには日ごろから、犬や猫との過度の触れあいは避けるようにし、ペットと触れあった際には、手洗いなど確実にします。犬や猫に咬まれたり引っ掻かれたりした時には、傷口を石けんと流水でよく洗い、傷が小さくても感染する可能性がありますので、万が一の時、医療機関に咬掻傷歴を伝えられるよう、家族にも情報を伝えておきましょう。ペット由来の人蓄共通感染症にご配慮を‼

すまいる互版

＜連絡先＞【日野病院組合＊在宅介護支援事業所】
☆訪問看護ステーション　0859－72－2706
☆居宅介護支援事業所　0859－72－2723

令和元年、皆様いかがお過ごしでしょうか。
「人々が美しく心を寄せ合う中で文化が生まれ育つ」となる春に新しい３名の仲間が加わりましたので、ご紹介します…

４月から在宅介護支援事業所に配属となりました事務の中川と申します。
まだまだ勉強中ではありますが、在宅でお過ごしの皆さんのお力添えとなれるように努めたいと思います。
どうぞよろしくお願いします。

＊事務職員＊ 中川　志奈

よろしくお願いします！

２月から訪問看護ステーションに配属になりました言語聴覚士の影山です。言語聴覚士は主に口のリハビリの担当で、話しにくい、言葉が出にくい、飲み込みが悪いなどのリハビリを担当します。今までは病院勤務がほとんどで、訪問リハビリは慣れないため患者様の家にお邪魔するのは不安が大きかったのですが、ご自宅でのリハビリは実際の生活を見ることができとてもやりがいを感じています。
今後ともよろしくお願いします。

＊言語聴覚士＊ 影山　通香

４月から日野病院組合訪問看護ステーションで勤務しています理学療法士の小巌です。今まで、病院や介護老人保健施設で勤務してきました。病院でのリハビリが実際自宅でお役に立てているのか、見させていただく良い機会を得たと思っています。利用者の皆さんが安全・安心に自宅生活を継続できるように支援していきます。
半日は病院で勤務のため、たくさんの家にお邪魔する事は出来ませんが、よろしくお願いします。

＊理学療法士＊ 小巌　香織

◇ 平成30年度　満足度調査結果についてご報告 ◇

アンケート回答にご協力いただき、ありがとうございました。

【訪問リハビリ】

・調査期間：平成31年2月18日～3月8日
・目的：利用者様の満足度把握とリハビリの質の向上
・対象者：75名（回収率：53%）
・集計結果では、訪問リハビリ回数、時間、内容、接遇など各設問に対し概ね高評価を頂きました。
・自由記載としては
「体調の変化とか迅速に対応して頂けるので助かってます。」
「リハビリの回数をもっと多い方がいい。作業療法士がいたらいい。」
「いつも丁寧に対応してもらい、暴言やら蹴りなどにも忍耐強く対応して下さり感謝しています。おかげで本当に力強く生活できています。」
「介助者としての困りごとが相談できて助かっています。訪問の曜日の変更が難しい。」
などの貴重なご意見を多数いただきありがとうございました。今後も、訪問リハビリサービスの質の向上に努めてまいります。

［訪問リハビリスタッフ一同］

※訪問看護、居宅介護支援事業所（ケアマネジャー）をご利用の皆様には、後日書面にてご報告させていただきます。

鳥取大学地域医療総合教育研修センターでの取り組みについて

根雨小学校人権参観日「親子で考えるおじいちゃんおばあちゃんの『いきかた』」

2019年2月8日(金)に根雨小学校人権参観日の親子講演会で講演してきました。テーマは「親子で考えるおじいちゃんおばあちゃんの『いきかた』」でした。

4－6年生と保護者の方々に親子でペアになってもらい、身近なおじいちゃんおばあちゃんの年齢、昔の職業、好きな食べ物、楽しみにしていることなどを説明してもらうワークでは、意外と知らないなあという子供たちの声。親子でお互いを紹介しあうワークでも、「親の心子知らず、子の心親知らず」…ずっと一緒に暮らしていても、家族の考えはわからないものであることを実感していただきました。高齢社会のこの地域では子供たちがおじいちゃんおばあちゃんの病や死に触れる機会も多くなるでしょう。個人差はありますが小学校高学年の頃には「死」を理解できるようになると言われています。深刻な話がしにくい親子の間に孫が入るのも一案かもしれません。みんなでよりよい最期を考えていきたいですね。

鳥取大学医学部地域医療学講座
紙　本　美菜子

鳥取大学医学部
地域医療学講座
涌　波　優

自己紹介！

涌波（わくなみ）と申します。おそらくみなさま聞いたことのない苗字かと思います。私も自分の家族以外にあったことがありません。

どうやらルーツを辿ると石川県にあるようです。家系図を辿ってみようとしましたが、途中で辿れなかったので定かではありませんが、噂によると昔、前田利家の香具師をしていたそうです。本当かどうかは定かではありませんのでご了承ください。香具師の血筋なのか、元々の性格なのかは知りませんが、人と会話をするのはどちらかというと好きな方だと思います。体が大きくて、目つきも悪いので声をかけにくいかもしれませんが、体育会系というよりは文化系の人間ですので、そんなに怖い人ではないと思います。優しく話をし、丁寧な仕事をすることを目指しています。これから色々助けてください。どうぞよろしくお願いします。

透析治療ー血液透析について

日野病院名誉病院長　濵　副　隆　一

腎臓の働きがほとんど失われた腎不全の患者さんに対して行われる治療で、自分の腎臓に代わって、血液中の老廃物を人工的に取り除きます。日本は透析患者の多い国で、年々、透析患者の数は増加し、現在30万人を超え、さらに毎年1万人前後増え続けています。

◆透析治療を受ける基準

腎臓の働きが落ちてくると、血圧が上がったり、体液の組成が変わったり、貧血になったり、生存していく上で不都合な状態になってきます。食事療法や薬物療法を行い不都合な状態を是正するように努めますが、腎機能が正常の10～15％以下になると症状の改善は期待できず、腎臓の機能を代行する「透析治療」を開始することになります。腎機能が正常の15％以上あっても、尿毒症の症状や高カリウム血症、心不全などがあり、適切な治療によって症状や所見が改善しない場合も「透析治療」が必要になります。

◆透析治療の種類

透析治療には血液透析と腹膜透析という2つの方法があり、患者さんの生活スタイルに合わせて治療法を選択することができます。日本では血液透析を選ぶ患者さんが圧倒的に多く、末期腎不全の治療法として主流となっています。

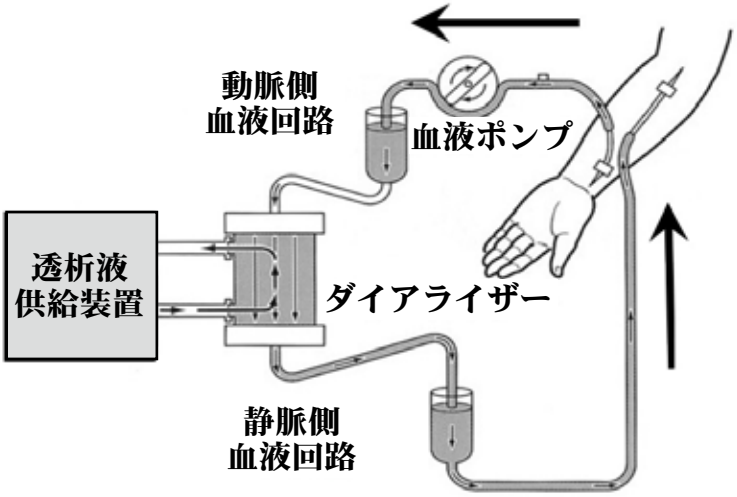
血液透析では、血液を体外に導き、機械に通して血液中の老廃物や余分な水分を取り除き、きれいになった血液を体内に戻します。血管に針を刺した状態で機械を作動させますので、その間は安静を保たねばなりません。腹膜透析では、特殊な管を使っておなかの中に透析液を注入し、腹膜というおなかの中の膜を利用して血液を浄化します。血液透析よりは時間がかかりますが、自宅で夜間に行うことができますし、からだへの影響が少ないという利点があります。

◆血液透析の原理と方法

血液透析は、血液と透析液の間にある半透膜（水分と分子量の小さな物質だけが通過できる膜）を介して、水や物質の移動を行い、毒素を除去し不足物を補充します。

まず、血管に針を刺し（穿刺）、血液回路（チューブ）につないで血液を取り出します。その血液をダイアライザー（半透膜を備えた濾過装置）に通して浄化し、もう1箇所穿刺した血管を通して体内に戻します（図1・図2）。

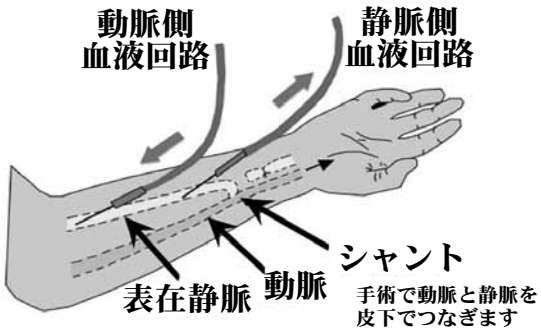
（図1）



（図２）ダイアライザー

血液透析を効率よく行うためには、１分間に200㎖前後の血流が必要になります。通常の静脈ではこの流量の血液を取り出すのは無理ですので、動脈と静脈をつなぐ手術（シャント手術）を行い、皮下を流れる静脈を拡張させ、十分量の血液を取り出せるようにします（図３）。針は、血液を取る側（脱血）と返す側（返血）の2本刺します。

（図３）



◆日野病院の血液透析

日野病院は、日野郡で唯一の透析施設で、８台の血液透析機を備え（図４）、現在15名の患者さんが血液透析を受けて居られます。血液透析には１回当たり３～４時間を要し、通常それを週３回継続して行います。したがって、透析患者さんには、透析時間の拘束はもちろんですが、頻回になる通院も相当な負担であろうと思います。日野病院では、近隣地域にお住まいの患者さん方に安心してご利用頂けるよう、透析室の機能をより一層充実させると同時に、患者さん方への利便性を高めて参りたいと考えています。今年の４月から毎週水曜日に「血液透析相談窓口」を設けていますので、何なりとご相談頂ければと思います。

最後に、腎不全を来す原因は糖尿病や高血圧といった生活習慣病が大半を占めていますので、生活習慣を見直し、生活習慣病を防ぐ習慣を身につけてください。

（図４）日野病院の透析室

透析室スタッフ

合ニュース

内科医師
長尾 裕一郎

４月からお世話になっています長尾と申します。１年前までは内科をしており、昨年は鳥取大学の脳神経外科で研修をさせていただきました。保存的加療な脳卒中も見ていきたいと思いますのでよろしくお願いいたします。

看護師
生田 莉佳

この度、日野病院に就職させて頂きました生田です。看護師として働くことができる嬉しさと、緊張で胸がいっぱいですが長所である明るさ、体力を生かして頑張っていきたいと思っています。よろしくお願い致します。

看護師
岩田　潮

緊張とこれからへの不安が多いですが、一つ一つの知識や技術を身につけ、自信を持って働きたいです。そして、患者さんやご家族の気持ちに寄り添った看護を提供できるように頑張ります。よろしくお願いします。

看護師
後田 育恵

保育園からの夢だった看護師になることが出来たので看護師として、新社会人としても日々成長していけるように頑張っていきたいです。持ち前の笑顔で毎日頑張ります。

看護師
景山　唯

笑顔を忘れず、明るく元気に頑張っていきたいと思います。よろしくお願いします。

看護師
河上 亜純

笑顔が取り柄です。新しい職場でとても緊張していますが、積極的に頑張りますのでよろしくお願いします。

改善 患者様の声（改善点）

このコーナーでは、患者様からいただいた意見（お褒めやお礼の言葉・苦情・提案等）の中から提案や改善項目に対する回答を紹介しています。

患者様の声を受け、様々な点で改善をしています。

これからもお気付きの点がありましたらご意見をお寄せください。（院内には患者様の声をいただく箱を、外来・２階病棟・３階病棟に設置しています。）

また、日野病院のホームページの「ご意見箱」からもご意見をお寄せいただけます。

◎待合に設置している血圧測定器の記録紙が小さくて紛失しやすいのでどうにかしてほしい。

ご意見のとおり、血圧測定器から出てくる記録紙がとても小さくて紛失してしまう恐れがありましたので、機器の設定を変更し記録紙が大きく出てくるようにいたしました。

今後とも、患者様に喜ばれる病院となりますよう、職員一同がんばります。お気付きの点がございましたら、ご意見をお寄せください。

新規採用職員紹介

看護師
清水 菜緒

私は、その人らしい生活を支えられる看護師になりたいと思っています。分からないことばかりで不安ですが、先輩方に教えていただき、同期の皆と助け合いながら、多くのことを吸収して成長していけるよう頑張りたいです。

看護師
高橋 芽生

この春から看護師として働いています高橋芽生です。地域の皆さんが、自分らしく生活できるように、心に寄り添いながら支援をすることを目標に、日々努力をしていきたいです。よろしくお願い致します。

看護師
野村 友輪子

4月から看護師として働いています。至らない所も多いと思いますが、地域住民の方に寄り添い、より良い看護が提供できるよう日々精進してまいりますので、どうぞよろしくお願いいたします。

看護師
松田 遥菜

今まで目標としていた看護師として働けることになり、嬉しさとともに初めてのことへの不安も大きいのですが、日野病院でたくさんのことを勉強していきたいと思っています。

看護師
森田 花恋

スタート地点に立ったばかりで分からないことや出来ないことが多いと思いますが、今までの学習してきたことを生かしさらに学習を重ね、患者様やスタッフからも信頼されるよう笑顔を忘れず成長できるよう日々努力します。

管理栄養士
權代 恭介

管理栄養士の權代恭介と申します。実務経験を経て4月から働かせていただいております。患者様やご家族様の生活環境に寄り添った栄養のお話をさせていただきたいと思います。未熟者ではございますが、よろしくお願いいたします。

〈編集後記〉

新年度が始まり、新しい環境での生活をスタートされた方も多いと思います。

新しい生活には慣れましたか？私は社会人2年目で、今年は新人看護師さんもたくさん採用となり、うれしく思っています。新人さんの姿をみると1年前の自分を思い出し、初心を忘れず日々頑張ろうと思います。

元号も変わり、気持ちを新たに新しい事にもたくさん挑戦していきたいです。（松）

連絡先

日野病院
鳥取県日野郡日野町野田332番地
TEL 0859-72-0351
FAX 0859-72-0089

黒坂診療所
鳥取県日野郡日野町黒坂1243-1番地
TEL 0859-74-0351
FAX 0859-74-0351

二部診療所
西伯郡伯耆町二部1554番地4
TEL 0859-62-0351
FAX 0859-62-0351

切り取り線

日野病院 外来診療案内

最新版 R.1.5～

午前 午後 休診

診療科		受付	月	火	水	木	金
内科	一診	午前	笠原　尚（循環器内科）	下坂拓矢	細田　譲（第1・3週） 木原さくら※1（第2・4週）	北浦　剛	下坂拓矢
		午後			木原さくら※1（第2・4週）	北浦　剛	
	二診	午前	孝田雅彦（兼肝臓内科）	孝田雅彦	枝野未來（大学）	岸　真文※1	田本明弘
		午後			枝野未來（大学）		田本明弘
	三診	午前	李　瑛	谷口晋一(第1･3週) 濵田紀宏(第2･4･5週)	イ　ヨンイ(第1･3･5週) 長尾裕一郎(第2･4週)	井上和興	今村武史（大学医師）
		午後	李　瑛	谷口晋一(第1･3週) 濵田紀宏(第2･4･5週)			
	総合診療科	午前	涌波　優（初診）	涌波　優（初診）	井上和興（初診）	紙本美菜子（初診）	
外科		午前	大学医師	佐藤尚喜	濵副隆一	大学医師	佐藤尚喜
整形外科		午前	藤田章啓	藤田章啓	山家健作（大学医師）	藤田章啓	藤田章啓
眼科		午前	玉井嗣彦	玉井嗣彦	稲田耕大（大学医師）	玉井嗣彦	春木智子（大学医師）
小児科		午前	竹茂幸人	竹茂幸人	竹茂幸人	総合診療科で対応	大学医師
		午後	大学医師	竹茂幸人	竹茂幸人	竹茂幸人	大学医師
専門診療科（大学医師他）		午前	**肝臓内科** 孝田雅彦	**皮膚科** 谷　直実	**消化器内科** 枝野未來	**脳神経内科** 岸　真文※1	
			循環器内科 笠原　尚	**女性診療科** 秦　幸吉	**泌尿器科** 大学医師	**泌尿器科** 引田克弥	
					血液内科 細田　譲（第1・3週）	**耳鼻科** 竹内裕美	
					糖尿病外来 木原さくら※1（第2・4週）		
		午後	**脳神経外来** 長尾裕一郎	**心臓外科** 西村元延（第1・3週）	**消化器内科** 枝野未來		**心療内科** 山梨豪彦
				ペースメーカー 西村元延（偶数月第3週）	**糖尿病外来** 木原さくら※1（第2・4週）		
				血管外科 大野原岳史(第2週) 中村嘉伸(第4週)			
消化器検査		午前	下坂拓矢	佐々木修一	枝野未來（大学）	下坂拓矢	田本明弘
		午後	下坂拓矢		下坂拓矢		田本明弘
血液透析相談窓口		午前			濵副隆一		
		午後			濵副隆一		

（注）医師の出張等により、担当医師等が変更になる場合があります。（詳しくはホームページ、正面玄関の掲示板等でご確認ください。）

自動再来受付機による受付（時間予約を除く）
- ●午前＝７時30分～10時30分
- ●午後＝正午～15時（心臓外科・血管外科・ペースメーカー・心療内科）
- ●午後＝正午～16時（内科・小児科・脳神経外来）

検査開始時間 ●午前＝８時30分～

診療開始時間 ●午前＝９時～　●午後＝14時～

休　診　日 ●土曜日・日曜日・祝日　●８月14日・15日　●12月29日～１月３日

電話による予約日・予約時間の受付 ●14時～16時（受診希望日の前日(平日のみ)まで予約できます）

新患登録・新規予約 ＜代　　表＞**72－0351**
予約日（時間）変更 ＜内　　科＞**72－2721**
＜外　　科＞**72－2719**
＜整形外科＞**72－2720**

※１　糖尿病外来・脳神経内科は完全予約制です。
受診希望の方は、内科を受診して医師にご相談ください。

この広報誌は、患者様のご希望により、構成町（日野町・江府町・伯耆町）の全戸に配布しています。

切り取り線

外来診療案内ポケット版

午前　（受付時間は、7時30分から10時30分まで）　(R.1.5月～)

診察科目		月	火	水	木	金
内科	一診	笠原	下坂	細田(第1･3週)･木原(第2･4週)	北浦	下坂
	二診	孝田	孝田	枝野(大学)	(脳内)	田本
	三診	李	谷口・濵田	イ・長尾	井上	今村(大学)
総合診療科		涌波(初診)	涌波(初診)	井上(初診)	紙本(初診)	
外科		(大学)	佐藤	濵副	(大学)	佐藤
整形外科		藤田	藤田	山家(大学)	藤田	藤田
眼科		玉井	玉井	稲田(大学)	玉井	春木(大学)
小児科		竹茂	竹茂	竹茂	総合診療科	(大学)
専門診療科		肝臓内科 循環器内科	皮膚科 女性診療科	消化器内科 泌尿器科 血液内科（第1・3週） 糖尿病外来（第2・4週）	脳神経内科 泌尿器科 耳鼻科	

午後　（受付時間は、12時から16時まで ただし、※は15時まで）

診察科目	月	火	水	木	金
内科	李	谷口・濵田	消化器内科	北浦	田本
小児科	(大学)	竹茂	竹茂	竹茂	(大学)
専門診療科	脳神経外来	心臓外科（第1･3週）※ ペースメーカー（偶数月第3週）※ 血管外科（第2･4週）※	消化器内科 ・ 糖尿病外来(第2･4週)		心療内科※

※医師の出張等により、診察日・担当医師が変更になる場合があります。
（切り取って財布等に入れご利用ください）

せせらぎ　令和元年5月　発行/日野病院組合　編集/日野病院広報委員会　住所/〒689-4504 鳥取県日野郡日野町野田332　TEL/0859-72-0351　FAX/72-0089　印刷/富士印刷有限会社

日野病院組合だより

せせらぎ

No.66
令和元年９月発行

出かける医療・近づく医療

題字　孝田雅彦 病院長

発行／日野病院組合 編集／日野病院広報委員会 〒689-4504 鳥取県日野郡日野町野田332番地 TEL0859-72-0351
日野病院ホームページ http://www.hinohp.com/ FAX0859-72-0089

日本医療機能評価機構
認定第JC1483号

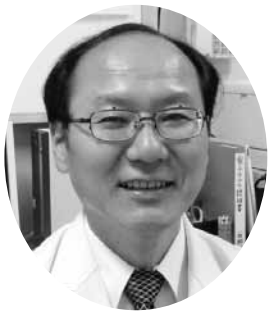
日野病院の基本理念

一　地域住民のニーズにあった良質な医療、保健、福祉のサービスを行い、山間地中核病院として信頼される病院を目指す
二　自治体病院の職員としての自覚と使命感をもって、より良い患者サービスに努める

基本方針

1．高齢者の疾病に対応する慢性疾患をはじめ、急性期医療にも取り組み、地域包括ケアシステムの一翼を担います
2．住民が安心して地域で暮らすことができるよう、救急医療に対応します
3．安全な医療を提供するため、安全管理対策を推進します
4．子育て支援に協力します
5．多機能に対応できるリハビリテーションを実践します
6．出かける医療、近づく医療に努めます
7．地域住民の心と身体の健康的な生活を維持増進する予防指導をはじめ、ドック検診事業を積極的に展開します
8．人材育成に努め、地域に貢献します

今後の地域連携はどうあるべきか



日野病院病院長
孝田雅彦

中山間地域の人口減少では、高齢人口さえも減少し、在宅の介護力も低下している状況で、地域の病院が今後どのように地域医療を支えていくべきか、大きな岐路にさしかかっています。患者の減少は病院の経営を悪化させ、経営の悪化は病院の縮小、減少となり、地域に医療機関がなくなれば、地域からの人口流出は加速し、更に経営は悪化します。しかし、我々医療従事者には地域の人口減少は止めようもありませんので、地域医療を支えるために少しでも地域連携、病院間の連携を進めていくことが肝要だと考えています。病病連携（病院間連携）、病診連携（病院診療所連携）、行政との連携など多くの施設、関係機関との折衝が必要です。当院では本年3月に定年退職となった生田哲二氏を渉外担当の病院長補佐として再登板してもらい、地域連携を今後いっそう積極的に進めていきたいと考えています。

では、どのような連携を目指せばいいのでしょうか。まずは医師確保と病院の役割分担です。医療は専門分化してきましたが、病院毎にすべての専門医を確保することは困難であり、専門分化による弊害も顕在化しています。中山間地の医療のあるべき姿として、一般診療は総合診療医がプライマリ・ケア[※1]として担当し、専門医については病院単位ではなくある範囲の地域として確保することが効率的です。例えば小児科では日野病院の常勤医が日野郡全体をカバーするといった方式です。どの程度の地域で各専門医が必要であるかは疾患の頻度や緊急性によって変わりますが、この方式によって地域のどこかに専門医がいるようにすべきだと思います。そうすれば各病院、診療所の役割分担も自然と整備されます。その病院の得意分野をこの地域の中で受け持つようにし、患者を集めることが専門医を維持していくために必要です。将来的には病院間、病診間の医師の交流もできればいいかと思います。

一方、プライマリ・ケアについては各病院が十分対応できるように、総合診療医を必ず確保する必要があります。そのために日野病院では総合診療医を育てるための教育を、鳥取大学地域医療学教室と協力しながら日野病院をフィールドとして行っています。数年後にはこの中から地域で働く医師がでてくるものと期待しています。また、高額な医療機器に関しては単一病院のためだけではなく、地域全体のニーズを十分に調べて購入し、複数の医療機関が自由につかえるような体制を整備する必要があります。

次の連携は行政や地域の老人福祉施設を含めた連携です。現在でも施設とは医師の派遣診療など連携をとっていますが、より綿密で垣根を低くすることによって、患者さんには病院にいるのと変わらないケアが受けられるようにしたいと考えています。行政においても1町ずつではなく複数の町が集まって共通した基盤をつくるべきです。これらには多くの難題がありますが、一つずつ解決して行きたいと思います。もう、ゆっくりと静観できるような状況にはないことは多くの人たちが知っているはずです。今、動き出すときです。

※1 プライマリ・ケア：身近にあって何でも相談にのってくれる総合的な医療

高齢者の目の健康管理

—白内障手術開始18周年を迎えて—

日野病院名誉病院長　玉　井　嗣　彦

私は鳥取大学を平成13年３月に定年退官後、ご縁があって日野病院に赴任してから早くも19度目の秋を迎えました。その間、母校鳥取大学眼科の井上幸次教授はじめ多くの医局の先生方の絶大なるご支援を得て、外来診療はもとより、平成13年10月からは近代設備のもとに手術室で白内障を中心とした眼科手術を行ってきました。（当院では原則入院）

本年９月末で手術開始丸18年が経過する今日、９月の手術日は17日が最後でしたので、統計処理に加えましたが、その間手術室では、1571名（男性603名、女性968名、比率として男性38.4％、女性61.6％）の主として加齢に伴う白内障手術、延べ2512件を施行しました。年齢は43歳から102歳の平均77.6歳でした。80歳以上の方は607名（全体の38.6％）で、この群の性別では男性209名の34.4％、女性が398名の65.6％を占めており、今日の女性優位の高齢化社会を反映する結果でした。ちなみに、当院での最高齢白内障手術患者は、男性で98歳、女性で102歳でした。

最近年間100万件を越える白内障手術が国内で行われていますが、眼内レンズ移植術の普及で、術後快適なＱＯＶ（視覚の質）の向上が得られますので、申すまでもなく、積極的に人生を生きようとする人々に歓迎されています。

それはともかく、白内障手術に関する最近の課題として、令和元年７月９日付けの毎日新聞（鳥取版）の連載記事「ご近所のお医者さん」中心でもふれましたが、高齢者では緑内障に罹患している方も多く、緑内障と白内障の両方の治療を必要とする患者さんは今後さらに増加するものと推測されます。

双方の進行を見極めた上での的確な治療が求められる時代が、到来したと申せます。

「眼圧が下がるから白内障手術をしましょう」と眼圧調整中の緑内障患者さんに申し上げるのは少し容易すぎますが、米国の多施設共同臨床研究によれば、高眼圧症例の経過観察中に白内障手術を受けた群は、コントロール群に比べて眼圧が３～４㎜Hg（ミリメートル水銀柱）低下しており、白内障手術は緑内障患者にとっては眼圧管理の上では基本的にはプラスに働くと考えられています。

今でも眼圧上昇に伴う眼痛などの急性症状を伴う緑内障に対しては、緑内障手術が優先で、白内障との同時手術は合併症が多く、予後不良例もみられることから慎重にならざるを得ません。しかし、日本人の緑内障の約７割にみられるとされている眼圧が21㎜Hg程度の「正常眼圧緑内障」の患者さんには、単に眼圧が下がるとか、緑内障点眼薬や降圧剤の内服数を減らせるといった理由だけでなく、視野やＯＣＴ（光干渉断層計）などで進行を評価する際に検査の再現性が上がるので、進行判定上有利だと考えられています。

超高齢社会においてはＱＯＶの改善に伴うＱＯＬ（生活の質）の向上は無視できませんので、当院でも最近、積極的に正常眼圧緑内障患者さんの白内障手術（眼内レンズ挿入術）を施行しています。

術後は、緑内障点眼薬を極力制御しながら経過をみていますが、眼圧コントロールが悪くなった症例は幸い経験していません。

また、うつ病や認知症がある患者さんに積極的に白内障手術を施行して、ＱＯＬの改善がみられたとの報告もあり、今後心身医学的領域の疾患に対しても、我々眼科医が積極的に関わっていく必要がありましょう。

上記の患者さん達には術後の管理の面などで、原則片眼で１週間、両眼で２週間前後の当院での入院手術は、特に喜ばれています。

日野病院のより発展のためにも、今後とも関係各位のご理解とご協力をお願い申し上げます。

平成30年度決算のご報告

去る８月23日に開催された日野病院組合議会において平成30年度の決算が認定されました。その内容を報告します。

○ 病院事業等（日野病院、在宅介護支援事業所、黒坂・二部診療所）

病院事業の医業収益は、前年度と比べ、外来患者数・入院患者数とも減少したため、減少しました。在宅介護支援事業の介護サービス収益については、訪問看護件数は減少したものの、訪問リハビリ・居宅支援件数が増加したため、増収となりました。診療所事業の医業収益は、患者数は増加しましたがわずかに減少しました。一方費用ですが、患者数の減により薬品費や診療材料費は減少しましたが、給与費、委託費等の増により増加しました。全体の決算額は、５３，００８千円の黒字決算となりました。

日野病院組合事業決算概要

○病院事業等（日野病院、在宅介護支援事業所、黒坂・二部診療所）

（単位：千円）

区分		２９年度	３０年度	増減	備考
収益	医業収益	1,376,929	1,318,888	△58,041	入院収益、外来収益、公衆衛生活動収益等
	介護サービス収益	70,285	72,079	1,794	訪問看護、訪問リハビリ収益等
	医業外収益	415,530	417,746	2,216	負担金交付金、補助金、長期前受金戻入等
	収益合計	1,862,744	1,808,713	△54,031	
費用	医業・介護費用	1,693,543	1,720,537	26,994	給与費、材料費、経費、委託費、研究研修費等
	医業外費用	37,408	35,168	△2,240	企業債利息、消費税等
	費用合計	1,730,951	1,755,705	24,754	
決算額		**131,793**	**53,008**	**△78,785**	

資金不足比率　※	該当なし	該当なし		((流動負債等－控除引当金)－流動資産)/営業収益×100
資金不足負担金発生までの額	618,974	644,437	25,463	マイナスとなった場合にのみ負担金(追加分)が発生
年度末退職給与引当金残高	303,365	275,803	△27,562	引当額69,038千円 退職金支払額96,600千円（12名）

※地方公共団体の財政の健全化に関する法律第22条第1項（平成19年法律第94号）の規定による。

○患者数（利用者）診療単価、及び稼働率等

1.病院事業

項目	患者数（人）			１人１日当たり診療単価（円）			病床利用率（%）		
	29年度	30年度	増減	29年度	30年度	増減	29年度	30年度	増減
(1) 入院診療	29,532	28,863	△ 669	31,210	30,433	△ 777	81.7	79.9	△ 1.8
(2) 外来診療	35,919	34,867	△ 1,052	9,904	9,798	△ 106			

2.在宅介護支援事業

項目	利用者数（人）			１人１日当たり単価（円）		
	29年度	30年度	増減	29年度	30年度	増減
(1) 訪問看護等	5,994	6,114	120	11,726	11,777	51

3.診療所事業

項目	患者数（人）			１人１日当たり診療単価（円）		
	29年度	30年度	増減	29年度	30年度	増減
(1) 黒坂診療所	462	446	△ 16	5,246	5,078	△ 168
(2) 二部診療所	37	58	21	5,235	5,793	558

○　部門別各種統計（抜粋）　（単位：件または人）

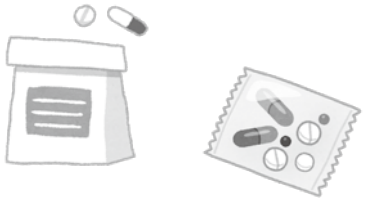
1.病院事業

手術件数	29年度	30年度	差引
外科	68	66	△ 2
整形外科	165	135	△ 30
眼科	90	98	8

内視鏡検査	29年度	30年度	差引
胃カメラ	735	737	2
大腸ファイバー	139	126	△ 13
嚥下カメラ	1	0	△ 1
気管支鏡	11	2	△ 9
胃ろう造設術	13	15	2
膀胱鏡	21	16	△ 5

超音波診断検査	29年度	30年度	差引
腹部エコー	939	1,051	112
心甲乳エコー	220	164	△ 56

薬局状況	29年度	30年度	差引
服薬指導(人数)	406	356	△ 50
服薬指導(件数)	716	626	△ 90
処方箋枚数	9,750	10,036	286
薬剤数	28,019	26,115	△1,904
注射箋枚数	13,620	12,718	△ 902



栄養管理室状況	29年度	30年度	差引
入院時食事療養件数	73,484	71,839	△1,645
外来透析食数	867	662	△ 205
栄養指導	548	559	11

検査室状況	29年度	30年度	差引
血液検査	23,324	23,224	△ 100
尿検査	4,557	5,214	657
心電図	1,728	1,763	35
呼吸機能	368	318	△ 50
眼底カメラ	288	279	△ 9
脳波	27	13	△ 14
血圧脈波	197	234	37

放射線室状況	29年度	30年度	差引
一般撮影	6,739	6,052	△ 687
骨塩定量	787	828	41
マンモ撮影	11	17	6
CT検査	2,001	1,962	△ 39
MRI検査	1,166	1,054	△ 112

人工透析状況	29年度	30年度	差引
実人員	179	176	△ 3
延べ人員	2,121	2,142	21

理学療法状況	29年度	30年度	差引
運動器Ⅰ	9,469	10,224	755
呼吸器Ⅰ	3,836	4,642	806
脳血管Ⅱ	4,847	3,998	△ 849
退院時(前)指導	442	466	24
消炎鎮痛	520	320	△ 200
地域包括ケア病床分	13,479	14,356	877

作業療法状況	29年度	30年度	差引
運動器Ⅰ	1,862	1,006	△ 856
呼吸器Ⅰ	1,276	86	△1,190
脳血管Ⅱ	1,984	1,436	△ 548
地域包括ケア病床分	1,765	1,384	△ 381

言語聴覚療法状況	29年度	30年度	差引
脳血管Ⅱ	2,639	2,116	△ 523
摂食機能療法	3,235	3,389	154
地域包括ケア病床分	107	69	△ 38

検診実施状況	29年度	30年度	差引
人間ドック	220	202	△ 18
脳ドック	65	70	5
生活習慣病健診	134	145	11
婦人検診	51	82	31
予防接種	1,760	1,988	228
特定健診	11	10	△ 1
事業所健診	39	53	14

2.在宅介護支援事業

訪問看護状況	29年度	30年度	差引
実人員	503	508	5
延べ人員	1,920	1,760	△ 160

訪問リハビリ	29年度	30年度	差引
実人員	777	831	54
延べ人員	4,074	4,243	169

居宅支援	29年度	30年度	差引
介護	1,075	1,119	44
予防	609	610	1

すまいる互版

＜連絡先＞【日野病院組合＊在宅介護支援事業所】
☆訪問看護ステーション　0859－72－2706
☆居宅介護支援事業所　0859－72－2723

酷暑が過ぎ、日に日に秋の気配が近づいてきましたが、まだまだ日中は暑い日が続いています。皆様、体調には十分に気をつけて過ごしましょう。

今回は、訪問診察で地域を回っている佐々木医師に秋にも気を付けたい脱水についての話をお願いしましたので、ご紹介します。

【脱水についてのお話】

日野病院組合
居宅介護支援事業所　副所長
佐々木　修一医師

体内の水分量が不足したときに起こる「脱水症」は、食事や水分の摂取量が減りがちな高齢者が気をつけたい症状の一つです。本人も周囲も気づかないまま脱水状態に陥ることを「かくれ脱水」といい、この段階で正しい処置を施さないと、重症化して命にかかわることがあります。脱水症のリスクが高くなる夏場だけでなく、常に高齢者が水分を摂りやすい環境を整え、脱水症に陥らないように予防することが大切です。

脱水症は、年齢を問わず誰でもなってしまう可能性がありますが、特に高齢者が脱水症に陥りやすいのには、高齢者特有の理由があります。その理由としては、体内の水分量が減っている、内臓の働きが低下している、のどの渇きに気づきにくい、病気や排泄障害がある、薬を服用しているなどが挙げられます。

脱水症の症状は、軽度の場合、皮膚、口の中、脇の下が乾いていたり、ぼーっとしているなどが挙げられます。中等度になると、頭痛、吐き気などが見られることもあります。重度になると、声をかけても反応がなくなったり、意識がなくなったり、けいれんを起こすこともあります。

軽度の脱水症の場合、十分な水分と電解質を補う必要があります。市販の経口補水液なども効果的です。中等度の場合は水分摂取を十分に行うとともに、改善がみられなければ医療機関の受診をお勧めします。重度の場合、点滴などが必要なことも多く早めに医療機関を受診しましょう。

まだまだ、気温の高い日が続きます。積極的にエアコン等を利用し適切な室温、湿度に調節し、定期的に水分補給を行いましょう。とくに高齢者の方は、周囲が水分補給をサポートしてあげることにより、脱水症を未然に防ぎましょう。

～学会報告～

報告者：訪問看護ステーション　主任理学療法士　**田中　武志**

今回、2019年6月21日にパシフィコ横浜で開催された第24回緩和医療学会学術大会において、がん終末期患者に対するリハビリの症例報告をさせて頂きました。昨今、日野郡において在宅復帰されるがん終末期の患者さんは減少傾向にあります。しかし、人生の最後を自宅で迎えたいと願っておられる患者様も少なからずおられます。今回報告させていただいた患者様も自宅に復帰できたことで、生活の質がとても向上していました。今後も地域で最期を迎えたいと思われている患者様のためにも、訪問看護ステーションスタッフが提供する緩和ケアの質の向上を図っていきたいと考えています。

日野病院の地域医療総合教育研修センターだより

・「人生会議－アドバンス・ケア・プランニングを考えてみよう－」っていうワークショップを行いましたー！

2019年７月17日に「人生会議－アドバンス・ケア・プランニングを考えてみよう－」と題して、日野病院でワークショップを行いました。日野町内の保健・福祉・医療の関係職種の方々と一緒に話し合いながら、企画を練って、当日を迎えました。当日は、日野郡内の保健・福祉・医療の関係職種のほか、救急隊の方や学生さんたちも参加してくださいました。内容は、①アドバンス・ケア・プランニングを説明した動画を見ながら質問を考える、②症例検討、という構成でした。『いろいろな職種でお互いに考えをぶつけることで、「普段使わない言葉を使って考えを伝えないといけない」という状態になり、気づきがあったなあ』と感想をくれた方もいました。今回企画ししていく中で、「HACP（日野アドバンス・ケア・プランニング）を作りたい！」という気運も高まってきたので、３ヶ月後ぐらいに第２弾をする予定になりました！そのときは、またよろしくおねがいしますー^^

※アドバンス・ケア・プランニングを説明した動画はこれです

↓↓↓

https://www.youtube.com/watch?v=J85NXDtdLgY

鳥取大学医学部地域医療学講座
井　上　和　興

・～医者の卵が日野で温められる～

医師になるために鳥大の学生は５年生と６年生で実習を受ける。5年生では全ての科（内科や外科など）を１－２週間ずつまわり、６年生になったら希望の科を１ヶ月まわって勉強する。我々地域医療学講座にまわってきた学生は日野病院で実習をしてもらう。１ヶ月まわる６年生には駆け出しの医師と同じレベルの仕事を課していて非常にタフな実習である。

その事前情報を知ってでもわざわざ選んでくる学生は非常に意識が高く、指導者から見ても学生とは思えない働きっぷりである。患者さんに良くなってもらうために寝る間も惜しんで夜中に勉強し、日中にその知識を活かしている。みんな１ヶ月経つ頃にはクタクタになっているのだが、それと同時に一皮向けた雰囲気になっている。今年、日野の人たちに育ててもらった６年生は2020年４月から医師になる。日野の暖かみで孵化した医師たちはきっと良い医師達になると私は信じている。

鳥取大学医学部地域医療学講座
涌　波　　優

夜中お互いにエコーの勉強をする学生

合ニュース

夕涼み会を開催

７月２６日（金）に夕涼み会を開催しました。

入院患者さんをはじめ、近隣の方々やスタッフの家族など、たくさんの方々におこしいただきました。

１組目の有志のハッピーにしむらさんによるマジックショーでは大人から子供まで楽しめる企画が盛りだくさんでした。

２組目の有志のイエローキャロッツさん達はギターとパーカッションを使い、夏にぴったりのフォークソングを歌っていただきました。

また、じゃんけん大会で勝った方に景品を贈ったり、縁日でスーパーボール掬いや射的を行うなど盛りだくさんな内容で、皆様に楽しんでいただけたのではないかと思います。

今後もみなさんに楽しんでいただけるようなイベントを企画していきたいと考えています。

最後になりますが参加していただいた皆様ありがとうございました。

今年もねう祭りに参加

日野病院は平成12年に「地域と共に歩む病院」として初めて根雨祭りに参加し、今年で19年目となりました。

祭り当日は、天候にも恵まれ、総勢50名が参加し、まずは入院患者さんにお披露目を行い、そのあと町に繰りだしました。沿道から、地域の方々に拍手と声援を送っていただき、約３時間踊りぬくことができました。「地域と共に歩む病院」を忘れず今後も頑張っていきたいと思いますのでよろしくお願いします。

改善 患者様の声（改善点）

このコーナーでは、患者様からいただいた意見（お褒めやお礼の言葉・苦情・提案等）の中から提案や改善項目に対する回答を紹介しています。）

患者様の声を受け、様々な点で改善をしています。これからもお気付きの点がありましたらご意見をお寄せください。（院内には患者様の声をいただく箱を、外来・2階病棟・3階病棟に設置しています。）

また、日野病院のホームページの「ご意見箱」からもご意見をお寄せいただけます。

◎駐車場に困っています。なかなか空きスペースが見つけられません。ご検討よろしくお願いします。

駐車スペースの数が限られており、外来患者さんが多い日は、満車となり大変ご迷惑をお掛けしております。ご意見を受け、このような日には、職員が駐車場でお車を誘導しています。お気軽にお声かけください。

なお、その際、救急車両の通行の妨げとなる恐れがありますので、職員が誘導する場所以外にはお車を止めないでください。

◎日頃お世話になっています。看護師さんのあいさつが全くないです。あいさつや笑顔が無いのはどうかと思います。接遇面はどうなっているのでしょうか？必要なことは言わないし対応も他の病院に比べたら全然ダメだと思います。（一部の看護師さん以外）病院の接遇というのはこういうものなのでしょうか？決していいとは思いませんので、接遇の強化をされたらどうですか？

当院職員の対応に不快な思いをされました事お詫び申し上げます。接遇の研修会は毎年当院でも行っていますが、未だ不十分な点があったと思います。

そして、「挨拶」「表情」「言動・態度」「治療における説明と同意における看護師の役割」について振り返りを行い、具体策や接遇面でも、スタッフみんなで注意をしながら院内で取り組んで行きます。

また、各部署との連携強化や、接遇研修会の参加の向上にも目標に掲げ努力して参ります。今後もお気づきの点がありましたら、ご指摘いただきますようによろしくお願い致します。

今後とも、患者様に喜ばれる病院となりますよう、職員一同がんばります。お気付きの点がございましたら、ご意見をお寄せください。

人口減少と地域医療について

日野病院組合副管理者　**音田　守**

みなさん、体も心もともにお元気ですか？ 元気があれば何でもできる。どこかで聞きましたよね。いつしか“人生100年時代”といわれ、長寿命化社会への自己対応を迫られる時代となりつつあります。本年３月末で日野町役場を定年退職し、６月21日から日野町副町長として、再び行政と深くかかわらせていただいております。

今や日本は、特に中山間地域はまったなしの人口減少社会を迎えています。若者は都市部へ流れたままの状態で地方はさらに少子高齢化が進み、地域を維持・存続するため自助・共助・公助の考えによる隙間のない体制と連携が必要です。私たちの住む地域における医療体制にとっても人口減は大きな問題です。今一度地域医療、診療所や病院、そして家族の在り方、ありがたさなど全体的に振り返ることも大切な時ではないでしょうか。

今後も地域内において幅広い医療を提供していくためには、さらなる医療機関の連携が重要となり、先進医療機器の整備や更新・機能の分担が求められると思います。地域・圏域が元気であり続けるため、一人一人の笑顔と健康が何よりの大事な財産であることを再認識しております。

これからの地域連携

日野病院病院長補佐　**生田　哲二**

日野郡は、日野病院と日野病院が運営する黒坂診療所（いずれも日野町）、日南病院（日南町）と江尾診療所（江府町）の公的医療機関が、小児やインフルエンザ等の予防接種をはじめ外来診察から手術・入院まで、長年地域住民の医療を幅広く支えてきました。（一部、鳥取大学医学部附属病院など米子市内の大きな病院での治療を除き、殆どの場合日野郡内で完結できる医療体制が整っています。）

一方で、周辺人口は毎年急激に減少し続けており、これにどう対応していくのかが各医療機関の今後の課題となっています。たとえば、人口が一割減少したからといって、病院の機能を一割減少することはできません。

ただ、このままの状態でこの先もずっと今の機能を維持することもできません。今後２～３年の間に、将来のあるべき姿に向かい機能を見直していくことが必要となっています。

そこで必要となってくるのが医療連携と機能分担です。（もちろん鳥取県や鳥取大学の協力も欠かせませんが…）

今後の日野郡の医療体制をどのような形にし、どう地域住民の医療を確保していくのかを、日野病院は他の医療機関や行政との連携を強め考えていかなければなりません。

―そんな中、孝田病院長の負担を少しでも減らすことができれば…私にまだできる事があるのであれば…
そんな気持ちで院長の依頼を受けさせていただきました―

連絡先

日野病院
鳥取県日野郡日野町野田332番地
ＴＥＬ　0859-72-0351
ＦＡＸ　0859-72-0089

黒坂診療所
鳥取県日野郡日野町黒坂1243-1番地
ＴＥＬ　0859-74-0351
ＦＡＸ　0859-74-0351

二部診療所
西伯郡伯耆町二部1554番地4
ＴＥＬ　0859-62-0351
ＦＡＸ　0859-62-0351

切り取り線

〈編集後記〉

長かった酷暑もようやく去り、幾分は過ごしやすくなりました。

社会人になり一年半経とうとしていますが、流れる時間の早さに驚きを隠せません。

２０１９年も残り３ヶ月、気を引き締めて一日一日を大切に過ごしていきたいです。

（井）

日野病院 外来診療案内

R.1.10～

午前 午後 休診

診療科		受付	月	火	水	木	金
内科	一診	午前	笠原 尚（循環器内科）	下坂 拓矢	細田 譲（第1・3週） 木原さくら※1（第2・4週）	北浦 剛（兼呼吸器内科）	下坂拓矢
		午後			木原さくら※1（第2・4週）	北浦 剛（兼呼吸器内科）	
	二診	午前	孝田 雅彦（兼肝臓内科）	孝田 雅彦	枝野 未來（大学）	岸 真文※1	田本 明弘
		午後			枝野 未來（大学）		田本 明弘
	三診	午前	李 瑛	谷口晋一(第1・3週) 濵田紀宏(第2・4・5週)	イ ヨンイ(第1・3・5週) 長尾裕一郎(第2・4週)	井上 和興	今村 武史（大学医師）
		午後	藤井 麻耶	谷口晋一(第1・3週) 濵田紀宏(第2・4・5週)			
	総合診療科	午前	藤井 麻耶（初診）	李 瑛（初診）	紙本美菜子（初診）	紙本美菜子（初診）	
外科		午前	大学医師	佐藤 尚喜	佐藤 尚喜	大学医師	佐藤 尚喜
整形外科		午前	藤田 章啓	藤田 章啓	藤田 章啓	藤田 章啓	林 育太（大学医師）
眼科		午前	玉井 嗣彦	玉井 嗣彦	稲田 耕大（大学医師）	玉井 嗣彦	春木 智子（大学医師）
小児科		午前	竹茂 幸人	竹茂 幸人	竹茂 幸人	総合診療科で対応	大学医師
		午後	大学医師	竹茂 幸人	竹茂 幸人	竹茂 幸人	大学医師
専門診療科（大学医師他）		午前	**肝臓内科** 孝田 雅彦	**皮膚科** 大学医師	**消化器内科** 枝野 未來	**呼吸器内科** 北浦 剛	
			循環器内科 笠原 尚	**女性診療科** 秦 幸吉	**泌尿器科** 大学医師	**脳神経内科** 岸 真文※1	
					血液内科 細田 譲（第1・3週）	**泌尿器科** 引田 克弥	
					糖尿病外来 木原さくら※1（第2・4週）	**耳鼻科** 竹内 裕美	
		午後	**脳神経外来** 長尾裕一郎	**心臓外科** 西村 元延（第1・3週）	**消化器内科** 枝野 未來	**呼吸器内科** 北浦 剛	**心療内科** 兼子 幸一
			禁煙外来※2	**ペースメーカー** 西村 元延（偶数月第3週）	**糖尿病外来** 木原さくら※1（第2・4週）		
				血管外科 大野原岳史(第2週) 中村 嘉伸(第4週)			
消化器検査		午前	長尾裕一郎 下坂 拓矢	佐々木修一	佐々木修一 枝野 未來(大学)	孝田 雅彦 下坂 拓矢 イ ヨンイ	佐々木修一 田本 明弘
		午後	下坂 拓矢		下坂 拓矢		田本 明弘

（注）医師の出張等により、担当医師等が変更になる場合があります。（詳しくはホームページ、正面玄関の掲示板等でご確認ください。）

自動再来受付機による受付（時間予約を除く）
- ●午前＝７時30分～10時30分
- ●午後＝正午～15時（心臓外科・血管外科・ペースメーカー・心療内科）
- ●午後＝正午～16時（内科・小児科・脳神経外来）

検査開始時間 ●午前＝８時30分～

診療開始時間 ●午前＝９時～ ●午後＝14時～

休診日 ●土曜日・日曜日・祝日 ●８月14日・15日 ●12月29日～１月３日

電話による予約日・予約時間の受付 ●14時～16時（受診希望日の前日(平日のみ)まで予約できます）

新患登録・新規予約 <代 表>**72－0351**
予約日（時間）変更 <内 科>**72－2721**
<禁煙外来>**72－2721**
<外 科>**72－2719**
<整形外科>**72－2720**

※１ 糖尿病外来・脳神経内科は完全予約制です。受診希望の方は、内科を受診して医師にご相談ください。

※２ 禁煙外来は完全予約制です。受診希望日の前日(平日のみ)までに電話等でご予約ください。(72－2721)

この広報誌は、患者様のご希望により、構成町（日野町・江府町・伯耆町）の全戸に配布しています。

外来診療案内ポケット版

午前 （受付時間は、7時30分から10時30分まで） (R.1.10月～)

診察科目		月	火	水	木	金
内科	一診	笠原	下坂	細田(第1・3週)・木原(第2・4週)	北浦	下坂
	二診	孝田	孝田	枝野(大学)	(脳内)	田本
	三診	李	谷口・濵田	イ・長尾	井上	今村(大学)
総合診療科		藤井(初診)	李(初診)	紙本(初診)	紙本(初診)	
外科		(大学)	佐藤	佐藤	(大学)	佐藤
整形外科		藤田	藤田	藤田	藤田	林(大学)
眼科		玉井	玉井	稲田(大学)	玉井	春木(大学)
小児科		竹茂	竹茂	竹茂	総合診療科	(大学)
専門診療科		肝臓内科 循環器内科	皮膚科 女性診療科	消化器内科 泌尿器科 血液内科（第1・3週） 糖尿病外来（第2・4週）	呼吸器内科 脳神経内科 泌尿器科 耳鼻科	

切り取り線

午後 （受付時間は、12時から16時まで ただし、※は15時まで）

診察科目	月	火	水	木	金
内科	藤井	谷口・濵田	木原・枝野	北浦	田本
小児科	(大学)	竹茂	竹茂	竹茂	(大学)
専門診療科	脳神経外来 禁煙外来	心臓外科（第1・3週）※ ペースメーカー（偶数月第3週）※ 血管外科（第2・4週）※	消化器内科 糖尿病外来(第2・4週)	呼吸器内科	心療内科※

●医師の出張等により、診察日・担当医師が変更になる場合があります。
（切り取って財布等に入れご利用ください）

せせらぎ 令和元年9月 発行/日野病院組合 編集/日野病院広報委員会 住所/〒689-4504 鳥取県日野郡日野町野田332 TEL/0859-72-0351 FAX/72-0089 印刷/冨士印刷有限会社

出かける医療・近づく医療

日野病院組合だより

せせらぎ

No.67
令和２年１月発行

題字　孝田雅彦 病院長

発行／日野病院組合 編集／日野病院広報委員会 〒689-4504 鳥取県日野郡日野町野田332番地 TEL0859-72-0351
日野病院ホームページ http://www.hinohp.com/ FAX0859-72-0089

日本医療機能評価機構
認定第JC1483号

新年のごあいさつ

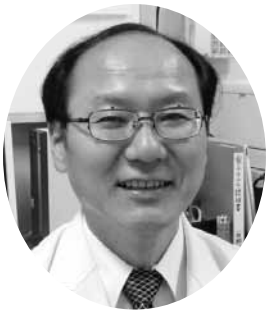
日野病院組合管理者
埒田淳一

明けましておめでとうございます。皆さまにおかれましては、健やかに新年をお迎えのこととお喜び申し上げます。

この一年間を振り返りますと、地域住民の方々のニーズにあった良質な医療、保健、福祉のサービスを提供でき、信頼される病院を目指すという理念の下に、実施日の増による透析部門の充実、院内感染対策室の新設、また平成26年に開所した鳥取大学地域医療総合教育研修センターとの連携の継続強化等に取組んでまいりました。その最中の昨年9月、厚生労働省が機械的に処理したデータを基に全国の公立、公的病院のうち診療実績が乏しいなどとして、424の病院名を「再編・統合の検証が必要」という文言とともに公表し、地域や関係者の間に不安と困惑が生じました。日野病院は対象外でしたが、人口の減少が進む中山間地域、過疎地の医療機関として課題を共有していかなければと考えるところであります。さて、本年は日野病院が昭和15年（1940年）に日野郡の住民の医療機関として開設されてから80周年を迎える記念すべき年であります。歴史の重みを振り返るとともに今後とも日野病院を多くの方にご利用いただけるように、公的病院として、住民の皆さんが安心して地域で暮らすことができるよう、安心安全な医療を提供できるよう、今後とも構成町の日野町、江府町、伯耆町そして鳥取大学をはじめ圏域の医療機関との連携を強化し、質の高い地域医療を提供していきたいと思います。

年頭のご挨拶

～真の地域医療構想とは？～



日野病院病院長
孝田雅彦

２０１９年９月27日に厚生労働省は全国４２４の公立、公的病院の実名を公表し、再編統合について再検証する必要があると発表しました。これまで厚労省は急性期病床数が過剰である、回復期・慢性期病床が不足していると述べ改善を求めていましたが、全国の地域医療構想会議が機能しないことに業を煮やした行動と思われます。これに対して、平井鳥取県知事（全国自治体病院開設者協議会会長）を先頭に全国から批判が噴出しました。日野病院はこの中に含まれていませんが、私の感想は「厚労省に言われるまでもなく、日野病院は日野地域にふさわしい医療変革を始めるべく行動しています。」です。前回のせせらぎにもその一部を書きましたし、日野郡内の医療機関との話し合いもすでに行っています。

今回の厚労省発表の内容について少し私なりの解釈、問題提起をしてみたいと思います。厚労省は急性期病床を持つ病院の中で、がん、心血管、脳卒中、救急医療、小児医療、周産期医療、災害医療、へき地医療、研修派遣の９項目すべてにおいて診療実績が下位３分の１以下であること、またはがん、心疾患、脳卒中、救急医療、小児医療、周産期医療の６項目すべてで類似かつ近接する病院のあること、このどちらかを満たした病院を選定しました。つまりこのような病院はベットを減らすなり、合併するなりしなさいという警鐘です。しかし、このような評価は本当に正しい評価でしょうか。まず、厚労省のデータ収集の問題点として、急性期病床の算定が病床毎ではなく病棟単位であるため、実態よりも多く算定されているものと思われます。例えば中小病院で内科系と外科系の２病棟に分かれていれば、一部に回復期病床が含まれていても病棟としては急性期病床と報告せざるを得ません。中小病院ではこのようなことは多くみられるため、厚労省が急性期病床が多すぎる、回復期病床が少ないと言っても現状を把握していないだけかもしれません。病床算定は病床毎にすべきですし、必要病床数は県単位ではなく、一次診療圏、二次診療圏を考慮してもっと細かな範囲で行うべきです。また、診療実績のデータは２０１７年６月のデータを使用しており、二年も前のたった１か月のデータで病院を選定するのはあまりに安易です。せめて一年間のデータを使用すべきです。疫学の専門家集団としては稚拙で手間を省いたとしか思えません。

次に、厚労省は選定基準として先に述べた９項目や６項目を決めています。しかし、これまで厚労省は公立・公的医療機関に対して民間医療機関との役割分担を踏まえ、公立・公的医療機関でなければ担えない分野へ重点化することを求めてきました。つまり、収益性の高い分野、患者数の多い分野は民間に、それ以外を公立病院が補えと言っているわけですから、今回の基準に照らせば下位３分の１以下になる可能性は極めて高いことになります。地域の実情に合わせて、特徴のある医療を展開してきた先進的な病院が不利になるのは当たり前です。みんながしていないことをしなさいと言われて得意の体育をしていたら、テストは数学と国語と理科だけで落第にされたようなものです。このようなやり方では住民の賛同は得られませんし、高齢化の進んだ地方の医療は崩壊します。地域医療を評価するには、地域の実情を知り、過剰でも過少でもない個別化診療ができているかをみる必要があり、国よりも自治体と医療機関が自ら評価すべきです。都市部と地方、旧市街と新興都市、山間部や離島、様々な環境、立地、住民によって必要な医療は変化します。つまり、そこに住む人しかその地区の最適医療を考えることはできないのです。日野病院周辺の皆さんにはぜひ自分の町に必要な医療は何かを私たちといっしょに考えましょう。

新春随想

—プロ意識を忘れずに—

日野病院名誉病院長　玉　井　嗣　彦

新年明けましておめでとうございます。皆様におかれましては、晴れ晴れと希望に満ちた新年をお迎えになられたことをお慶び申し上げます。

文字通り「光陰矢の如し」です。月日のたつのは早く、子年生まれの私は、満84歳の誕生日を１月２日に迎えましたが、鳥取大学を定年退官後、ご縁があって日野病院に名誉病院長として勤務させていただいてから、恙無く元気で、19度目の新春を迎えました。心より感謝申し上げます。

健康長寿の維持、延命のためには、「朝起きたとき、その日にしなければならない仕事があること」、これは深層心理学者のユングの幸せの条件の一つですが、この名言をモットーに、老骨に鞭を入れて頑張っているところです。

今日の医療界をとりまく“改革の嵐”の中では、“待ちの医療”からの脱却や、“癒しの医療”構想への実現が最大の課題ですが、日野病院管理者の一人として微力を尽くしてきたところです。

まだまだ老後を楽しむ余裕のない私ですが、今でも故 平沢興氏が「生きよう今日も喜んで」の著書のなかで述べておられた「今が楽しい。今がありがたい。今が幸せである。それが習慣となり、天性となるような生き方こそ最高です。」の心境です。皆様方のご心境はいかがでしょうか。

世間とのつながりを求めて、私は米子ロータリークラブの「百寿会」の幹事をしています。これは社会奉仕クラブの会合としては、世界でも珍しい百歳まで元気で頑張ろうという同志の集りですが、ユングの幸せの条件の一つにもあるように、何歳になっても、お互い理解しあえる良き友（異性を含めて）を持つことは大切です。還暦以上が会員の資格ですが、健全なる精神活動を維持するためには、医師であったイギリスの哲学者ジョン・ロックの申したとおり、健全なる肉体を有する若い世代の入会も最近否定していません。

社会活動はともかく、今年も眼科専門医として、現場で患者さんと「苦しみや治る希望、喜び」を分かち合いたいと念じています。

ともあれ、患者さんは人生を懸けて病院に来られるので、患者さんが頑張らなくてもよい医療を提供するために、全職員挙げて日々努力しているところです。

自分の仕事にプライドと愛情と誇りを持ちつつ、サービスに徹し、他人との喜びを自分の喜びとすることができる者だけがプロといえます。プロ集団が頑張る医療を提唱してきた一人として、かつて本紙上でもふれましたが、ユーモアの大切さを心にきざみつつ、今後も全スタッフとともに頑張っていきたいと思います。

病院やホスピスの中であれ、教育現場や職場でも、家庭においても、みんなが望むのは温かい生活環境です。その意味で、出発点が思いやりと愛であるユーモアは、自己風刺に根ざしたものとはいえ、ジョークが時に相手を傷つけることがあるのに対して、相手のメンツを壊さないふさわしい表現であるからです。お互い今年も元気で頑張りましょう。

すまいる互版

【日野病院組合*在宅介護支援事業所】

＜連絡先＞
☆訪問看護ステーション　0859－72－2706
☆居宅介護支援事業所　0859－72－2723

本年もたくさんの**すまいる**お届けします♪
どうぞよろしくお願いします
スタッフ一同

新年、おめでとうございます。寒さも一段と厳しくなりましたが、皆様いかがお過ごしでしょうか。

2020年といえば、オリンピックイヤー。今年は、楽しく盛り上がる一年になることでしょう。「選手ファースト」の精神が盛んに取り上げられる中、日野病院組合 在宅介護支援事業所でも「利用者様ファースト」の実現を目指し、皆様の生活を支え、安心して生活をしていただくために、職員一同努力して参りますので、今年もよろしくお願いいたします。

～訪問看護を学んで～

今年度で５回目となります、鳥取大学医学部付属病院医療スタッフセンターの在宅医療推進のための看護師育成プログラムから、佐々井あゆみさんが訪問看護実習に来られました。五日間の実習を終えての感想を聞かせてもらいました。

日南病院　看護師　佐々井あゆみ

看護師三年目で、病棟勤務をしています。入院生活中とは違う、利用者様とご家族様のたくさんの笑顔に出会い、自宅で生活するということの大切さを改めて感じた実習でした。

この実習で学んだ多くのこと、気持ちに寄り添う看護を今後の退院支援に活かしていきたいと思います。本当にありがとうございました。

冬といえば…、もち

お正月を迎え、お餅を食べる機会が増えることと思います。おうちへ訪問させていただいても、「今日の朝ごはんは雑煮だった」というお話をよくお聞きします。そこで、今回はお餅と雑煮の関係についてお話ししようと思います。

一般的に、窒息を起こしやすい食品として、「餅」がよく取り上げられます。しかも、雑煮に入っている柔らかくとろとろとした餅で多く窒息がみられます。柔らかいのになぜ？と思われたことはないでしょうか？

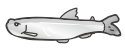
餅は温度が高いほど柔らかくくっつきにくいという特徴があります。口に入れるときは、50～60℃で柔らかく伸びやすく比較的はりつきにくい状態ですが、口の中で徐々に40℃程度まで下がり、硬くなってはりつきやすくなっていきます。飲み込みに時間がかかればかかるほどさらに温度が下がって硬くはりつきやすくなっていき、窒息の危険が急激に高まります。

食べやすい大きさに小さく切って、ゆっくりしっかり噛んで食べるようにしましょう。食べる前に水分で口の中を湿らせておくのもいいですね。姿勢も大事です。必ずしっかり体を起こして（椅子に座るなどして）食べるようにしましょう。高齢者向けの硬くなりにくい餅も開発されています。通販などで購入することができます。

訪問言語聴覚士　影山　通香

【頭の体操】

公魚



この時期にとれる旬の魚です。
皆さん、この漢字読めますか？

わかさぎ

【編集後記】

寒さが厳しくなり、体へも負担がかかる季節となりました。例えば、血圧が上がったり、体が硬くなったり…。また、寒いと喉も乾かず、水分も欲しくないように感じ、脱水になりやすくなります。空気の乾燥や暖房、こたつなどでの水分蒸発のため、お茶やイオン飲料などをこまめに飲んで、体調変化には気をつけていきましょう。

栄養ニュース☆ 【野菜のかしこい食べ方！】

NO.19

野菜は、実は調理することで、たくさんの量をとることができたり、栄養素の吸収率を高めて効率よく食べることができます。一食あたりの野菜の目安量は120gになります。

野菜料理の方法で覚えておきたいのが「かさを少なく」と「しっかり栄養吸収」

1、加熱でかさを少なくして量を摂る！

加熱することで「かさ」が減って、生でそのまま食べるより、量を摂ることが出来ます。
同じ120gでも生野菜なら、両手に軽く山盛りいっぱいですが、加熱した野菜なら片手の量です。

生野菜　両手で一杯

2、栄養の吸収を考えて摂る！

野菜は加熱などの調理をすると栄養素がなくなると思いがちですが、実は調理することで吸収されやすくなる栄養素があります。
その理由は野菜にある固い細胞壁にあります。

加熱した野菜なら
片手一杯

※野菜は加熱したり細かく刻んだりする事で細胞壁が壊されて、栄養が吸収されやすくなります

今回は、少しの調味料とトマトジュースで簡単に出来る“ラタトゥイユ”をご紹介します。
季節の野菜でアレンジして作り置きができます。常備菜にもおすすめですので、ぜひお試し下さい。
食材に合わせてお好みで砂糖を加えてください。

★トマトジュースで簡単！「ラタトゥイユ」

≪材料4人分≫

玉ねぎ……1/2個
サツマイモ……80g
大根……60g
しめじ……1/2株
人参……60g
ブロッコリー…80g
ベーコン……2枚
トマトジュース(食塩不使用)…300cc
塩……小さじ1/2
こしょう……少々
オリーブ油……大さじ1

栄養価（1人分当たり）130ｋcal　塩分0.7ｇ

≪作り方≫

① 玉ねぎ・大根・サツマイモ・ベーコンは、1.5cm角切り、人参はいちょう切り、ブロッコリーとしめじは小房に分ける。
② フライパンにオリーブ油を熱しベーコンを炒め、野菜・しめじを加えて炒める。
③ 全体がしんなりしたら、トマトジュース、塩、こしょうを加え、蓋をして中火で約10分、汁気がなくなるまで煮たら出来上がり♪

～栄養士から一言～

野菜ジュースで「本当に栄養がとれるの？」など、よく質問を受けます。

●ビタミンCや食物繊維など減少する成分もありますが、カリウムなど減少しない成分もあります。さらに、生の野菜からとるより野菜ジュースなどの加工品でとる方が吸収率はアップすることがわかっています。
●砂糖や塩が「不使用」と書いているものは、砂糖や塩は入っていないようですが、糖質のとり過ぎにならないよう、食事全体のバランスを考えてとりましょう。

★日野病院　管理栄養士★

鳥取大学地域医療総合教育研修センターでの取り組みについて

くろさか春夏秋冬セミナー《秋》のご報告

くろさか春夏秋冬セミナーとは、鳥取大学医学部（医学科・保健学科）とYMCA米子医療福祉専門学校の有志学生と各学科教員の集まりで、各シーズンに1回程度、黒坂地区にお邪魔しております。今回は10月６日（日）に日野町防災訓練に参加させてもらいました。前半は、全町一斉防災訓練を見学し、後半は黒坂３区自治会防災訓練に混ぜていただきました。学生たちは、日野病院内科下坂先生による救急救命講習、学生たちによる車いす講習、非常食の試食や持ち出し品チェックリスト・資料配布の準備をして当日に臨みました。実際に住民さんの話を聞いたり質問を受けたりして、災害時に必要となる医療や住民さんの思いを知ることができました。学生・教員とも、日野町住民のみなさんの防災意識の高さに驚きました。今後も住民さんとの関わりのなかで自分たちができることを考える活動を続けていきたいと思います。12月の公民館まつりにも参加しますので、よろしくお願いしますね。

鳥取大学医学部地域医療学講座　**紙　本　美菜子**

禁煙外来，始動してます～！

現在、小生は日野病院の禁煙外来の担当をさせてもらっています。
喫煙が身体に悪い、というのは皆様ご存知のことだと思いますが、なかなか気合いだけではやめられないものです。これはなぜかというとニコチン依存症という病気になっているからであり、病気はきちんとお医者さんと薬で治療をしよう、というのが禁煙外来です。

それでは薬だけでどうにかなるかと言うと、やはり薬だけでは効果が乏しく、医者もアレヤコレヤと外来で手を尽くしながら、どうやったら目の前の患者さんの禁煙を達成できるか必死になって考えながら外来を行っています。

現在も約10名ほどの患者さんが禁煙外来に通院しています。費用は自己負担が１万３千円～２万円程度で３ヶ月のコースとなっています。そして電子タバコだと大丈夫と思っている方、電子タバコも有害ですよ。

タバコから自由になれる生活を送ってみませんか。まずは日野病院にお電話をお待ちしております。

最近、禁煙外来を卒業されたご夫婦に終了証をお渡ししました。
卒業後も禁煙を継続できるよう応援しています!

鳥取大学医学部地域医療学講座　**李　　瑛**

令和２年度　薬剤師育成奨学金･看護師育成奨学金
奨学生募集！！

薬剤師育成奨学金の貸与期間が最長３年に延長

日野病院組合では、令和２年度の薬剤師育成奨学金並びに看護師育成奨学金の貸付けを希望される方を募集します。将来、日野病院組合に就職した場合には奨学金の返還を免除する規定もあります。
また、薬剤師育成奨学金については内容を改正し、今までよりも利用しやすくなりました。
関心のある方は、まずはお気軽にお問い合わせください。

○ 応募･問合せ先：〒689-4504 鳥取県日野郡日野町野田332
日野病院組合事務局総務課
TEL 0859－72－0351　FAX 0859－72－0089

区　　分		薬剤師育成奨学金	看護師育成奨学金
資　　格		大学の５年生及び６年生（応募時点では４年生及び５年生）に在籍し、薬剤師国家試験を受験する予定の者、または、大学を卒業後、次回の薬剤師国家試験を受験する予定の者。	看護を履修する学校等に在籍（応募時点では、入学見込で可）する者。ただし、高等学校及びその高等学校の専攻科において看護師を養成する課程を設ける学校等に在学する者にあっては、その学校等の専攻科に在籍する者に限る。
		資格取得後、日野病院組合に勤務する意思を有すること。	
募集期間		**２月３日（月）～３月31日（火）まで**	**２月３日（月）～２月28日（金）まで**
貸与額		月額１００，０００円以内（無利子）	月額５０，０００円以内（無利子）
貸与期間		最長３年	貸付けを受けた月から卒業する月まで
奨学金の返還	期間	貸付けを受けた期間の３倍の期間	貸付けを受けた期間の２倍の期間
	金額	月賦の均等払方法により、貸付けを受けた金額（月額）の１/３の金額ずつを返還	月賦の均等払方法により、貸付けを受けた金額（月額）の半分の金額ずつを返還
返還の免除		貸付けを受けた金額の返還義務期間に日野病院組合に勤務した場合には、その勤務した期間について返還を免除します。 ※この奨学金の貸与が日野病院組合への採用を約束するものではありません。	

講演会のお知らせ

鳥取県日野郡連携会議講演会

「果たして自治体病院は不要なのか？－その存在意義を考える」

日時：令和２年１月29日（水）
13：30～15：00
15：00～15：30（質疑応答）

場所：日野町文化センター

講師：伊関（いせき） 友伸（ともとし） 氏
城西大学経営学部マネジメント総合学科教授

入場無料

伊関氏経歴
- 1987年埼玉県庁入庁
- 都民部県民総務課、川越土木事務所管理課、出納局出納総務課、総合政策部計画調整課、健康福祉部県立病院課、社会福祉課、県立精神保健総合センター、1995～6年度大利根町企画財政課長（県派遣）に勤務
- 2004年4月から城西大学経営学部助教授
- 総務省「公立病院に関する財政措置のあり方等検討会」委員（2008年度）
- 内閣府「公立病院改革の経済・財政効果に関する研究会」委員

主催：鳥取県日野郡連携会議

厚生労働省「地域医療構想」に係る病院名の公表について

厚生労働省が去年の９月26日に、全国の急性期病床を持つ公立病院・公的病院のうち424の病院について、再編・統合を促す必要があるとして公表しました。県内でも４つの病院が対象となりました。

病院の再編・統合を巡っては、各都道府県が2025年に必要なベッド数などを定めた「地域医療構想」を策定し、自治体や医療関係者などが協議していますが、議論が難航しており、議論の活性化を図るため、厚生労働省は病院名を公表したといわれています。

対象病院は次の２つの基準で判断されました。

A「診療実績が特に少ない」
がん・心疾患・脳卒中・救急・小児・周産期・災害・へき地・研修派遣機能の９領域の診療実績について一定の水準を設け、その水準に満たない項目について「特に診療実績が少ない」と判断され、９領域の全てが「特に診療実績が少ない」と判断された場合に対象とされました。

B「構想区域内に、一定数以上の診療実績を有する医療機関が２つ以上あり、かつ、お互いの所在地が近接（自動車での移動時間が20分）している」
がん・心疾患・脳卒中・救急・小児・周産期の６領域について、類似かつ近接する病院の有無等により判断され、６領域の全てが「特に診療実績が少ない」と判断された場合に対象とされました。
※ＡＢどちらかを満たせば対象

日野病院は、**A**の基準では、へき地以外の８領域で「特に診療実績が少ない」と判断されましたが、へき地医療拠点病院に指定されているため対象にはなりませんでした。

また、**B**の基準では構想区域内に一定数以上の診療実績を有する医療機関が２つ以上存在しないことや、がんと救急の２領域について一定数の実績があったため対象にはなりませんでした。

日野病院は、Ａ・Ｂの基準とも対象外でしたが、対象となった病院に限らず、検討していくべき問題だと考えています。

日野病院組合ニュース

クリスマス会を開催しました

12月16日に、クリスマス会を開催しました。

今年は日野町民ミュージカル出演者による歌と踊りと、生原幸太さんによるチェロ演奏が披露されました。元気で楽しい歌と踊りには、患者さんの顔にも笑顔が溢れ、厳かな雰囲気で奏でられるチェロの演奏には、心癒されました。

また、参加された子どもたちは、サンタさんからのプレゼントに喜んでいました。

当日は多くの方にお越しいただき、本当にありがとうございました。

日野病院組合職員の給与等の状況（平成31年4月1日現在）

●職員の平均給料月額、平均年齢及び職員数（令和元年度当初予算）

区　　分	一般行政職	現　業　職	医　療　職	医療技術職	看　護　職
平均給料月額	271,342円	273,550円	454,004円	249,878円	280,664円
平均給与月額	311,744円	299,071円	1,056,740円	284,125円	333,197円
平 均 年 齢	42.3歳	55.7歳	45.0歳	38.9歳	41.0歳
職　員　数	12人	3人	7人	27人	60人

平均給料月額：職員の基本給の平均

平均給与月額：給料月額と毎月支払われる諸手当の合計したものの平均（期末勤勉手当は除く）

〈編集後記〉

正月気分も抜けて、いつもの日常が戻ってきた今日この頃です。

先日カフェで人を待っていたら向かいの席の女性三人組が私をチラチラ見ながら「いっちゃいなよ～」「いや、無理だよ～」とか話しているので何だろうと期待していたら、一人が近づいて来て「肩大丈夫ですか」と言われました。よく見たら肩にカマキリが乗っていました・・・。（権）

連絡先

日野病院
鳥取県日野郡日野町野田332番地
ＴＥＬ　0859-72-0351
ＦＡＸ　0859-72-0089

黒坂診療所
鳥取県日野郡日野町黒坂1243-1番地
ＴＥＬ　0859-74-0351
ＦＡＸ　0859-74-0351

二部診療所
西伯郡伯耆町二部1554番地4
ＴＥＬ　0859-62-0351
ＦＡＸ　0859-62-0351

切り取り線

せせらぎ　令和2年1月　発行/日野病院組合　編集/日野病院広報委員会　住所/〒689-4504 鳥取県日野郡日野町野田332　TEL/0859-72-0351　FAX/72-0089　印刷/冨士印刷有限会社

日野病院 外来診療案内

R.2.1～

午前　午後　休診

診療科		受付	月	火	水	木	金
内科	一診	午前	笠原　尚（循環器内科）	下坂　拓矢	細田　譲（第1・3週） 木原さくら※1（第2・4週）	北浦　剛（兼呼吸器内科）	下坂拓矢
		午後			木原さくら※1（第2・4週）	北浦　剛（兼呼吸器内科）	
	二診	午前	孝田　雅彦（兼肝臓内科）	孝田　雅彦	長谷川　隆（大学）	岸　真文※1	田本　明弘
		午後			長谷川　隆（大学）		田本　明弘
	三診	午前	李　瑛	谷口晋一(第1・3週) 濵田紀宏(第2・4・5週)	イ　ヨンイ(第1・3・5週) 長尾裕一郎(第2・4週)	井上　和興	今村　武史（大学医師）
		午後	藤井　麻耶	谷口晋一(第1・3週) 濵田紀宏(第2・4・5週)			
	四診	午前	藤井　麻耶（初診）	李　瑛（初診）	紙本美菜子（初診）	紙本美菜子（初診）	
外科		午前	大学医師	佐藤　尚喜	佐藤　尚喜	大学医師	佐藤　尚喜
整形外科		午前	藤田　章啓	藤田　章啓	藤田　章啓	藤田　章啓	林　育太（大学医師）
眼科		午前	玉井　嗣彦	玉井　嗣彦	稲田　耕大（大学医師）	玉井　嗣彦	春木　智子（大学医師）
小児科		午前	竹茂　幸人	竹茂　幸人	竹茂　幸人	紙本美菜子	大学医師
		午後	大学医師	竹茂　幸人	竹茂　幸人	竹茂　幸人	大学医師
専門診療科（大学医師他）		午前	**肝臓内科** 孝田　雅彦	**皮膚科** 大学医師	**消化器内科** 長谷川　隆	**呼吸器内科** 北浦　剛	
			循環器内科 笠原　尚	**女性診療科** 秦　幸吉	**泌尿器科** 大学医師	**脳神経内科** 岸　真文※1	
					血液内科 細田　譲（第1・3週）	**泌尿器科** 引田　克弥	
					糖尿病外来 木原さくら※1（第2・4週）	**耳鼻科** 竹内　裕美	
		午後	**脳神経外来** 長尾裕一郎	**心臓外科** 西村　元延（第1・3週）	**消化器内科** 長谷川　隆	**呼吸器内科** 北浦　剛	**心療内科** 兼子　幸一
			禁煙外来※2	**ペースメーカー** 西村　元延（偶数月第3週）	**糖尿病外来** 木原さくら※1（第2・4週）		
				血管外科 大野原岳史(第2週) 中村　嘉伸(第4週)			
消化器検査		午前	長尾裕一郎 下坂　拓矢	佐々木修一	佐々木修一 長谷川　隆(大学)	孝田　雅彦 下坂　拓矢 イ　ヨンイ	佐々木修一 田本　明弘
		午後	下坂　拓矢		下坂　拓矢		田本　明弘

（注）医師の出張等により、担当医師等が変更になる場合があります。（詳しくはホームページ、正面玄関の掲示板等でご確認ください。）

自動再来受付機による受付（時間予約を除く）
- ●午前＝７時30分～10時30分
- ●午後＝正午～15時（心臓外科・血管外科・ペースメーカー・心療内科）
- ●午後＝正午～16時（内科・小児科・脳神経外来）

検査開始時間　●午前＝８時30分～

診療開始時間　●午前＝９時～　●午後＝14時～

休　診　日　●土曜日・日曜日・祝日　●８月14日・15日　●12月29日～１月３日

電話による予約日・予約時間の受付　●14時～16時（受診希望日の前日(平日のみ)まで予約できます）

新患登録・新規予約 <代　表>**72－0351**
予約日（時間）変更 <内　科>**72－2721**
<禁煙外来>**72－2721**
<外　科>**72－2719**
<整形外科>**72－2720**

※１　糖尿病外来・脳神経内科は完全予約制です。受診希望の方は、平日14時～16時に内科外来にご相談ください。(72－2721)

※２　禁煙外来は完全予約制です。受診希望日の前日(平日のみ)までに電話等でご予約ください。(72－2721)

この広報誌は、患者様のご希望により、構成町（日野町・江府町・伯耆町）の全戸に配布しています。

切り取り線

外来診療案内ポケット版

午前　（受付時間は、7時30分から10時30分まで）　(R.2.1月～)

診察科目		月	火	水	木	金
内科	一診	笠原	下坂	細田(第1・3週)・木原(第2・4週)	北浦	下坂
	二診	孝田	孝田	長谷川(大学)	(脳内)	田本
	三診	李	谷口・濵田	イ・長尾	井上	今村(大学)
	四診	藤井(初診)	李(初診)	紙本(初診)	紙本(初診)	
外科		(大学)	佐藤	佐藤	(大学)	佐藤
整形外科		藤田	藤田	藤田	藤田	林(大学)
眼科		玉井	玉井	稲田(大学)	玉井	春木(大学)
小児科		竹茂	竹茂	竹茂	紙本	(大学)
専門診療科		肝臓内科 循環器内科	皮膚科 女性診療科	消化器内科 泌尿器科 血液内科（第1・3週） 糖尿病外来（第2・4週）	呼吸器内科 脳神経内科 泌尿器科 耳鼻科	

午後　（受付時間は、12時から16時まで ただし、※は15時まで）

診察科目	月	火	水	木	金
内科	藤井	谷口・濵田	木原・長谷川	北浦	田本
小児科	(大学)	竹茂	竹茂	竹茂	(大学)
専門診療科	脳神経外来 禁煙外来	心臓外科（第1・3週）※ ペースメーカー（偶数月第3週）※ 血管外科（第2・4週）※	消化器内科 糖尿病外来(第2・4週)	呼吸器内科	心療内科※

●医師の出張等により、診察日・担当医師が変更になる場合があります。
（切り取って財布等に入れご利用ください）

編 集 後 記

令和元年度の大きな出来事の一つとして、令和元年９月に厚生労働省が「診療実績が乏しい」と判断した全国の４２４の公立・公的病院に再編・統合の再検証を要請し、病院名を公表したことが挙げられます。日野病院はその対象ではありませんでしたが、県内では４病院が対象となりました。

このニュースは新聞各紙のトップ記事として取り上げられ、瞬く間に世間に広まりましたが、地域事情を考慮しない画一的な基準での選定に不満が噴出したこともあり、全国各地で厚生労働省の担当者と病院関係者との意見交換会が設けられました。

病院関係者から再検証要請の撤回を求める声もあり、各地で激しい議論が交わされましたが、結局、厚生労働省は強引なやり方だったことは認め再検証の提出期限を先送りにしましたが、撤回するには至りませんでした。

そのような中、令和２年１月に鳥取県病院協会職員研修会及び鳥取県日野郡連携会議講演会の講師として、城西大学経営学部マネジメント学科の伊関友伸教授をお招きしました。

伊関先生には、平成２８年度に当院が「新公立病院改革プラン」を策定する際に、アドバイザーとしてご尽力いただいたこともあり、今回の講演の依頼を快く受けていただきました。

伊関先生は、全国の自治体病院の経営の研究を行うため積極的に現場に入って行かれ、再編・統合については日本で一番事例を経験している学者と自負されていますが、講演の中で今回の厚生労働省の公表について、「全国一律で急性期病院の診療実績で線を引いたため、へき地の中小病院が数多く対象とされたが本当に統合再編を検討すべきなのはへき地の中小病院でなく、都市部の病院であり、このままでは統合再編は進まない」と訴えられました。

日野病院は、今回の再検証要請の対象とはなりませんでしたが、周辺地域の人口が減少し続けているなか、今までと同じ機能を維持していくことは困難となることが予想されます。それは近隣の医療機関も同様で、今、各医療機関が考えなければならないことは、現状の機能を維持していくことではなく、無駄を省きながら必要な機能をできるだけ継続させていくことだと思います。

個々の医療機関だけでは維持していくことが困難な機能も、各病院の連携により維持することができる事も今後出てくると思われます。

このような理由で令和２年３月２３日に、日南町、日野町、江府町、鳥取大学医学部附属病院の間で、日野郡の医療連携に係る協定書が締結されました。

具体的な内容については、令和２年度以降に検討していくこととなりますが、日野病院・日南病院・江尾診療所は、鳥取大学の地域医療総合教育研修センターを含め、日野郡の医療を守るため、今後益々連携を深めていく必要があると考えています。

日野病院事務局長 頭本 保人

―― 発　　行 ――

日野病院組合　日野病院広報委員会

〒689-4504　鳥取県日野郡日野町野田 332 番地
Tel：0859-72-0351　Fax：0859-72-0089
URL：http://www.hinohp.com/